Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP5600

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

[紙マニュアル] このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

[CD-ROM] このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

目的	ガイド	紙	CD-ROM
• **プリンタを設置するには** • **コンピュータと接続するには** • **印刷できるようにするには**	**設置時にお読みください**	○	CD-ROM
• **プリンタの簡単なメンテナンス方法を知るには**	**かんたんメンテナンスガイド**	○	
• **基本的な使いかたを知るには** • **困ったときには**	**ユーザーズガイド（本書）**		CD-ROM
• **ネットワーク環境で印刷するための準備をするには** オプションのネットワークボードを装着している場合のみ（オプションのネットワークボードに同梱されています）	**ネットワークガイド／スタート編**	○	
• **ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには** • **ネットワーク環境でプリンタを管理するには** オプションのネットワークボードを装着している場合のみ	**ネットワークガイド／本編**		CD-ROM
• **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには** オプションのネットワークボードを装着している場合のみ	**リモート UI ガイド**		CD-ROM

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

目次

第３章　印刷環境を設定するには

第４章　印刷するには

第 5 章　日常のメンテナンス

第 8 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP5600 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

⚠警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

• コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
[設定]

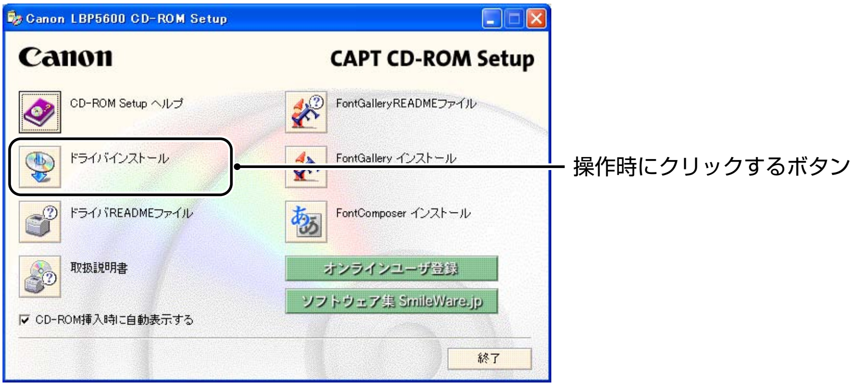
画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

6 ［ドライバインストール］をクリックします。



略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot、PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律	• 刑法 • 著作権法 • 通貨及証券模造取締法 • 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 郵便法 • 郵便切手類模造等取締法 • 印紙犯罪処罰法 • 印紙等模造取締法

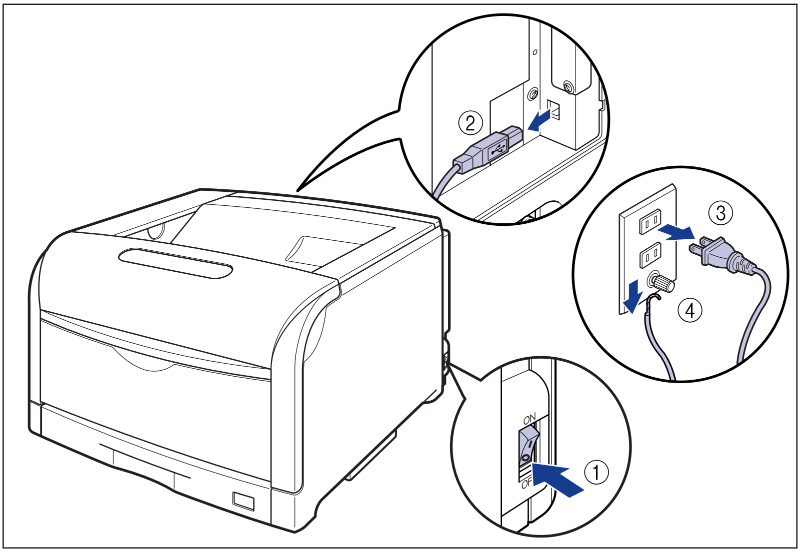
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  ・アクセサリーなどの金属物
  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

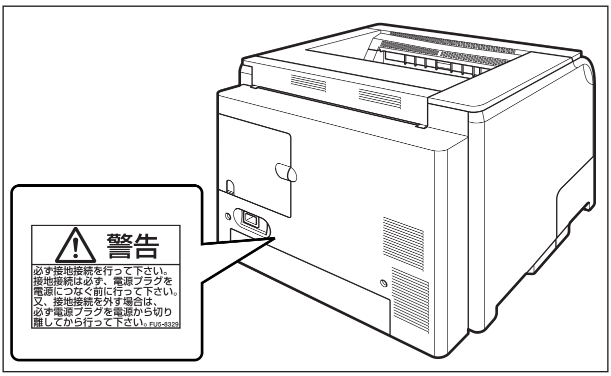
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。(→ プリンタを移動する：P.5-75)

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

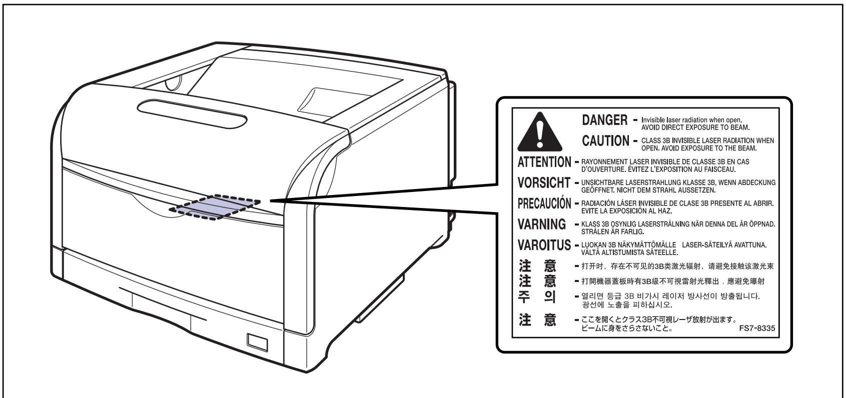
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 拡張ボードの取り扱いには注意してください。拡張ボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。



  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

- この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

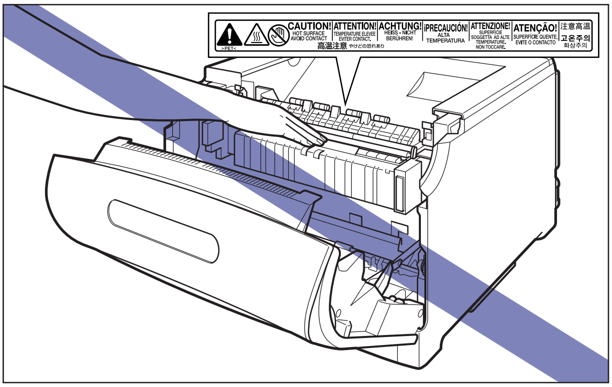
保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのドラムカートリッジやトナーカートリッジ、廃トナー容器を火中に投じないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、廃トナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

警告

ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

1

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ 高品位フルカラープリント

印字機構に 1200dpi（1bit）のカラーレーザープリンタエンジンを搭載。また、キャリブレーション処理により常に安定した画像を提供します。

■ ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載

Windows OS に対応したキヤノン最新のハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」（Canon Advanced Printing Technology）を搭載。このシステムは従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をコンピュータで一括処理するため、コンピュータの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、重いデータでもプリンタ側のメモリの追加なしに処理できます。

■ USB 2.0 High Speed 標準搭載

最高 480Mbps の高速 I/F USB 2.0 High Speed への対応により高速転送を実現しています。

■ 多彩なペーパーハンドリング

標準の手差しトレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで 550 枚ペーパーフィーダを用意。最大 2000 枚、5 種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、手差しトレイは、手差し両面印刷が可能で、用紙サイズもはがきから最大 A3、長尺紙にまで対応しており、多様な用途に応じた使いかたを可能にしています。

■ 省電力設計 & ウォームアップレス

「オンデマンド定着方式」の採用により省エネとクイックスタートを実現しました。このキヤノン独自の技術は定着ヒータを印刷時のみ瞬間的に加熱する方法で、ウォームアップ時間はありません。いつでもスタンバイ状態ですぐ印刷を開始できます。またスタンバイ時は定着器のほうでほとんど電力を消費しない省電力設計です。

■ さまざまなマテリアルに対応

普通紙、厚紙、はがき、封筒、コート紙、ラベル用紙などさまざまな用紙に対応しています。

■ ネットワーク対応プリンタ

オプションのネットワークボードを装着することで、Ethernet のネットワークプリンタとして使用できます。また、ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、ジョブが終了したり、消耗品の残量不足または少なくなった状態が発生したときに E-mail にて通知する E-mail 通知機能があります。

メモ　オプションのネットワークボードの対応 OS、設定のしかた、詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

■ **簡単操作のカラーコントロール**

サムネイルを使ったユーザーインターフェースにより直感的でわかりやすい色調整を実現しています。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体

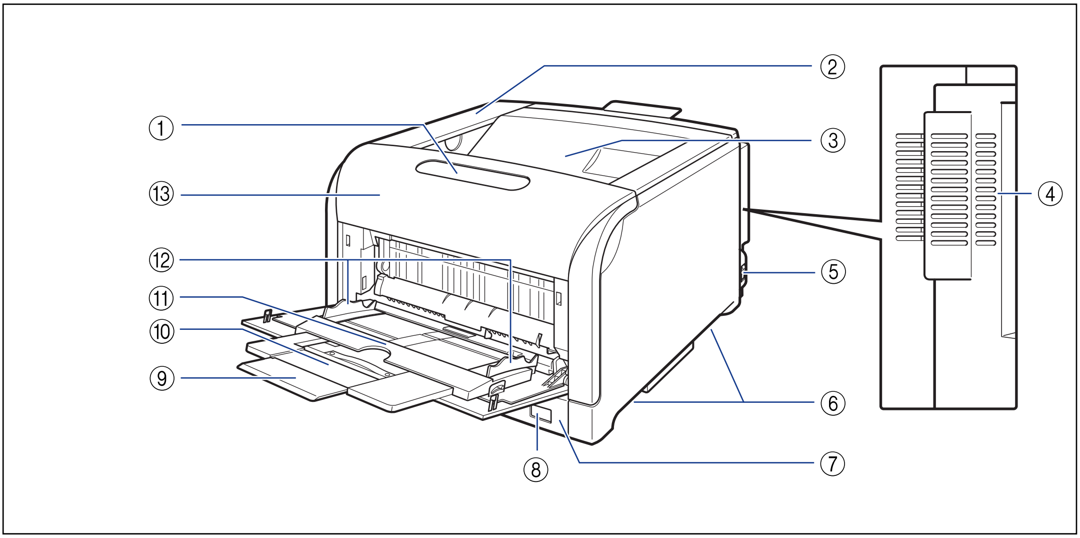
プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

注意　本プリンタには通気口（吸気口、排気口）がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口（吸気口、排気口）をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

メモ　操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。



① **ランプ**
プリンタの状態を示すランプです。（→P.1-7）

② **トナーカバー**
トナーカートリッジを交換するときに、ここを開けて作業します。（→P.5-6）

③ **排紙トレイ**
印刷された用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→P.2-16）

④ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

⑤ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。（➞P.1-13）

⑥ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。（➞P.5-80）

⑦ **給紙カセット**
最大 250 枚までの A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙がセットできます。（➞P.2-18）

⑧ **用紙サイズ表示**
給紙カセットにセットした用紙サイズの用紙サイズ表示板を差し込みます。（➞P.2-44）

⑨ **延長トレイ**
A3 サイズの用紙などの長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

⑩ **補助トレイ**
B4 サイズの用紙などの大きいサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

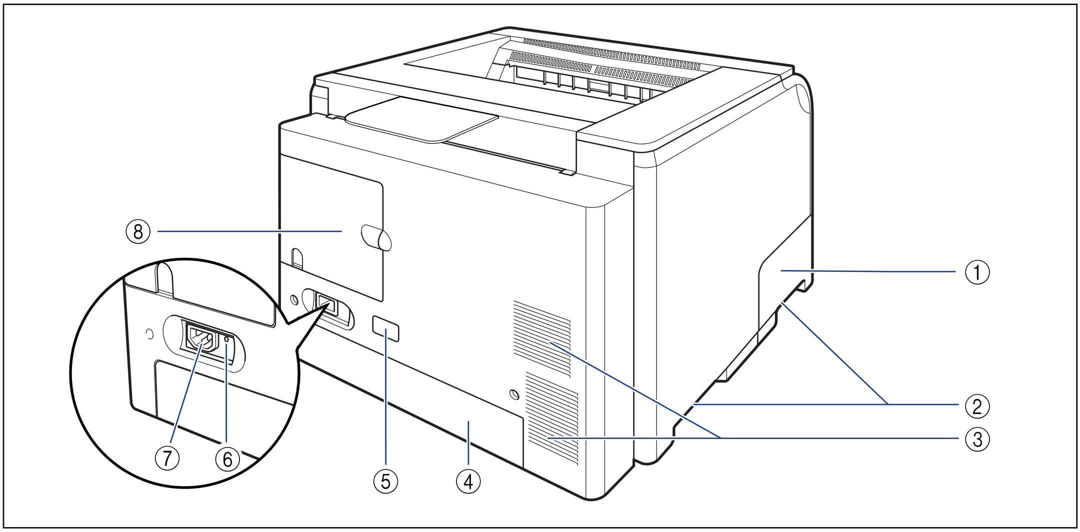
⑪ **手差しトレイ**
用紙を手差しトレイから給紙するときに、用紙をセットします。（➞P.2-71）

⑫ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限マークが付いており、このマークまで用紙をセットできます。

⑬ **前カバー**
定着器の交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（➞P.5-45）

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。



① **廃トナーカバー**
廃トナー容器の交換をするときに、ここを開けて作業します。（➞P.5-58）

② **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。（➞P.5-80）

③ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

④ **カセット保護カバー**
給紙カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。給紙カセットを延長して、A3 や B4 サイズなど大きな用紙をセットすると、自動的にカセット保護カバーが上がります。

⑤ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（SerialNo.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（10A）は、平均消費電流です。（➞P.8-47）

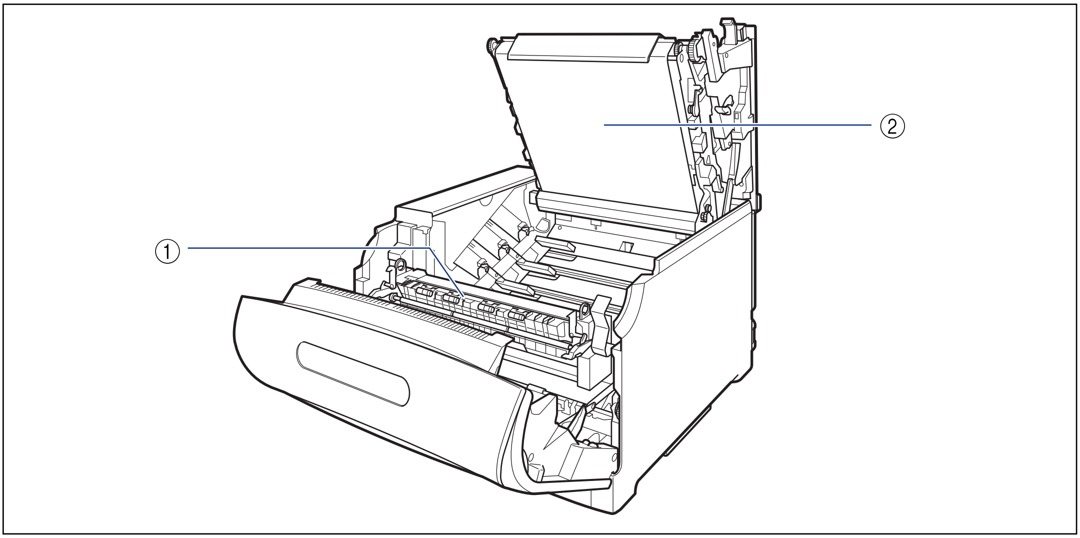
⑥ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

⑦ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑧ **後カバー**
オプションのネットワークボードを取り付けるときや USB ケーブルを接続するときに、ここを開けて作業します。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称と機能を説明しています。

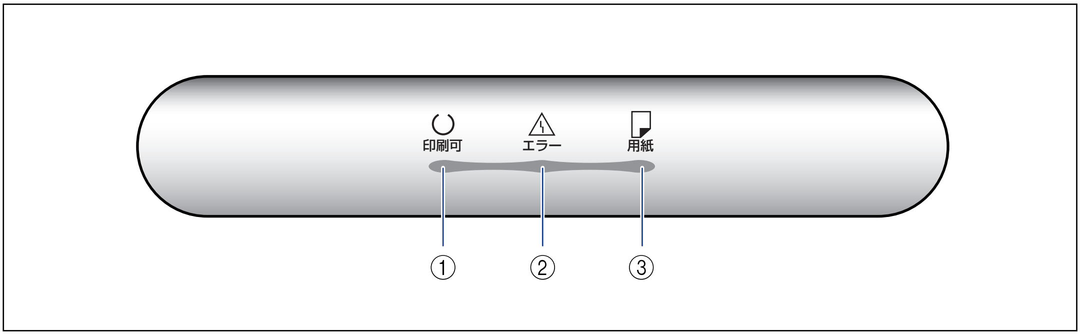


① **定着器（倒した状態）**
トナーを用紙に定着させる装置です。

② **ITB（Intermediate Transfer Belt：中間転写ベルト）ユニット**
4 色のトナーを用紙に転写する装置です。

ランプについて

メモ　プリンタ状態の詳しい情報は、お使いのコンピュータからプリンタステータスウィンドウで確認することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（➞P.4-79）を参照してください。



① **印刷可ランプ（青色）**

点灯：印刷可能な状態、スリープ中。
点滅：印刷中、ウォームアップ中、キャリブレーション中、一時停止中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。

② **エラーランプ（赤色）**

点灯：サービスコールが発生している状態。
点滅：エラーが発生していて印刷できない状態。

③ **用紙ランプ（赤色）**

点滅：用紙なしの状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。

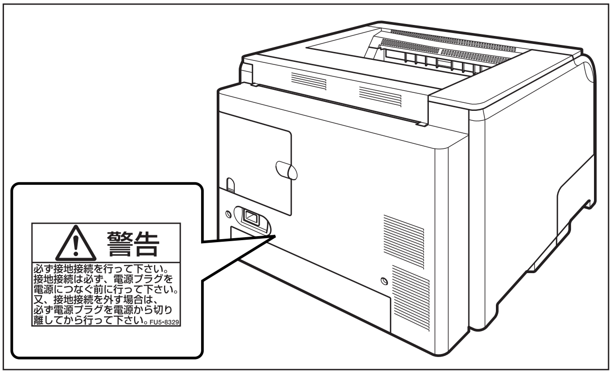
電源コード、アース線を接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（→P.xiv）を参照してください。

アース線を接続する

⚠警告

• アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



• アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

［アース線を接続してもよいもの］

・電源コンセントのアース線端子

・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

［アース線を接続してはいけないもの］

・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

• アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

• 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。

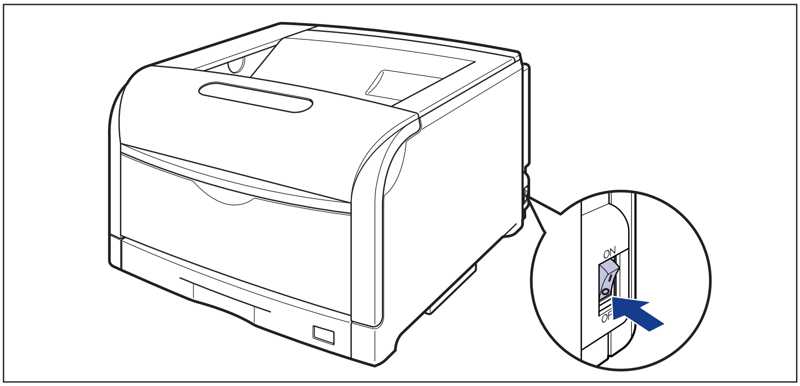
• プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

重要 アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、 機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。

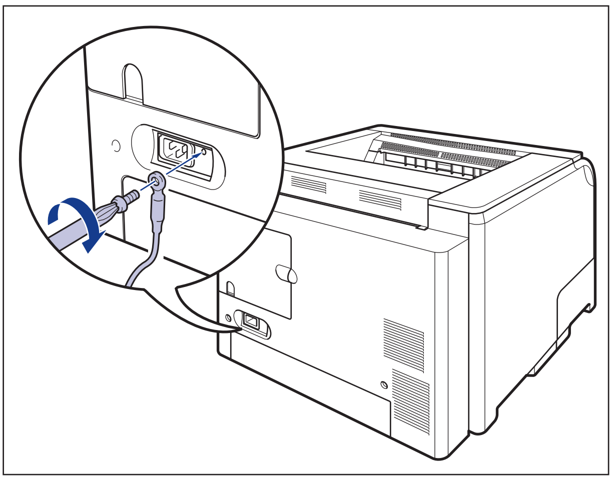
メモ アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。**

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

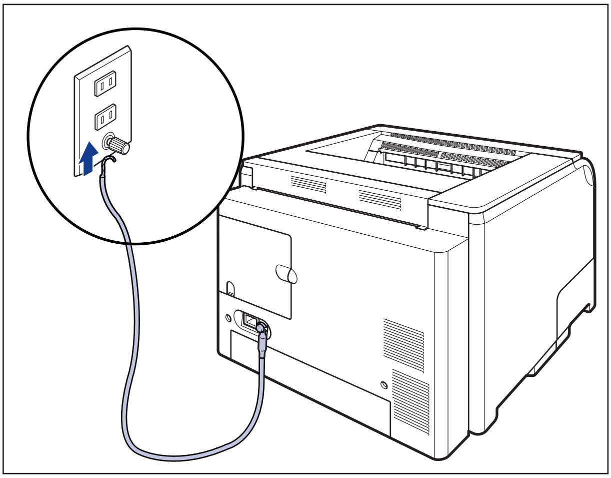


2 **アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。**

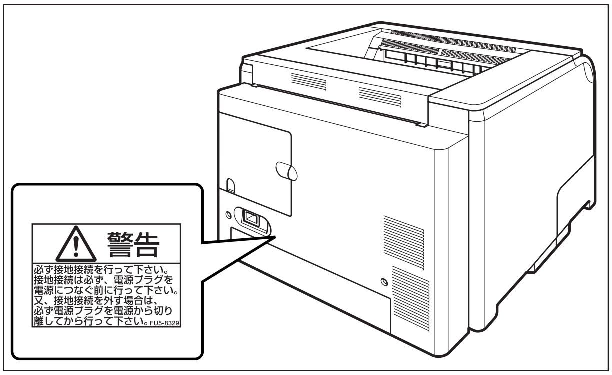


重要
- アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。
- アース線端子のネジを取り外すときは、ワッシャーをアース線端子の下にある溝に落とさないように気を付けて取り外してください。

3 アース線を専用のアース線端子へ接続します。



⚠警告　アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



電源コードを接続する

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

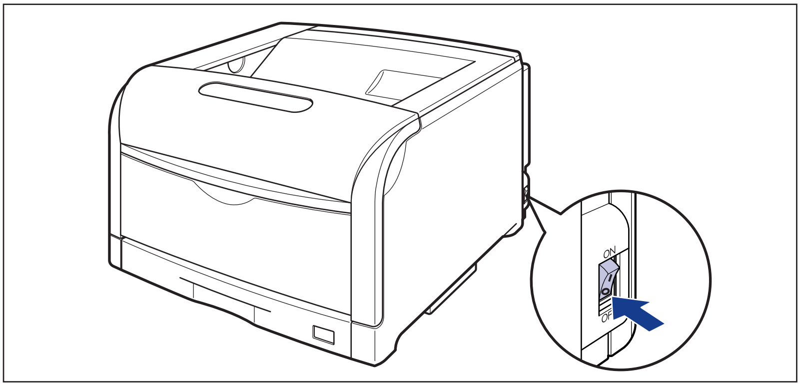
注意
- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

重要
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

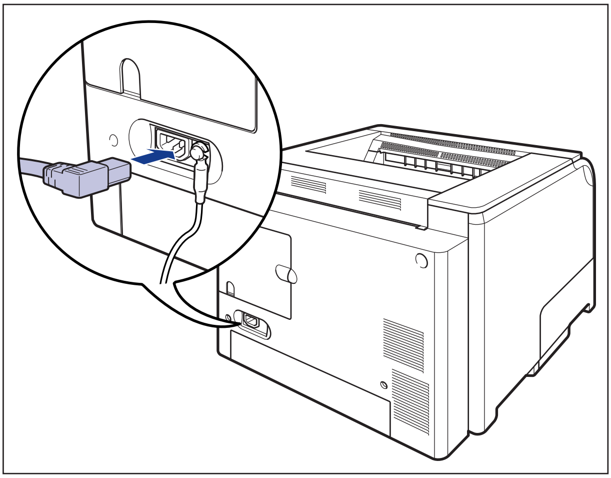
---

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

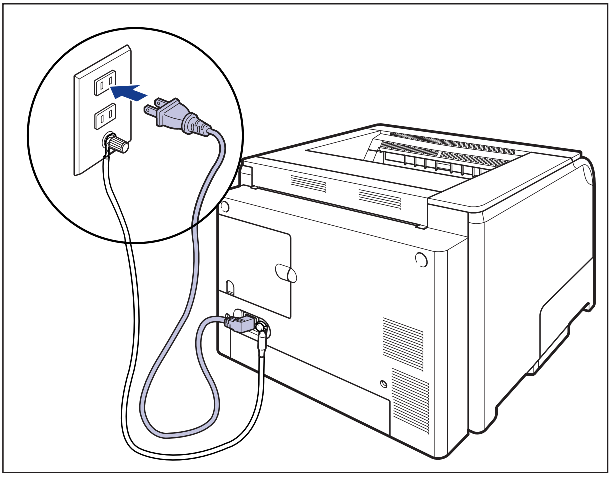
電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。



2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。



3 電源プラグを電源コンセントへ接続します。



電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

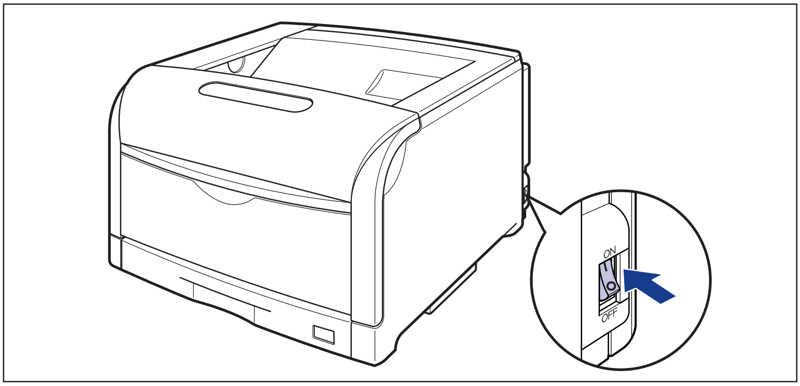
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの"I"側を押して、オンにします。本体やオプション品の状態チェック（自己診断）を実行したあと、印刷可能な状態になります。

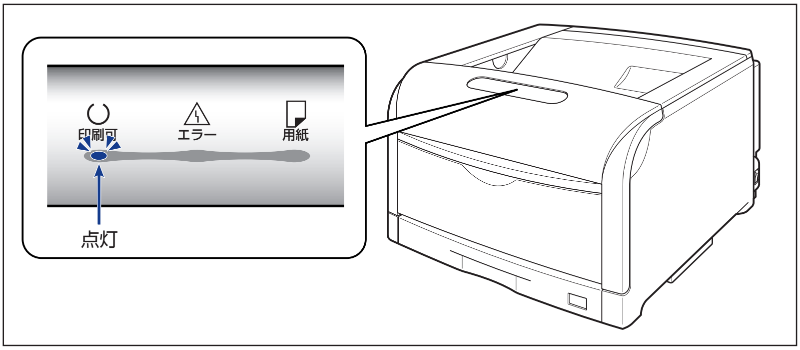
重要

- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」(➞P.7-1）を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。

1 プリンタの電源スイッチの"I"側を押します。



プリンタのランプが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。
自己診断の結果に異常がなければ、印刷可ランプ（青色）が点灯し、印刷可能な状態になります。



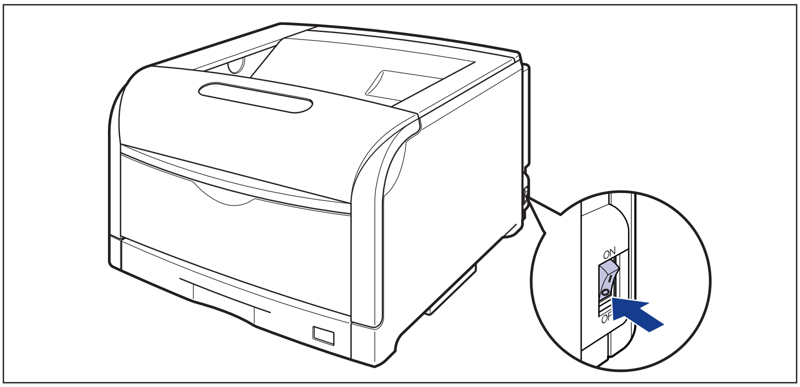
電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要

- ネットワークに接続している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- プリンタの電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、出力し終わるまで待ってから電源をオフにしてください。
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  ・印刷中
  ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中

1 **プリンタの電源スイッチの"○"側を押します。**



消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタが動作していないときや、ご使用になっていないときに、スリープモードにすることで効率的に節電することができます。スリープモードを使用する場合は、以下の手順で行います。

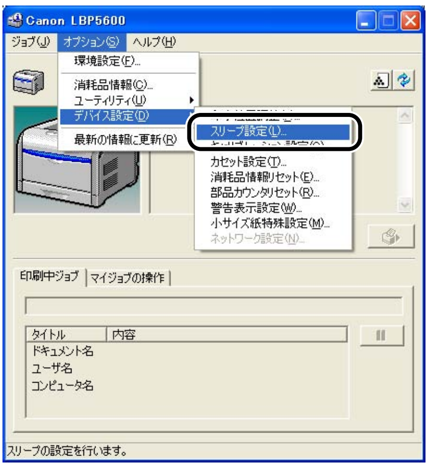
重要
- 本体右側面にある電源スイッチの"○"側を押した状態では、消費電力は0Wになります。
- スリープモードは、次のような状態になった場合に解除されます。
  - ・印刷が実行された
  - ・キャリブレーションが実行された
  - ・クリーニングが実行された
  - ・プリンタステータスウィンドウの［印字位置調整］ダイアログボックス、［小サイズ紙特殊設定］ダイアログボックスが開かれた
  - ・プリンタステータスウィンドウの［部品カウンタリセット］ダイアログボックスで、カウンタのリセットが指示された

---

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

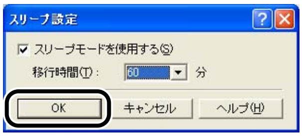
2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［スリープ設定］を選択します。



3 ［スリープ設定］ダイアログボックスの［スリープモードを使用する］にチェックマークを付け、［移行時間］でスリープモードに移行するまでの時間を設定します。



4 ［OK］をクリックします。



コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータやネットワークに接続します。

本プリンタは標準で USB コネクタを装備していますので、USB ケーブルでコンピュータに接続します。また、オプションのネットワークボードを装着すると、LAN ケーブルで直接ネットワークに接続することができます。

USB ケーブルで接続する場合

USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。

警告

- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

重要

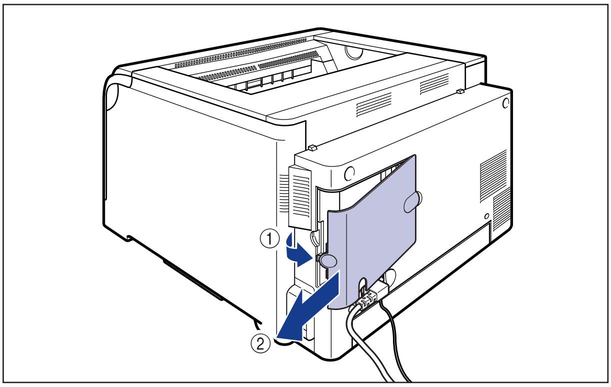
- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・コンピュータの電源を入れた直後の OS 起動中
  - ・印刷中
- コンピュータおよびプリンタの電源がオンになっている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

メモ

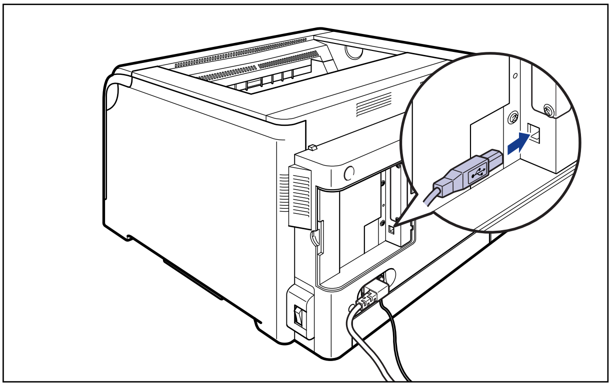
- 本プリンタのUSBインタフェースは、接続するコンピュータのOSによって以下のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ・Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Windows 2000/XP/Server 2003：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタを USBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているコンピュータをご使用ください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

1 **後カバーを取り外します。**

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。

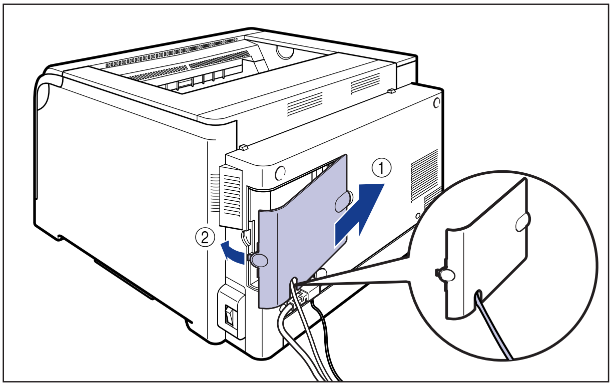


2 **USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続します。**

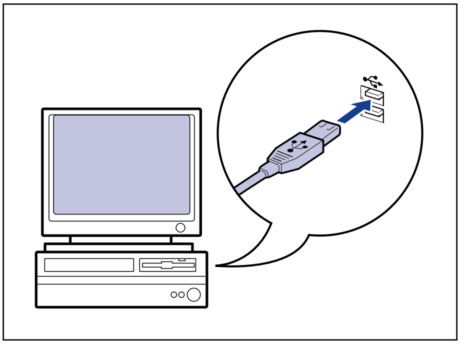


3 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



4 USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をコンピュータのUSB ポートへ接続します。



メモ

- USB ケーブルの接続後に、プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、以下のいずれかの方法で本プリンタのソフトウェアをインストールしてください。詳しくは、「CAPT ソフトウェアをインストールする」（→P.3-4）を参照してください。
  - ・[キャンセル］をクリックして、CD-ROM Setup からインストールする
  - ・プラグ・アンド・プレイでインストールする
- お使いのコンピュータに対応したUSB ケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入した販売店にお問い合わせください。

LANケーブルで接続する場合

オプションのネットワークボード（NB-C1）を装着した場合は、カテゴリ5対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

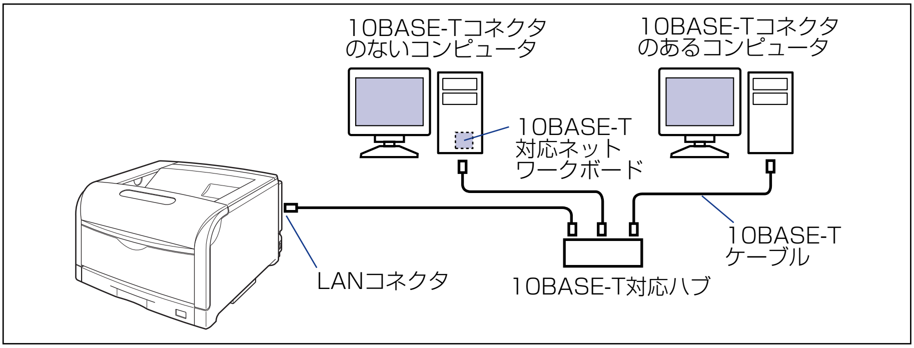
メモ

- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード」（→P.6-30）を参照してください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワークOSの設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSに付属の取扱説明書や「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

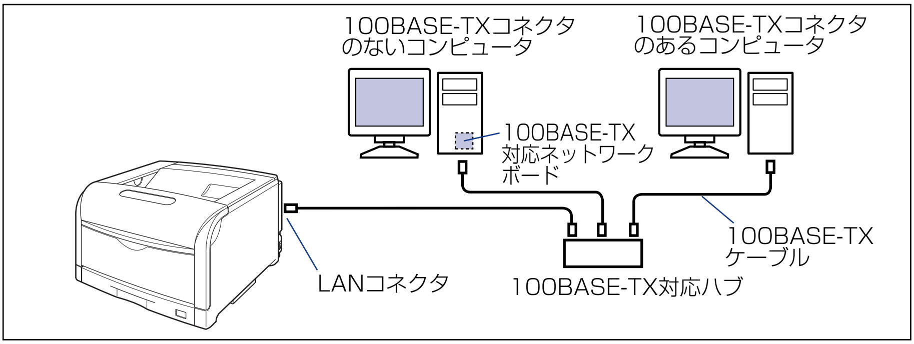
■ ネットワークの環境について

オプションのネットワークボードは、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

- 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合



- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合



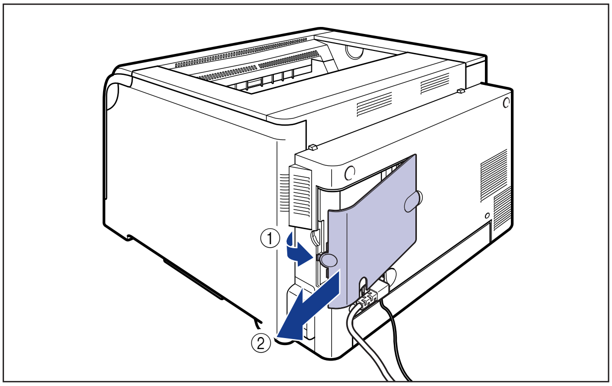
重要

- 本プリンタのネットワークボードは、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。

メモ　100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

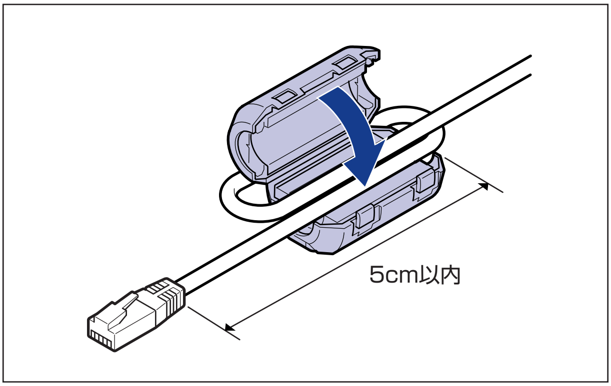
1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



2 図のように LAN ケーブルにフェライトコアを取り付けます。

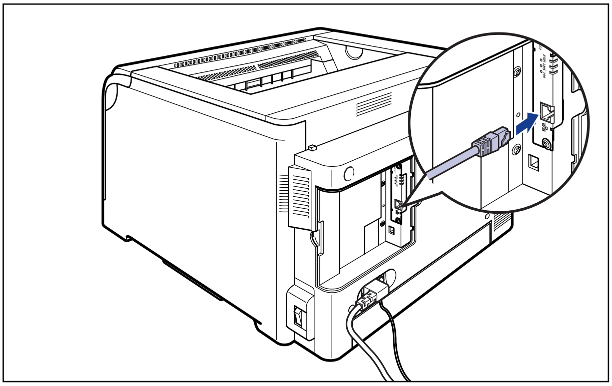
フェライトコアはプリンタに接続するコネクタから 5cm 以内の場所に取り付けます。



メモ　フェライトコアは、プリンタに同梱されています。

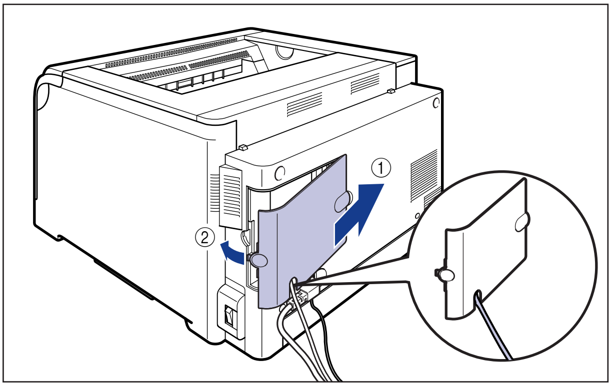
3 ネットワークボードのLAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

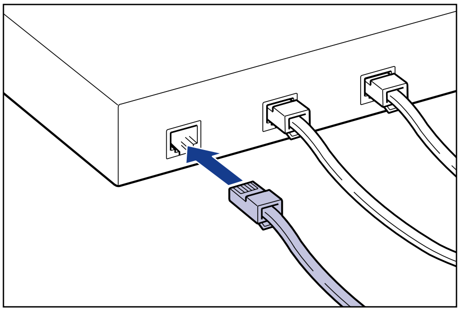


4 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

手順 2 で LAN ケーブルに取り付けたフェライトコアを後カバーに入れて、図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



5 LAN ケーブルの反対側をハブに接続します。



給紙／排紙のしかた

2
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなります。（最終的に A5、B5 サイズの普通紙の場合で約 8ppm、B4 サイズの普通紙やはがきの場合で約 4ppm まで低下することがあります。）
- ［印字品質］ページの［印刷目的］にある［高精細文書］（1200dpi）や［ユーザ設定］ダイアログボックスの［モード詳細］にある［高精細］（1200dpi）を選択して印刷した場合、プリント速度が約半分に低下します。

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット 1	カセット2（オプション）	カセット 3（オプション）	カセット 4（オプション）
A5*1	◎	◎	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎	◎	◎
レター *1	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ *1	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル *2	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17）*2	◎	◎	◎	◎	◎
12 × 18*2	○	×	×	×	×
ユーザ定義用紙	◎ *3	×	◎ *4	◎ *4	◎ *4
長尺紙 *2	○ *5	×	×	×	×
はがき *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット1	カセット2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）
封筒 *2 洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×	×	×
洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×	×	×
角形２号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×	×	×

*1 横置きのみセット可能です。

*2 縦置きのみセット可能です。

*3 以下のサイズのユーザ定義用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～457.2mm
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
以下のサイズのユーザ定義用紙を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*4 以下のサイズのユーザ定義用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*5 以下のサイズの長尺紙を縦置きにセットすることができます。
・幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙タイプ		プリンタドライバの設定	給紙部				
			手差しトレイ	カセット1	カセット2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）
普通紙（64～105g/m²）		［普通紙］*1	◎	◎	◎	◎	◎
厚紙	106～169g/m²	［厚紙 1］	○	×	×	×	×
	170～220g/m²	［厚紙 2］	○	×	×	×	×
コート紙		［コート紙］*2	○	×	×	×	×
ラベル用紙		［ラベル用紙］	○	○	○	○	○
はがき		［はがき］*3	○	×	×	×	×
封筒		*4	○	×	×	×	×

*1 普通紙（64g/m²）を［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合や幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合は、［普通紙 L］に設定してください。

*2 106 ～ 169 g/m² 以外のコート紙の場合は、以下の設定を行ってください。
105g/m² 以下の場合：
［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする
170 ～ 220 g/m² の場合：
① ［用紙タイプ］の設定を［コート紙］にする
② ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード4］にする

*3 ［はがき］は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定が［はがき］、［往復はがき］、［4 面はがき］の場合にのみ選択できます。また、本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m²）、厚紙（106 ～ 169g/m²）やキヤノン推奨 4 面はがきにも印刷することができます。はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m²）に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙（106 ～ 169g/m²）やキヤノン推奨 4 面はがきに印刷する場合は、［厚紙 1］を選択します。

*4 封筒の場合は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］を設定すると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。

メモ　用紙の厚さは、1m² あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m² という単位が使われます。用紙の厚さについては用紙メーカーにお問い合わせください。

■ 普通紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの定形用紙、およびユーザ定義用紙、長尺紙の重さ 64 ～ 105g/m² の普通紙を使用できます。
定形用紙（はがき、往復はがき、4 面はがきサイズ以外）は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙は、手差しトレイから給紙できます。また A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、レター、リーガル、エグゼクティブサイズは、自動両面印刷が可能です。

ユーザ定義用紙、長尺紙は、手差しトレイから給紙できます。ユーザ定義用紙は、手差しトレイから自動両面印刷が可能です。また、オプションのペーパーフィーダを装着すると、ユーザ定義用紙をカセット 2、3、4 から給紙でき、自動両面印刷が可能です。

■ 厚紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙、およびユーザ定義用紙、長尺紙の重さ 106 ～ 220g/m² の厚紙を使用できます。厚紙は、手差しトレイから給紙し、片面印刷のみ可能です。

■ コート紙

本プリンタでは、A3、A4 サイズのコート紙を使用できます。コート紙は手差しトレイにセットします。

重要　コート紙は、「キヤノン推奨品イメージコート A3」、「キヤノン推奨品イメージコート A4」をご使用ください。

■ ラベル用紙

本プリンタでは A4 サイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。

重要

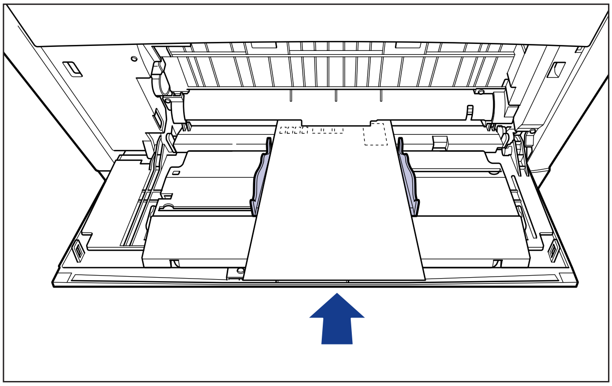
- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ･台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ･糊がはみ出ている用紙

■ はがき / 往復はがき /4 面はがき

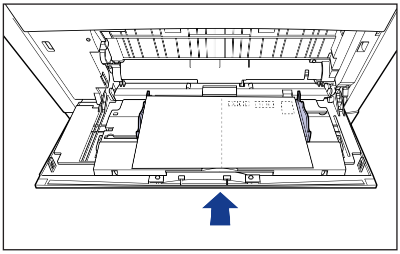
本プリンタでは、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがきとキヤノン推奨４面はがきを使用できます。はがき、往復はがき、４ 面はがきは印刷面を下にして手差しトレイにセットします。

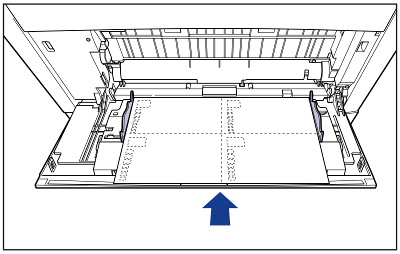
重要

- 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、およびキヤノン推奨の４面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。
- はがきは横置きにはセットできません。印刷する面を下にして、必ず縦置きにセットしてください。



- 往復はがき、４面はがきは縦置きにはセットできません。印刷する面を下にして、必ず横置きにセットしてください。





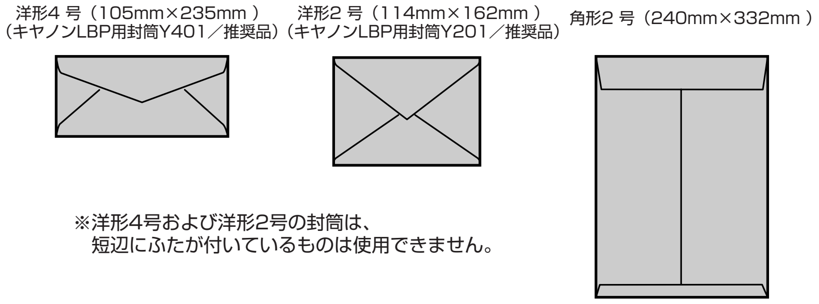
- はがきや往復はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

2

給紙／排紙のしかた

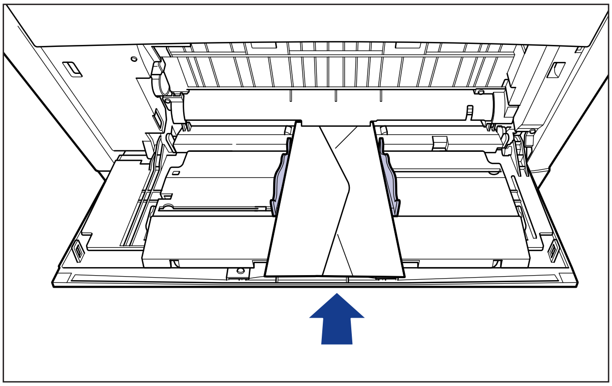
■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号、角形２号で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面（貼り合わせのない面）を下にして手差しトレイにセットします。



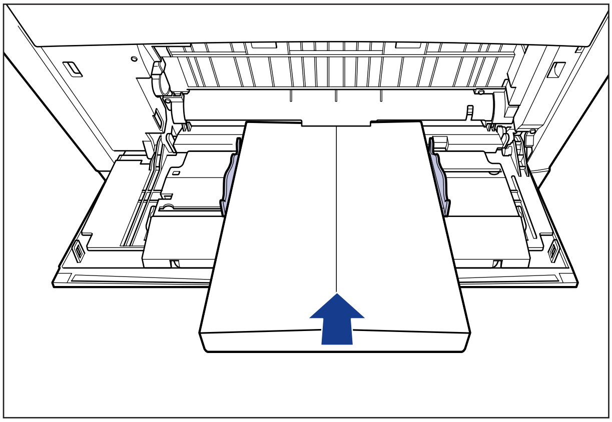
重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 洋形４号、洋形２号の封筒をセットする場合は、ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



2 給紙／排紙のしかた

- 角形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ　封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

用紙サイズ	給紙カセットの用紙サイズ設定スイッチ
レジャー	11 × 17
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC
ユーザ定義用紙 *	CUSTOM

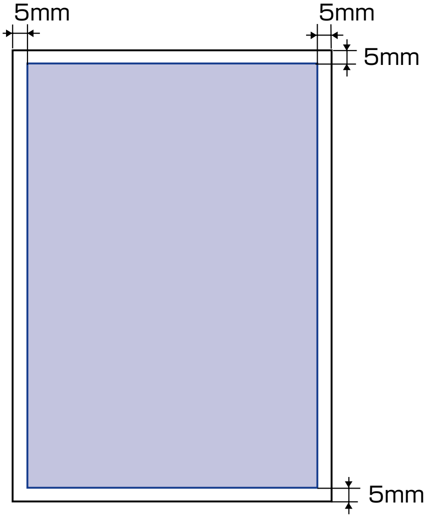
* オプションのペーパーフィーダのみ

印刷できる範囲

本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。ただし、プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで「用紙の左上を原点として印字する」にチェックマークを付けた場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

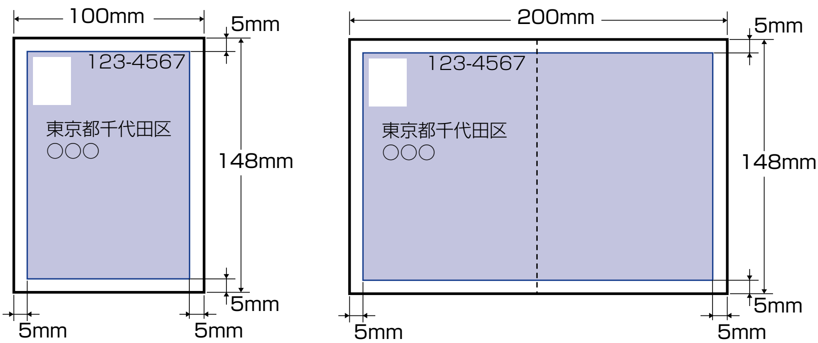
■ **普通紙 / 厚紙 / コート紙 / ラベル用紙**

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



■ **はがき / 往復はがき /4 面はがき**

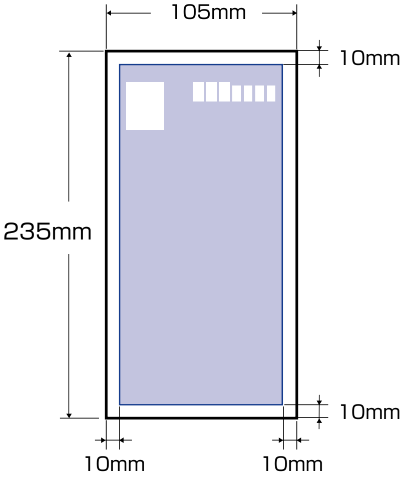
はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



■ 封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - ・バリのある用紙
  - ・しわのある用紙
  - ・角折れのある用紙

- 高温によって変質する用紙
  - ・定着器の熱（約 190 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要
- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙部について

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。また、オプションの 550 枚ペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット 4）を装着することにより、最大 5 つの給紙部を使用することが可能です。

給紙部の種類

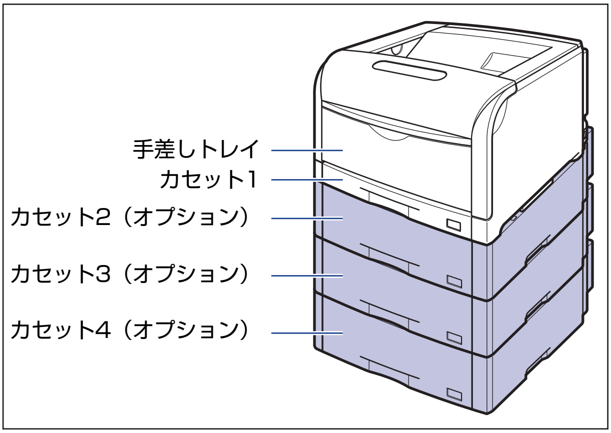
本プリンタには、次の給紙部があります。

■ **給紙部／給紙枚数**

手差しトレイ	100 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 1	250 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 2	550 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 3	550 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 4	550 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）

■ **最大給紙枚数**

2000 枚（64g/m^2 の場合）



メモ　ペーパーフィーダは最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台まででです。

給紙部の積載枚数

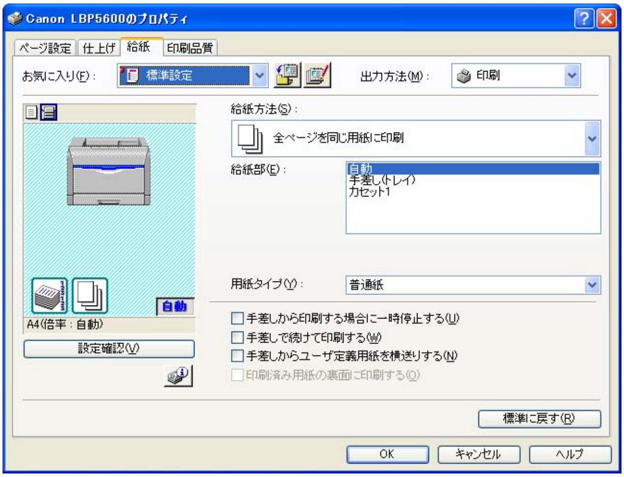
用紙の種類	給紙部				
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）	カセット 3（オプション）	カセット 4（オプション）
普通紙（64g/m^2 の場合）	約 100 枚	約 250 枚	約 550 枚	約 550 枚	約 550 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 50 枚	×	×	×	×
コート紙	約 50 枚	×	×	×	×
ラベル用紙	約 40 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 50 枚
はがき	約 40 枚	×	×	×	×
往復はがき	約 40 枚	×	×	×	×
4 面はがき	約 40 枚	×	×	×	×
封筒	約 10 枚	×	×	×	×

給紙部の選択

給紙部の選択は、プリンタドライバの［給紙］ページで行います。

1 **［給紙］ページを表示して、給紙部の設定を行います。**

プリンタドライバの［給紙］ページの表示方法は、「印刷条件を設定する」（→P.4-10）を参照してください。

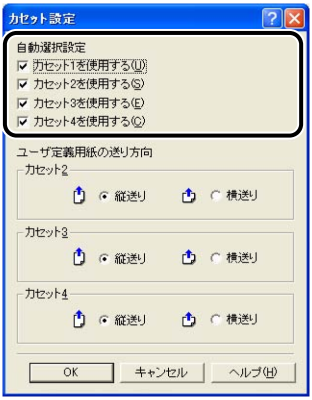


2

給紙／排紙のしかた

メモ

オプションのペーパーフィーダを装着していて［給紙部］の設定を［自動］にした場合、プリンタステータスウィンドウの［デバイス設定］メニューにある［カセット設定］で、どのカセットを使用するかの選択をすることができます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定項目	設定値	説明
給紙方法	全ページを同じ用紙に印刷	すべてのページを同じ給紙部から給紙します。ただし、［給紙部］が［自動］に設定されていて、［手差しで続けて印刷する］にチェックマークを付けた場合は、カセット１～４の用紙がなくなると手差しトレイから給紙します。
	最初と最後の用紙を指定して印刷	表紙を異なる用紙に印刷するときなど、ページごとに用紙を指定して印刷します。
	最初と２枚目、最後の用紙を指定して印刷	
	表紙の用紙を指定して印刷 *1	
給紙部	自動 手差し（トレイ） カセット１ カセット２*2 カセット３*2 カセット４*2	どの給紙部から給紙するかを設定します。［給紙方法］の設定によって表示される設定項目が変わります。
最初のページ		
２枚目のページ		
表紙 *1		
その他のページ		
最後のページ		
用紙タイプ	普通紙 普通紙Ｌ 厚紙１ 厚紙２ ラベル用紙 コート紙 はがき	使用する用紙のタイプを選択します。（➞P.2-3）

設定項目	設定値	説明
手差しから印刷する場合に一時停止する	—	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。
手差しで続けて印刷する	—	カセットからの給紙中に用紙がなくなり、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。
手差しからユーザ定義用紙を横送りする	—	手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。 ・ 幅 148.0 ～ 297.0mm、 長さ 210.0 ～ 297.0mm
印刷済み用紙の裏面に印刷する	—	手差しトレイから印刷済み用紙の裏面に印刷する場合に、この項目にチェックマークを付けます。

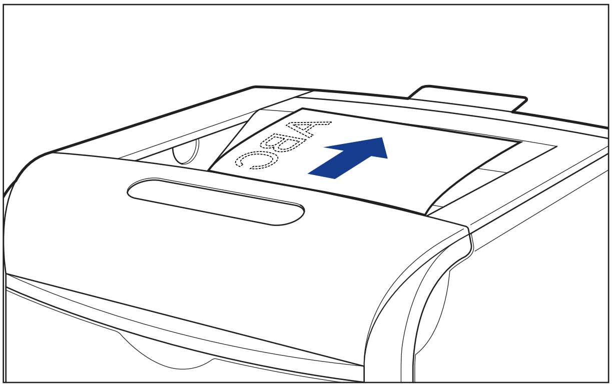
*1：［仕上げ］ページの［印刷方法］で［製本印刷］を選択している場合にのみ設定できます。
*2：オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ設定できます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

排紙先について

排紙トレイ

本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。



注意 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要
- 長尺紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

メモ 排紙トレイは、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚まで積載することができます。

排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先 *
	フェースダウン排紙トレイ
普通紙（64g/m^2 の場合）	約 250 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 200 枚
コート紙	約 150 枚
ラベル用紙	約 100 枚
はがき	約 50 枚
往復はがき	約 50 枚
4 面はがき	約 50 枚
封筒	約 20 枚

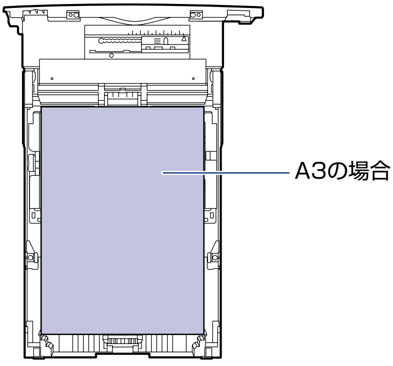
* 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。

給紙カセットから印刷する

給紙カセットには、定形サイズの普通紙とラベル用紙をセットすることができます。給紙部にセットした用紙がなくなると、プリンタステータスウィンドウに用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示され、用紙ランプ（赤色）が点滅しますので用紙をセットしてください。
本プリンタには、給紙カセット（カセット 1）が標準装備されています。また、オプションのペーパーフィーダを装着するとカセット 2、カセット 3、カセット 4 が追加され、ユーザ定義用紙の普通紙をセットすることができます。

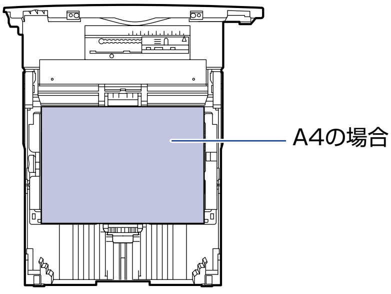
■ カセット 1

縦置き



・縦置きできる用紙
A3、B4、レジャー（11×17）、リーガル

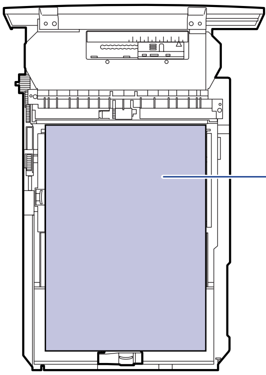
横置き



・横置きできる用紙
A4、B5、A5、レター、
エグゼクティブ

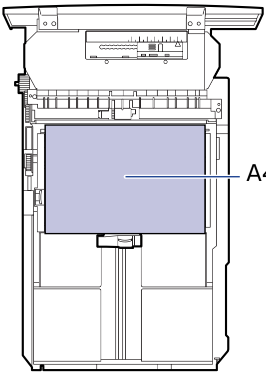
■ カセット2、3、4

縦置き



・縦置きできる用紙
A3、B4、レジャー（11X17）、リーガル

横置き



・横置きできる用紙
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ

給紙カセットに用紙をセットする

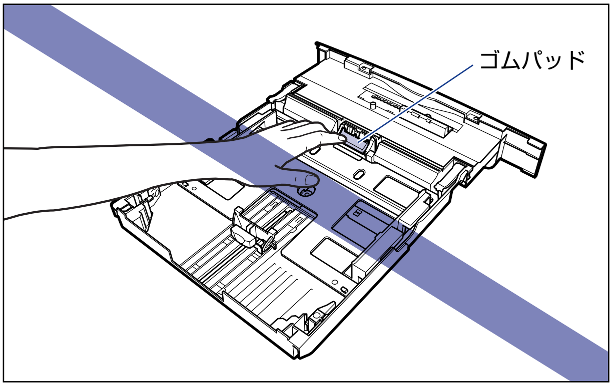
標準で装着されているカセット 1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット 2、カセット 3、カセット 4 には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙部を自動的に切り替えて使用することができます。

カセット 1 とオプションのカセット 2、カセット 3、カセット 4 とではセットする手順が異なりますので、次の手順で正しく用紙をセットしてください。

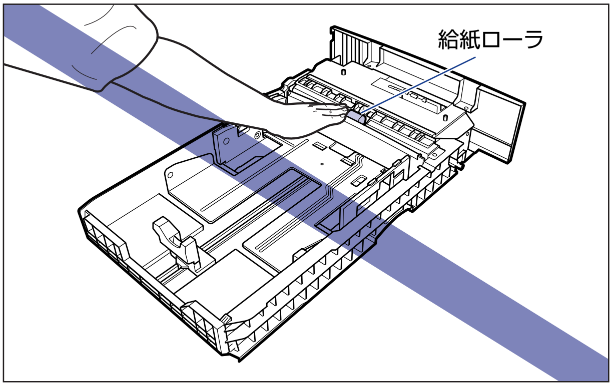
重要

- 印刷中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。プリンタが停止し、印刷できなくなる場合があります。
- 紙づまりの原因になることがありますので、次の内容を守ってください。
  - ・はがき、封筒など普通紙（64 ～ 105g/m²）、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。セットできる用紙については、「用紙について」（→P.2-2）を参照してください。
  - ・バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。
  - ・セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
  - ・絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- カセット 1 の黒いゴムパッド、カセット 2、3、4 の給紙ローラには触れないでください。給紙不良の原因になります。

・カセット１



・カセット２、３、４

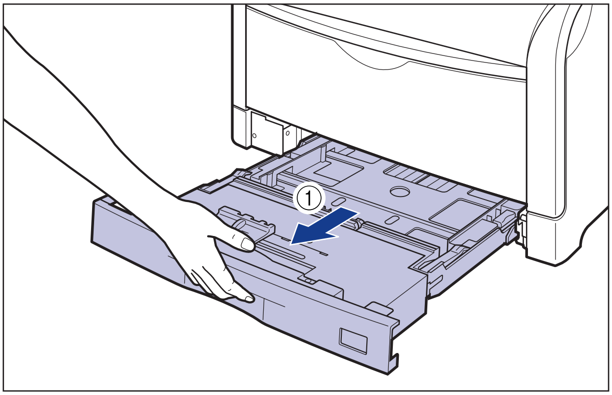


カセット 1 に用紙をセットする

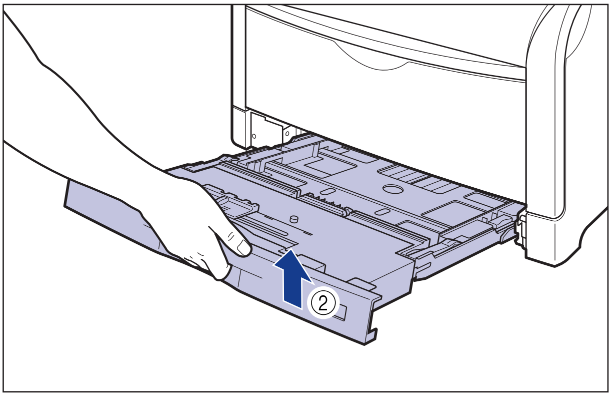
メモ　用紙サイズを変更する場合は、「カセット 1 の用紙サイズを変更する」（➞P.2-37）を参照してください。

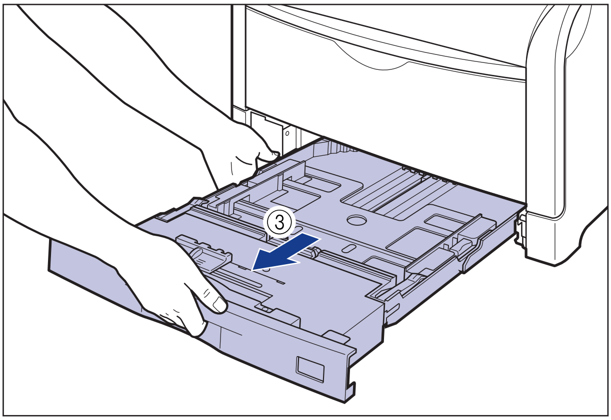
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

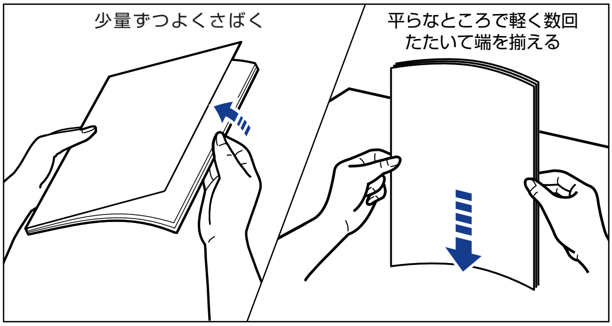




注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

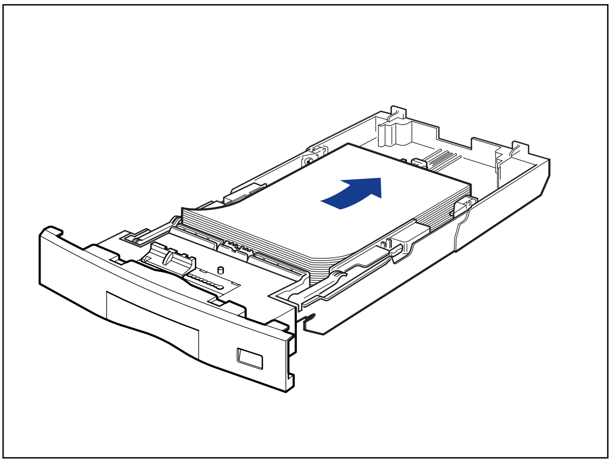
2 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

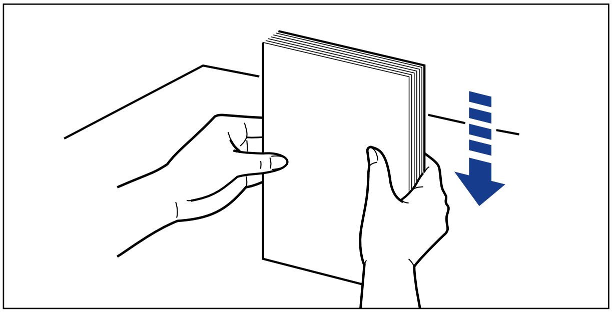
重要 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

3 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。



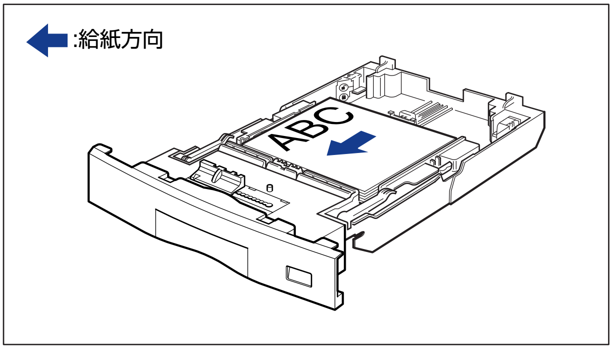
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

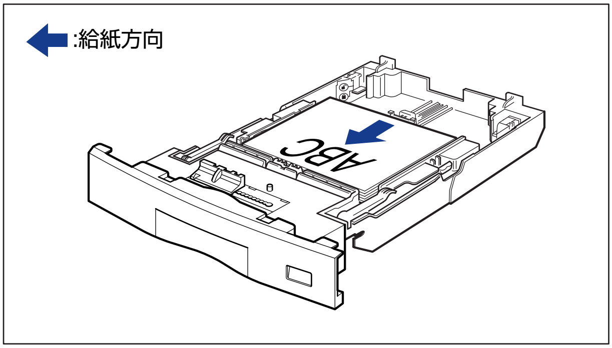
重要　裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



メモ　• レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

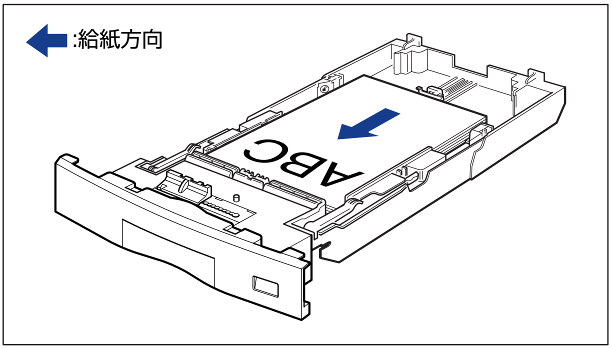
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。

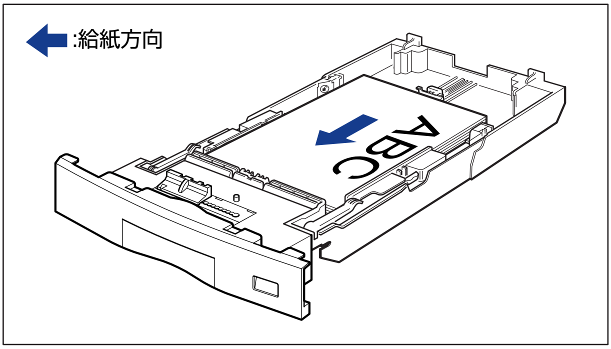




2
給紙／排紙のしかた

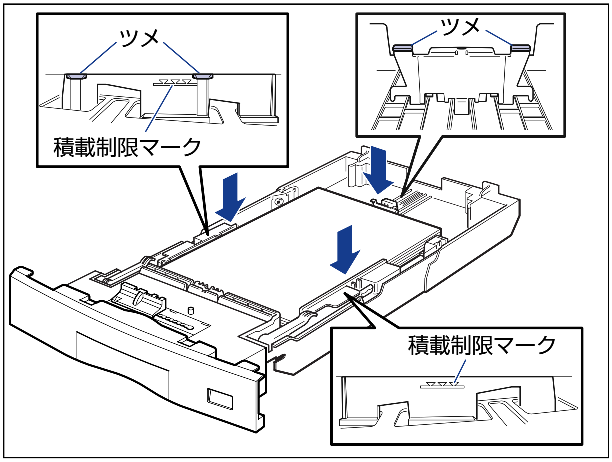
・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





4 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

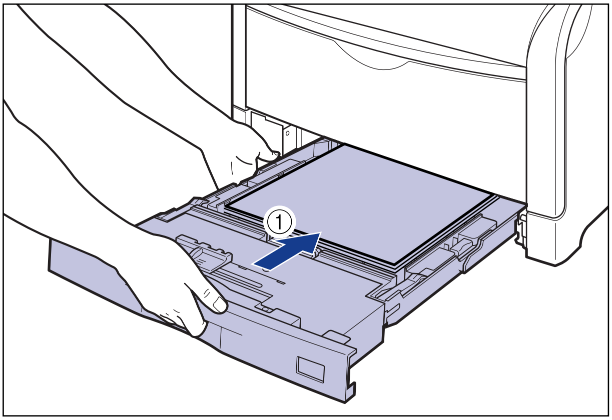


重要

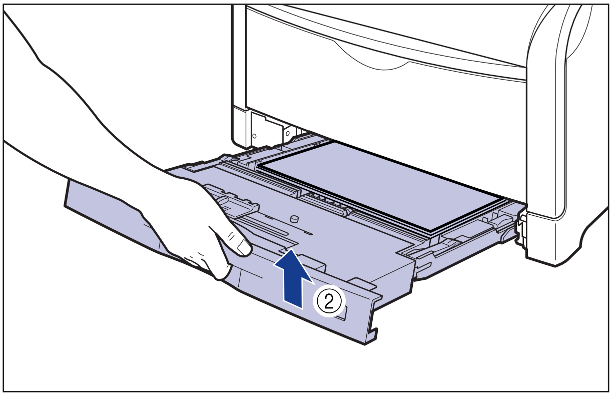
給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 250 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

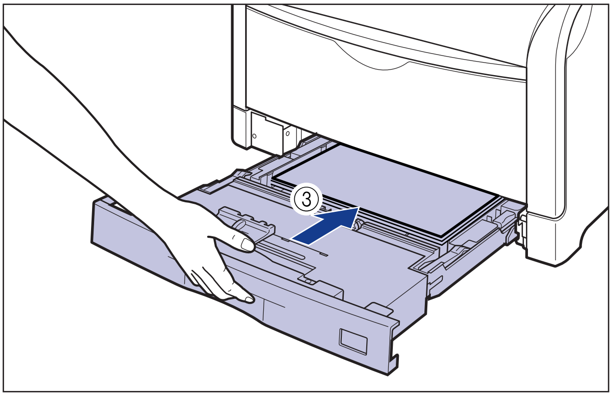
5 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。



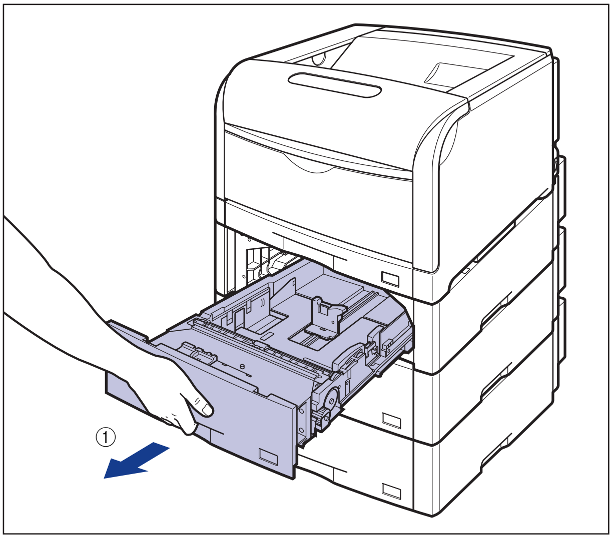


カセット２、カセット３、カセット４に用紙をセットする

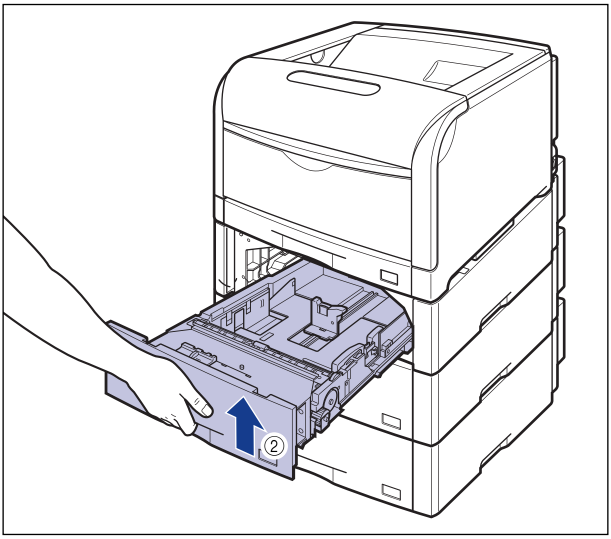
用紙サイズを変更する場合は、「カセット２、カセット３、カセット４の用紙サイズを変更する」（➞P.2-46）を参照してください。

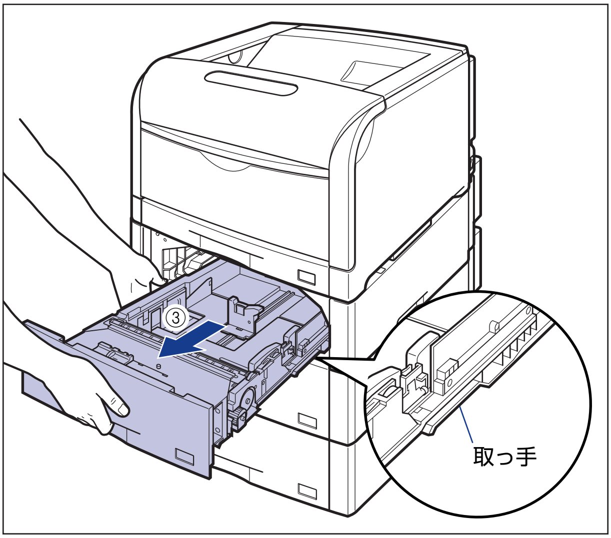
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

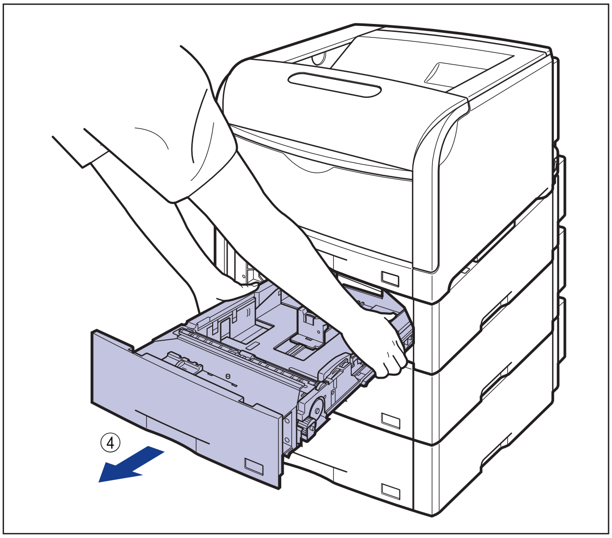


給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。





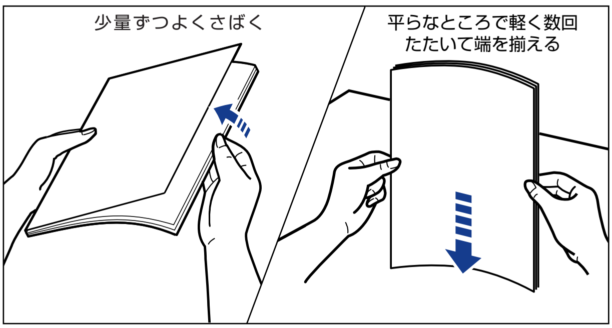
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

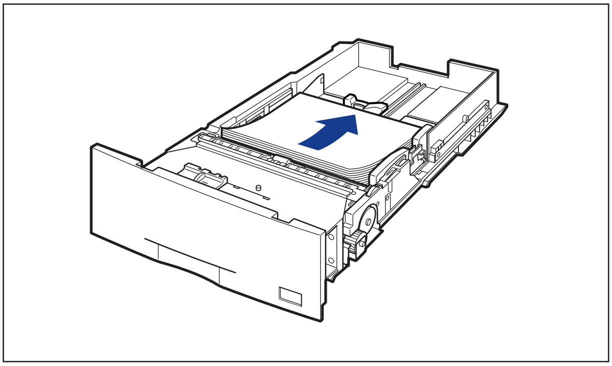
2 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

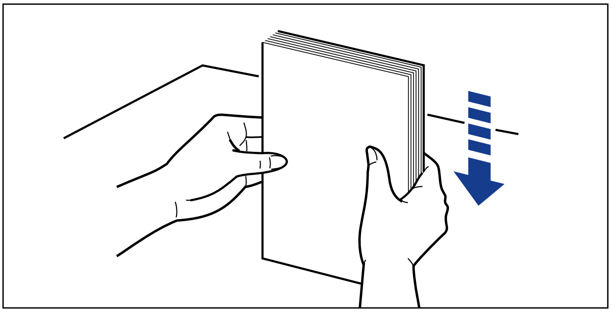
メモ ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

3 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。



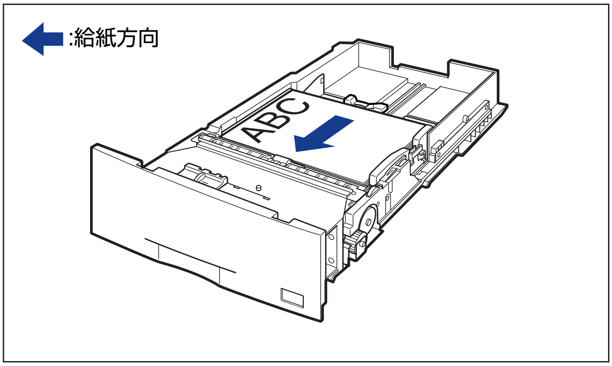
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

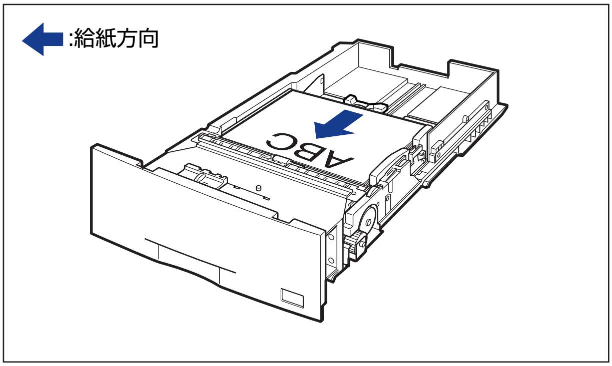
重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



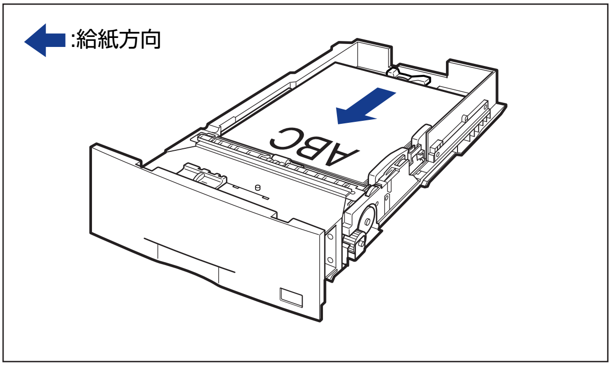
メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

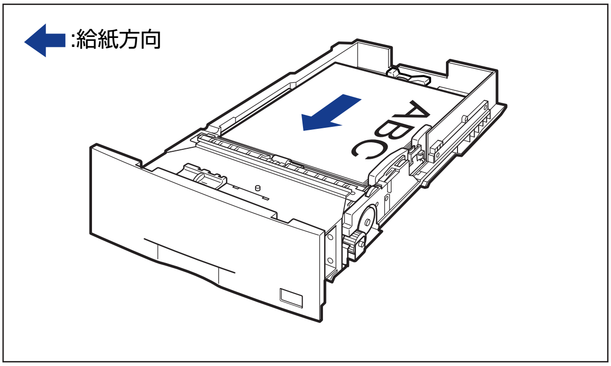
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





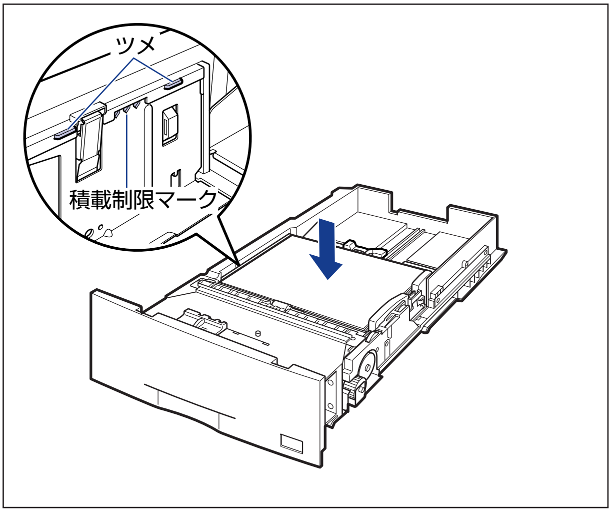
・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





4 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

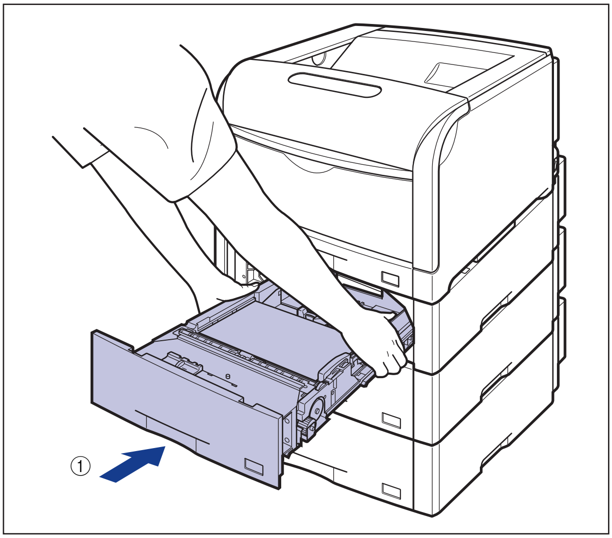
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

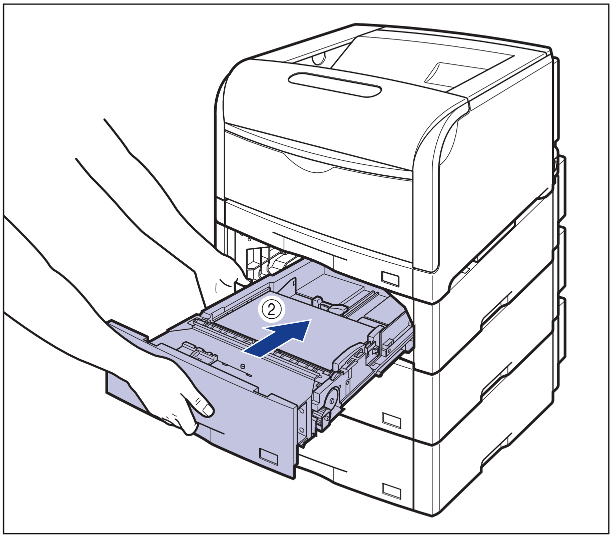


重要 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 550 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

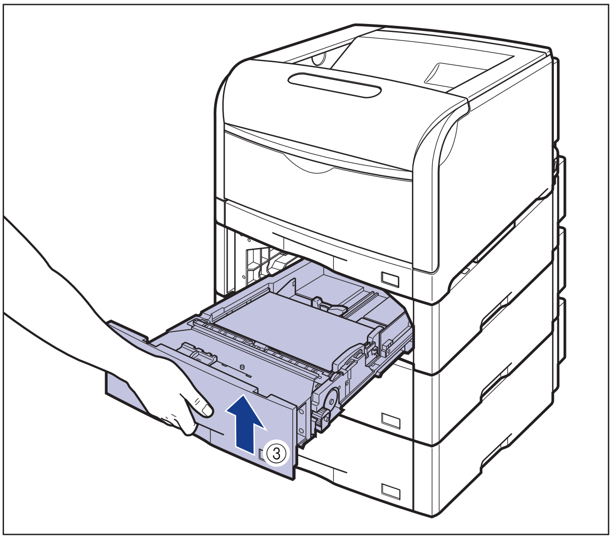
5 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

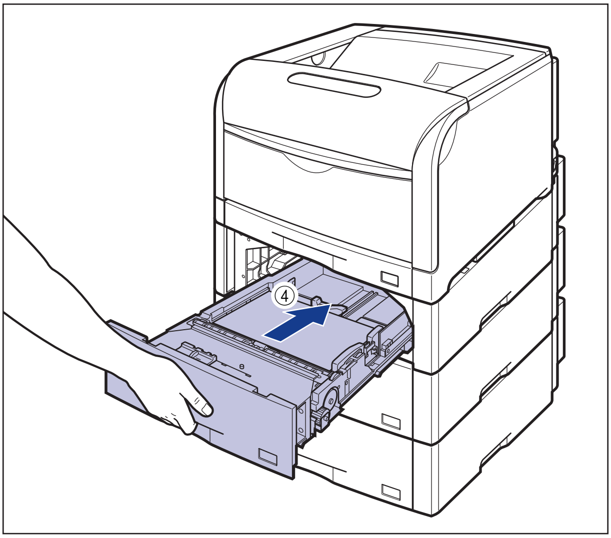
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。





注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

給紙カセットの用紙サイズを変更する

給紙カセットにセットする用紙サイズの変更は次の手順で行います。

給紙カセットにセットできる用紙サイズは、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー、レター、エグゼクティブサイズです。また、カセット 2、3、4 には以下のサイズのユーザ定義用紙もセットすることができます。

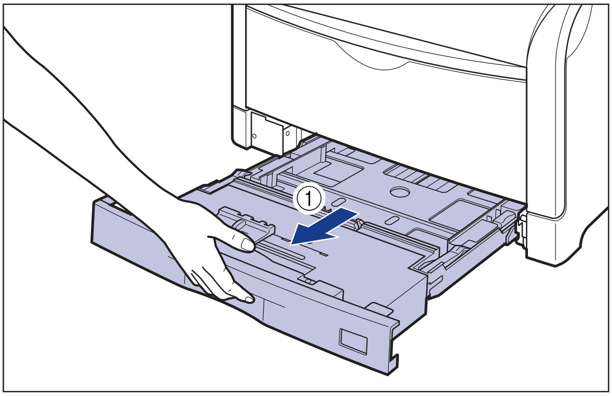
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm

・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

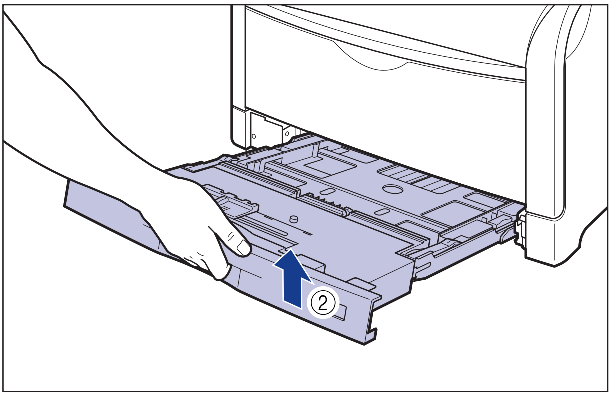
カセット 1 の用紙サイズを変更する

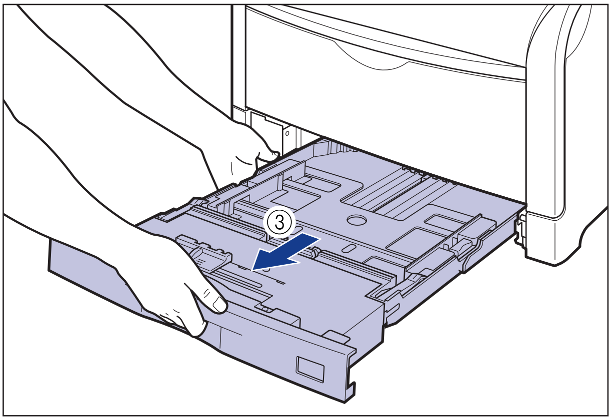
1 **給紙カセットを引き出します。**

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

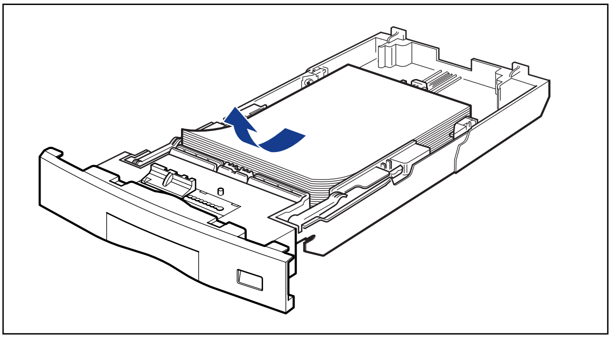




注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

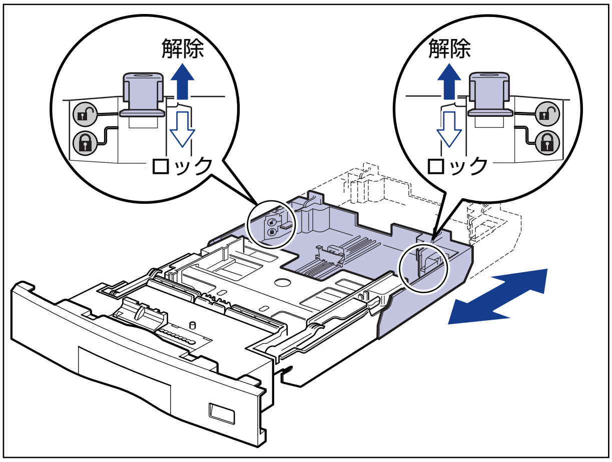
重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

2 用紙が給紙カセットに入っている場合は、用紙を取り除きます。

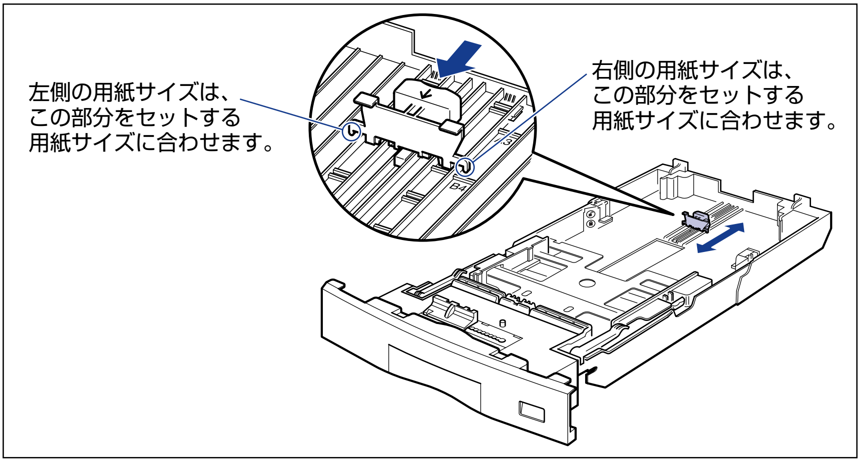


3 セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

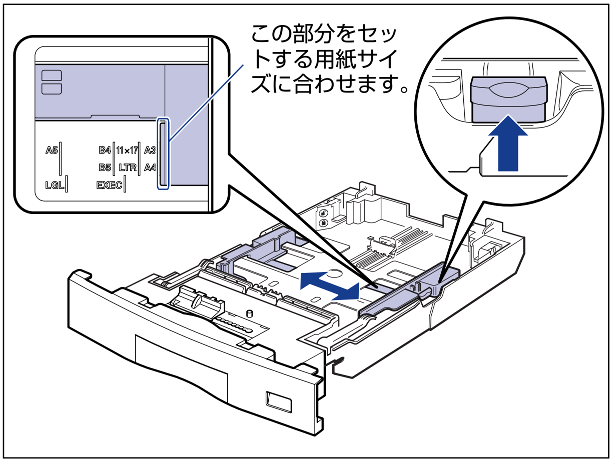


4 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

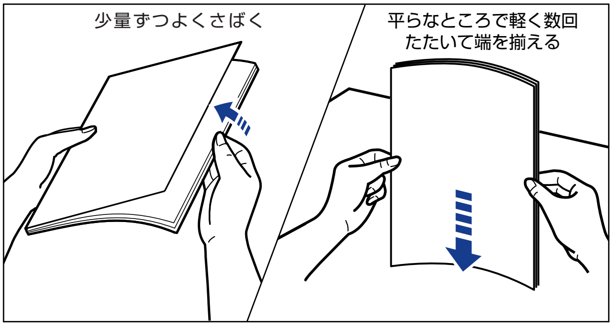


5 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



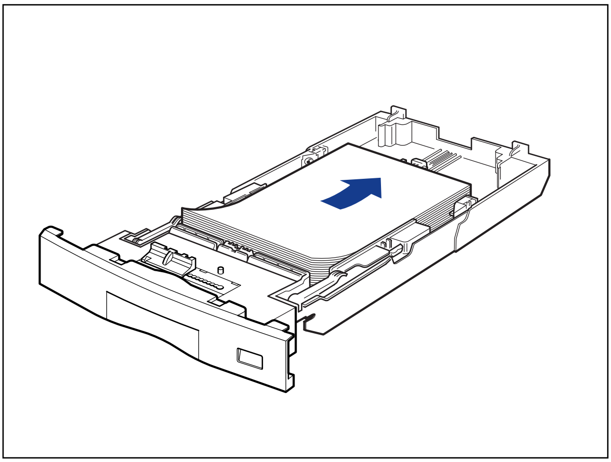
6 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

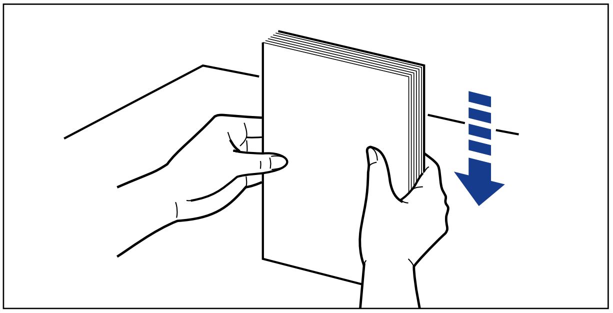
重要 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

7 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

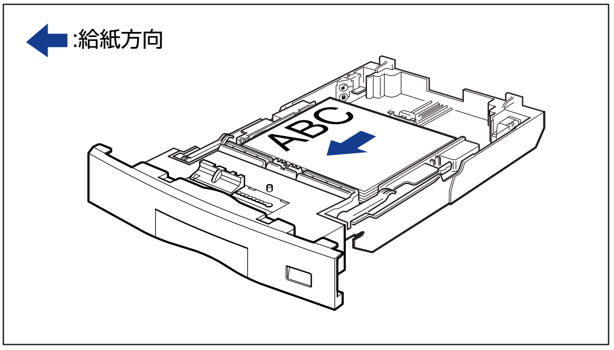


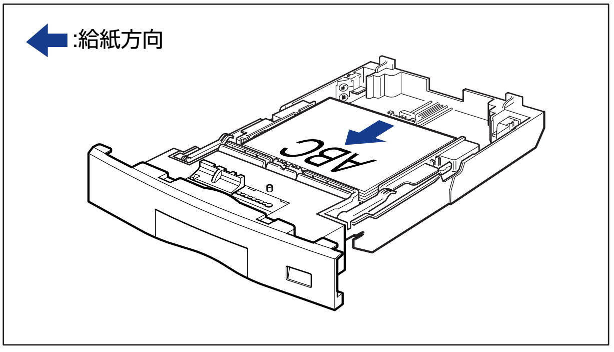
⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要　裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

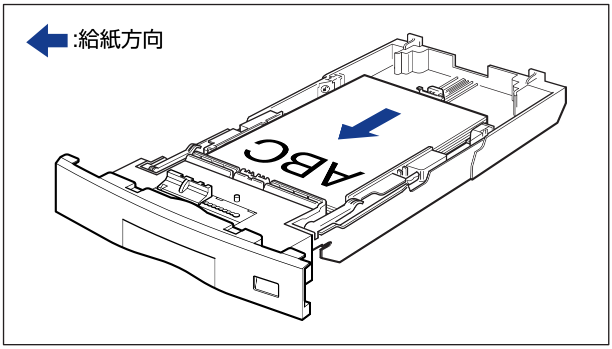


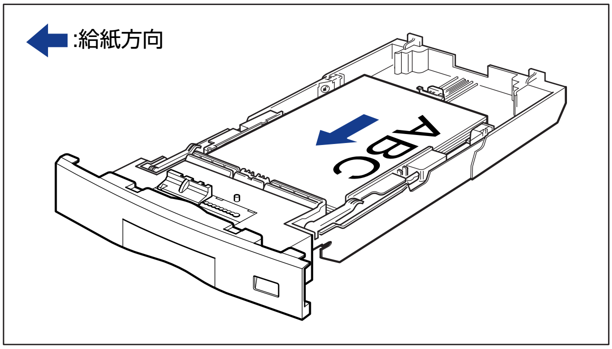
メモ
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
  ・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





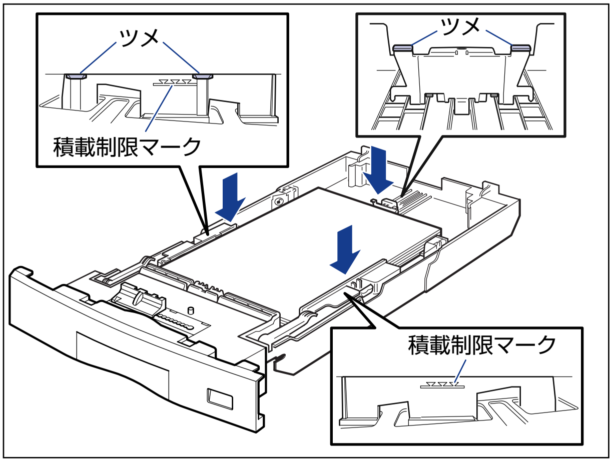
・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





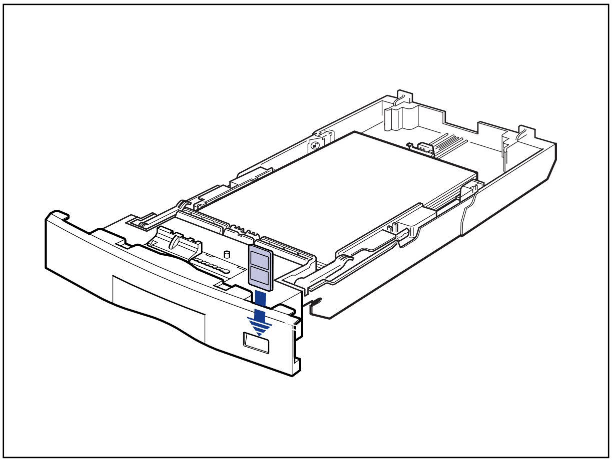
8 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



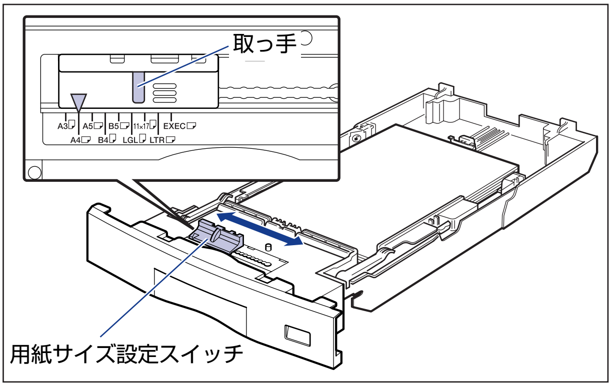
重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

9 **用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。**



10 **用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。**

工場出荷時は A4 サイズにセットされています。

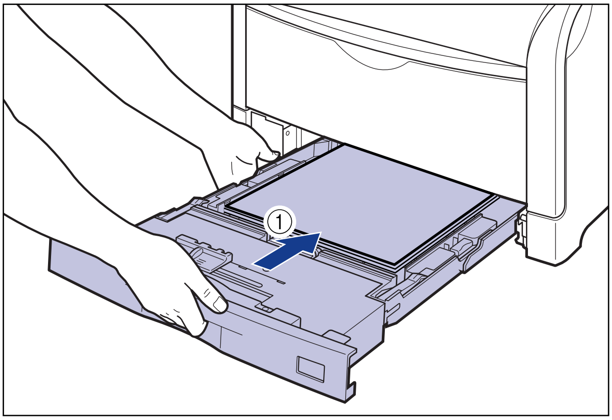


重要　セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

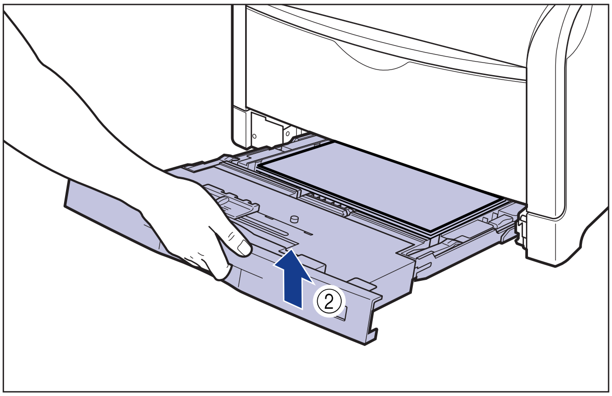
2
給紙／排紙のしかた

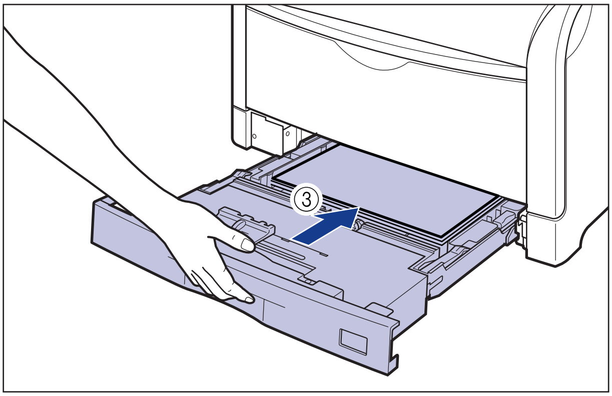
11 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。



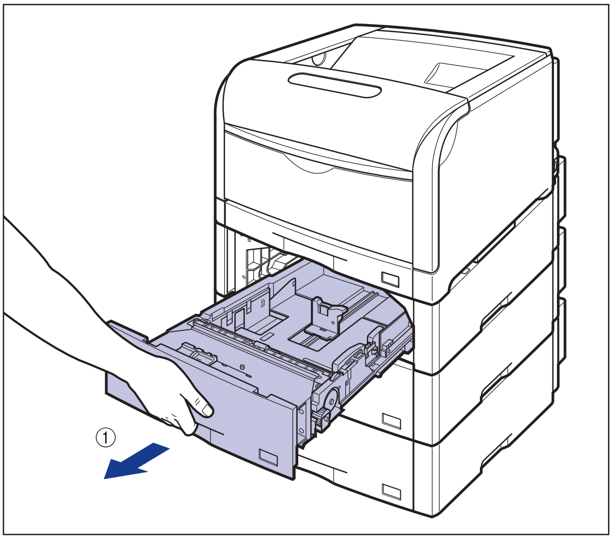


カセット２、カセット３、カセット４の用紙サイズを変更する

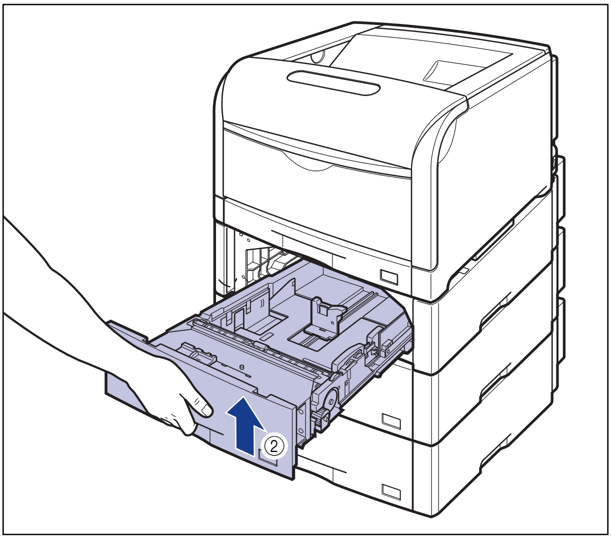
■定形サイズの用紙をセットする

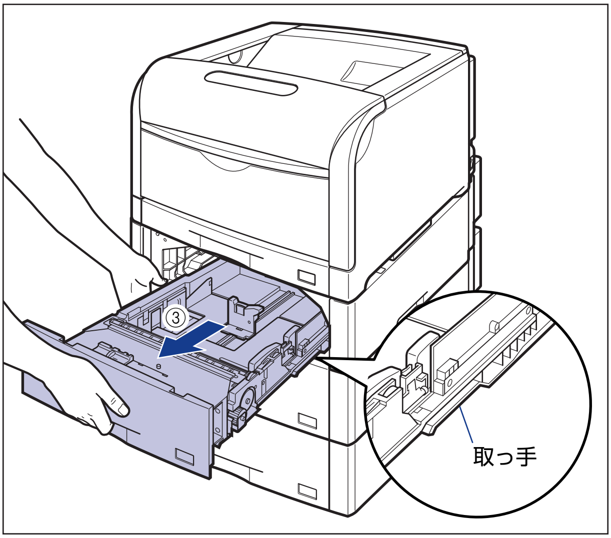
1 **給紙カセットを引き出します。**

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

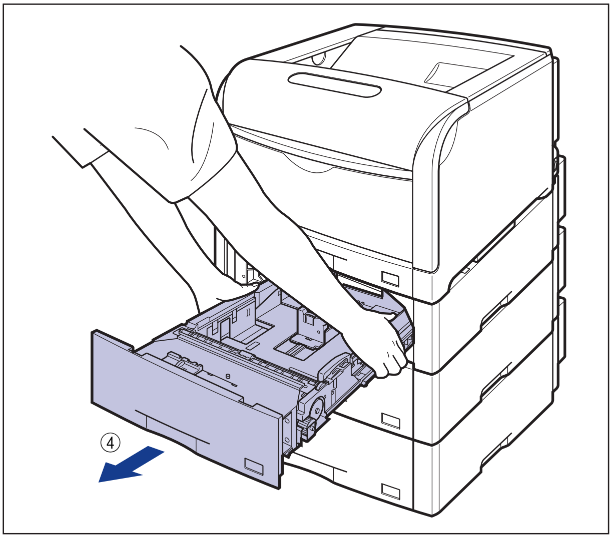


給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。





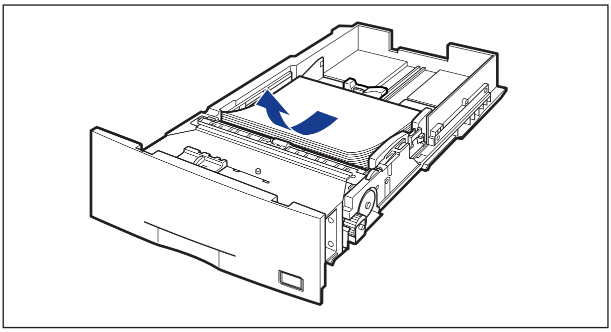
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



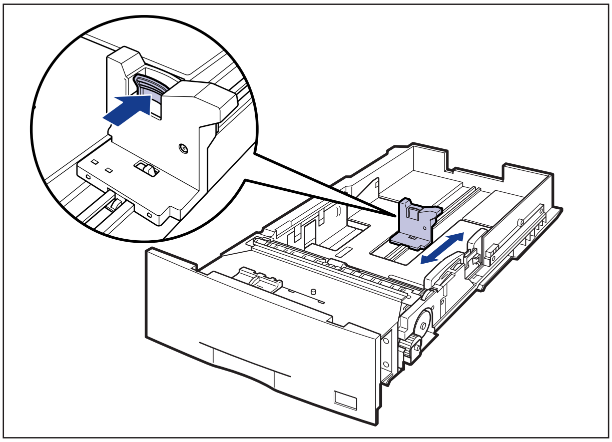
⚠注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

2 用紙が給紙カセットに入っている場合は、用紙を取り除きます。

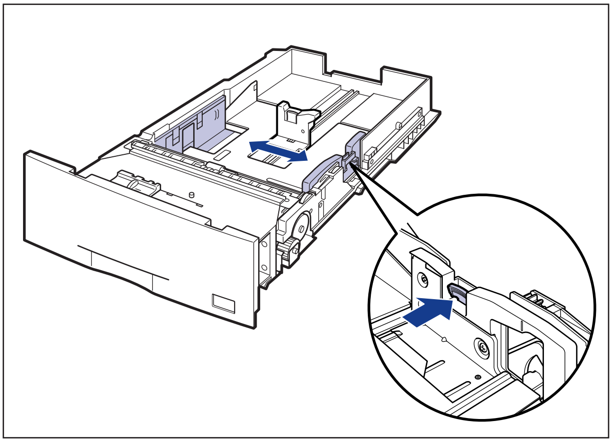


3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

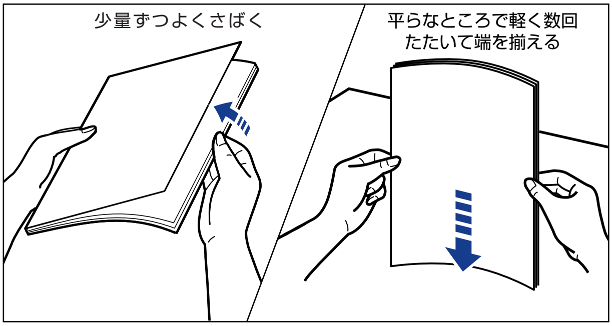


4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



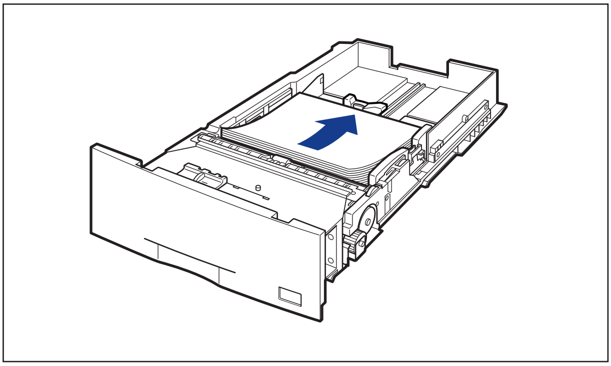
5 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

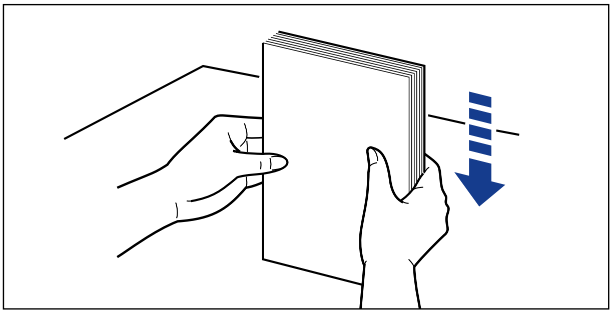
メモ ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

6 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。



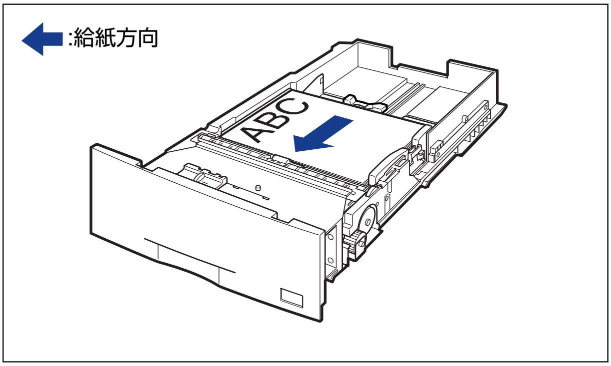
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

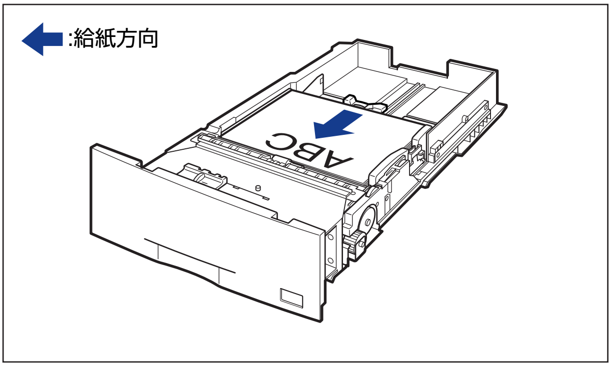
重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



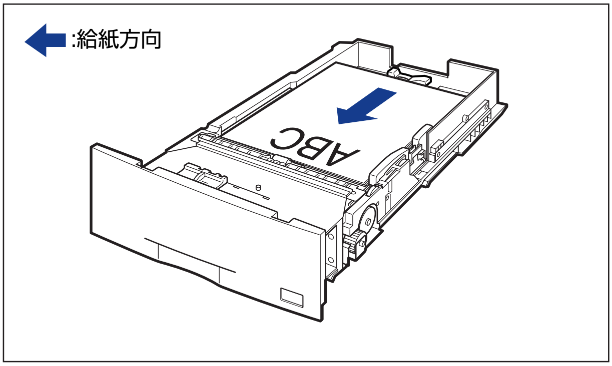
メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

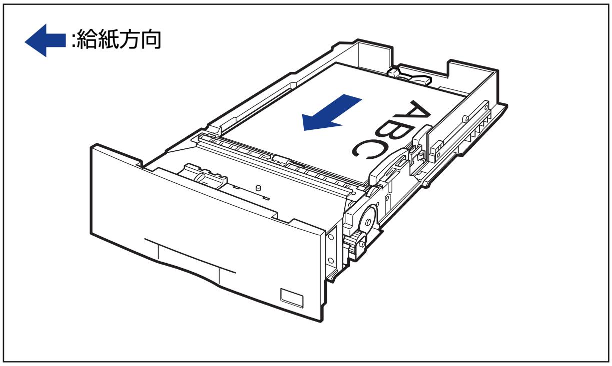
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





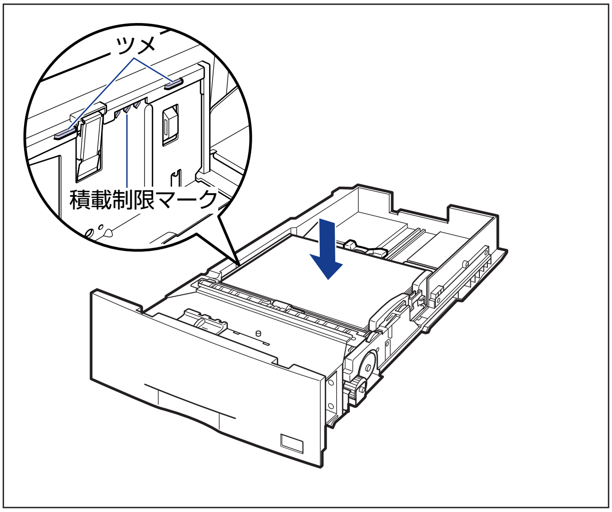
・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。





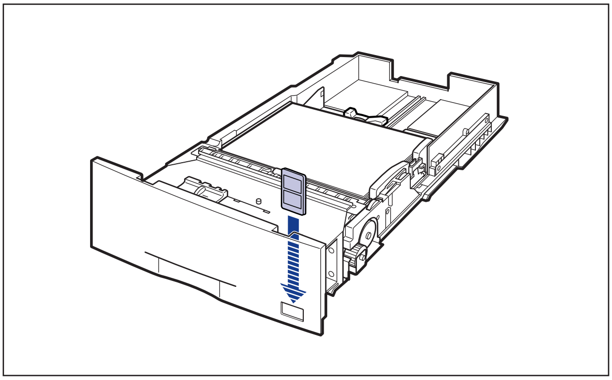
7 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



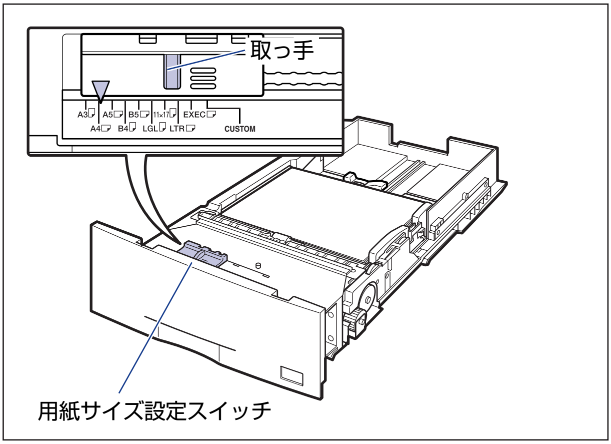
重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 550 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

8 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。



9 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

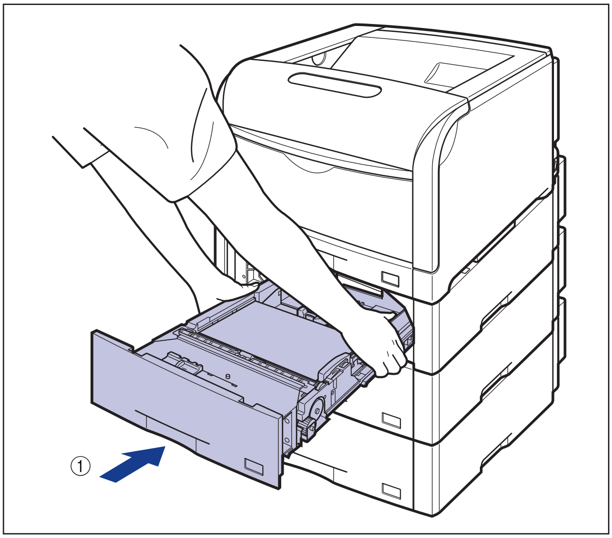
工場出荷時は A3 サイズにセットされています。

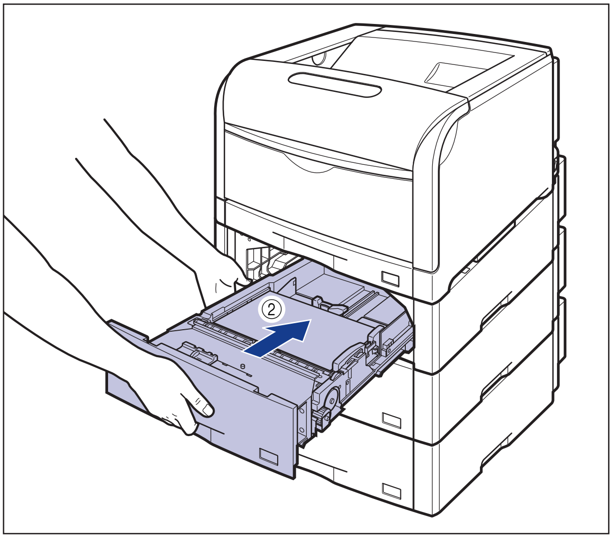


重要 セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

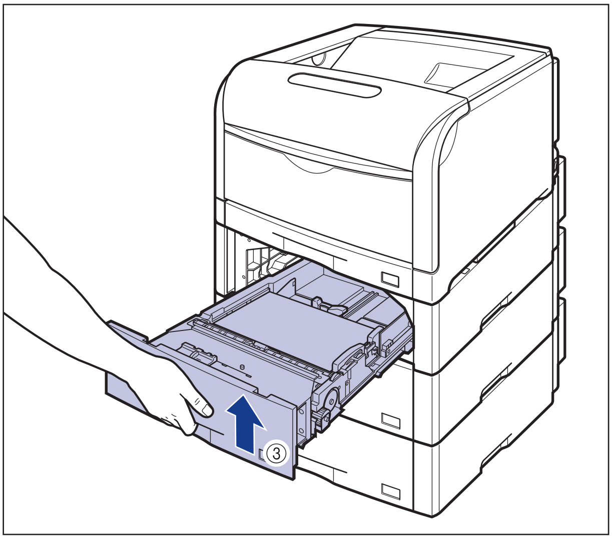
10 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

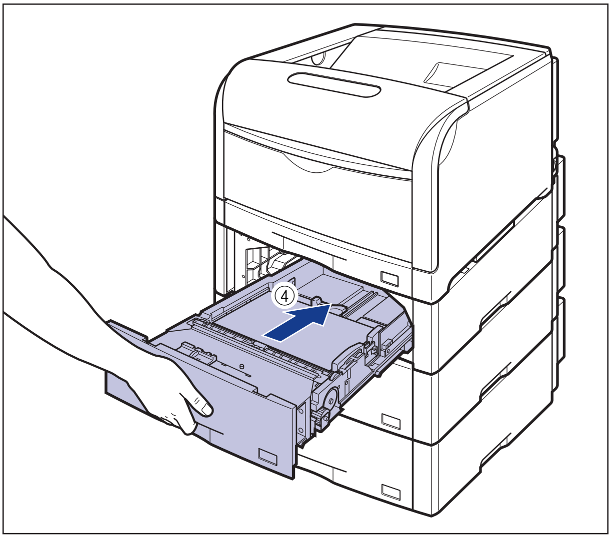
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。



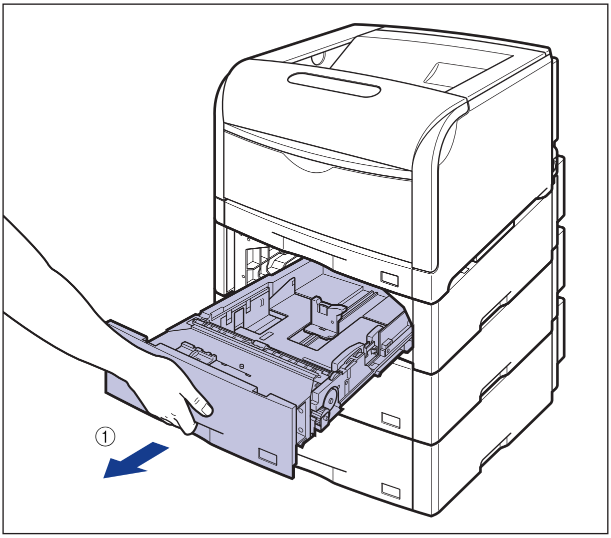


⚠注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

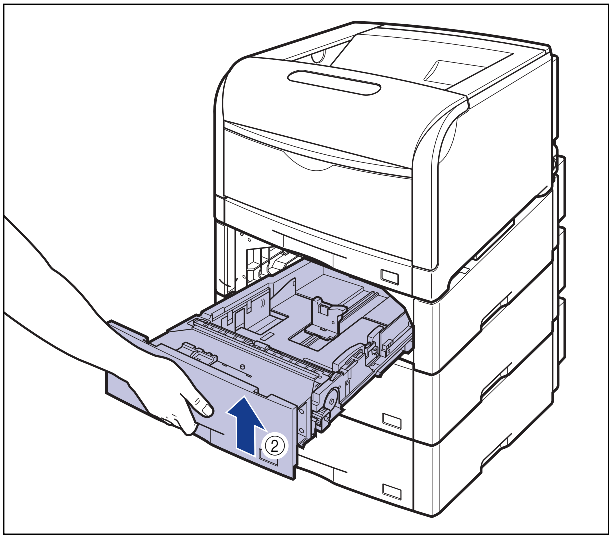
■ユーザ定義用紙をセットする

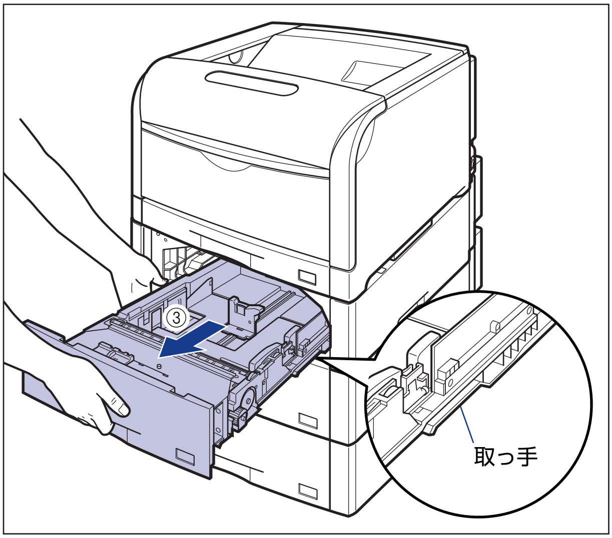
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

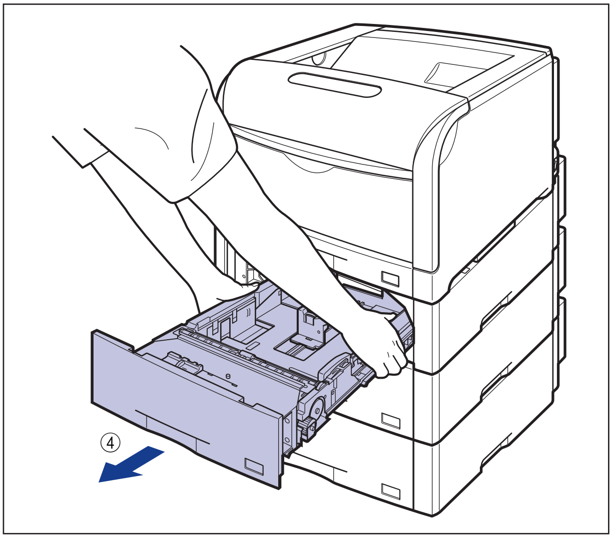


給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。





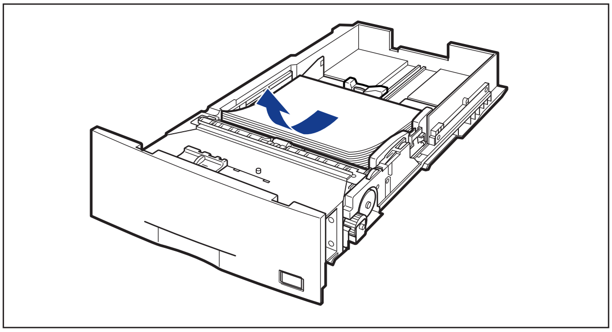
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



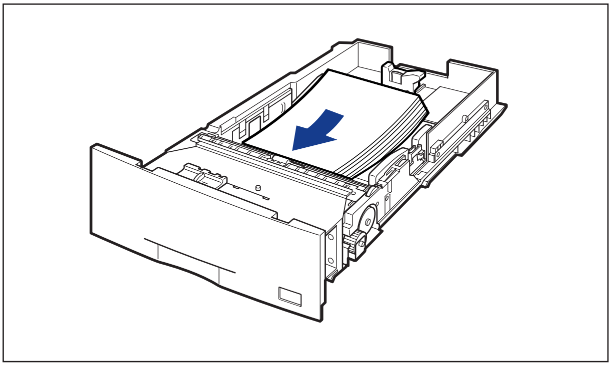
注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

2 用紙が給紙カセットに入っている場合は、用紙を取り除きます。



3 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

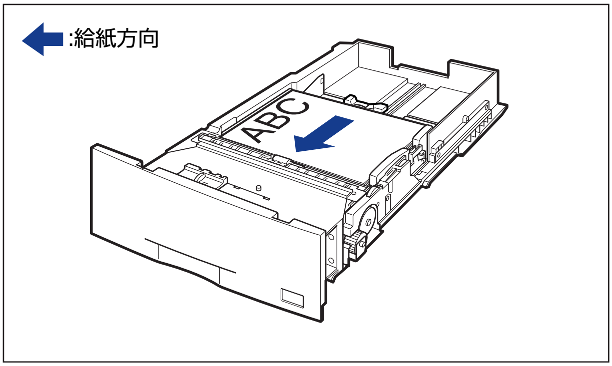


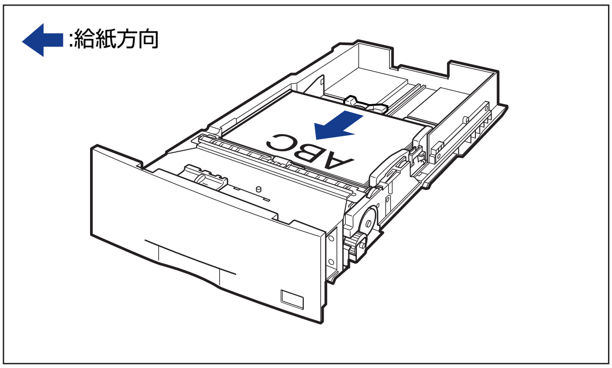
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

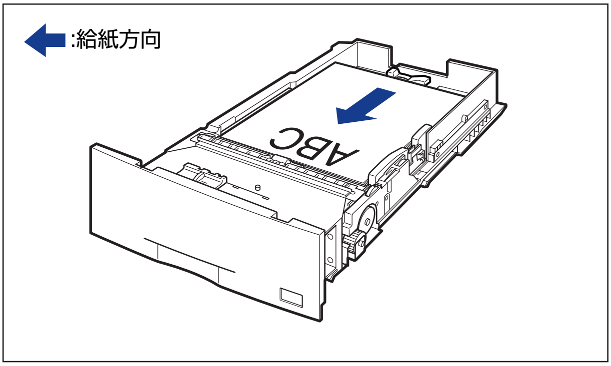
メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

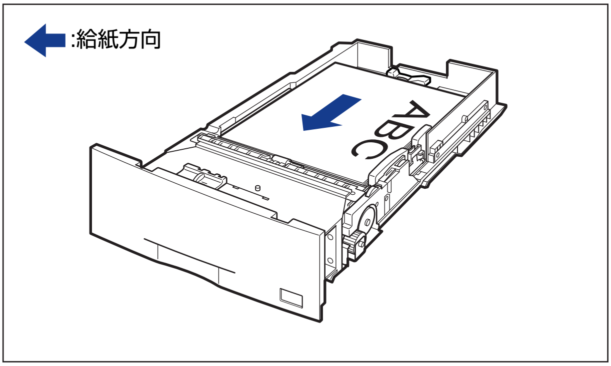
- 横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。



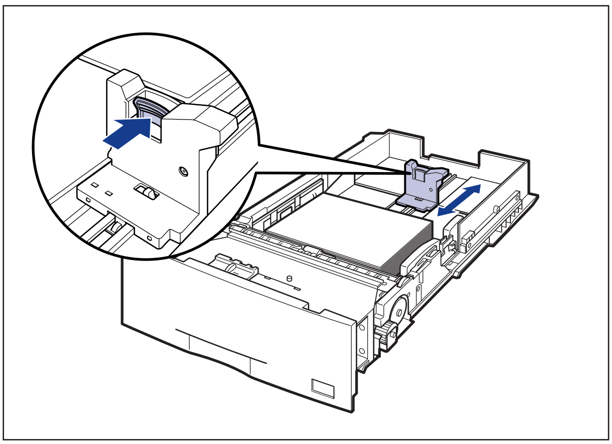


・縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。



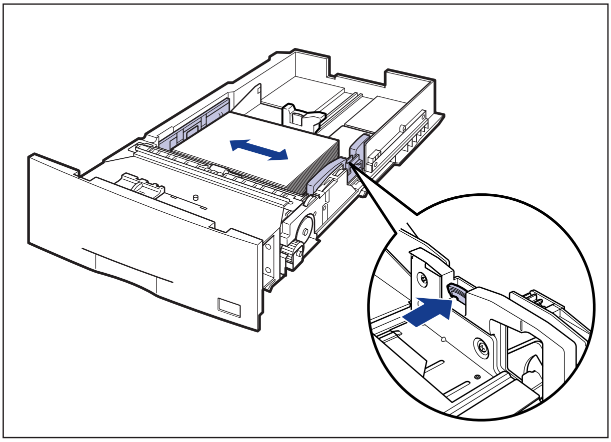


4 **後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。**



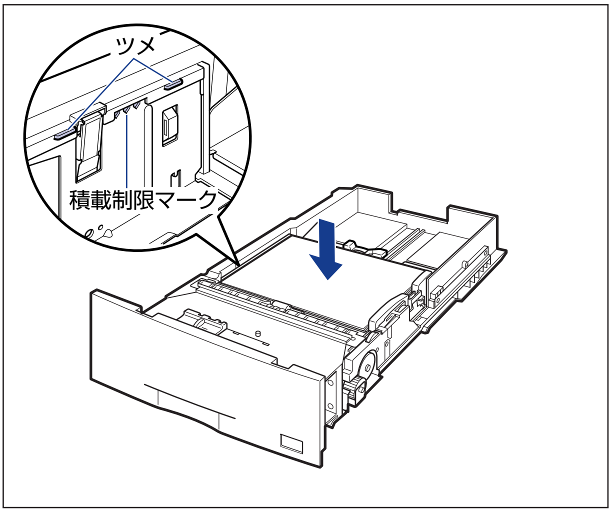
5 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



6 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

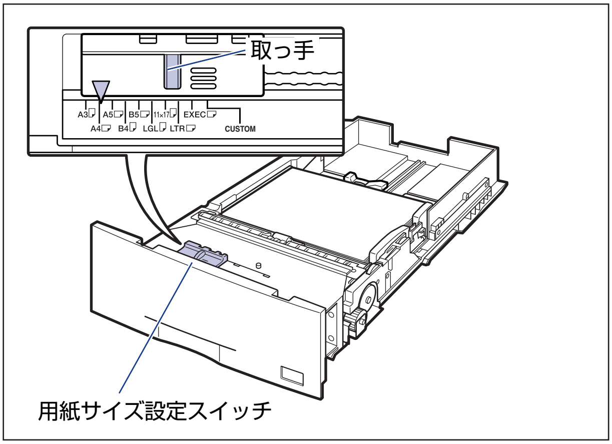
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



重要 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 550 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

7 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークを「CUSTOM」に合わせます。

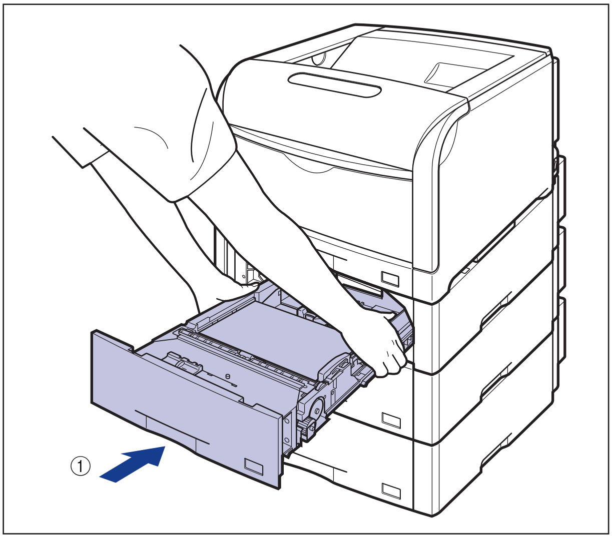
工場出荷時は A3 サイズにセットされています。

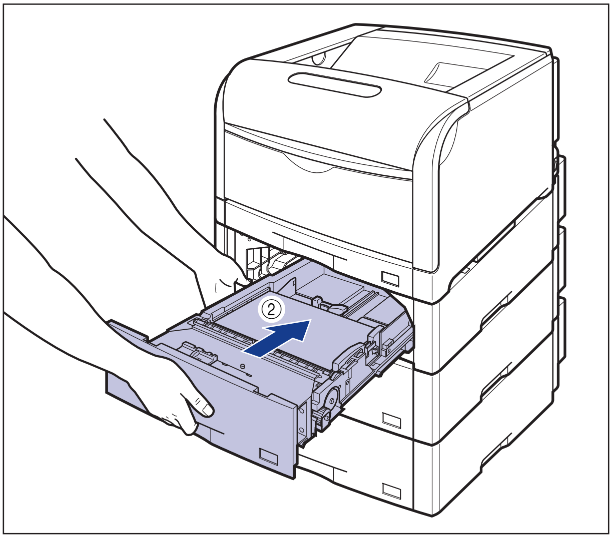


重要 用紙サイズ設定スイッチが「CUSTOM」に合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

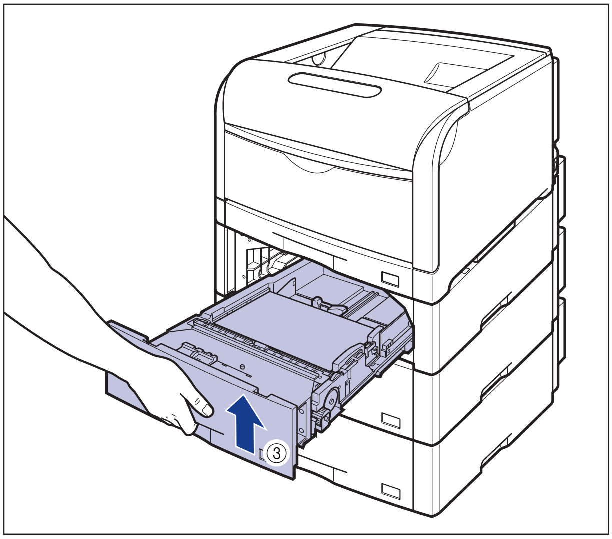
8 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

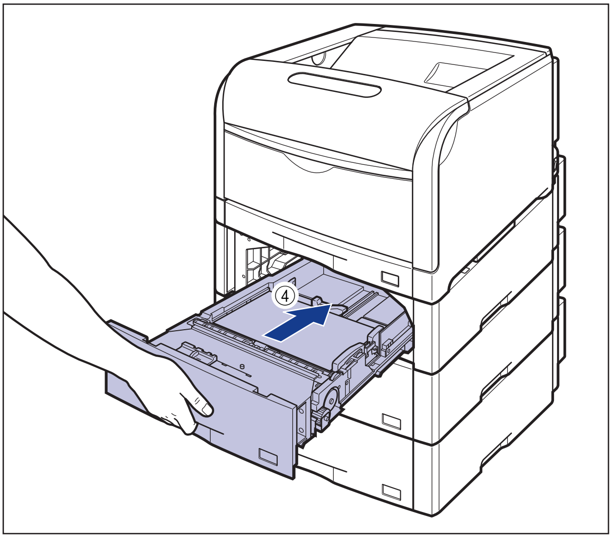
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。





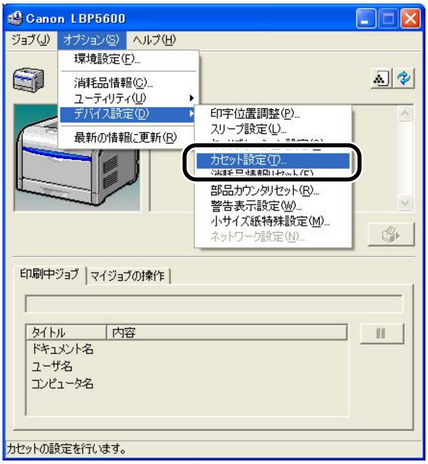
⚠注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

用紙の置き方（送り方向）を変更した場合は、続いてプリンタステータスウィンドウでユーザ定義用紙の送り方向の設定を行います。

9 プリンタステータスウィンドウを表示します。

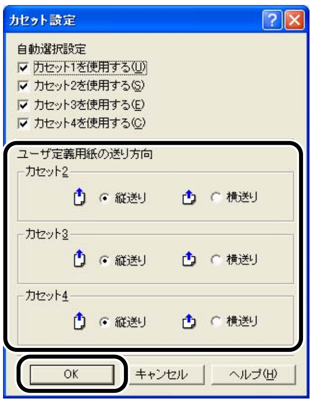
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

10 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［カセット設定］を選択します。



［カセット設定］ダイアログボックスが表示されます。

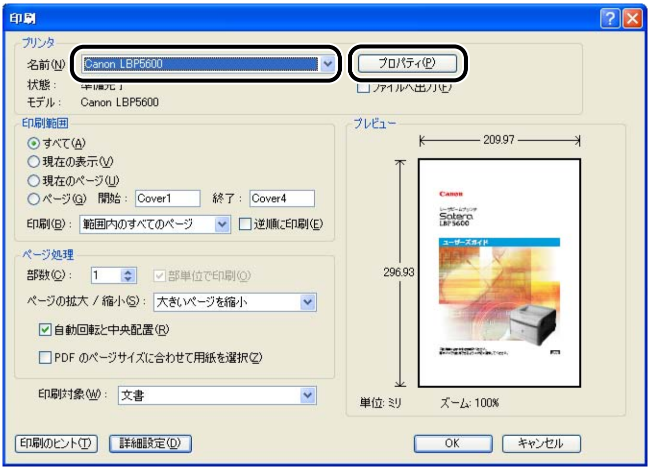
11 ［カセット設定］ダイアログボックスの［ユーザ定義用紙の送り方向］でセットした用紙の送り方向（置き方）を設定して［OK］をクリックします。



プリンタドライバの設定をして印刷する

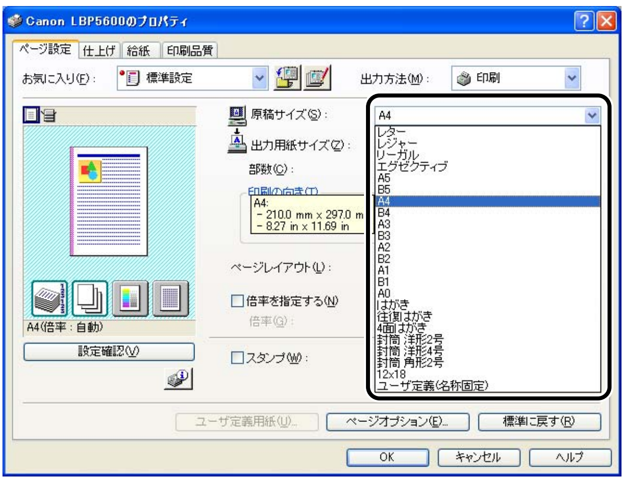
プリンタドライバの設定をします。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**



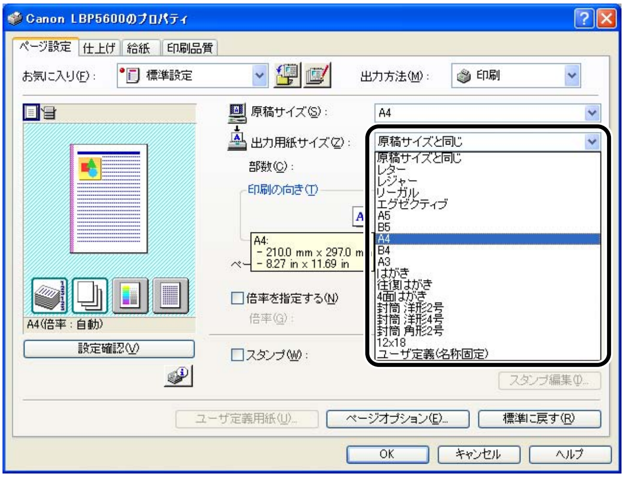
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。**



3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

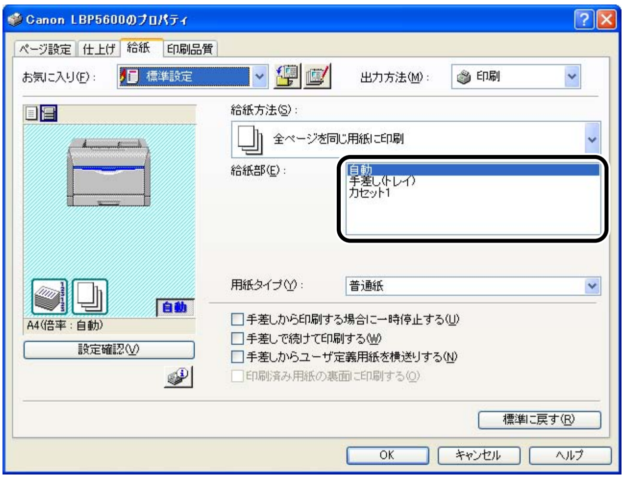
原稿サイズとカセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

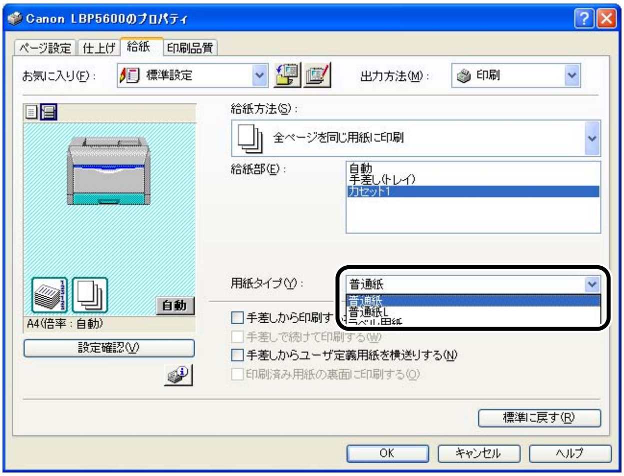
4 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。



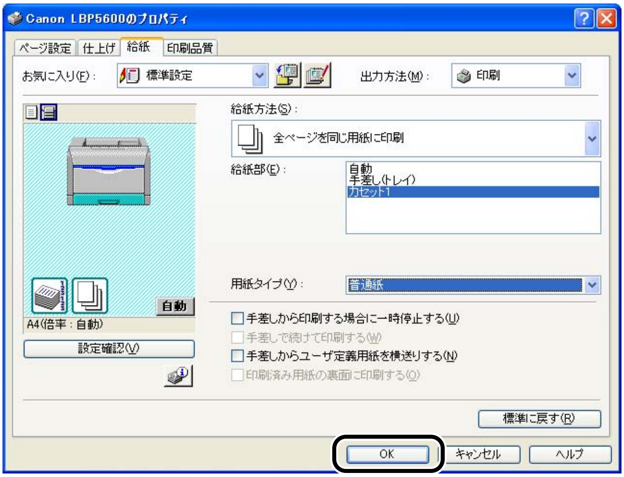
重要　ペーパーフィーダからユーザ定義用紙を印刷する場合は、［給紙部］でユーザ定義用紙をセットしたカセットを選択してください。

5 ［用紙タイプ］で［普通紙］または［ラベル用紙］を選択します。

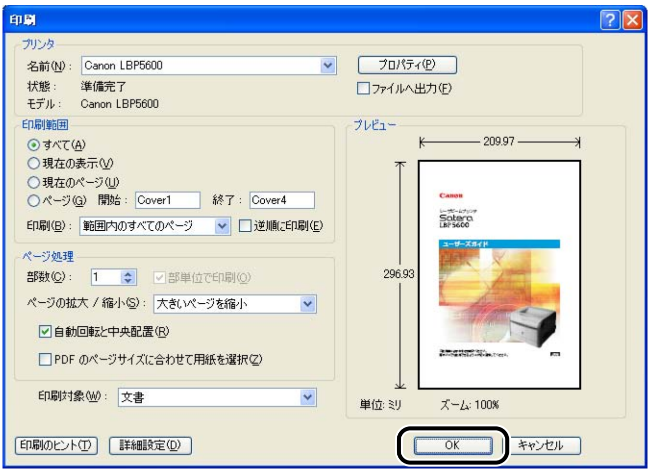


重要
- 普通紙（64g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合や幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合は、［普通紙 L］に設定してください。
- 普通紙を［普通紙］に設定して印刷した結果、トナーの定着性が悪い場合は、以下の設定を行ってください。
①［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする
②［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 2］にする。［モード 2］にしても定着性が悪い場合は、［モード 3］にする。

6 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



7 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



手差しトレイから印刷する

手差しトレイには、定形サイズと以下のユーザ定義用紙、長尺紙を普通紙（64g/m^2 の場合）で約 100 枚（64g/m^2）までセットできます。

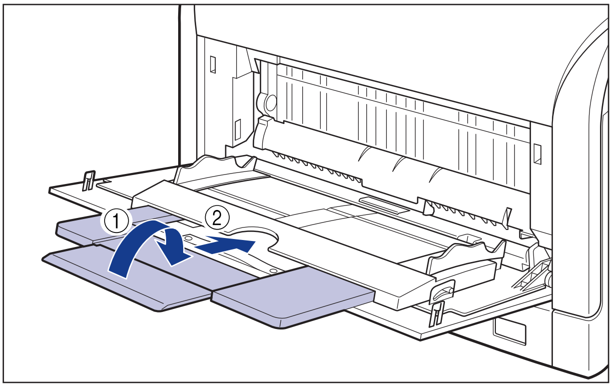
- ユーザ定義用紙
  縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm
  横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
- 長尺紙（縦置きのみ）
  縦置きのみ：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

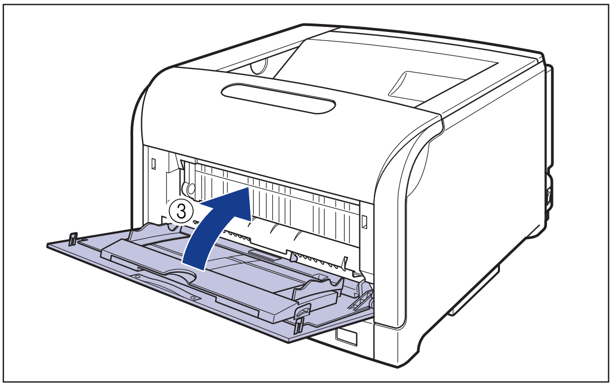
厚紙やコート紙、はがき、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。用紙の種類によってセット方法が異なりますので、それぞれの手順を参照してください。

- 普通紙、厚紙、コート紙、ラベル用紙（→　用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合：P.2-72）、はがき（→ はがきに印刷する場合：P.2-82）
- 封筒（→ 封筒に印刷する場合：P.2-90）

重要　手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。

メモ　手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。





用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合

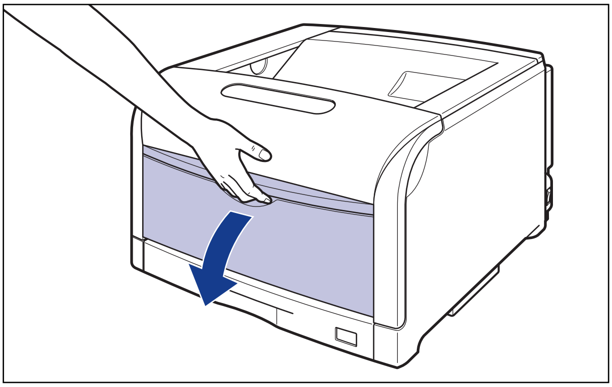
手差しトレイに普通紙や厚紙、コート紙、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順でセットします。

重要　次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。

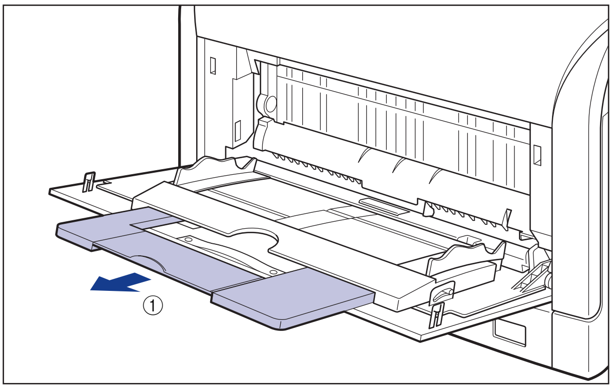
- ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
- 台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
- 糊がはみ出ている用紙

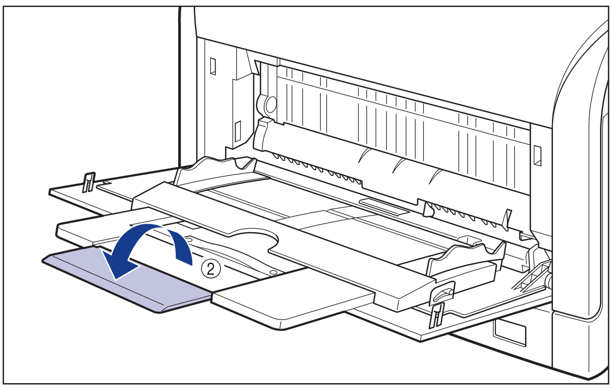
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

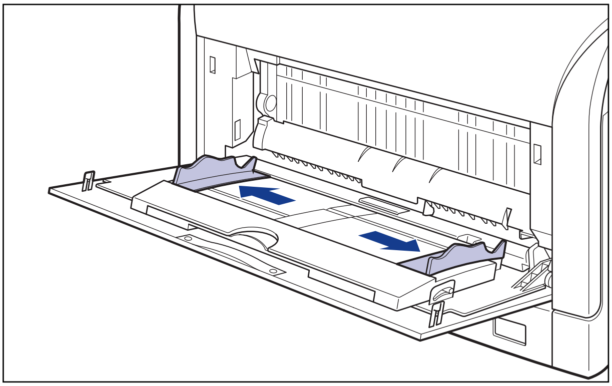


A3 や B4、長尺紙などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

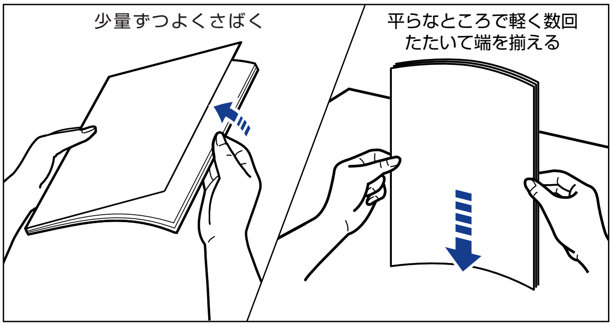




2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



3 コート紙やラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

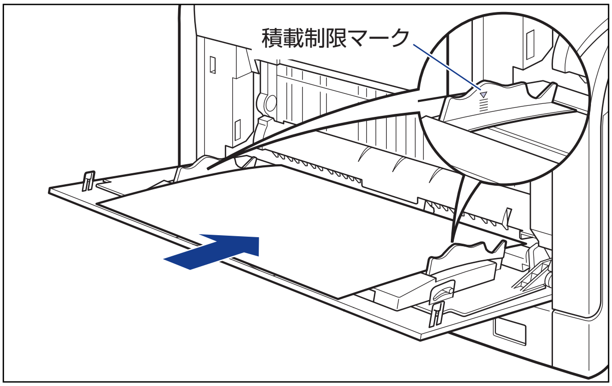


⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

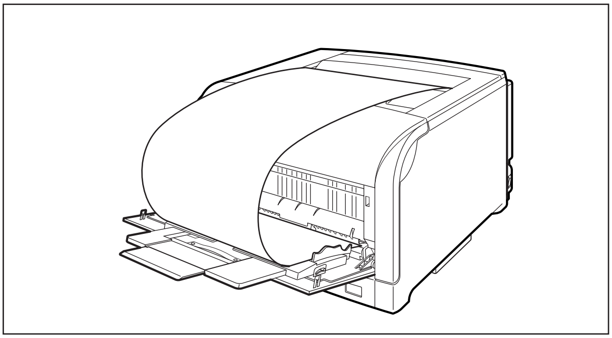
- コート紙やラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- コート紙をさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- コート紙に手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

4 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。



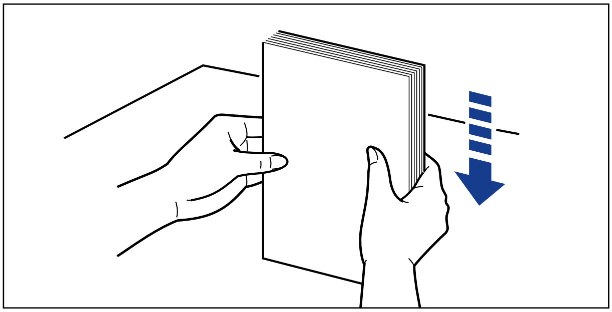
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 長尺紙をセットする場合は、1 枚ずつ図のように手差しトレイにセットします。



- 手差しトレイには、次の枚数までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
  - ・普通紙　：約 100 枚（$64g/m^2$ の場合）
  - ・厚紙　：約 50 枚（$128g/m^2$ の場合）
  - ・コート紙　：約 50 枚
  - ・ラベル用紙　：約 40 枚
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、 給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。

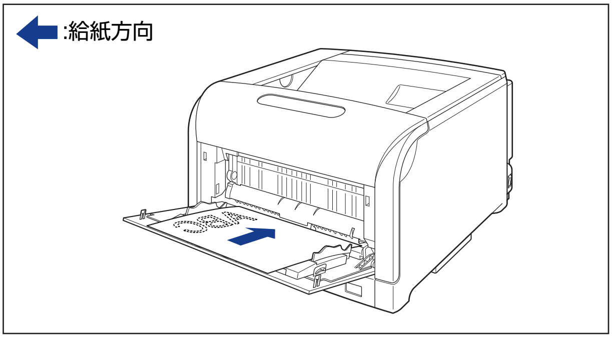
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

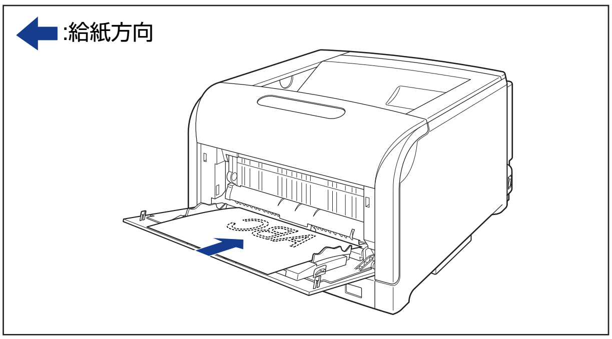


メモ

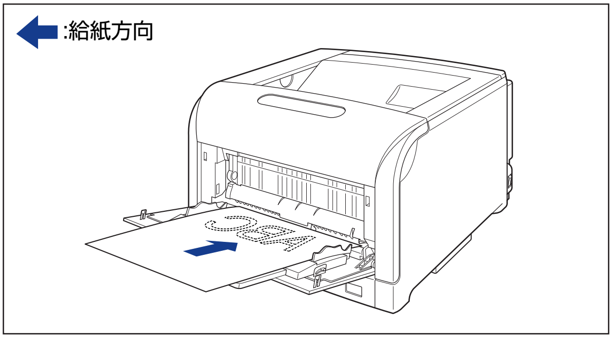
レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

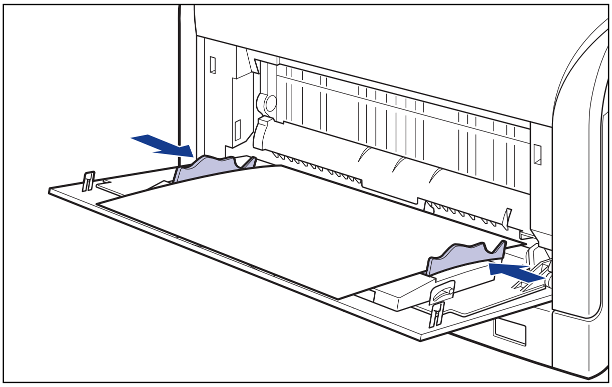




・A3、B4、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

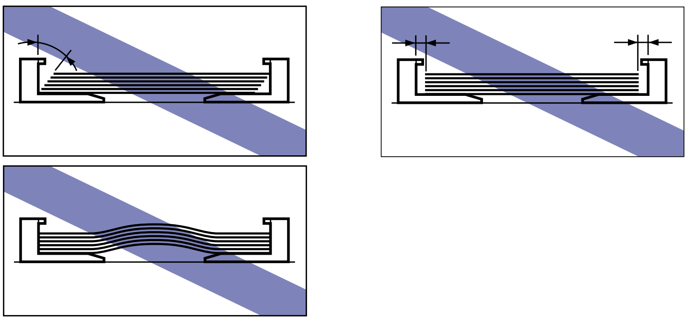


5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。



重要

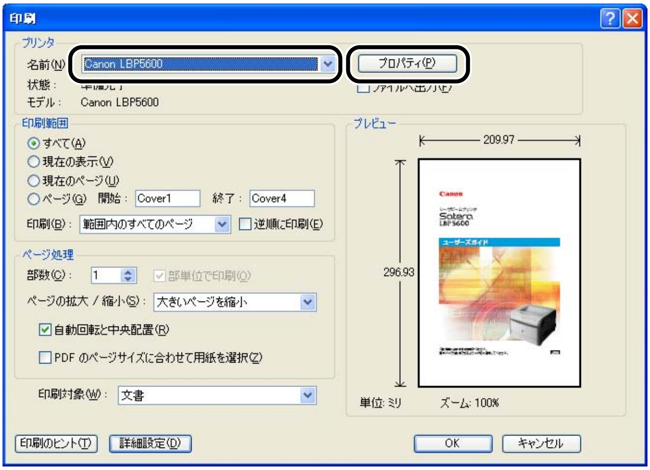
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



- 印刷中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

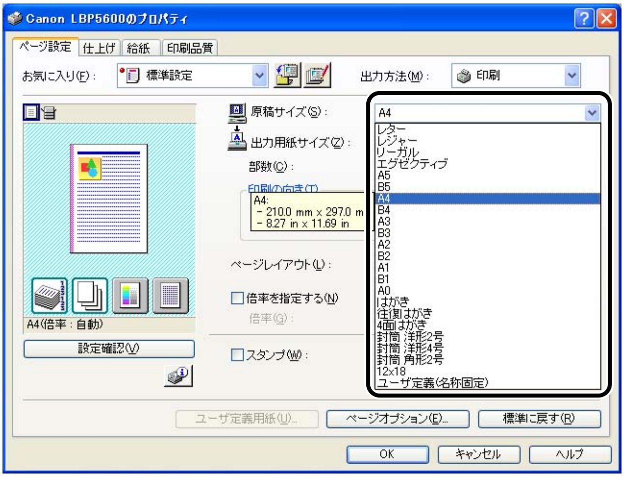
続けて、プリンタドライバの設定を行います。

6 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



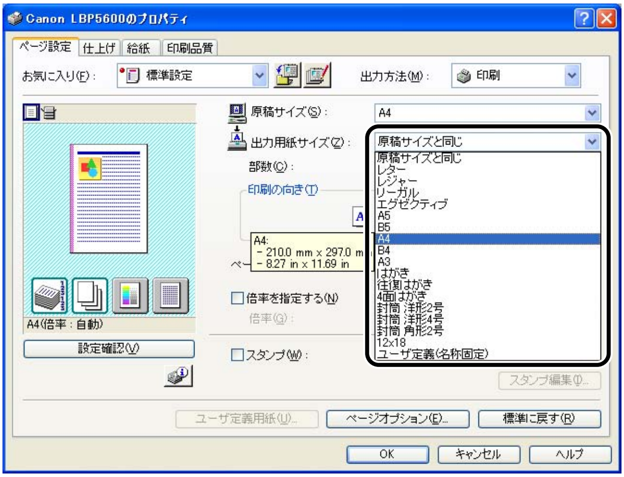
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



8 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

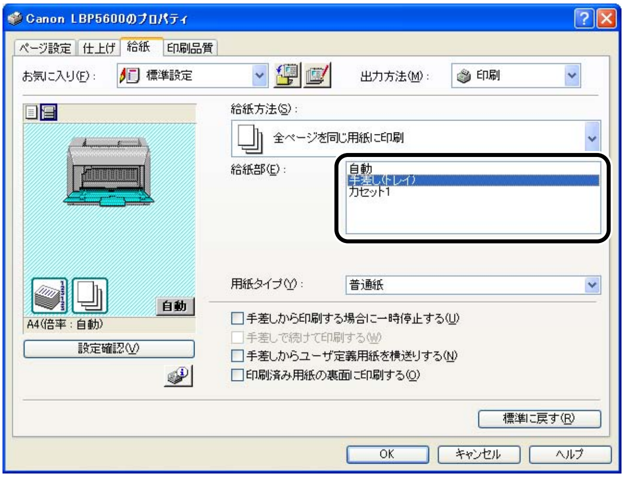
原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

9 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択します。

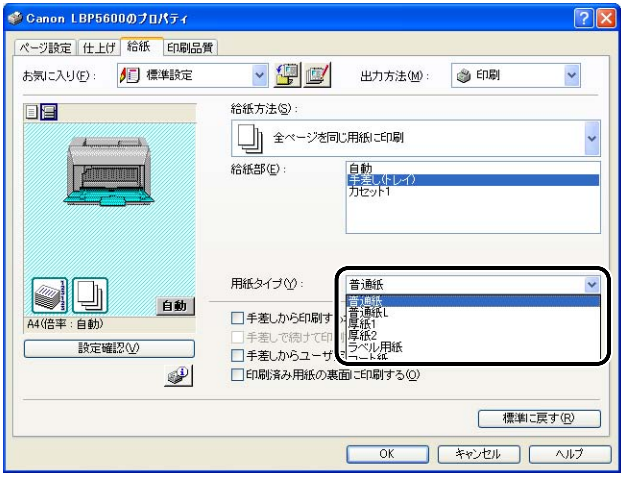
［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。



メモ　普通紙やラベル用紙を手差しトレイから印刷する場合は、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択してください。［自動］を選択すると、手差しトレイにセットした用紙サイズと同じサイズの用紙がカセットにセットされていた場合は、カセットから給紙されます。

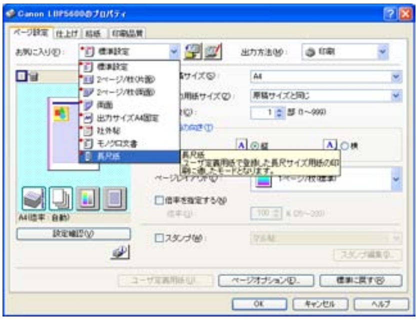
10 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

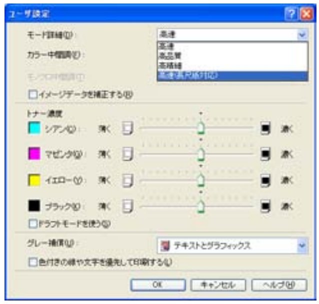
普通紙の場合は［普通紙］、厚紙（106 ～ 169g/m^2）の場合は［厚紙 1］、厚紙（170 ～ 220g/m^2）の場合は［厚紙 2］、ラベル用紙の場合は［ラベル用紙］、コート紙の場合は［コート紙］を選択してください。



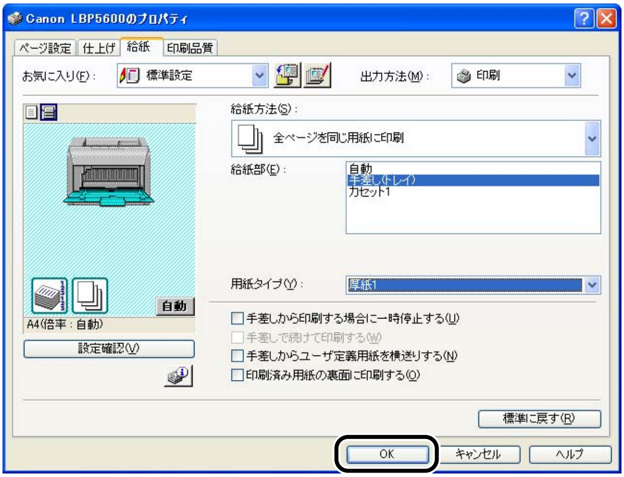
重要
- 普通紙（64g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合や幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合は、［普通紙 L］に設定してください。
- 普通紙を［普通紙］に設定して印刷した結果、トナーの定着性が悪い場合は、以下の設定を行ってください。：
  ①［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする
  ②［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 2］にする。［モード 2］にしても定着性が悪い場合は、［モード 3］にする。
- 106 ～ 169 g/m^2 以外のコート紙の場合は、以下の設定を行ってください。
  ・105g/m^2 以下の場合：
  ［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする
  ・170 ～ 220 g/m^2 の場合：
  ①［用紙タイプ］の設定を［コート紙］にする
  ②［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする
- 手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合は、［手差しからユーザ定義用紙を横送りする］にチェックマークを付けます。
  ・幅 148.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 297.0mm

- 長尺紙を印刷するときは、［お気に入り］から［長尺紙］を選択するか、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして、［ユーザ設定］ダイアログボックスの［モード詳細］で［高速（長尺紙対応）］を選択します。

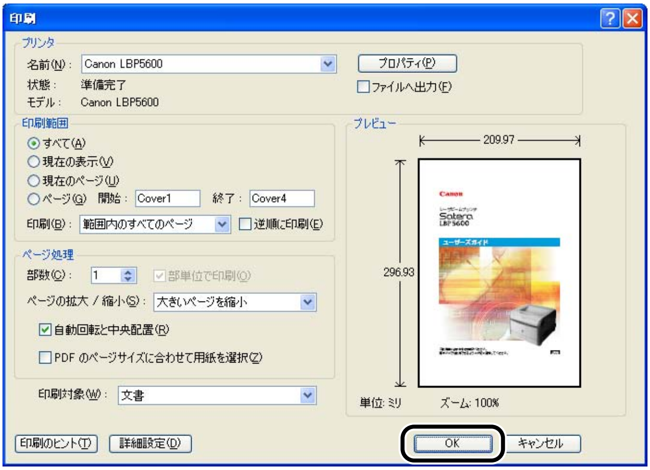




11 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



12 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



はがきに印刷する場合

手差しトレイには、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがきとキヤノン推奨４面はがきをセットできます。はがきを手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要

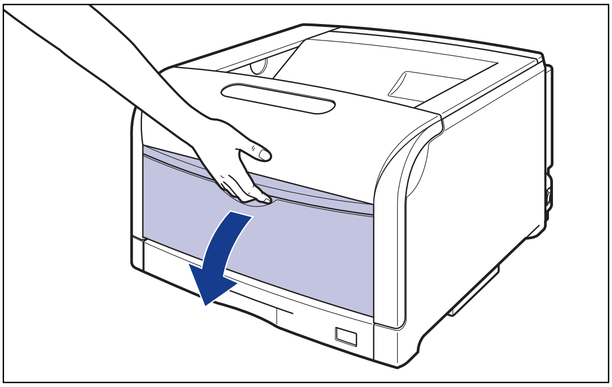
- 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、およびキヤノン推奨の４面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。
- はがきや往復はがきに印刷する場合は、印刷速度が遅くなります。

メモ

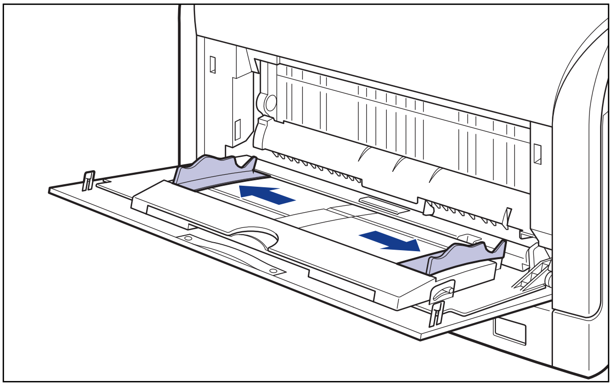
本プリンタは、はがき、往復はがき、４面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2)、厚紙（106 ～ 169g/m^2）に印刷することもできます。はがき、往復はがき、４面はがきサイズの普通紙、厚紙に印刷する場合は、「用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合」（➞P.2-72）を参照してください。

1 手差しトレイを開けます。

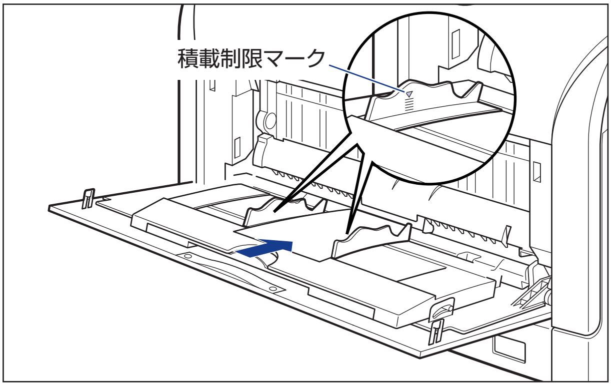
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



2 用紙ガイドの幅をはがきの幅より少し広めにセットします。



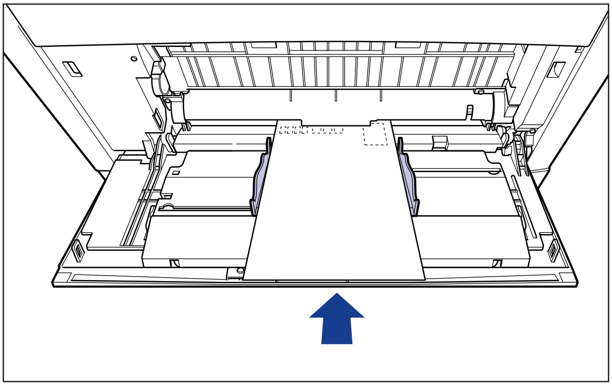
3 はがきの印刷する面を下向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。



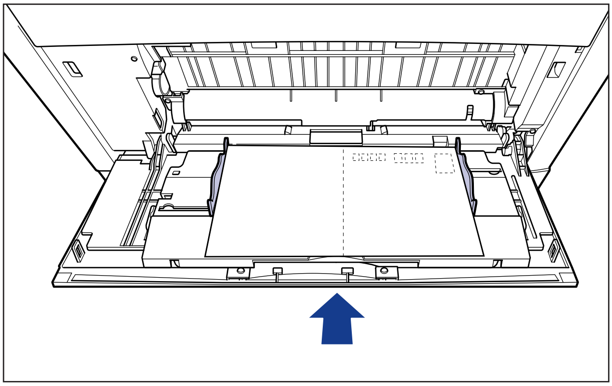
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

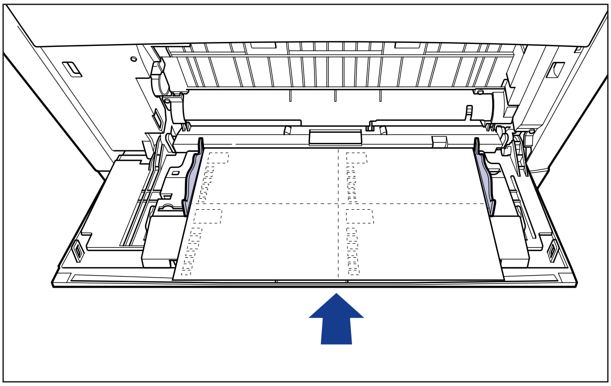
- 手差しトレイには、はがき、往復はがき、4 面はがきを約 40 枚までセットできます。はがき束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- はがきをセットする場合は、必ず縦置きで、はがきの表面（印刷する面）を下に向け、はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



- 往復はがきをセットする場合は、必ず横置きで、往復はがきの表面（印刷する面）を下に向け、 往復はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

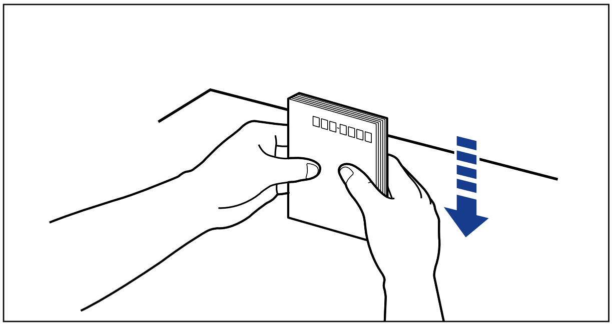


- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows 2000/XP/Server 2003の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）
- 4 面はがきをセットする場合は、必ず横置きで、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

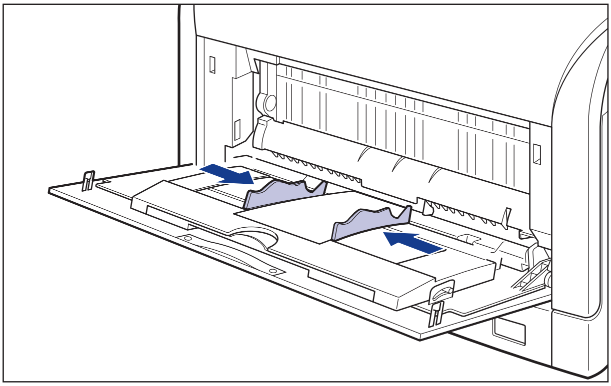


- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。

- 裁断状態の悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



4 用紙ガイドを、はがきの左右にぴったりと合わせます。

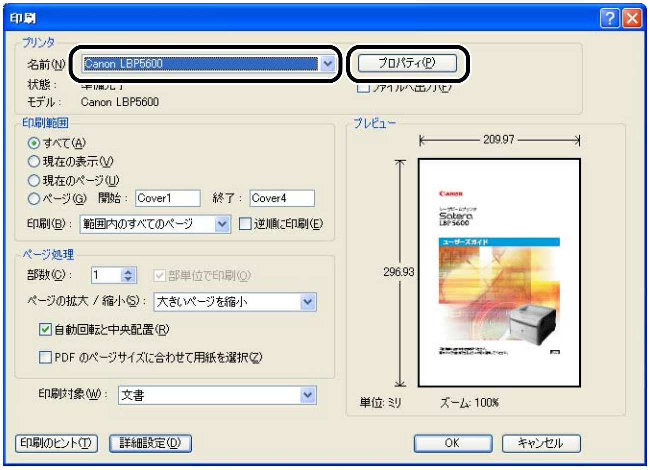


重要

- 必ず用紙ガイドをはがきの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 印刷中は、手差しトレイのはがきに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

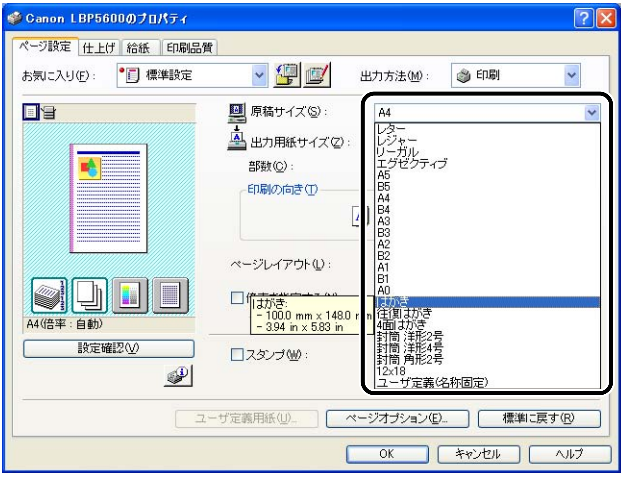
続けて、プリンタドライバの設定を行います。

5 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



2

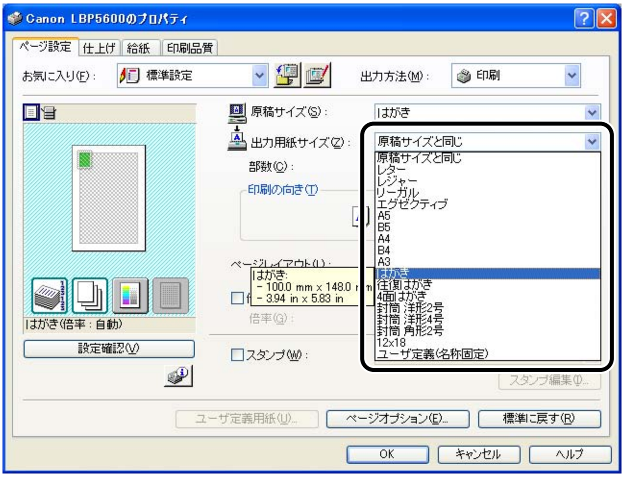
給紙／排紙のしかた

メモ　原稿サイズを［はがき］、［往復はがき］、［4 面はがき］に設定すると、以下のメッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。



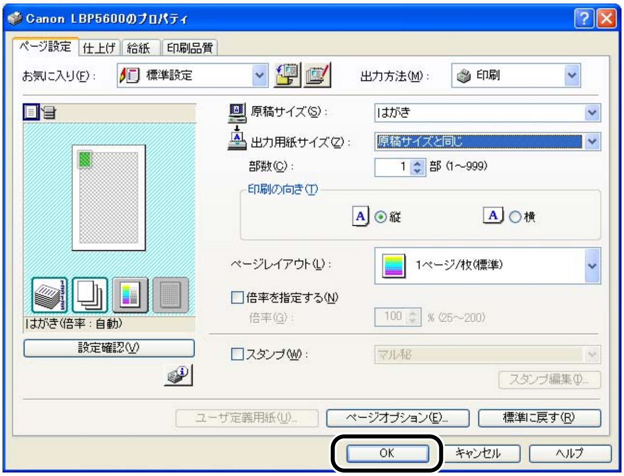
7 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

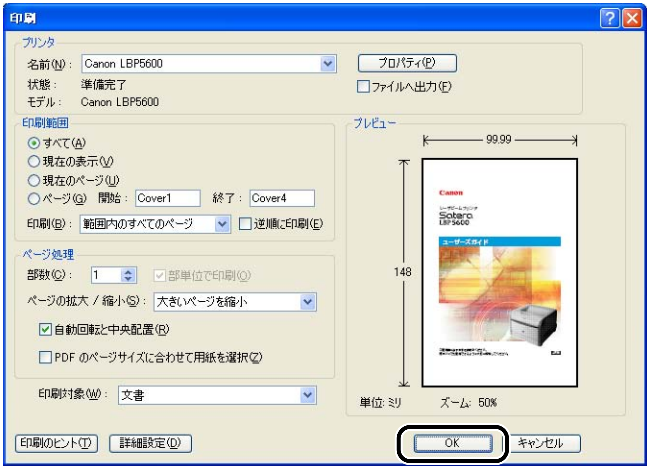


重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

8 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



9 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



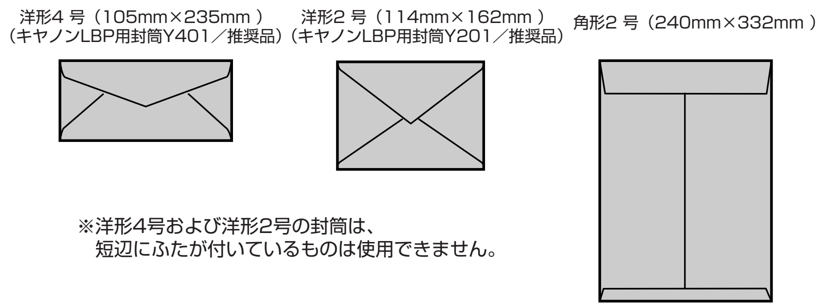
2

給紙／排紙のしかた

封筒に印刷する場合

手差しトレイには、洋形４号、洋形２号、角形２号の封筒をセットできます。封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- 本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号、角形２号で次のような構造のものに限ります。



- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ･窓付きの封筒
  - ･糊付きの封筒
  - ･しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ･折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ･長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合は、印刷速度が遅くなります。

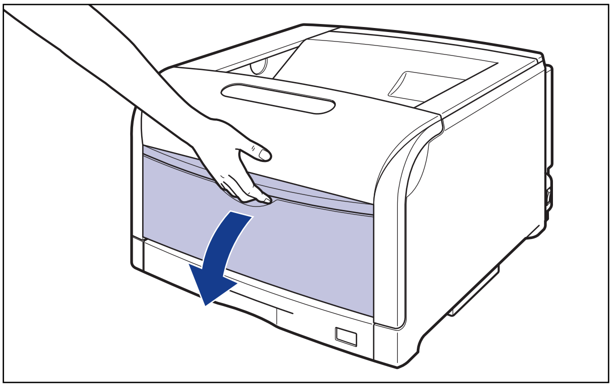
メモ　封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

2

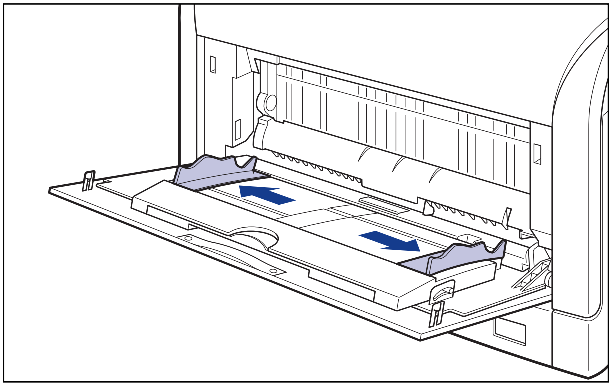
給紙／排紙のしかた

1 手差しトレイを開けます。

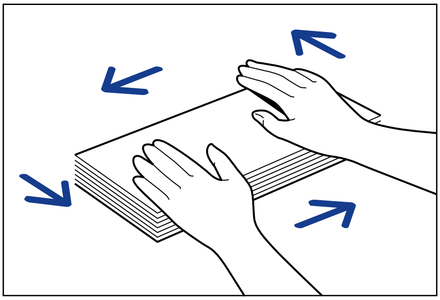
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



2 用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

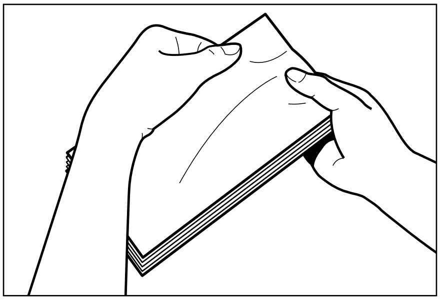


3 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

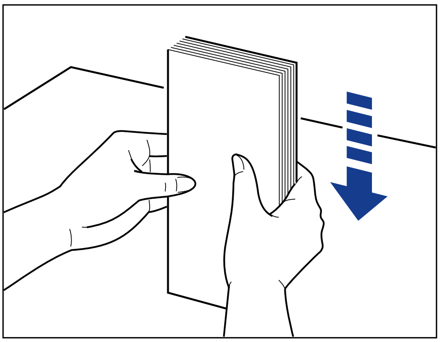


⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

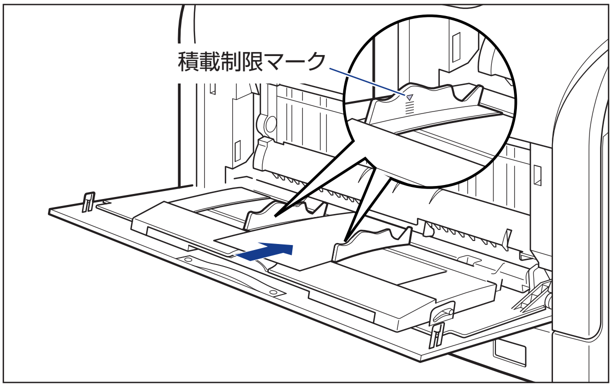
4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



5 封筒を平らな場所で揃えます。

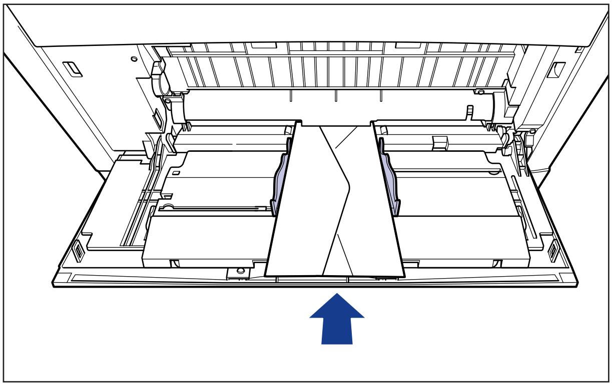


6 封筒の宛名を書く面を下向きに、ふたを閉じて左側になるようにセットし、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

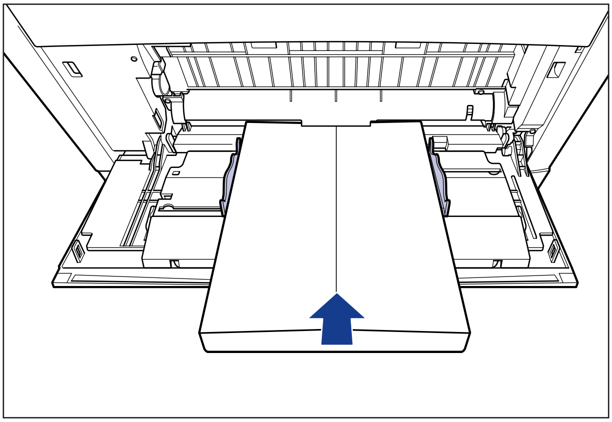


重要

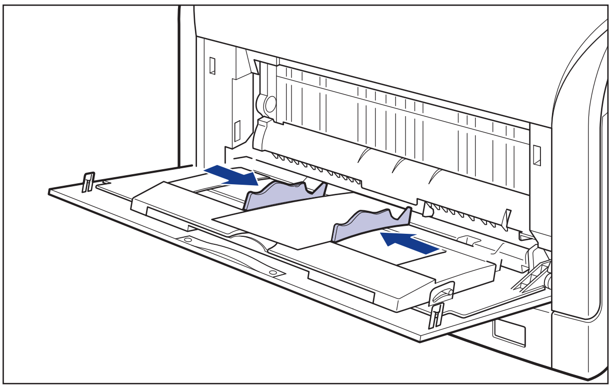
- 手差しトレイには、封筒を約 10 枚までセットできます。封筒束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、 裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。
- 洋形 4 号、洋形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



- 角形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



7 用紙ガイドを封筒の左右にぴったりと合わせます。

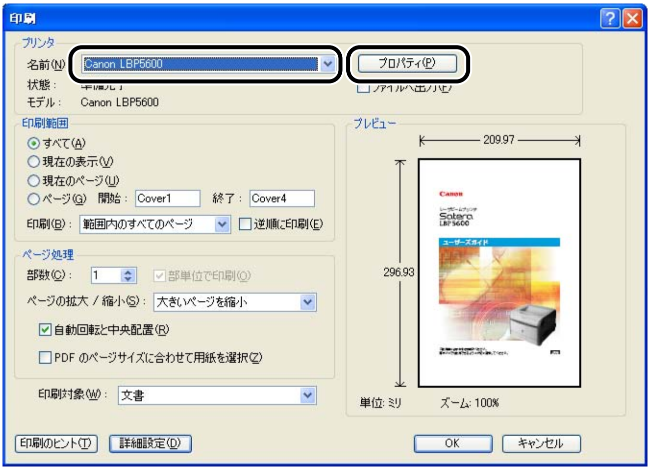


重要

- 用紙ガイドと封筒の間にすき間があいたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 印刷中は、手差しトレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

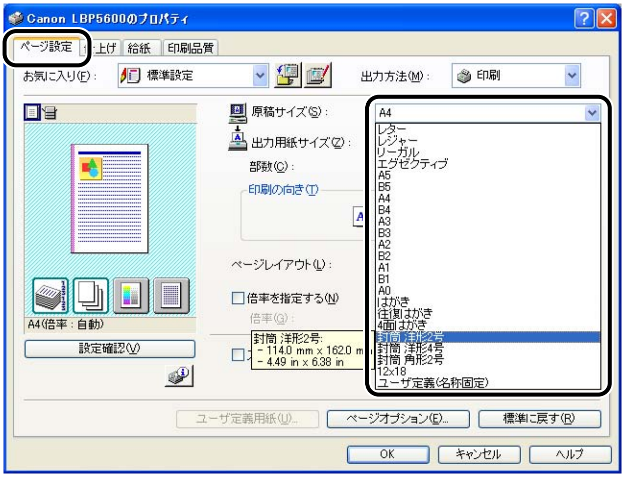
続けて、プリンタドライバの設定を行います。

8 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

9 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

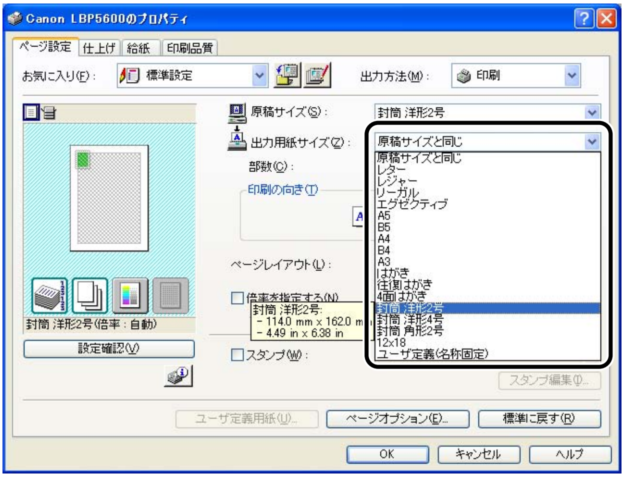


メモ　原稿サイズを［封筒 洋形２号］、［封筒 洋形４号］、［封筒 角形２号］に設定すると、以下のメッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。



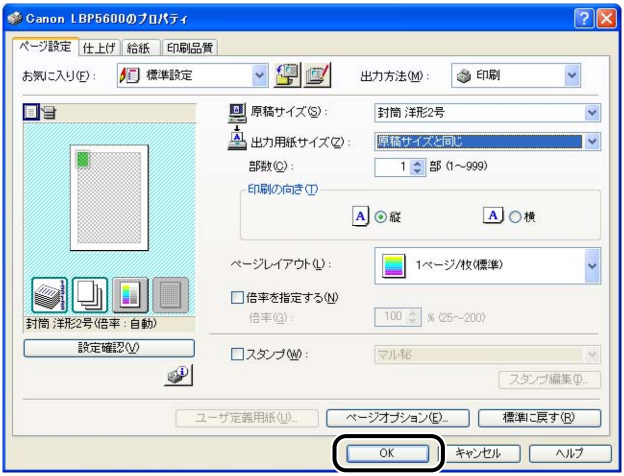
10 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

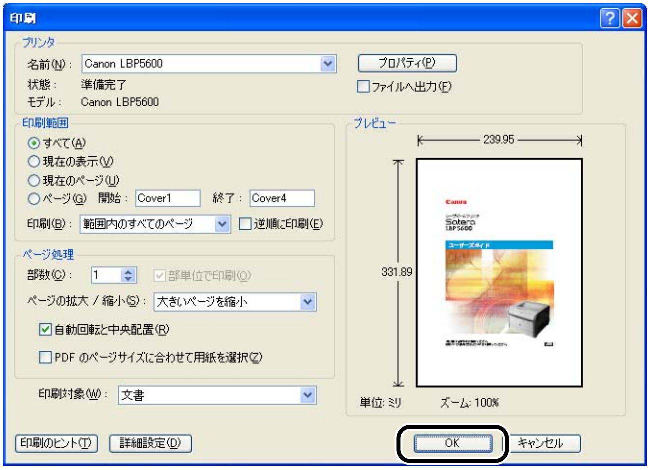


重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

11 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



12 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



両面に印刷する

本プリンタは標準で両面印刷することができます。自動両面印刷で使用できる用紙は、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー、レター（11 × 17）、エグゼクティブサイズの普通紙です。また、以下のユーザ定義用紙の普通紙を自動両面印刷することもできます。

- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

重要

- 厚紙、コート紙、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒には、自動両面印刷できません。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

メモ

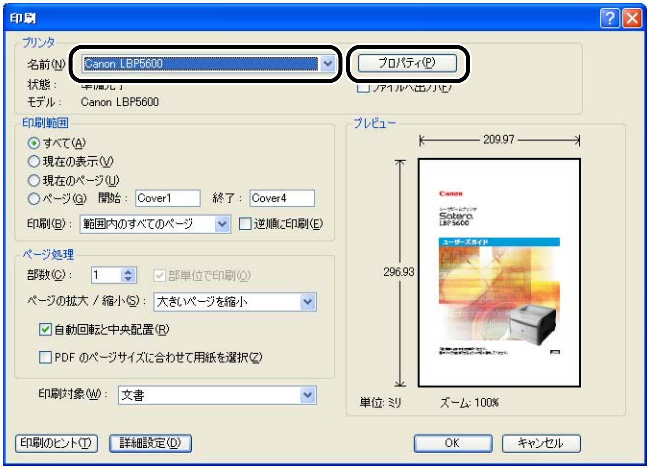
［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する］にチェックマークを付けると、両面印刷ジョブの最後のページが片面の場合、通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。ただし、パンチ紙やプレプリント紙（あらかじめ印刷している紙）に両面印刷する場合、最後のページの向きや表裏が他のページと異なることがあります。そのときはチェックマークを消してください。

自動で両面に印刷する

1 手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。

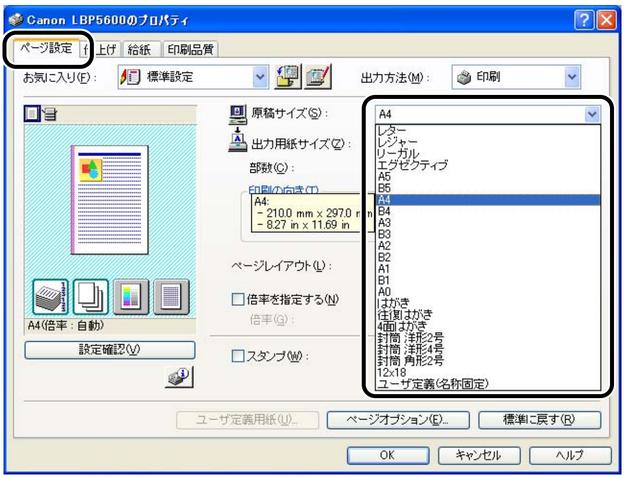
自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは、「自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた」（➞P.2-102）を参照してください。

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



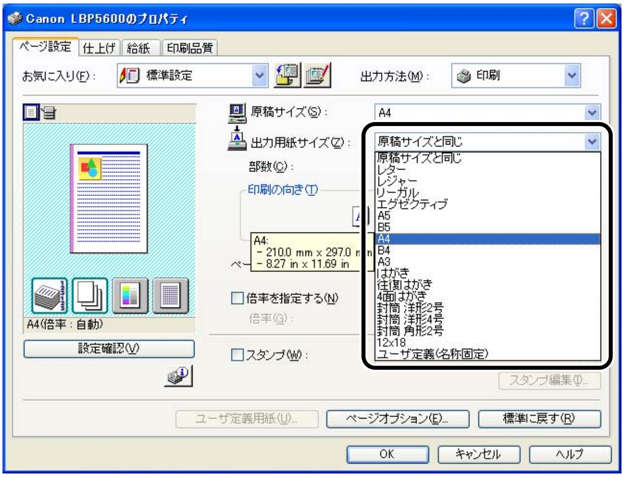
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



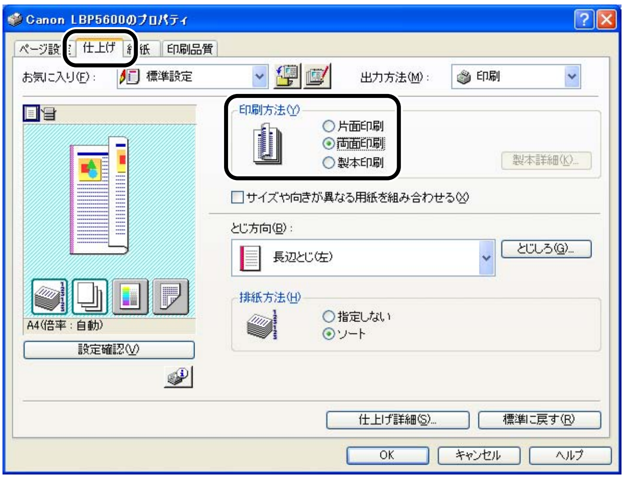
4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

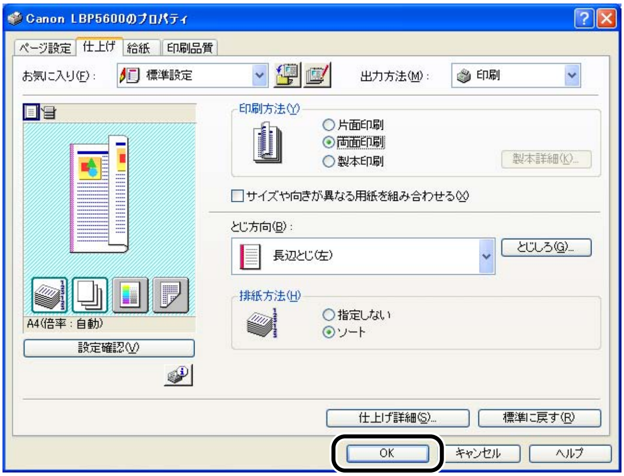


重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

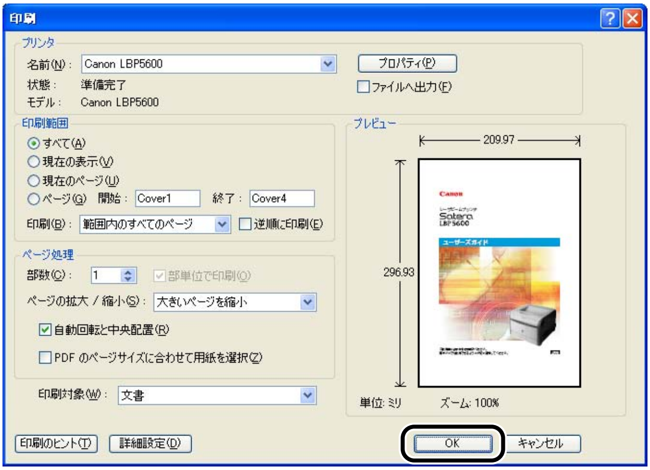
5 ［仕上げ］ページを表示して、［印刷方法］で［両面印刷］を選択します。



6 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



7 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



2

給紙／排紙のしかた

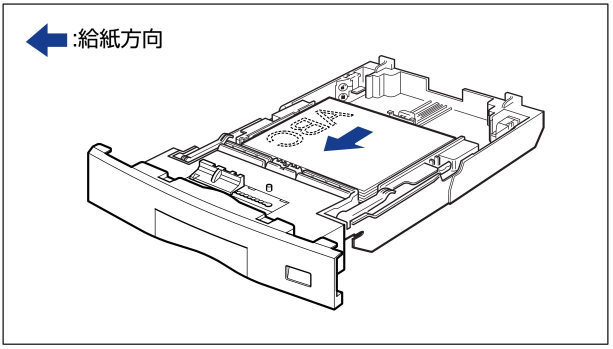
自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた

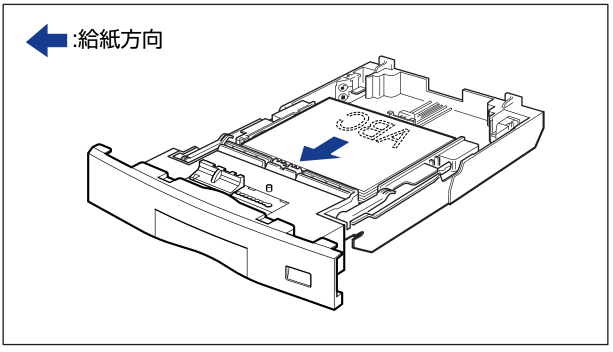
自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは次のように用紙をセットします。

給紙カセットから給紙する場合

■ A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

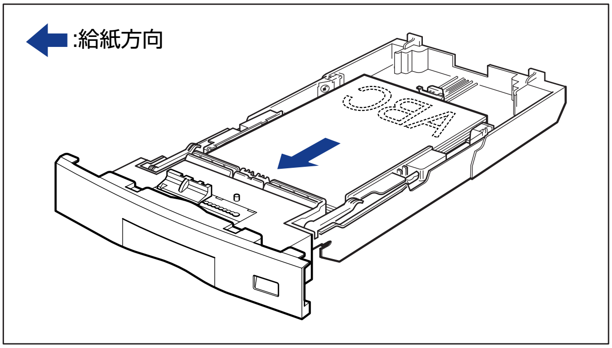
用紙の表面を下に向け、以下のようにセットします。

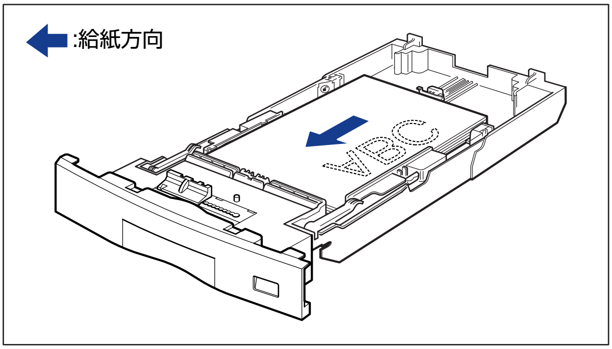




■ A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面を下に向け、以下のようにセットします。

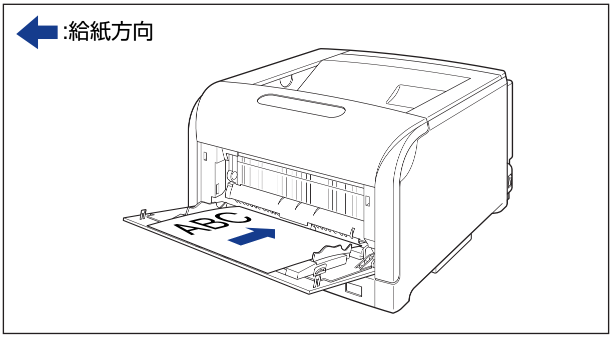


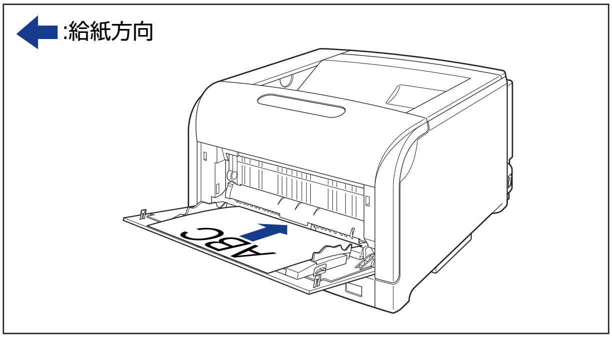


手差しトレイから給紙する場合

■ A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

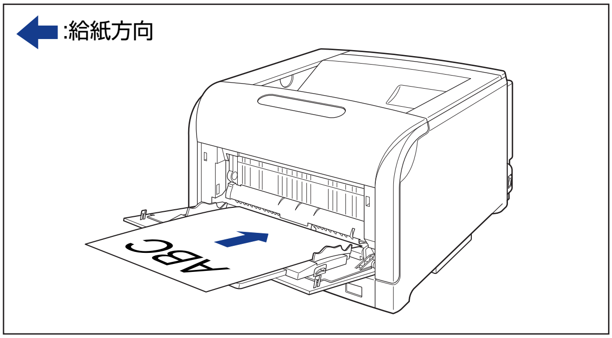
用紙の表面を上に向け、以下のようにセットします。

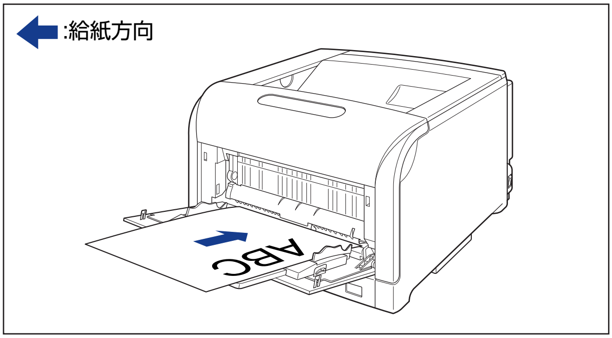




■ B4 や A3 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面を上に向け、以下のようにセットします。





手動で両面に印刷する

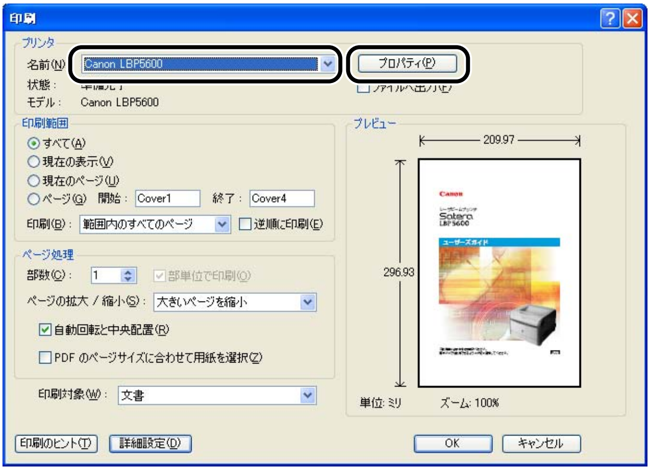
本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。

重要　はがきに両面印刷する場合、裏面（文書側の面）から先に印刷したあと、表面（宛名側の面）を印刷してください。

1 手差しトレイに用紙をセットします。

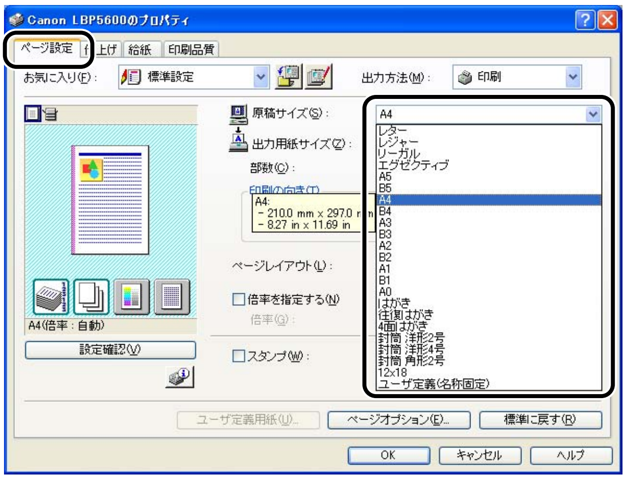
用紙のセットのしかたについては、「手動両面印刷するときの用紙のセットのしかた」（→P.2-110）を参照してください。

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



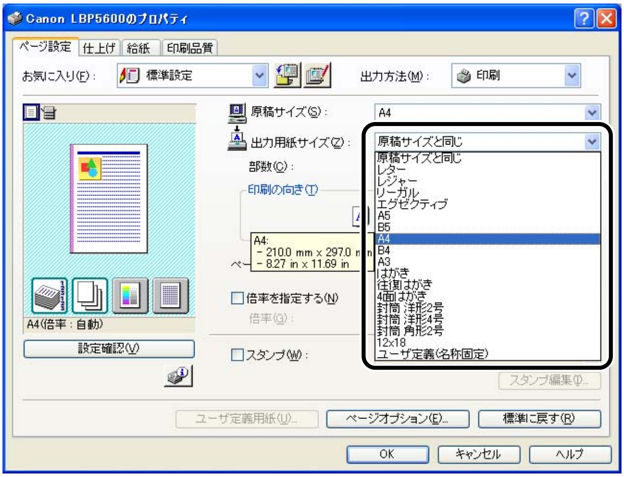
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



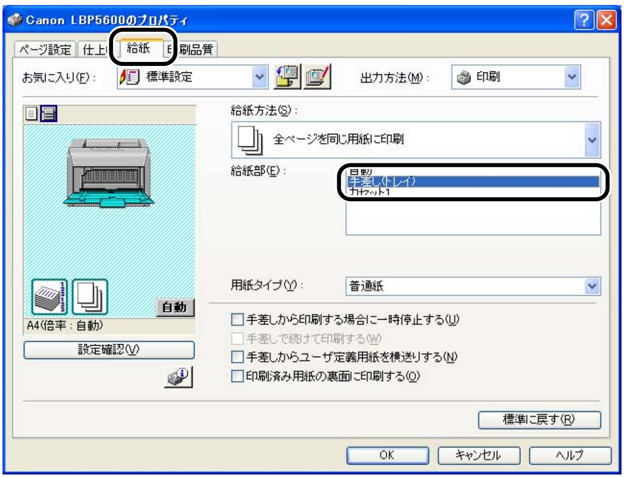
4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

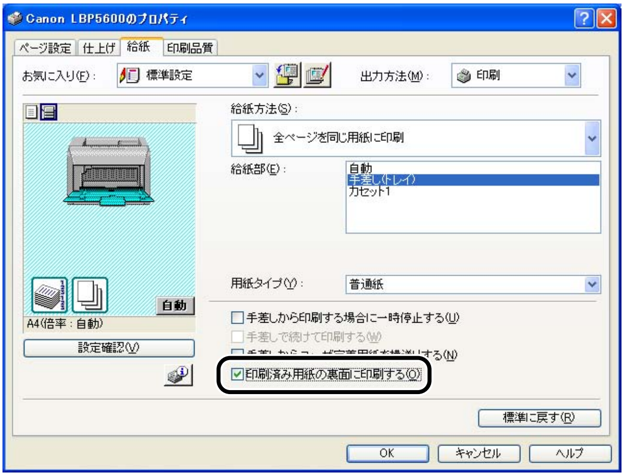


重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

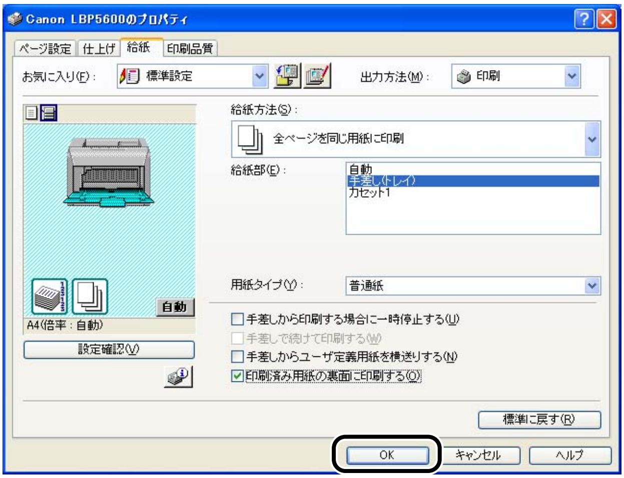
5 ［給紙］ページを表示して、給紙部で［手差し（トレイ)］選択します。



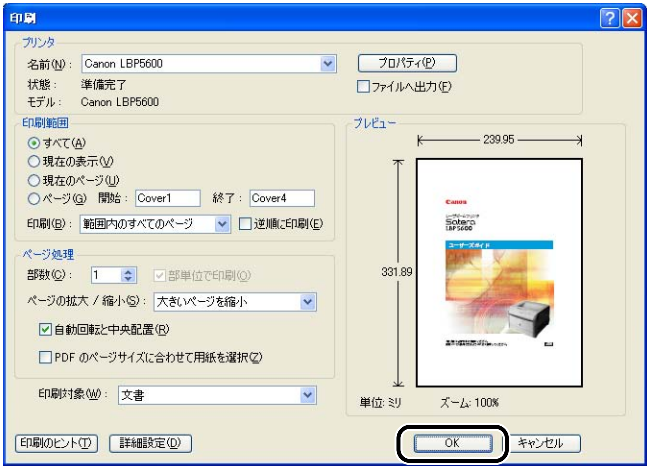
6 [印刷済み用紙の裏面に印刷する] にチェックマークを付けます。



7 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



8 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

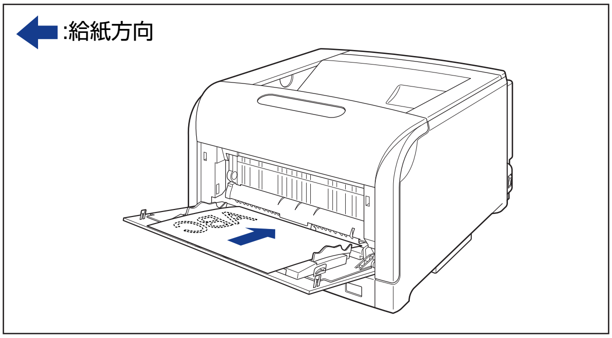


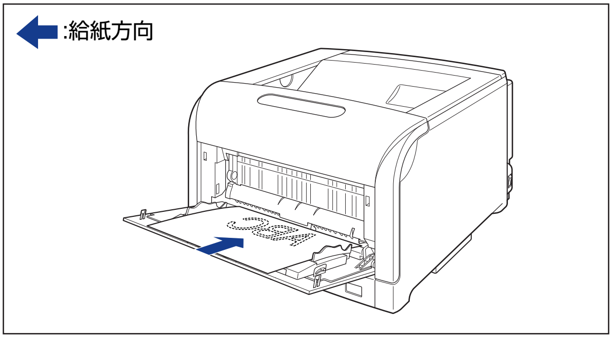
手動両面印刷するときの用紙のセットのしかた

手差しトレイから裏面に印刷済みの用紙に印刷する場合は、次のように用紙をセットします。

■ **手差しトレイに A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合**

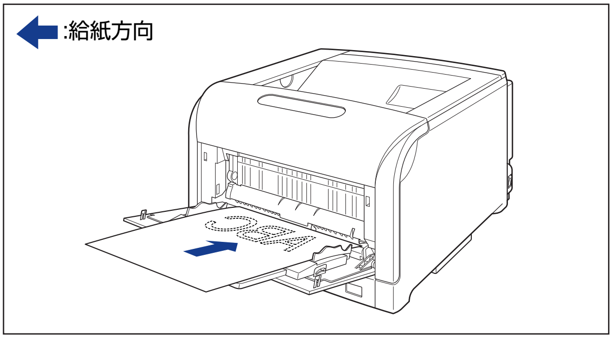
用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

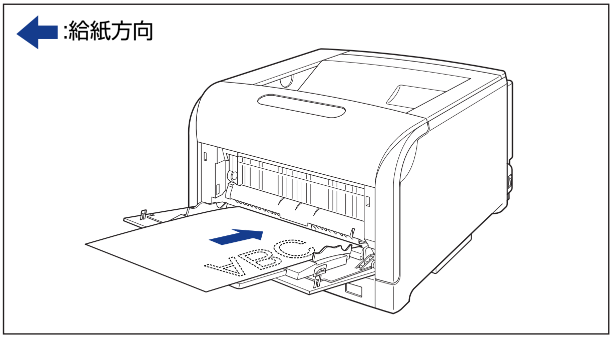




■ 手差しトレイに A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。





印刷環境を設定するには

3
CHAPTER

この章では、コンピュータにプリンタドライバをインストールする手順、プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷するための設定について説明しています。

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ **プリンタドライバをインストールする**

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。プリンタドライバのインストール方法はご使用の環境によって異なります。

- プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続して、印刷する場合（→P.3-4）
- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN で接続し、印刷する場合（→ ネットワークガイド／本編）

■ **コンピュータでプリンタの共有機能を使用する（→P.3-59）**

コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、本プリンタをネットワーク上のコンピュータから使用する場合に、コンピュータの設定やクライアントへプリンタドライバをインストールします。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ **印刷設定をする**

プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ **印刷を実行する**

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版（32 ビットプロセッサバージョンのみ）

重要　日本語以外の OS には対応していません。

・動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium II 300MHz以上	Pentium II 300MHz以上
メモリ（RAM）*	64MB以上	128MB以上
ハードディスク空き容量	40MB以上	Windows 2000：60MB以上 Windows XP/Server 2003：70MB以上

（IBM-PC互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium III 1.2GHz以上	Pentium III 1.2GHz以上
メモリ（RAM）	128MB以上	256MB以上

■ インタフェース環境

USB 接続時

- Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- Windows 2000/XP/Server 2003：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

ネットワーク接続時（接続するにはオプションのネットワークボードが必要です。）

- コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
- プロトコル：TCP/IP

メモ

- サウンドをお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタをお使いのコンピュータに USB ケーブルで直接接続するときの、ソフトウェアのインストール方法を説明します。

- Windows 98/Me の場合（→P.3-4）
- Windows 2000 の場合（→P.3-22）
- Windows XP/Server 2003 の場合（→P.3-37）

重要

- CAPT ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ

- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN で接続するときの、ソフトウェアのインストール方法は「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、ネットワーク上のコンピュータから印刷するときの、ソフトウェアのインストール方法は、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」（→P.3-59）を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

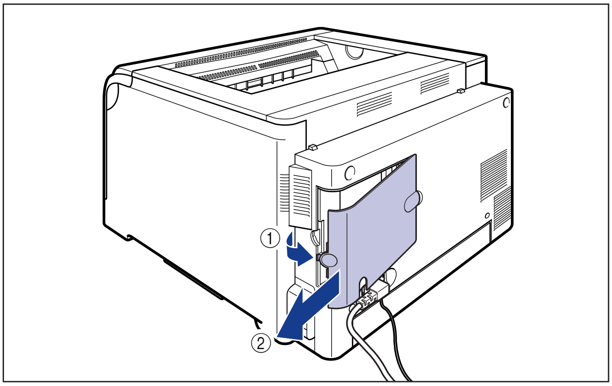
Windows 98/Me の場合

ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



2 プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。

重要　インストールの途中（手順 12➞P.3-8）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。

3 コンピュータの電源を入れ、Windows 98/Me を起動します。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

4 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要　CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAC2MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

3

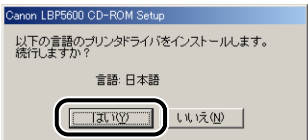
印刷環境を設定するには

5 ［ドライバインストール］をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 言語を確認し、［はい］をクリックします。



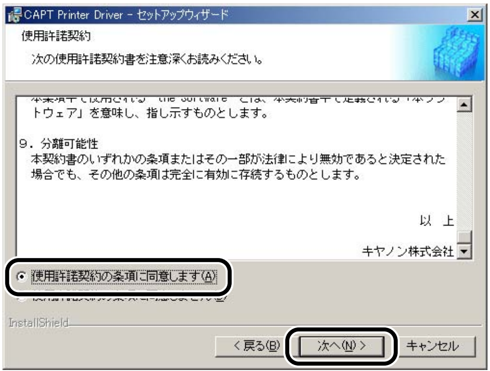
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

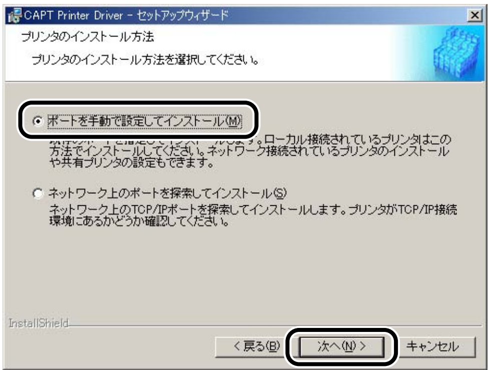


［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

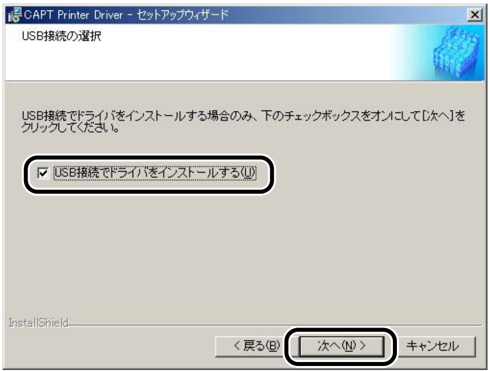
8 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択したあと、[次へ] をクリックします。



9 [ポートを手動で設定してインストール] を選択したあと、[次へ] をクリックします。



10 ［USB 接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

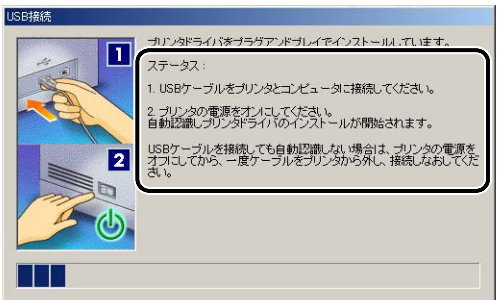


お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

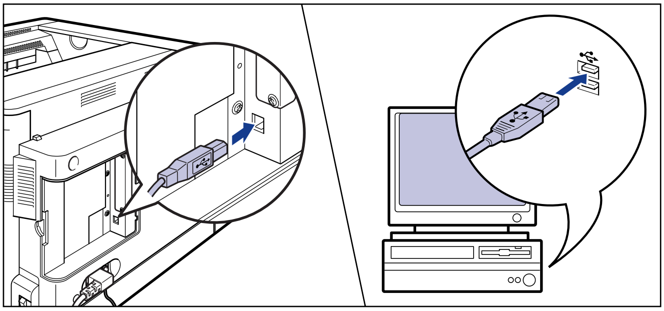
11 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。



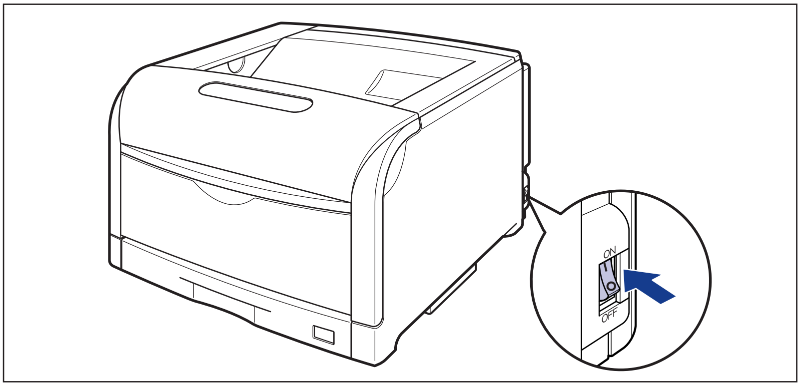
12 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。



プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。



電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。



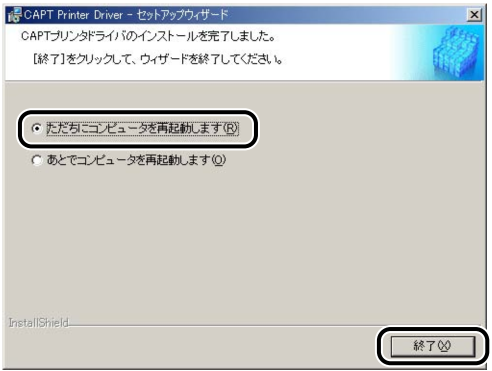
USB クラスドライバおよびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル」(→P.7-61) を参照してください。

13 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



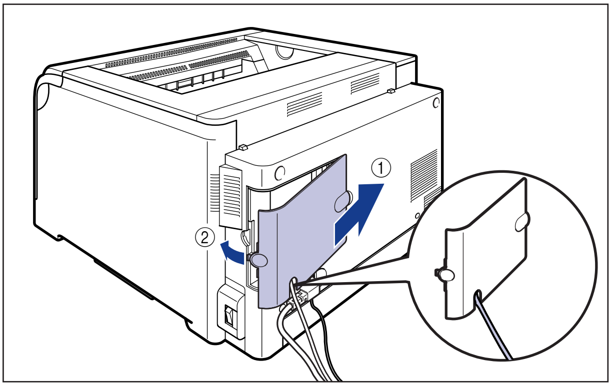
14 **インストール完了の画面が表示されますので、[ただちにコンピュータを再起動します］を選択し、[終了］をクリックします。**



Windows が再起動します。

15 **後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。**

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows 98/Me を起動します。**

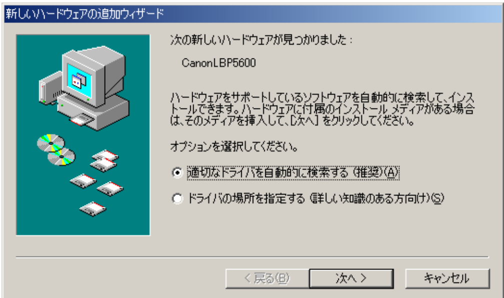
[新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

● Windows Me の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 2 へ進みます。



次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 9 へ進みます。



● Windows 98 の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順 2 へ進みます。



次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順 9 へ進みます。



2 ［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。



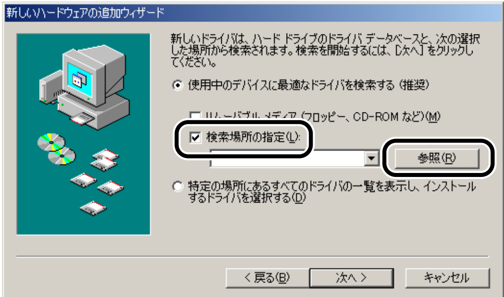
検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

3 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

4 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

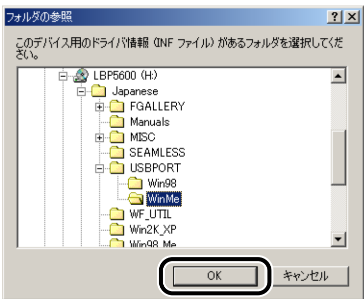
Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。



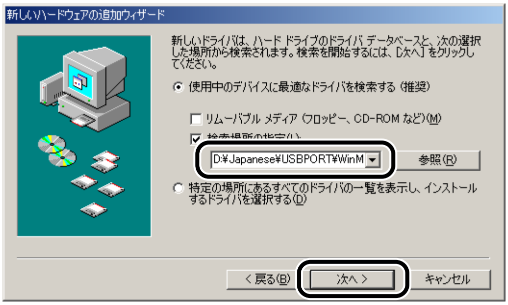
5 ［D:¥Japanese¥USBPORT¥WinMe］を選択し、［OK］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［D:¥Japanese¥USBPORT¥Win98］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



6 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



7 [次へ] をクリックします。



USB クラスドライバのインストールがはじまります。

8 [完了] をクリックします。



プリンタを自動で検知します。しばらくお待ちください。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。Windows 98 の場合は［次へ］をクリックします。



9 ［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。



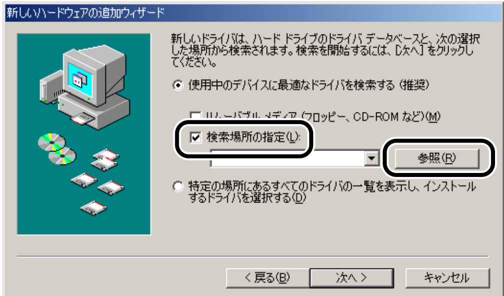
検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

10 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」が CD-ROM ドライブに入っていない場合は、付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

11 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)] のチェックマークを消し、[検索場所の指定] にチェックマークを付け、[参照] をクリックします。

Windows 98 の場合は、[フロッピーディスクドライブ] と [CD-ROM ドライブ] のチェックマークを消し、[検索場所の指定] にチェックマークを付け、[参照] をクリックします。

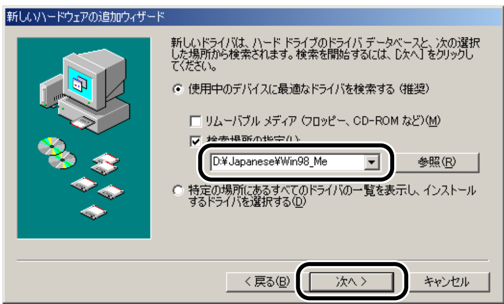


12 [D:¥Japanese¥Win98_Me] を選択し、[OK] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



13 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

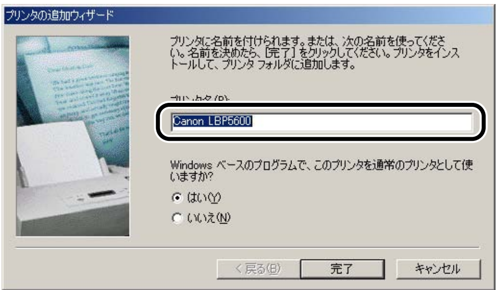


14 ［次へ］をクリックします。



15 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。

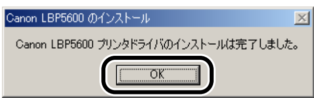
すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、［Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？］が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。



16 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

17 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。



18 [完了] をクリックします。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

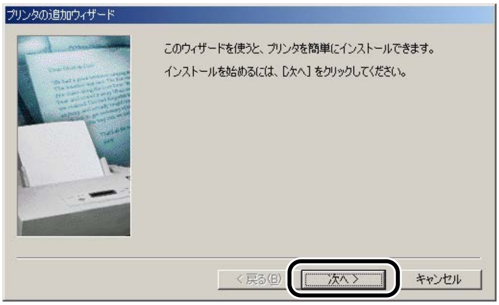
メモ　[プリンタの追加ウィザード] からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

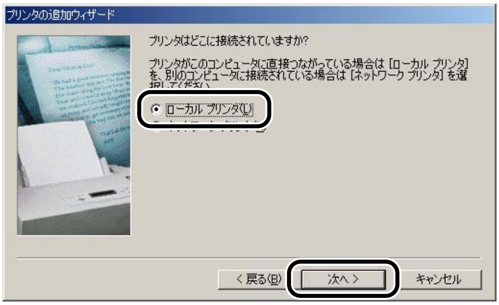
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスは、以下の方法でも表示できます。
- ・[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックします（Windows Me の場合）。
- ・[マイコンピュータ] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックします（Windows 98 の場合）。

2 [次へ] をクリックします。

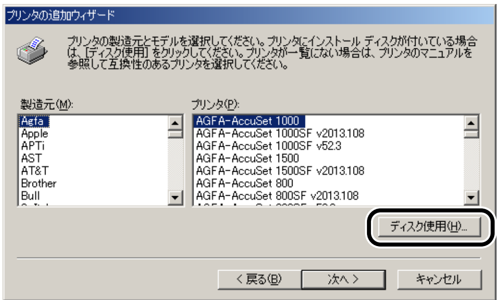


3 ［ローカルプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。



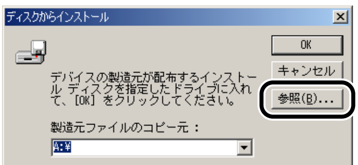
メモ　ネットワークの設定を行っていないときは、この画面は表示されません。

4 ［ディスク使用］をクリックします。



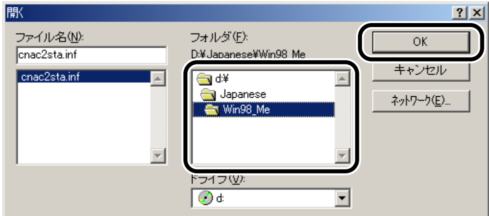
5 付属のCD-ROM「LBP5600 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。



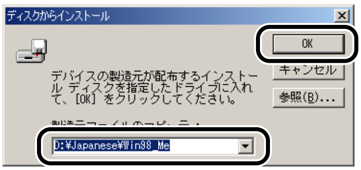
6 [D:¥Japanese¥Win98_Me] を選択し、[OK] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



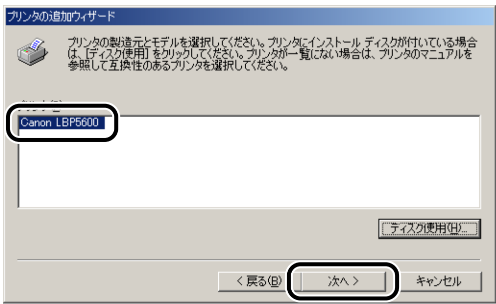
7 [製造元ファイルのコピー元]（Windows 98 は [配布ファイルのコピー元]）の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win98_Me] と表示されます。

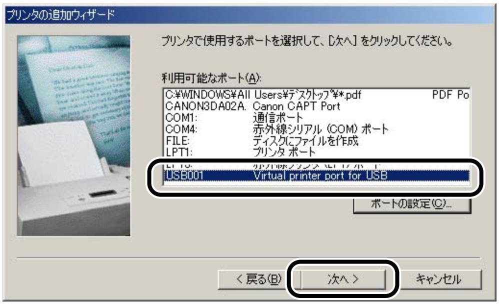


[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスに「Canon LBP5600」が表示されます。

8 [プリンタ] で本プリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

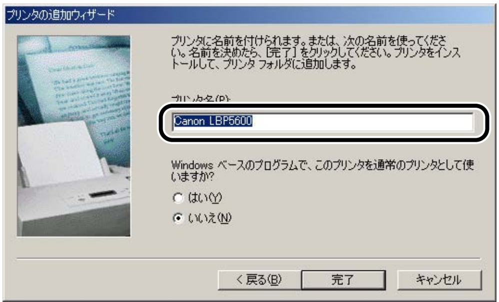


9 **本プリンタを接続するUSB ポートを選択し、[次へ] をクリックします。**



10 **プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力します。**

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、[Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？] が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。



11 **[完了] をクリックします。**

ファイルのコピーがはじまります。

12 **インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。**

13 **プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。**

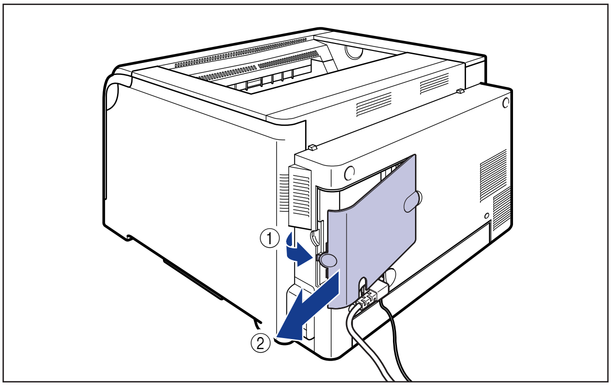
プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

CD-ROM Setup からインストールする

1 **後カバーを取り外します。**

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



2 **プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。**

重要　インストールの手順の途中（手順 13➞P.3-26）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。

3 **コンピュータの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。**

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

4 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

5 **付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

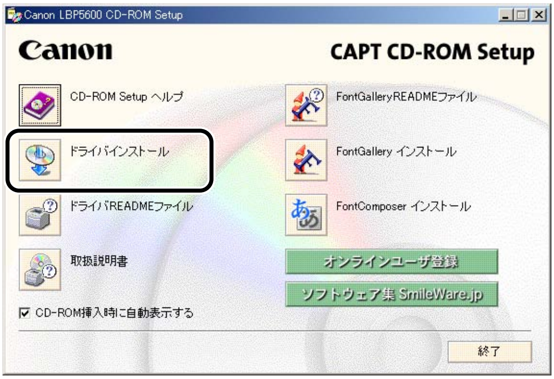
すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要

CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAC2MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

6 ［ドライバインストール］をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 言語を確認し、［はい］をクリックします。



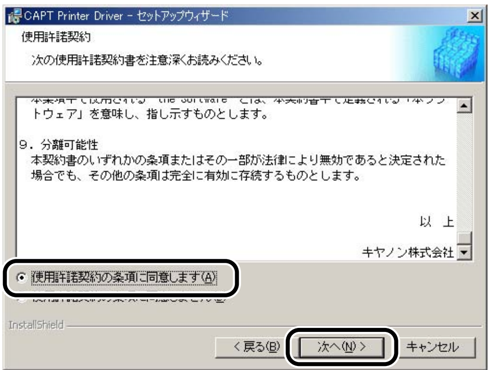
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

8 ［次へ］をクリックします。

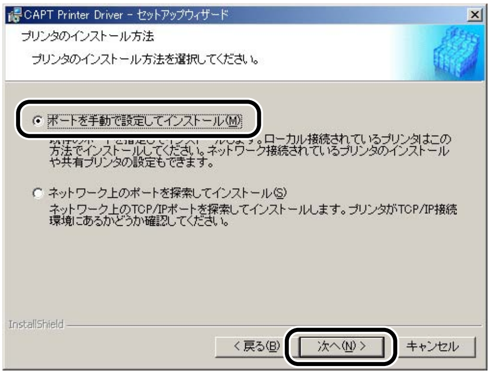


［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

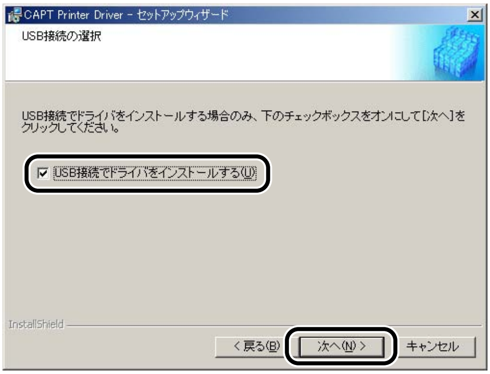
9 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



10 [ポートを手動で設定してインストール] を選択したあと、[次へ] をクリックします。



11 [USB接続でドライバをインストールする]にチェックマークを付けたあと、[次へ] をクリックします。



12 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。

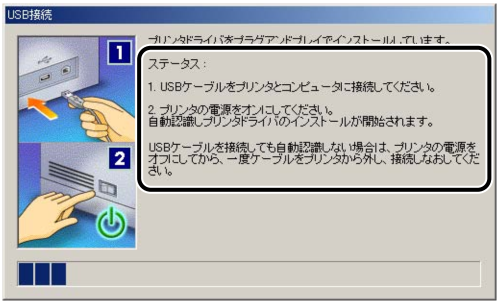


メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

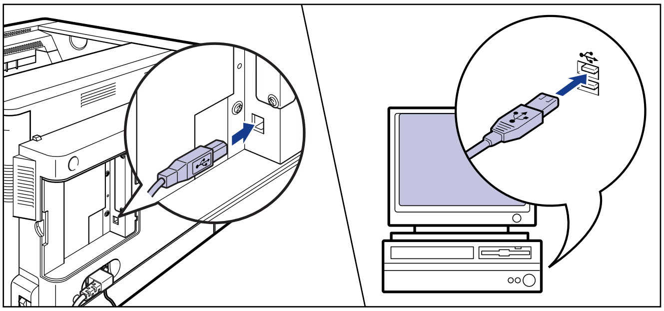
3

印刷環境を設定するには

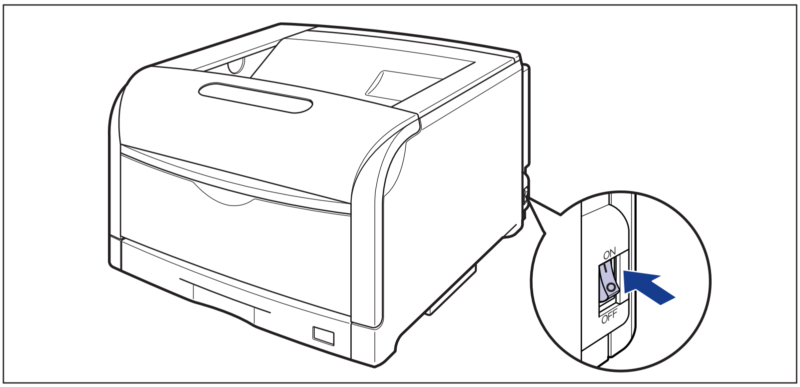
13 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。



プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続します。



電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。



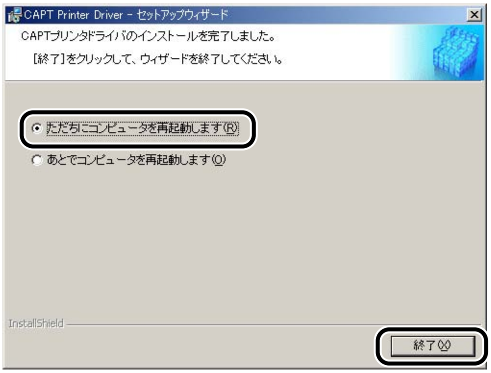
USBクラスドライバ（OS標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル」（➞P.7-61）を参照してください。

14 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



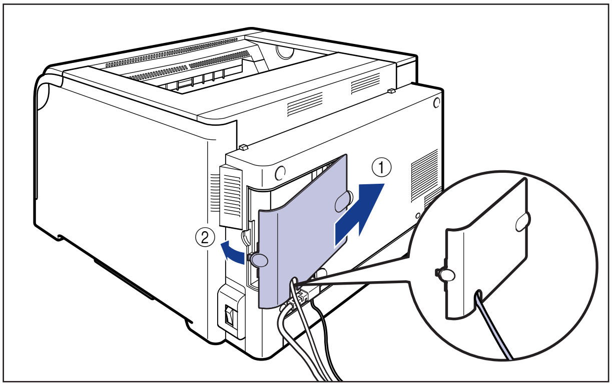
15 インストール完了の画面が表示されますので、［ただちにコンピュータを再起動します］を選択し、［終了］をクリックします。



Windows が再起動します。

16 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

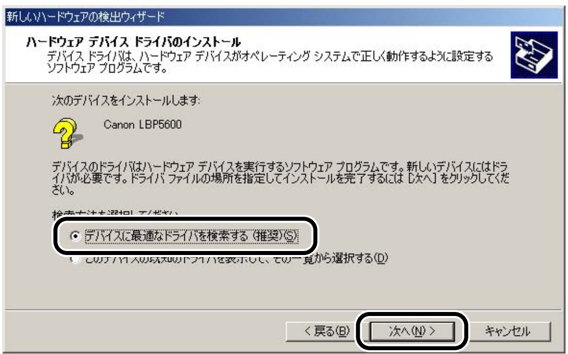
［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 ［次へ］をクリックします。

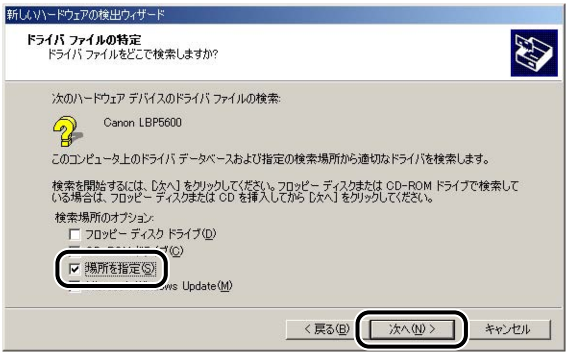


4 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。



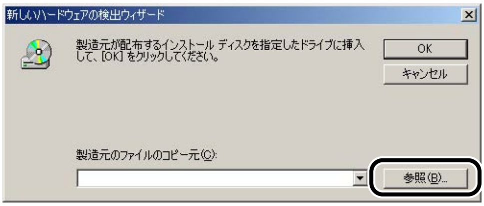
メモ　デバイスの名称が「不明」と表示されることがあります。

5 **［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［場所を指定］にチェックマークを付け、［次へ］をクリックします。**



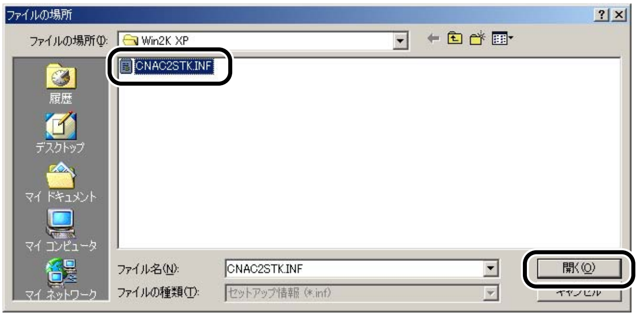
6 **付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。



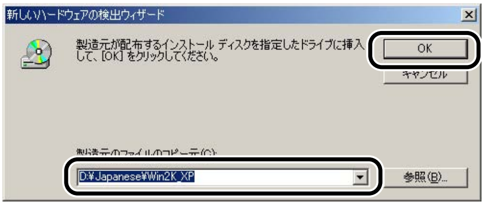
7 **［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAC2STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。**

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



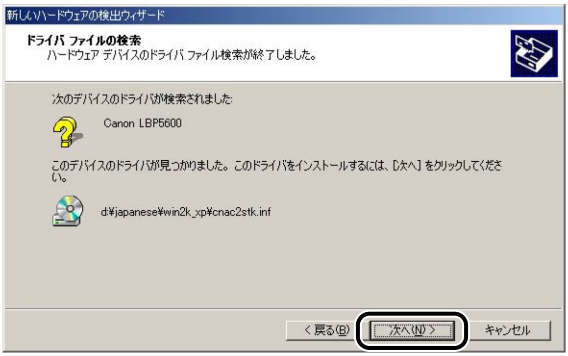
3
印刷環境を設定するには

8 ［製造元のファイルのコピー元］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。



ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

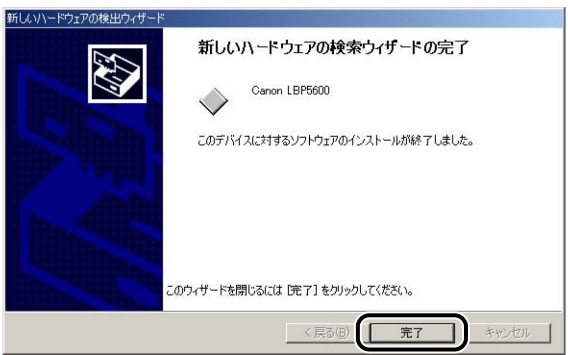
9 ［次へ］をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。
続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。



USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ　[プリンタの追加ウィザード] からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

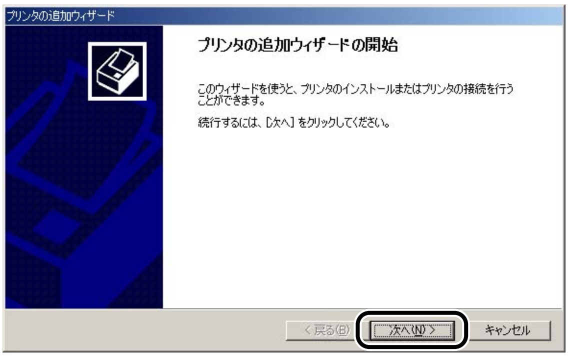
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

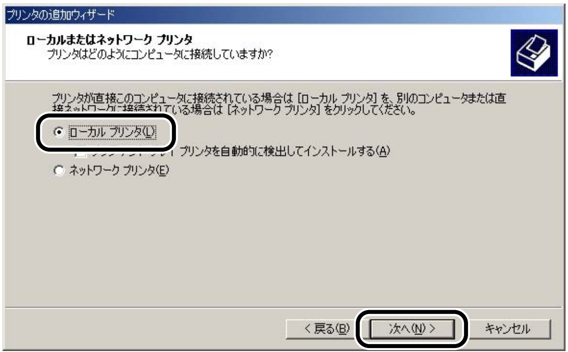
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスは、[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックして表示させることもできます。

4 [次へ] をクリックします。



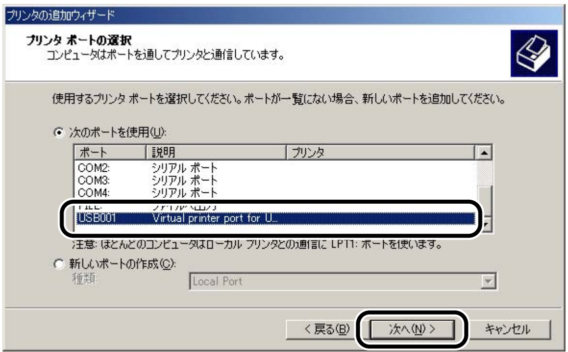
5 ［ローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。



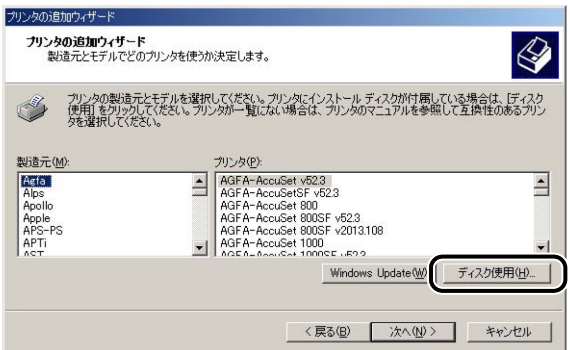
メモ

［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

6 本プリンタを接続する USB ポートを選択し、［次へ］をクリックします。

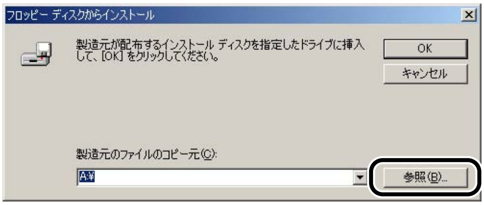


7 ［ディスク使用］をクリックします。



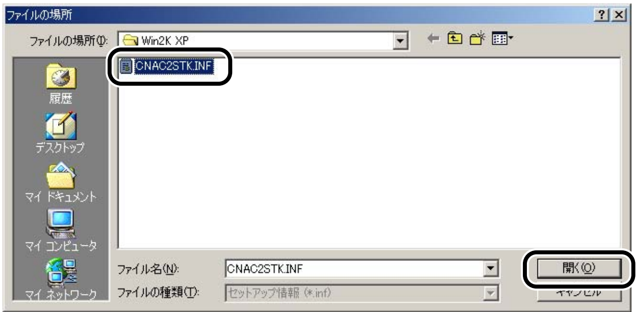
8 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。



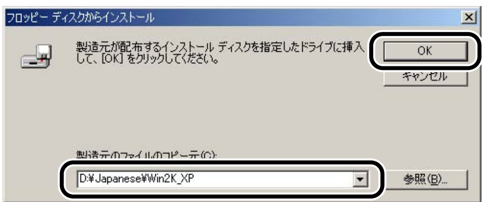
9 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAC2STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



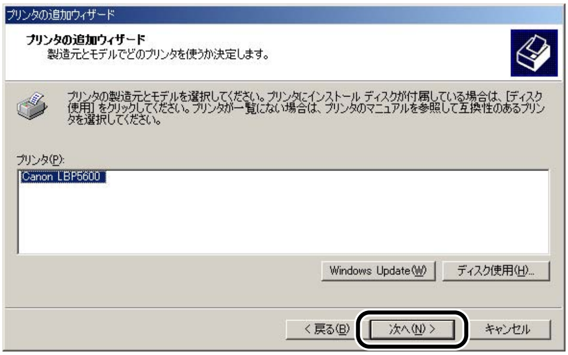
10 ［製造元のファイルのコピー元］の表示内容を確認し、［OK］をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win2K_XP］と表示されます。



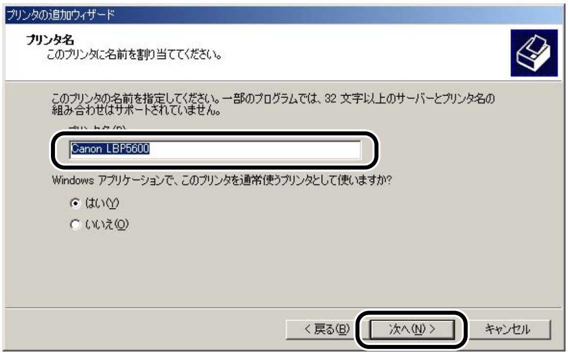
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LBP5600」が表示されます。

11 [次へ] をクリックします。

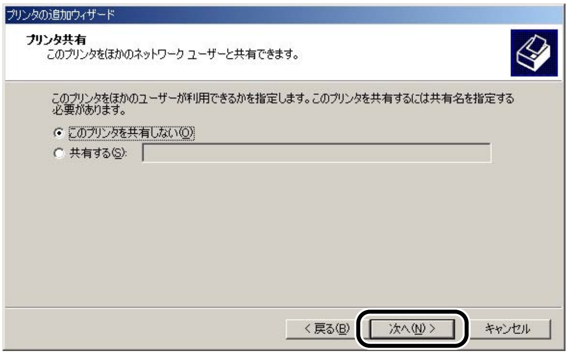


12 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して [次へ] をクリックします。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。



13 ［次へ］をクリックします。

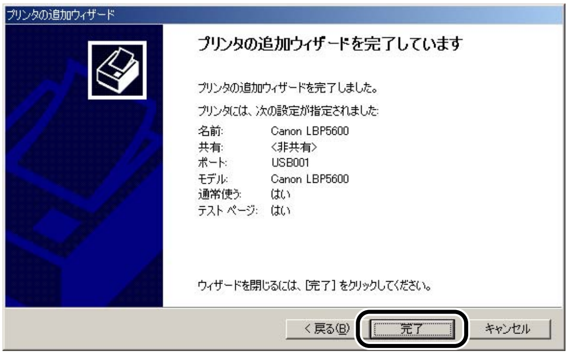


メモ　本プリンタをネットワークで共有する場合には、［共有する］を選択して［次へ］をクリックします。［場所］と［コメント］を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し［次へ］をクリックします。

14 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。



15 [完了] をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

16 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

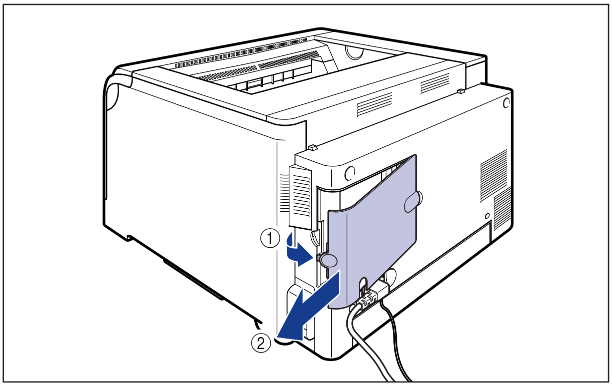
Windows XP/Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



2 プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。

重要　インストールの手順の途中（手順 13→P.3-41）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。

3 コンピュータの電源を入れ、Windows XP/Server 2003 を起動します。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

4 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

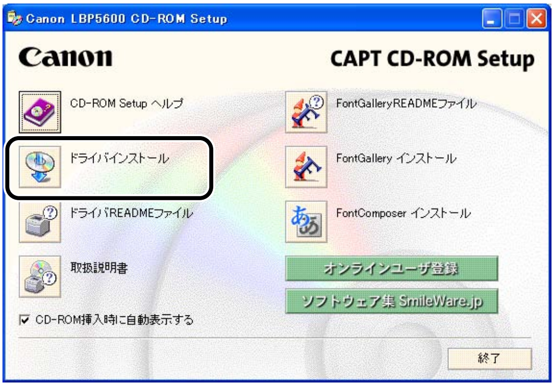
5 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要 CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥CNAC2MNU.exe」と入力し、[OK] をクリックします。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

6 [ドライバインストール] をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 言語を確認し、[はい] をクリックします。



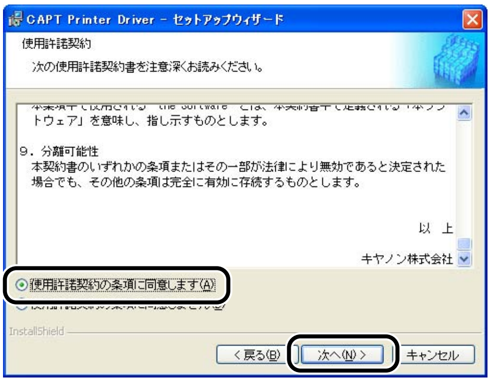
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し [セットアップウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

8 ［次へ］をクリックします。



［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

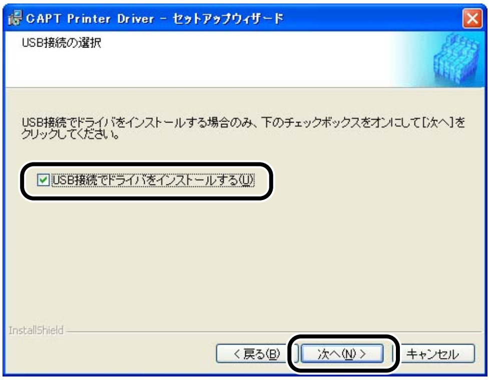
9 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



10 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



11 「USB 接続でドライバをインストールする」にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

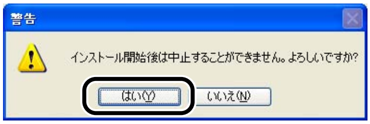


Windows XP Service Pack 2などの Windowsファイアウォール機能を持っている OSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、プリンタ共有時のクライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除するかどうかを設定します。
プリンタの共有機能を使用する場合は、［はい］をクリックします。
プリンタの共有機能を使用しない場合は、［いいえ］をクリックします。



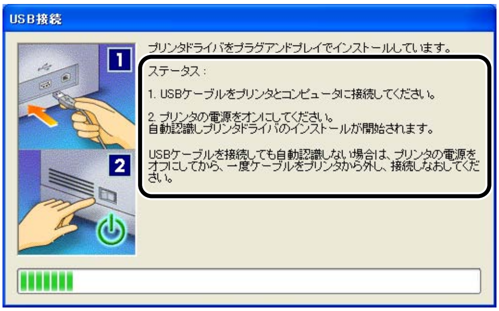
メモ　インストール後でも、付属の CD-ROM に収められている「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、Windows ファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「Windows ファイアウォール機能について」(→P.8-20)を参照してください。

12 ［インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？］というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

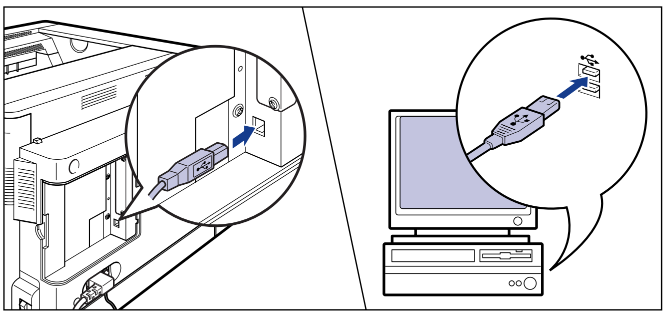


メモ　［ソフトウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

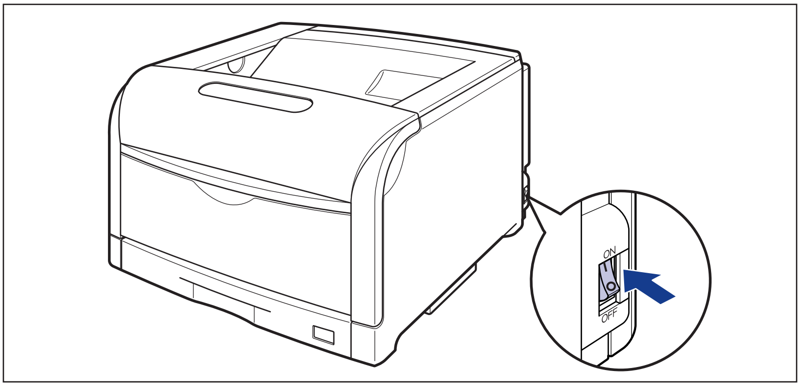
13 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。



プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。



電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

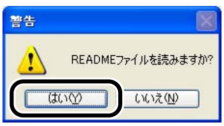


USB クラスドライバ（OS 標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ

- USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル」(→P.7-61）を参照してください。
- ［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

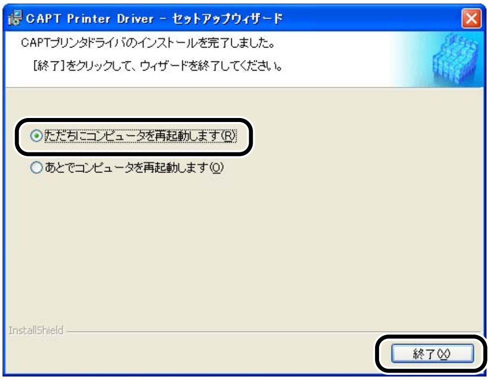
14 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



3

印刷環境を設定するには

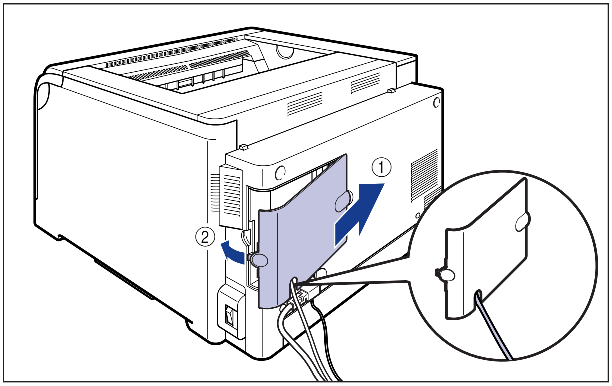
15 インストール完了の画面が表示されますので、[ただちにコンピュータを再起動します] を選択し、[終了] をクリックします。



Windows が再起動します。

16 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

2 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

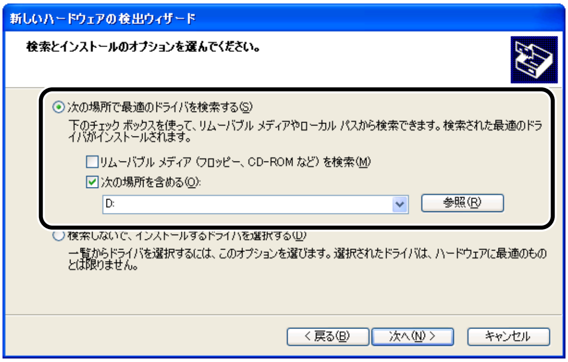
メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 **付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択して［次へ］をクリックします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。



4 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックマークを消し、［次の場所を含める］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

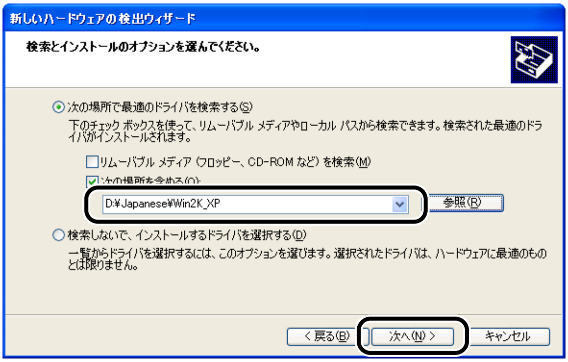


5 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



6 ［次の場所を含める］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。



インストール中の画面が表示されます。

続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

7 ［完了］をクリックします。



重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→P.8-20）

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

［プリンタの追加ウィザード］からインストールする

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ　［プリンタの追加ウィザード］からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

2 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

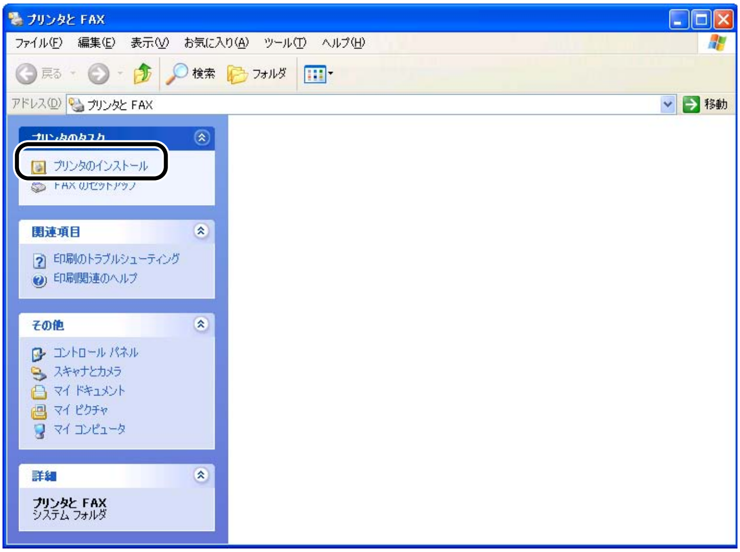
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 **［プリンタと FAX］フォルダを表示します。**

Windows XP Professional/Server 2003 の場合
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

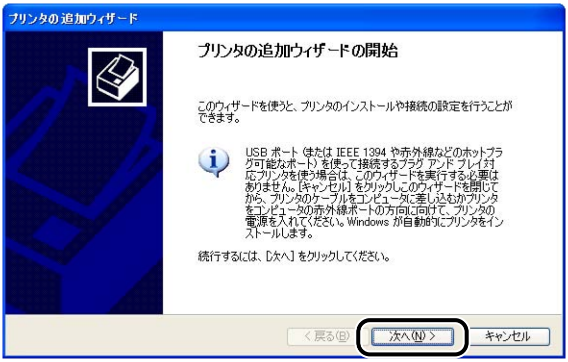
4 ［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

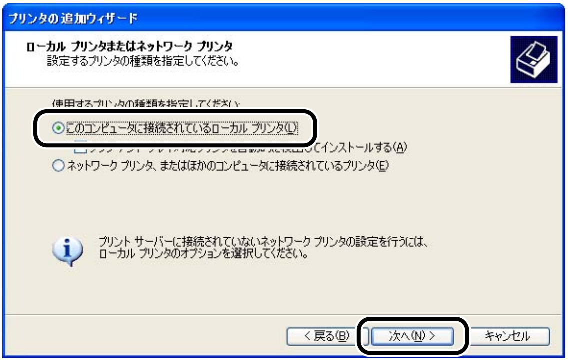


［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［次へ］をクリックします。

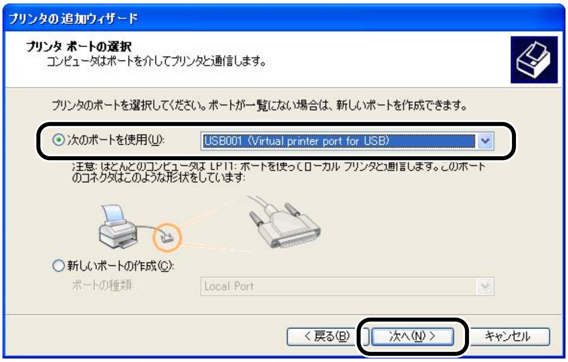


6 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

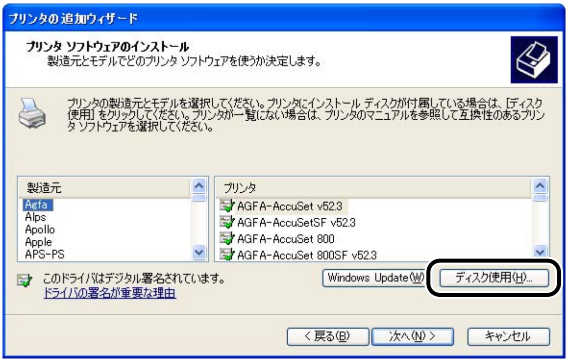


メモ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

7 ［次のポートを使用］が選択されていることを確認し、本プリンタを接続するUSBポートを選択して［次へ］をクリックします。

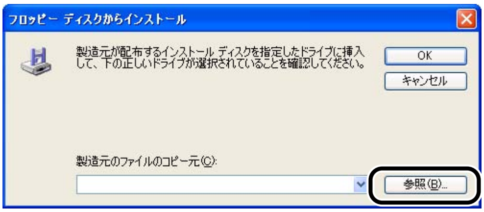


8 ［ディスク使用］をクリックします。



9 付属のCD-ROM「LBP5600 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。



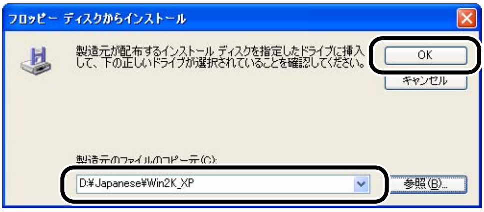
10 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAC2STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



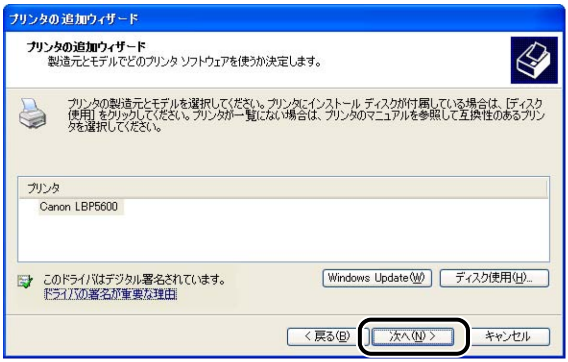
11 [製造元のファイルのコピー元] の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win2K_XP] と表示されます。



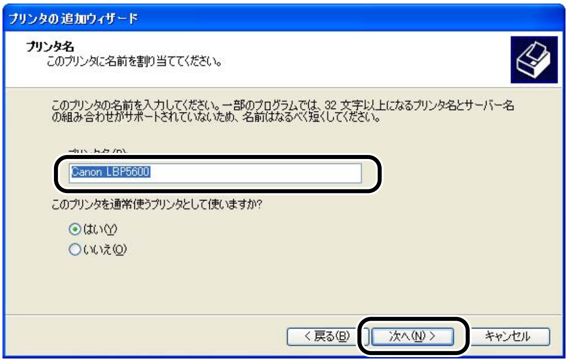
[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスに「Canon LBP5600」が表示されます。

12 [次へ] をクリックします。

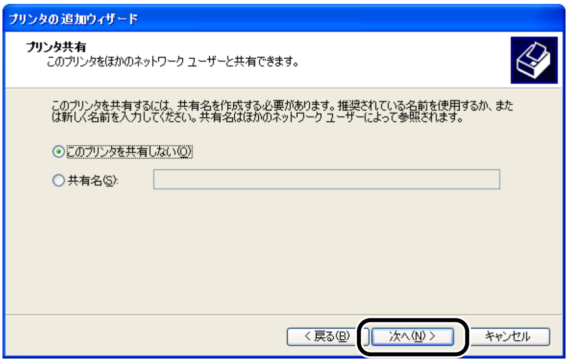


13 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して [次へ] をクリックします。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。



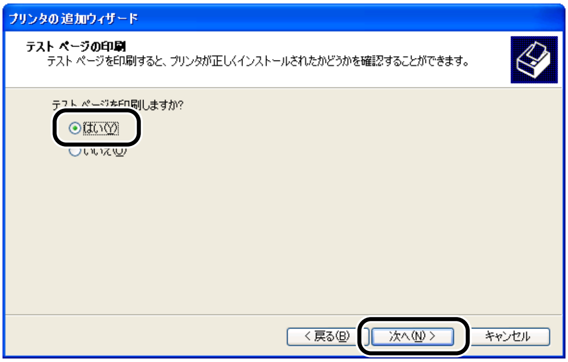
14 [次へ] をクリックします。



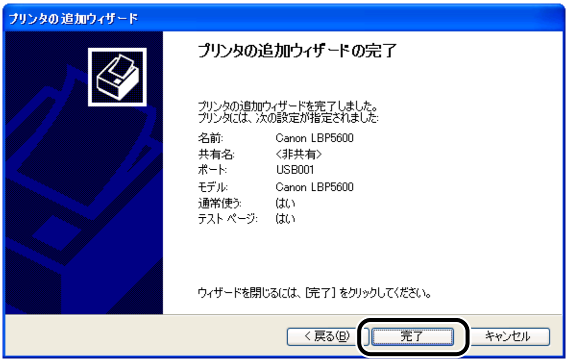
メモ

本プリンタをネットワークで共有する場合には、[共有名] を選択して [次へ] をクリックします。[場所] と [コメント] を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し [次へ] をクリックします。

15 テストページを印刷する場合は、[はい] を選択して [次へ] をクリックします。



16 [完了] をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ　[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

17 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。(→P.8-20)

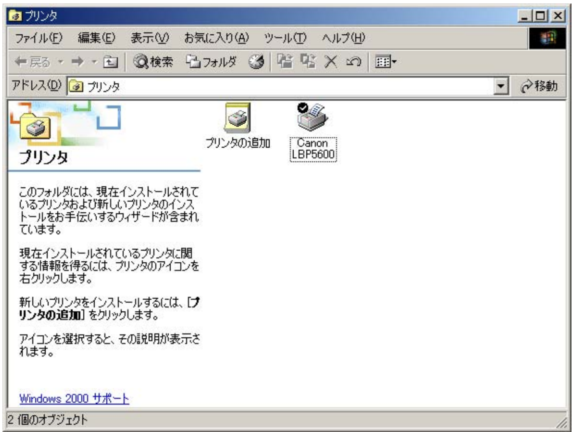
プリンタドライバのインストールが完了しました。

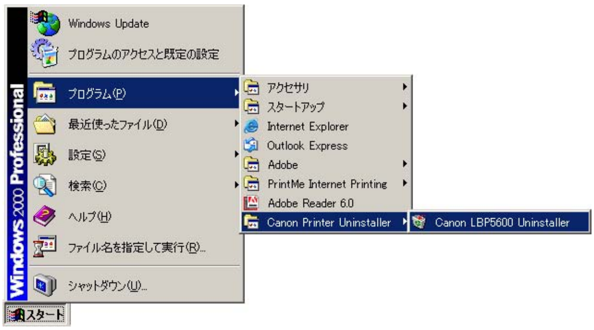
インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、以下のように本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

■ Windows 98/Me/2000 の場合

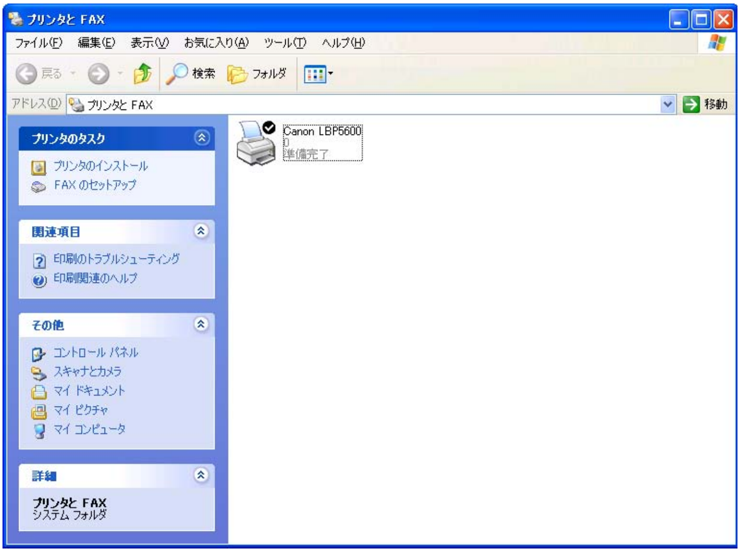
- ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。
- ［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。





■ Windows XP/Server 2003 の場合

- ［プリンタと FAX］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。
- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。





3

印刷環境を設定するには

プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずプリンタステータスプリントを印刷して動作を確認してください。プリンタステータスプリントには、プリンタのオプション設定や総印刷ページ数などのプリンタの情報が印字されます。

メモ

- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、Windows XP Professional をお使いの場合の画面で説明します。

1 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタと FAX]の順にクリックします。

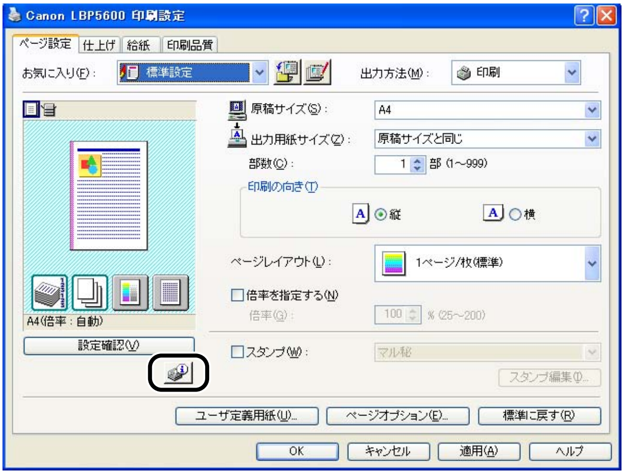


[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択します。

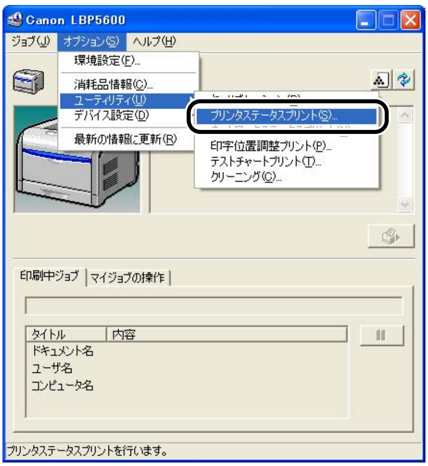
Windows 98/Me の場合は、本プリンタのアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

3 ［ページ設定］ページを表示させ、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。



メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（→P.4-79）を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］を選択します。



5 ［OK］をクリックします。



プリンタステータスプリントが印刷されます。



Canon　ステータスプリント

オプション機器	
カセット2	: あり
カセット3	: なし
カセット4	: なし
ネットワークボード	: なし
デバイス設定	
スリープ設定	
スリープモード	: 使う
スリープモード移行時間	: 30 分
キャリブレーション設定	
定刻キャリブレーションタイマー	: 使わない
キャリブレーション時刻	: 9:00
警告表示	
トナーカートリッジ交換予告	: する
ドラムカートリッジ交換予告	: する
廃トナー容器交換予告	: する
定着器交換予告	: する
自動選択	
カセット1	: する
カセット2	: する
カセット3	: する
カセット4	: する
ユーザ定義用紙の送り方向	
カセット2	: 縦送り
カセット3	: 縦送り
カセット4	: 縦送り
印刷位置調整	
手差し（トレイ）	: 0.0 mm
カセット1	: 0.0 mm
カセット2	: 0.0 mm
カセット3	: 0.0 mm
カセット4	: 0.0 mm
両面ユニット	: 0.6 mm
小サイズ紙特殊設定	
小サイズ紙特殊処理1	: 0
小サイズ紙特殊処理2	: 0
プリンタ日時	: 2005/01/19 16:42
製品名	: LBP5600
コントローラバージョン	: [illegible]
エンジンバージョン	: [illegible]
ドライババージョン	: [illegible]
USB	
ベンダーID	: 0x04a9
プロダクトID	: 0x2645
シリアルナンバー	: [illegible]
最終キャリブレーション情報	
日時	: 2005/01/19 16:42
総印刷ページ数	: 0 ページ
カウンタ	
日時	: 2005/01/19 16:42
総印刷ページ数	: 0 ページ
カラーS印刷ページ数	: 0 ページ
カラーL印刷ページ数	: 0 ページ
モノクロS印刷ページ数	: 0 ページ
モノクロL印刷ページ数	: 0 ページ
両面印刷枚数	: 0 枚
ジョブ数	: 0 ジョブ

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

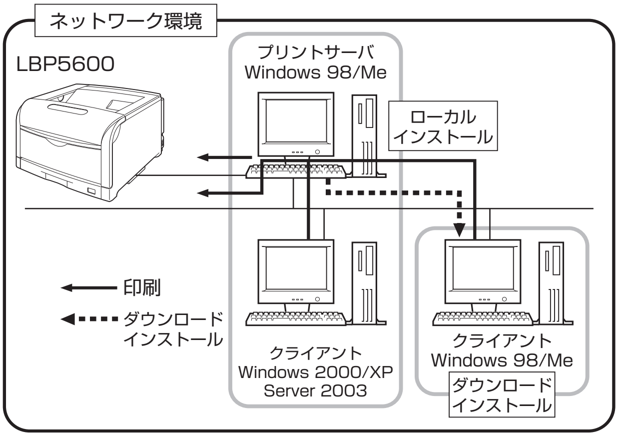
重要　ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

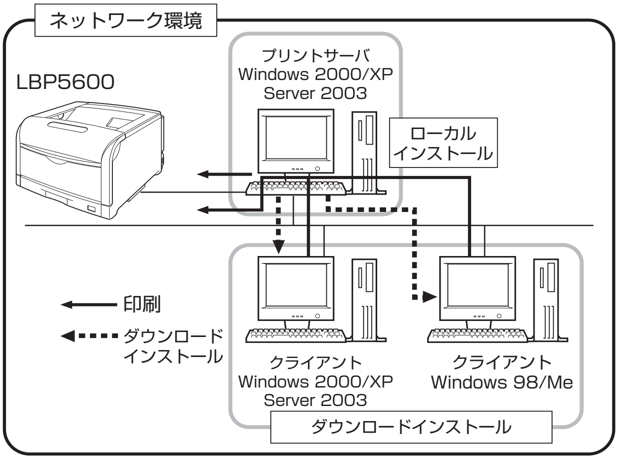
メモ　プリンタステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第7章 困ったときには」を参照してください。

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する

プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有としてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータをプリントサーバ、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータをクライアントと呼びます。





プリントサーバ環境を使用する場合は次の設定を行ってください。

	設定内容	参照先
1	**プリントサーバへのプリンタドライバをインストールする**	
	・プリンタとプリントサーバを USB ケーブルで接続している場合	→P.3-4
	・オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとプリントサーバを LAN ケーブルで接続している場合	→ ネットワークガイド／本編
2	**プリントサーバの設定**	
	・Windows 98/Meの場合	→P.3-60
	・Windows 2000/XP/Server 2003 の場合	→P.3-64
3	**クライアントへのインストール**	→P.3-71

メモ　プリントサーバ、クライアントは共に、Windows 98/Meまたは Windows 2000/XP/Server 2003 の OS が動作している必要があります。

プリントサーバの設定

Windows 98/Me の場合

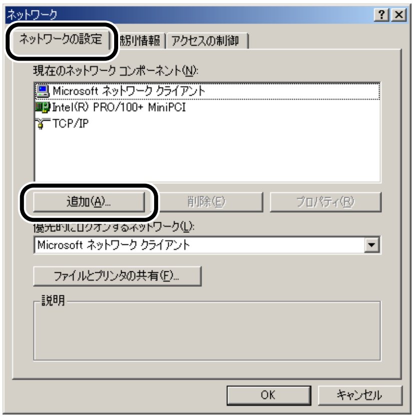
メモ　ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

■プリンタの共有設定の準備

1 **［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］アイコンの順にダブルクリックします。**

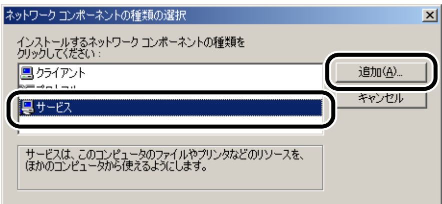
［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［ネットワークの設定］ページを表示して、［追加］をクリックします。

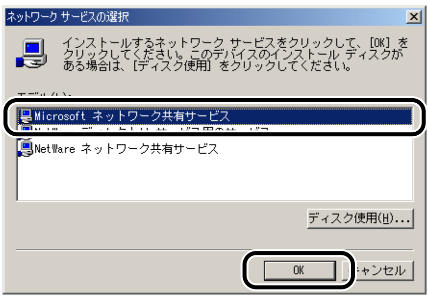


［ネットワークコンポーネントの選択］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［サービス］アイコンを選択し、［追加］をクリックします。

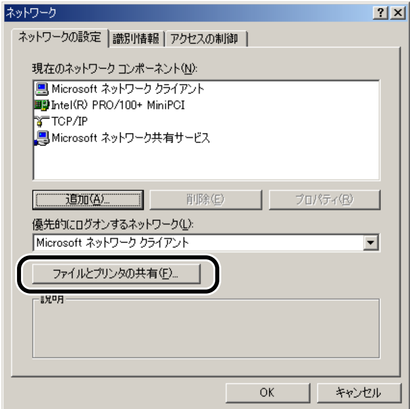


4 ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。

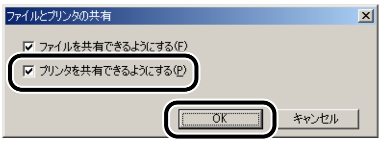


［ネットワークコンポーネントの種類の選択］ダイアログボックスが一度表示され、［ネットワーク］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

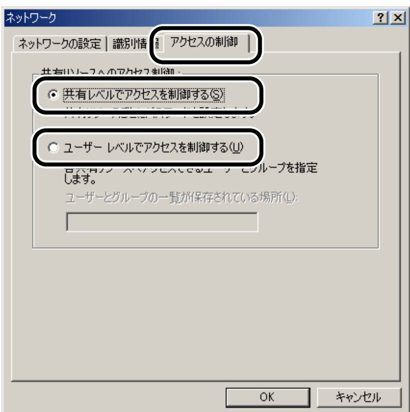


6 ［プリンタを共有できるようにする］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。



7 ［アクセスの制御］ページを表示して、［共有レベルでアクセスを制御する］または［ユーザーレベルでアクセスを制御する］のどちらかを選択します。

印刷できるユーザを指定したいときは、［ユーザーレベルでアクセスを制御する］を選択します。



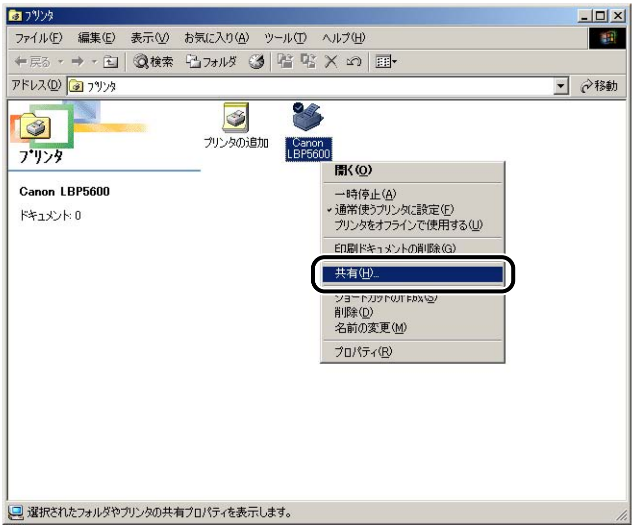
8 ［OK］をクリックし、Windows を再起動します。

■プリンタの共有設定

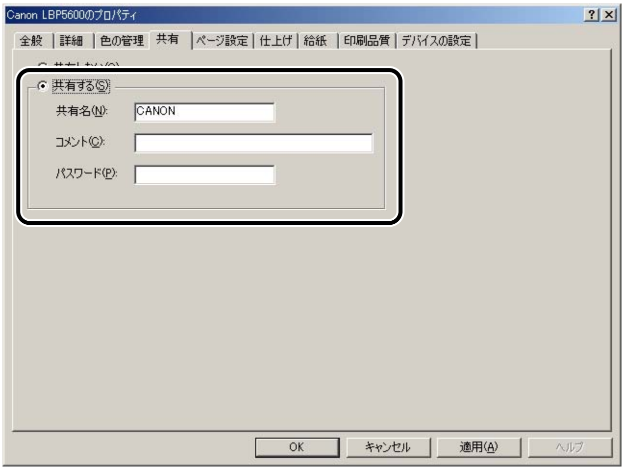
1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［共有］を選択します。



3 [共有する] を選択します。必要に応じて [共有名] を変更し、[コメント]、[パスワード] を入力します。

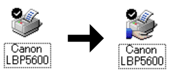


メモ

- 「ネットワークの設定」の手順 7 (➞P.3-62) で、[ユーザーレベルでアクセス制御する] を選択している場合は、[追加] をクリックしてプリンタを使用するユーザを選択します。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 [OK] をクリックします。

プリンタアイコンが、プリンタ共有アイコンに変更されます。



Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

メモ

ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

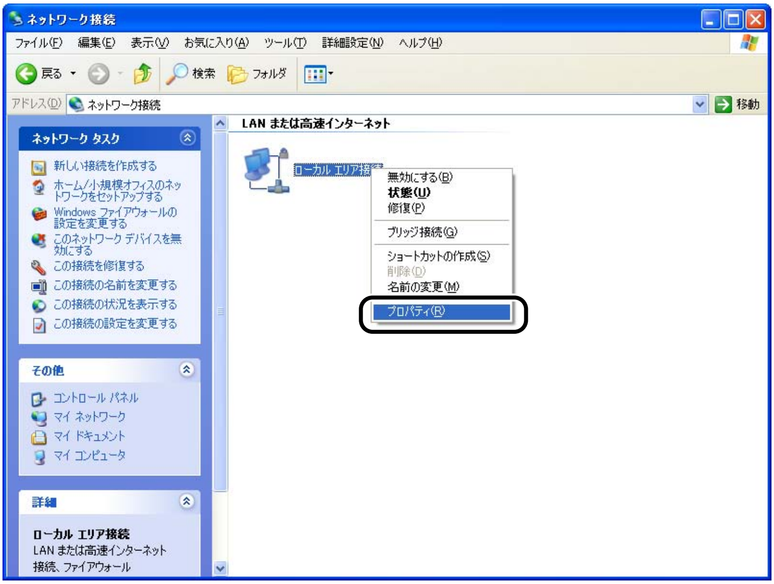
■プリンタの共有設定の準備

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] ➞ [ネットワーク接続] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➞ [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] ➞ [ネットワーク接続] ➞ [ローカルエリア接続] ➞ [プロパティ] を選択し、手順 3 へ進みます。

Windows 2000 の場合は、[ネットワークとダイヤルアップ接続] フォルダが表示されます。
Windows XP の場合は、[ネットワーク接続] フォルダが表示されます。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。



［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。



■プリンタの共有設定

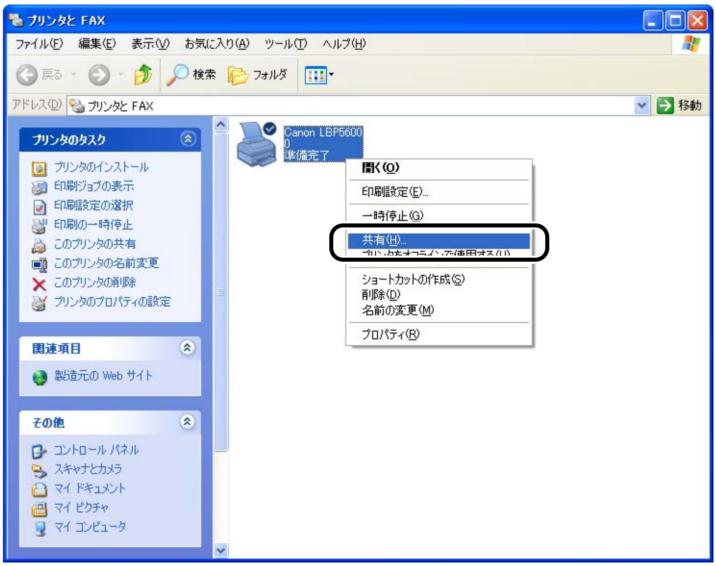
メモ　Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、[ネットワークセットアップウィザード] を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

1 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➡ [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➡ [プリンタと FAX] の順にクリックします。

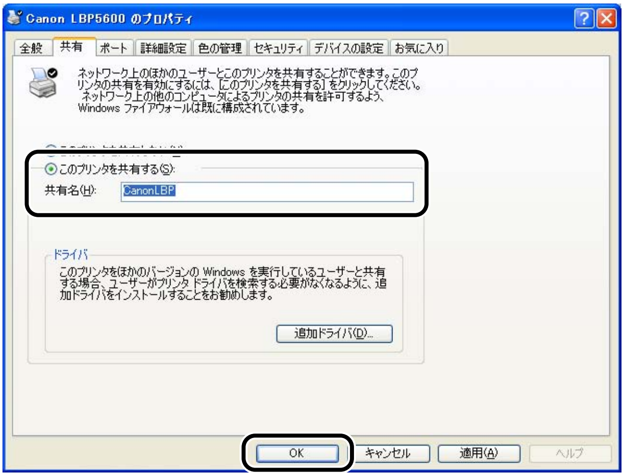
[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [共有] を選択します。



3 ［このプリンタを共有する］を選択します。必要であれば共有名を変更します。

Windows 2000 の場合は［共有する］を選択します。



メモ

- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 クライアントでWindows 98/Meを使用しているユーザがいる場合は、［追加ドライバ］をクリックします。

クライアントで Windows 98/Me を使用しているユーザがいない場合は、［OK］をクリックします。プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更され、プリンタの共有設定が終了します。



［追加ドライバ］ダイアログボックスが表示されます。

5 [Windows 95、98 および Me] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[Windows 95 または 98] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

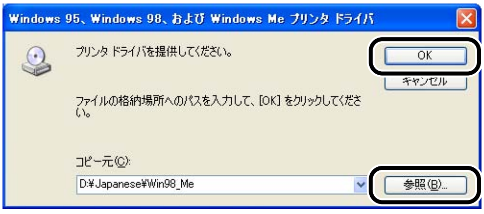
Windows Server 2003 の場合は、[Windows 95、Windows 98、または Windows Millennium Edition] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。



6 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

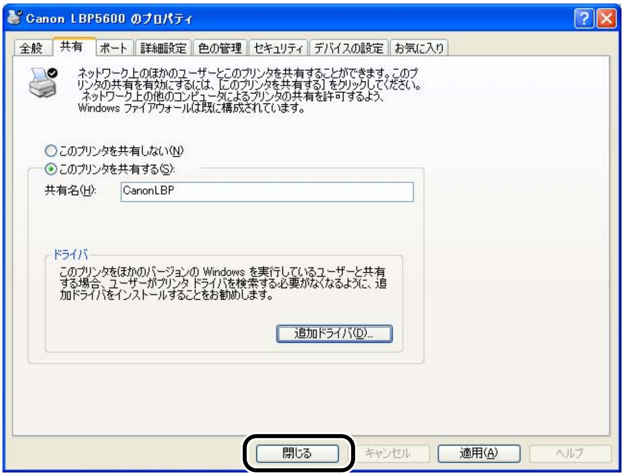
[ディスクの挿入] ダイアログボックスが表示された場合は、[OK] をクリックします。

7 [参照] をクリックし、CD-ROM ドライブが [D:] のときは、[D:¥Japanese ¥Win98_Me] を選択し、[OK] をクリックします。

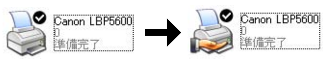


ファイルのコピーがはじまります。

8 ［閉じる］をクリックします。



プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。



重要 プリンタの共有設定を解除するには、［共有］ページで［このプリンタを共有しない］（Windows 2000 は［共有しない］）を選択します。その際、Windows XP Service Pack 2 などのWindows ファイアウォール機能を持っているOS でプリンタの共有設定を解除した場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、Windows ファイアウォールに登録されている設定を削除する必要があります。（➞P.8-20）

■Windows ファイアウォール機能の設定

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する必要があります。

以下の方法で、Windows ファイアウォールのブロックが解除されていることを確認してください。

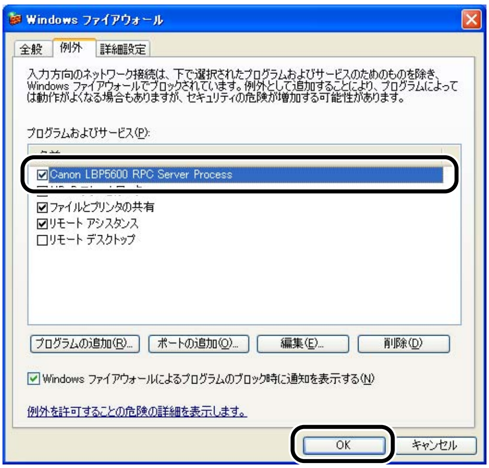
- CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールしたときに、［警告］ダイアログボックスが表示されます。



・［はい］を選択した場合は、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックは解除されています。

・［いいえ］を選択した場合は Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されていますので、以下の方法でブロックを解除してください。

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
2. ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［Canon LBP5600 RPC Server Process］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。



- CD-ROM Setup 以外の方法で CAPT ソフトウェアをインストールした場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞P.8-20）

クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストール方法には、ローカルインストールとダウンロードインストールがあります。

■ **ローカルインストール（→P.3-72）**

付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールします。

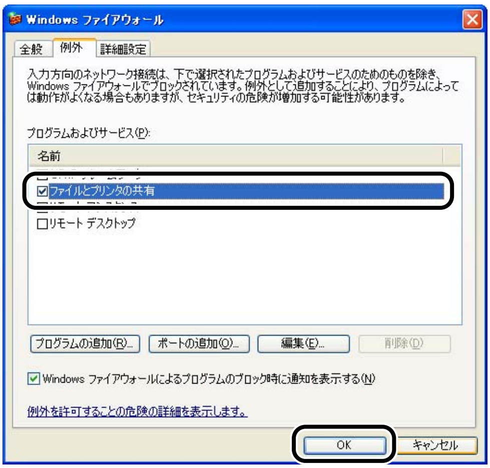
■ **ダウンロードインストール**

付属の CD-ROM を使わずに、プリントサーバからプリンタドライバをダウンロードしてインストールします。ダウンロードインストールには以下の 2 種類があります。

- ［プリンタの追加ウィザード］からインストールする（→P.3-77）
- ［エクスプローラ］からインストールする（→P.3-81）

重要

- Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ずAdministrators のメンバとしてログオンしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合、以下の設定を行ってください。クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。
  1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］→［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
  2. ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。



メモ

- クライアントは、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 のどちらでも利用できます。
- プリントサーバが Windows 98/Me の場合、Windows 2000/XP/Server 2003 へのダウンロードインストールはできません。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

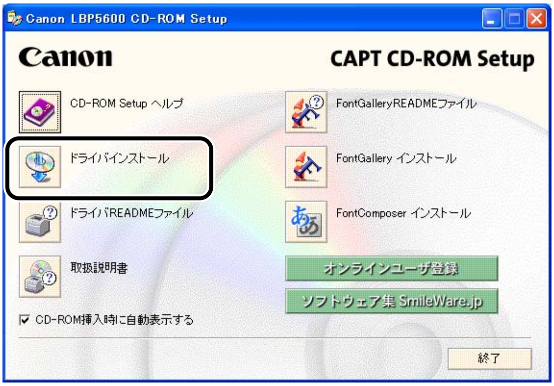
1 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要　CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥CNAC2MNU.exe」と入力し、[OK] をクリックします。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

2 [ドライバインストール] をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

3 言語を確認し、[はい] をクリックします。



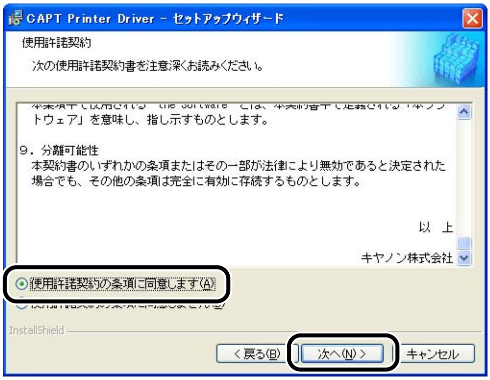
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、[セットアップウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。



［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

5 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



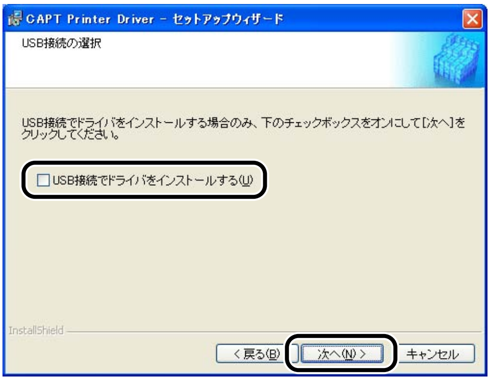
3

印刷環境を設定するには

6 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



7 ［USB接続でドライバをインストールする］にチェックマークが付いている場合は、チェックマークを外してから、［次へ］をクリックします。



メモ　［USB 接続でドライバをインストールする］は選択しないでください。

8 ［ポートの設定］の［ネットワーク］を選択して、［設定］をクリックします。



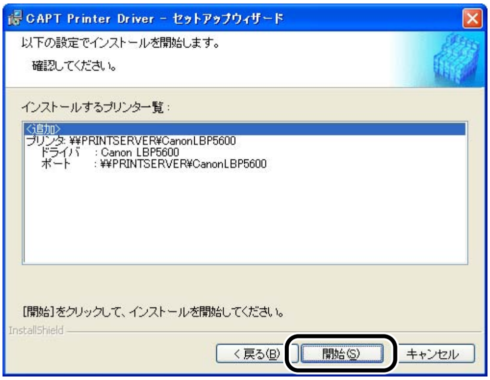
9 プリントサーバの中の共有されたプリンタのアイコンを選択して、［OK］をクリックします。



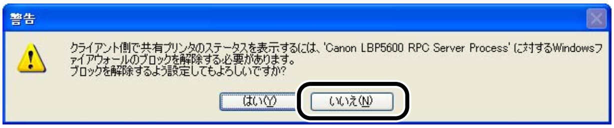
10 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。



11 ［開始］をクリックします。

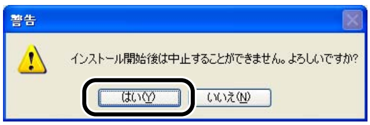


Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、［いいえ］をクリックします。



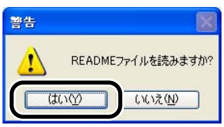
［はい］は、インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合にのみ選択してください。

12 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

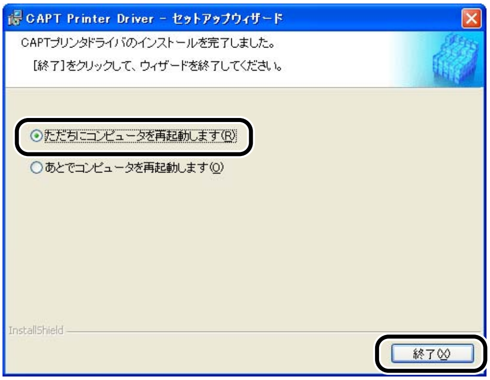


プリンタドライバのインストールが開始されます。

13 「READMEファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、READMEファイルの内容を確認したあと閉じます。



14 インストール完了の画面が表示されますので、[ただちにコンピュータを再起動します］を選択し、[終了］をクリックします。



Windows が再起動します。

重要　Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(→P.8-20)

［プリンタの追加ウィザード］からインストールする

1 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］の順にクリックします。

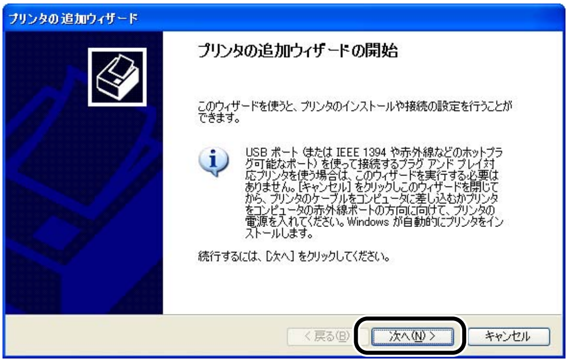
［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 ［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
Windows XP Professional/Home Edition の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

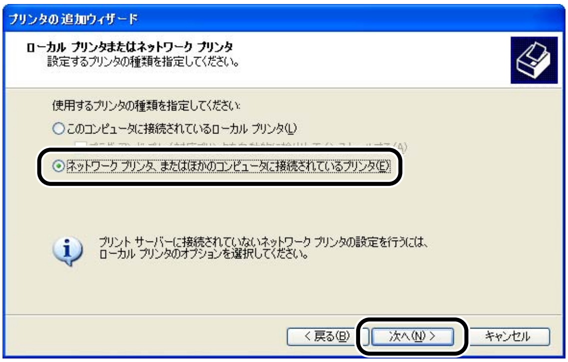
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

3 [次へ] をクリックします。



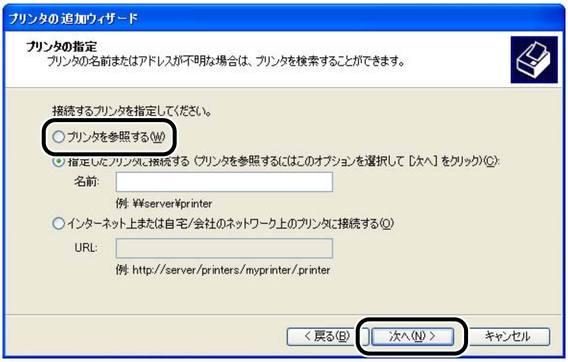
4 [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合は、[ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。



5 ［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98/Me の場合は、［参照］をクリックします。



6 プリントサーバのディレクトリを選択して、［次へ］をクリックします。



Windows 98/Me の場合は、手順 8 へ進みます。

7 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。



8 ［完了］をクリックします。



重要 Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。（→P.8-20）

メモ ［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

［エクスプローラ］からインストールする

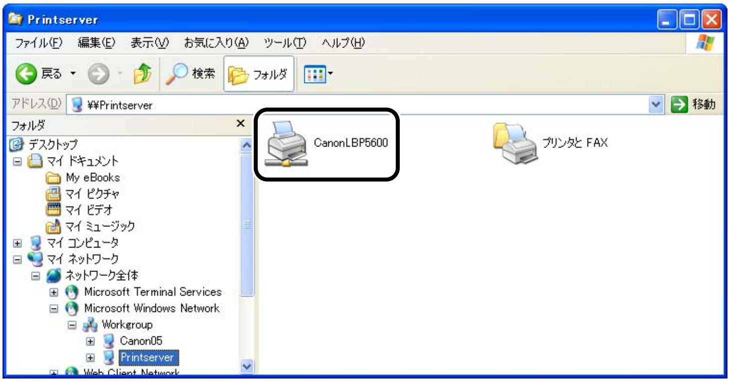
1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［エクスプローラ］を選択します。**

Windows Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［エクスプローラ］を選択します。
Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［エクスプローラ］を選択します。

［エクスプローラ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［マイ　ネットワーク］（Windows 98 の場合は［ネットワークコンピュータ］）からプリントサーバを選択し、本プリンタのアイコンをダブルクリックします。**

または、本プリンタのアイコンを［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップします。



3 **画面の指示に従って操作してください。**

重要

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。（➞P.8-20）

CAPT ソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

重要
- プリンタドライバが Administrators の権限で Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータを使用している場合、［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに本プリンタが登録されています。アンインストーラで CAPT ソフトウェアのアンインストールを行なうことで、［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページの本プリンタの設定も削除されます。

1 **次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。**

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

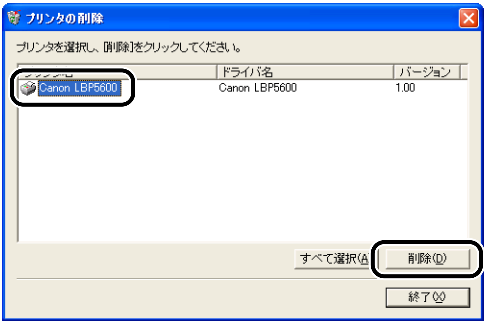
2 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP5600 Uninstaller］を選択します。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP5600 Uninstaller］を選択します。



［プリンタの削除］ダイアログボックスが表示されます。

3 本プリンタを選択し、［削除］をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

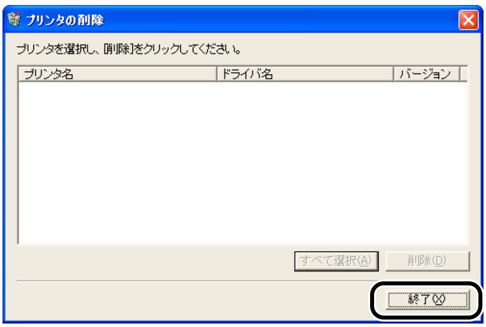
メモ ［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに［Canon LBP5600］が表示されていない場合でも、［削除］ボタンをクリックすると本プリンタに関連するファイルおよび情報を削除することができます。

4 ［はい］をクリックします。



アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。



［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。

メモ アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」(→P.7-62) を参照してください。

印刷するには

4
CHAPTER

この章では、印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。

印刷前のプリンタ情報設定

印刷前に、ペーパーフィーダの設定をしてください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

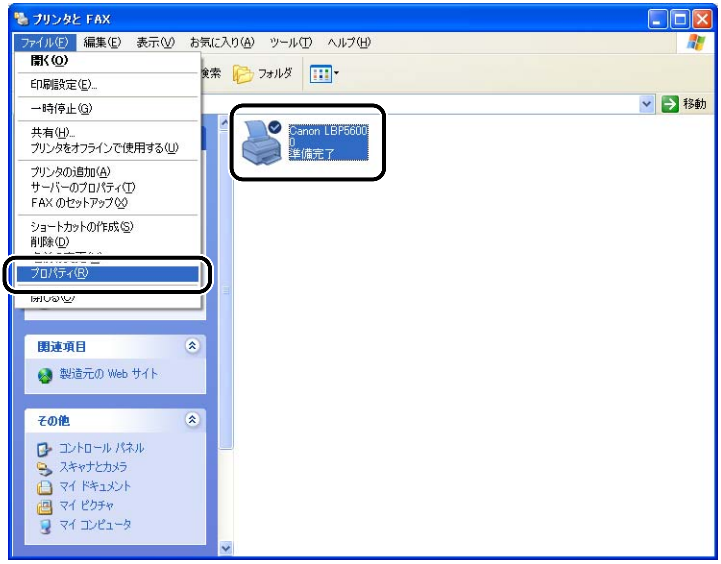


［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

4

印刷するには

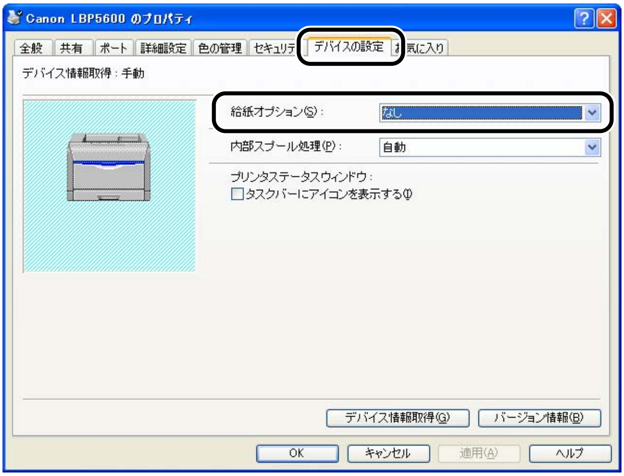
2 本プリンタのアイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。



[プリンタプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

メモ [プリンタプロパティ] ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択しても表示できます。

3 ［デバイスの設定］ページを表示して、［給紙オプション］を設定します。



メモ　［デバイス情報取得］をクリックして、ペーパーフィーダなどのデバイス情報を自動的に取得することもできます。

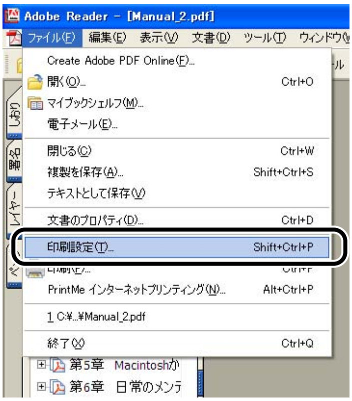
4 ［OK］をクリックします。

アプリケーションソフトから印刷する

CAPT ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。
ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

1 手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。（手差しトレイから印刷する →P.2-71、給紙カセットから印刷する →P.2-18）

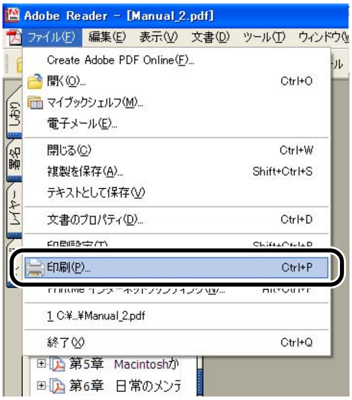
2 印刷する PDF ファイルを Adobe Reader で開き、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。



3 印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定して［OK］をクリックします。

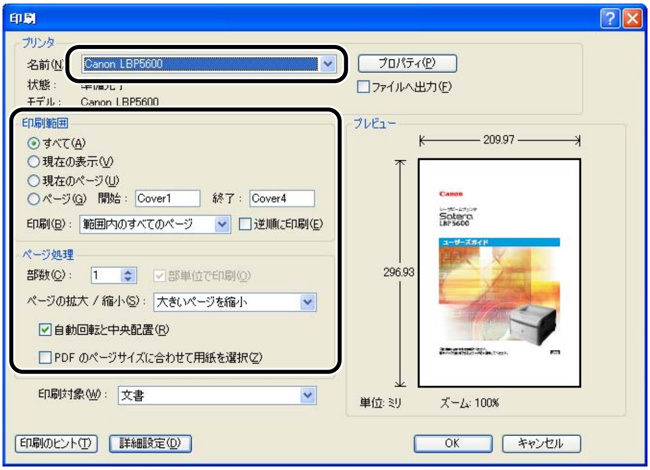


4 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。



［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

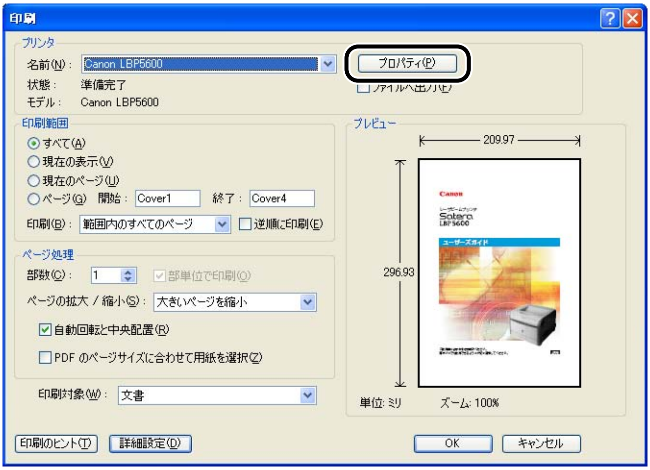
5 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、印刷条件を設定します。



メモ　ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 の場合は、［プリンタ］フォルダ）で変更することができます。

4
印刷するには

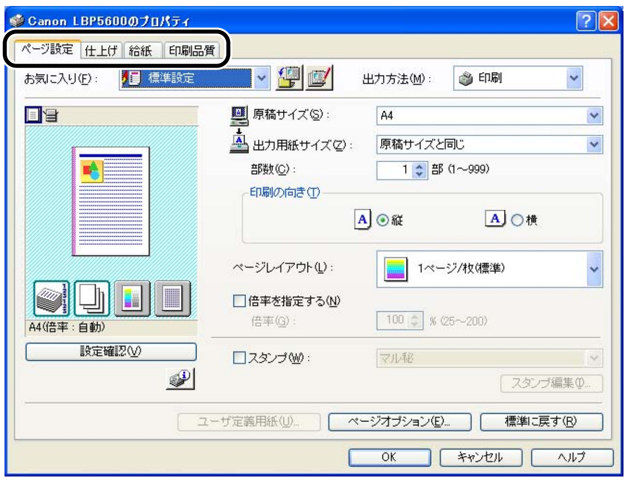
6 さらに詳しい印刷条件を設定したい場合は、[プロパティ] をクリックします。



[Canon LBP5600 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　ドキュメントプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

7 [ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] の各ページで印刷条件を設定します。



メモ

- ここで設定した内容は、現在開いているファイルに対してのみ有効です。ドキュメントプロパティの内容は、印刷するたびに確認してください。特に、［ページ設定］ページと［給紙］ページの内容を確認することをおすすめします。
- すべてのファイルに対しての初期設定は、以下のダイアログボックスで行うことができます。
  - Windows 98/Meの場合：［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを開いて行います。（➞［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する：P.4-12）
  - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合：［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを開いて行います。（➞［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する：P.4-15）

8 きれいに印刷をしたいときは、［印刷品質］ページを表示して、［印刷品質］で［きれい］を選択します。

［標準］を選択したときよりも印刷時間はかかりますが、きれいに印刷することができます。



9 ［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

10 ［OK］をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ

- 正常に印刷できないときは、「第 7 章　困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」（➞P.4-21）では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

印刷条件を設定する

LBP5600 では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示させ、それぞれのダイアログボックスにある各ページの機能を設定します。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

Windows 98/Me の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

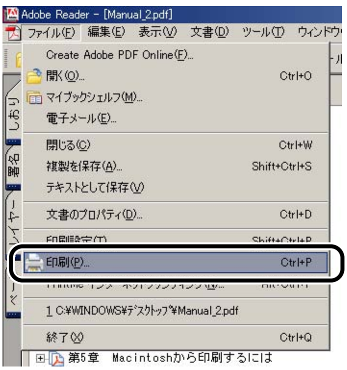
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタの各種設定をしたり、すべてのジョブに対しての初期設定を指定したりすることができます。

メモ プリンタの各種設定をする［デバイスの設定］ページは、「［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」（→P.4-12）の手順でのみ表示可能です。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

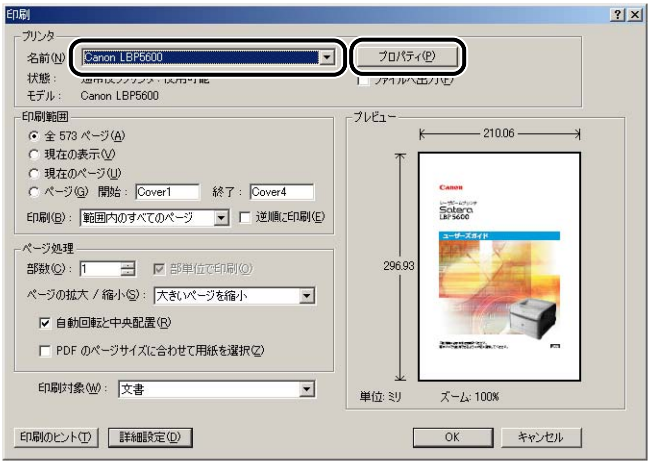
1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**



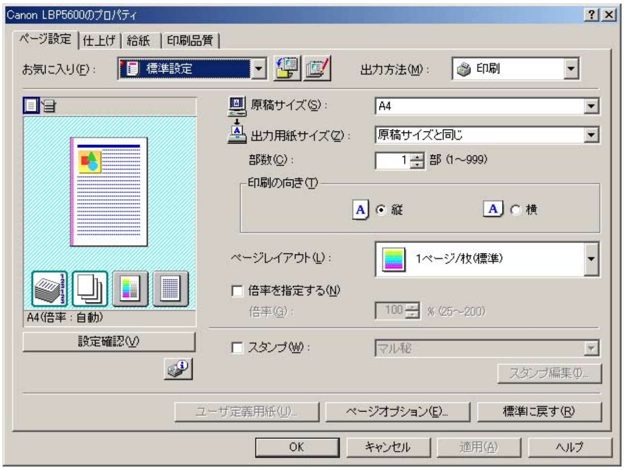
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

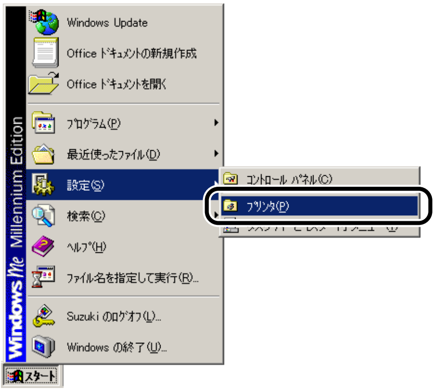


［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



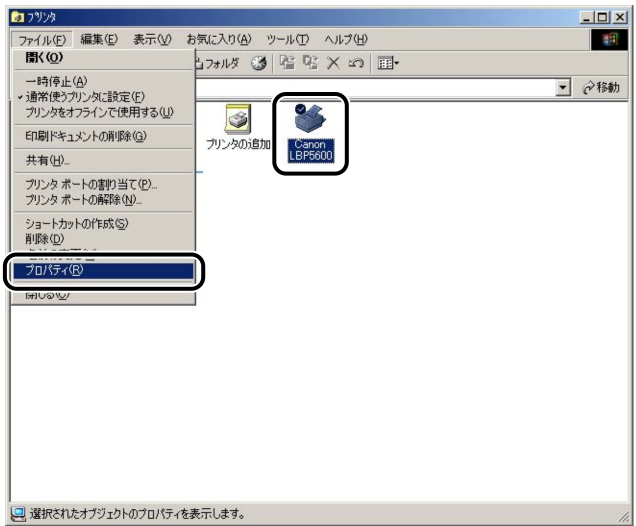
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

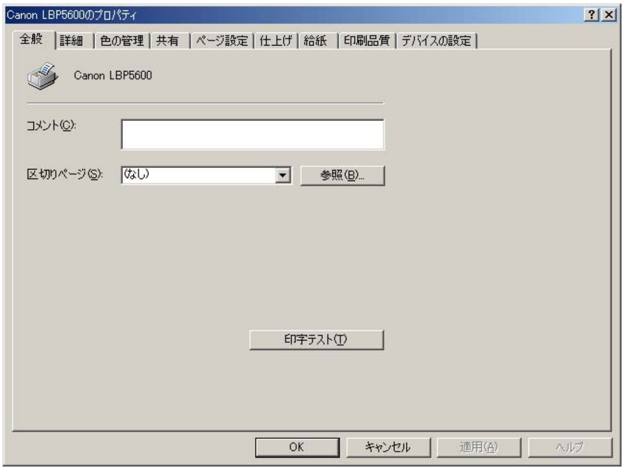


［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべてのジョブに対しての初期設定を指定することができます。
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタの各種設定やよく使う機能をお気に入りとして登録することができます。

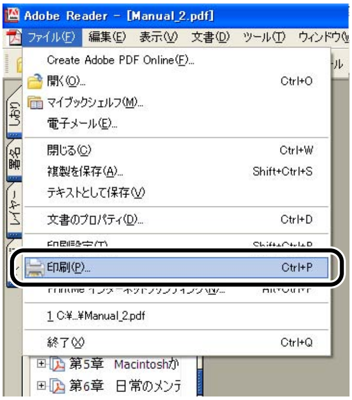
メモ

- ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの設定は、プリンタのフルコントロールアクセス権を持っている必要があります。［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトから表示してください。
- プリンタの各種設定をする［デバイスの設定］ページは、「［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」（→P.4-17）の手順でのみ表示可能です。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

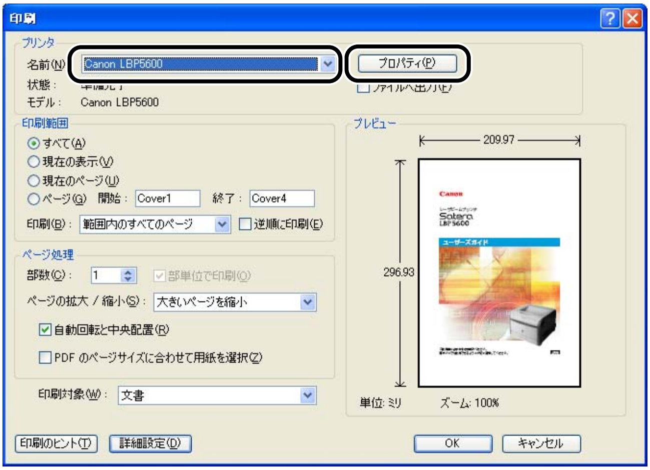
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。



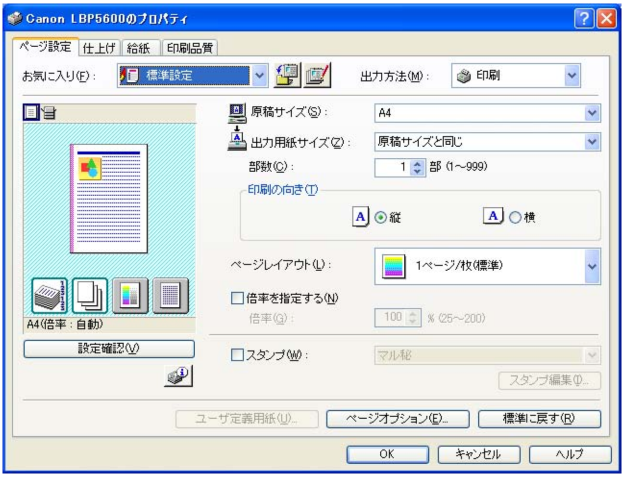
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 プリンタ名を確認し、［プロパティ］をクリックします。



［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

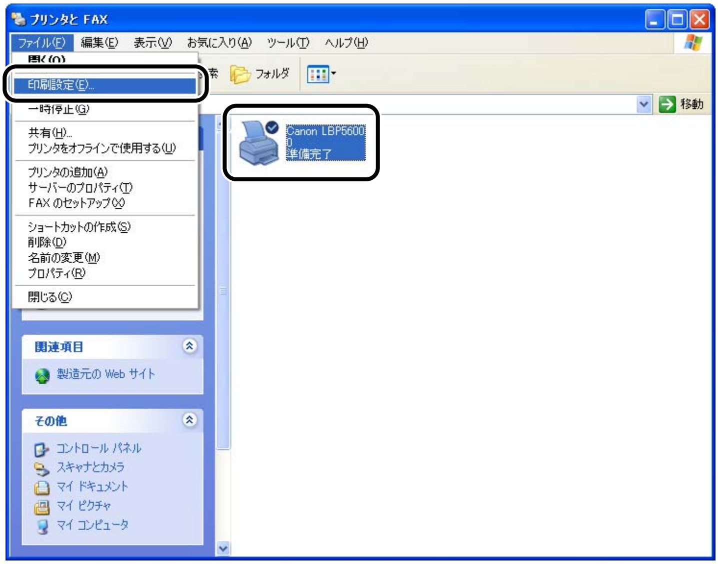
1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

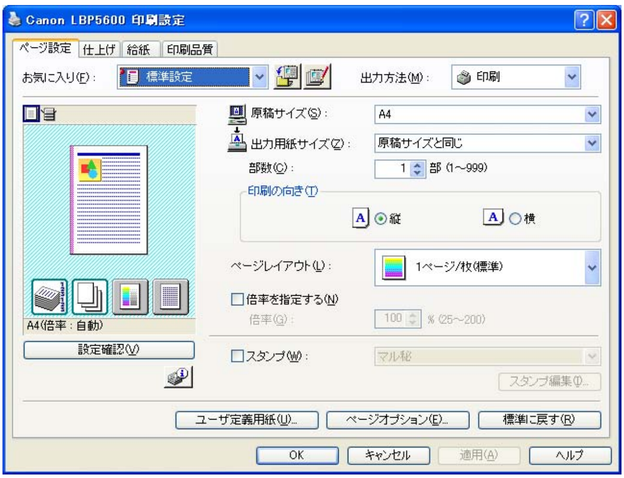


［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから、［印刷設定］を選択します。



［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



メモ　［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても表示できます。

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

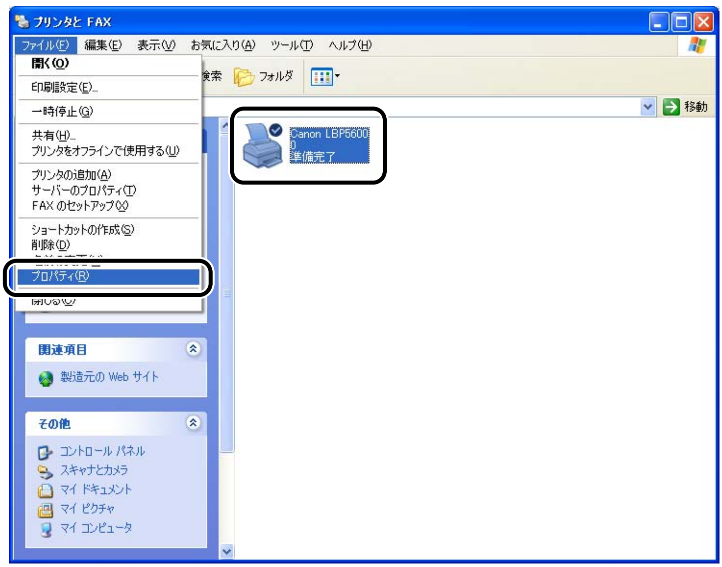
1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

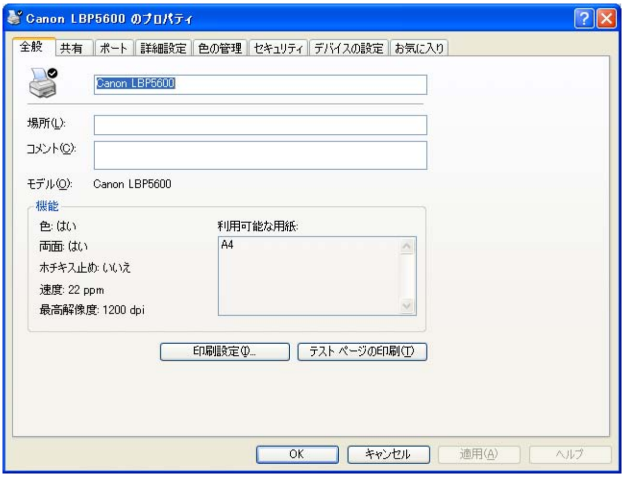


［プリンタ FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



メモ

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

印刷を中止／一時停止／再開する

本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。

1 **印刷を開始します。**

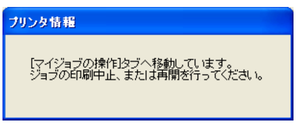
プリンタステータスウィンドウが表示されます。

メモ　プリンタステータスウィンドウの［環境設定］メニューの［プリンタステータスウィンドウの表示］の設定によっては、プリンタステータスウィンドウが表示されない場合があります。（➞ 環境設定メニューについて：P.4-82）

2 **印刷の中止や一時停止をする場合は、［印刷中ジョブ］タブもしくは［マイジョブの操作］タブの［一時停止］ボタンをクリックします。**



［印刷中ジョブ］タブの［一時停止］ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示され、［マイジョブの操作］タブに移動します。



3 ［ジョブ操作］ボタンで行いたい操作のボタンをクリックします。



● **印刷を中止する**

❑ ［ ］（印刷中止）をクリックします。

● **印刷を一時停止する**

❑ ［ ］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

❑ ［ ］（再開）をクリックします。

いろいろな印刷機能を使用する

プリンタドライバのページについて

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページのタブをクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

■ Windows 98/Me の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［詳細］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［色の管理］ページ
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
  - ・［デバイスの設定］ページ

■ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［ポート］ページ

- ［詳細設定］ページ
- ［色の管理］ページ
- ［セキュリティ］ページ
- ［デバイスの設定］ページ
- ［お気に入り］ページ

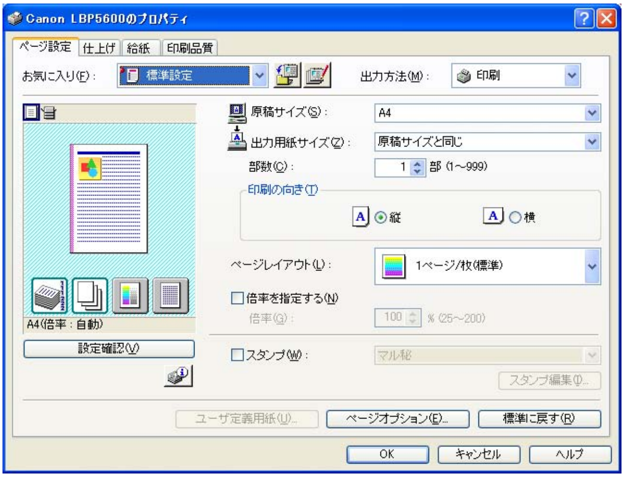
メモ

操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは次の方法で表示できます。表示したオンラインヘルプを閉じるときはオンラインヘルプ内をクリックします。

- コンピュータのキーボードの［Tab］キーを押して表示させたい項目を選択し、［F1］キーを押します。
- 表示させたい項目を右クリックし、ポップアップメニューの［ヘルプ］をクリックします。
- ［タイトルバー］の［?］（ヘルプ）をクリックし、［?］のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。

［ページ設定］ページ

［ページ設定］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 原稿サイズ

［原稿サイズ］プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる［原稿サイズ］は以下のとおりです。

- 定形サイズの用紙（A0 サイズ～ A5 サイズ、12 × 18 サイズ～エグゼクティブサイズ）
- はがき（はがき、往復はがき、4 面はがき）
- 封筒（洋形 4 号、洋形 2 号、角形 2 号）
- ユーザ定義用紙、長尺紙（➞P.4-52）

メモ　［原稿サイズ］でプリンタで使用できる用紙サイズより大きい用紙を設定し、［出力用紙サイズ］で［原稿サイズと同じ］を選択した場合、A0、A1、A2 サイズは A3 用紙に、B1、B2、B3 サイズは B4 用紙に縮小されて印刷されます。

■ 出力用紙サイズ

［出力用紙サイズ］プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

選択できる［出力用紙サイズ］は以下のとおりです。

- 原稿サイズと同じ
- 定形サイズの用紙（A3 サイズ～ A5 サイズ、12 × 18 サイズ～エグゼクティブサイズ）
- はがき（はがき、往復はがき、4 面はがき）
- 封筒（洋形 4 号、洋形 2 号、角形 2 号）
- ユーザ定義用紙、長尺紙（➞P.4-52）

メモ

- ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
- ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。

- アプリケーションソフトで複数の用紙サイズが設定されているデータを印刷する場合、プリンタドライバの［出力用紙サイズ］で特定の用紙サイズを指定すると、［出力用紙サイズ］で指定された用紙サイズに統一されて印刷されます。
- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］ページで設定する必要はありません。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力します。設定できる部数は、1 ～ 999 部です。

■ 印刷の向き

印刷する用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。

［印刷の向き］で［縦］または［横］をクリックします。

4

印刷するには

■ ページレイアウト（→P.4-42）

- N ページ／（枚）
  1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。
  選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。
  2、4、6、8、9、16 ページ／枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示され、ページを並べる順番を選択できます。
- ポスター
  1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。
  選択できる分割ページ数は、2 × 2、3 × 3、4 × 4 のいずれかです。

■ 倍率を指定する／配置順（→P.4-44）

［ページレイアウト］で 1 ページ／枚を選択しているときは［倍率を指定する］が表示されます。2、4、6、8、9、16 ページ／枚を選択しているときは［配置順］が表示されます。

- 倍率を指定する：［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定する］を選択し、スピンボックスの数値を変更します。設定できる倍率は 25 ～ 200% です。
- 配置順：1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷するとき、ページを並べる順番を選択できます。

■ ユーザ定義用紙、長尺紙（→P.4-52）

［ユーザ定義用紙］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷に使用する定形サイズ以外の用紙（ユーザ定義用紙、長尺紙）の幅と高さを設定します。

登録できるユーザ定義用紙や長尺紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合はご使用のシステム環境によって異なります。



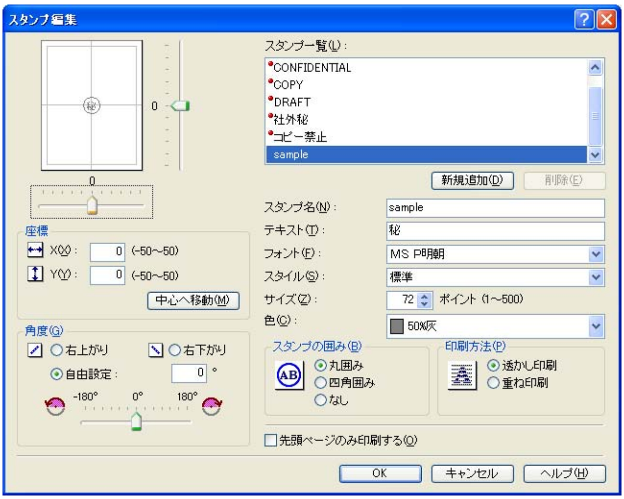
■ スタンプ（→P.4-47）

原稿にスタンプを重ね合わせて印刷するかしないかを設定できます。

■ スタンプ編集（→P.4-49）

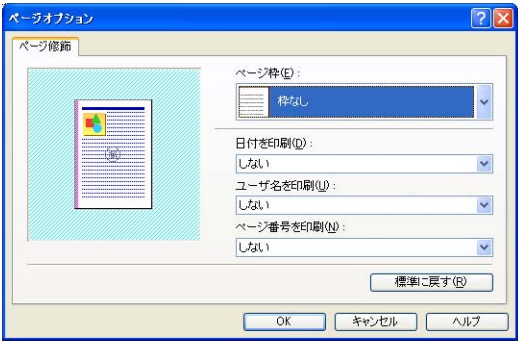
［スタンプ編集］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しくスタンプを登録したり、登録済みのスタンプの設定項目を編集することができます。



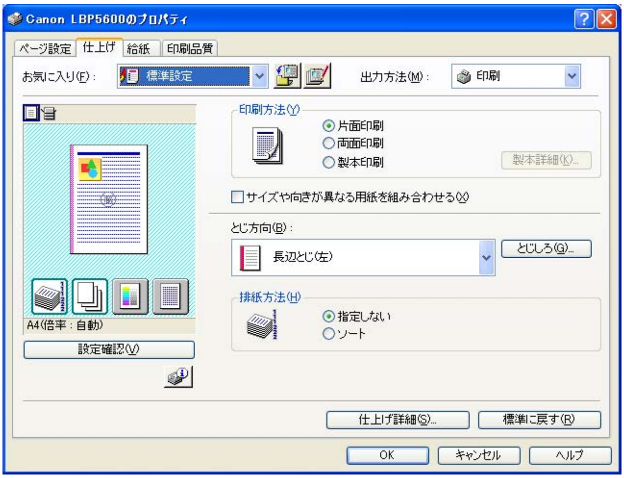
■ ページオプション（→P.4-54）

［ページオプション］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、出力する用紙に印刷する枠、日付、ページ番号などを設定します。



［仕上げ］ページ

［仕上げ］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



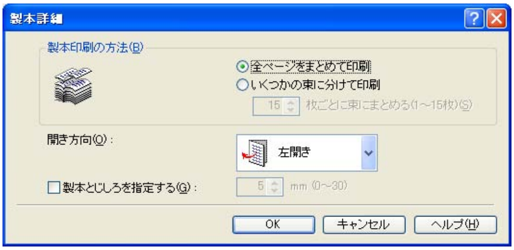
■ 印刷方法（→P.4-56）

印刷方法（片面印刷、両面印刷、製本印刷）を設定します。

■ 製本詳細（→P.4-56）

［印刷方法］で［製本印刷］を選択して、［製本詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、製本印刷の詳細設定を行います。



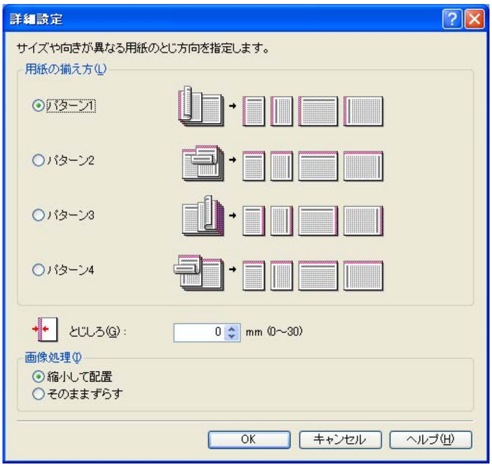
■ サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる（→P.4-57）

1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合、［サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる］にチェックマークを付けて、［詳細設定］ダイアログボックスで排紙時の用紙の揃え方やとじしろの設定を行います。

■ 詳細設定（→P.4-57）

［サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる］にチェックマークを付けて、［詳細設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合の、排紙時の用紙の揃え方などを設定します。



■ とじ方向（→P.4-59）

印刷原稿のとじかた（どの辺をとじるか）を設定します。

■ とじしろ指定（→P.4-59）

［とじしろ指定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、とじしろの幅と画像の処理方法を設定します。



■ 排紙方法

排紙方法を以下の項目から設定します。

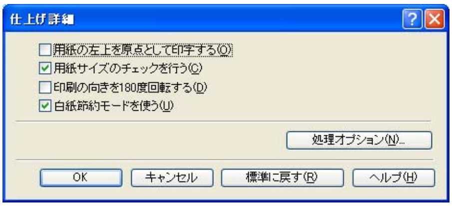
• 指定しない：ページごとに指定された部数を印刷します。

• ソート：ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。

■ 仕上げ詳細（→P.4-60）

［仕上げ詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷処理に適用するさまざまな項目を設定します。



■ 処理オプション（→P.4-60）

［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

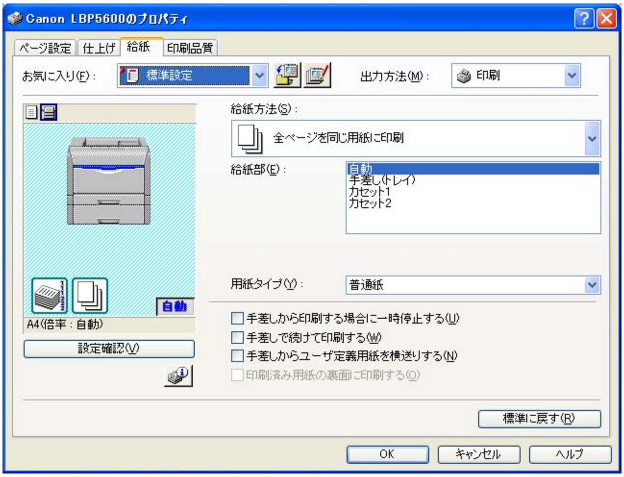
このダイアログボックスでは、仕上げに関する詳細な設定を行います。



• ［メタファイルスプーリングを行う］（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）では、スプールファイルの形式を設定します。
チェックマークがついているときはメタファイル形式、ついていないときは RAW 形式でスプールされます。
ネットワークプリンタとして設定しているときは常に RAW 形式でスプールされます。

[給紙] ページ

[給紙] ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 給紙方法（→P.4-63）

給紙方法を以下の項目の中から選択することができます。

- 全ページを同じ用紙に印刷
  出力するすべての用紙を同じ給紙部から給紙します。
- 最初と最後の用紙を指定して印刷
  最初のページ、その他のページ、最後のページをそれぞれ別の給紙部から給紙します。
- 最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷
  最初のページ、2 枚目のページ、その他のページ、最後のページをそれぞれ別の給紙部から給紙します。
- 表紙の用紙を指定して印刷
  製本印刷を行うときの表紙、その他のページをそれぞれ別の給紙部から給紙します。この項目は、[仕上げ] ページの [印刷方法] の設定が [製本印刷] の場合のみ選択できます。

■ 給紙部（→P.4-63）

用紙の給紙方法を設定します。

[給紙方法] で選択した項目に応じて各ページの用紙を指定します。

■ 用紙タイプ

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。
次のように設定してください。

用紙の種類		ドライバの設定
普通紙（64 ～ 105g/m^2）		［普通紙］*[1]
厚紙	106 ～ 169g/m^2	［厚紙 1］
	170 ～ 220g/m^2	［厚紙 2］
コート紙		［コート紙］*[2]
ラベル用紙		［ラベル用紙］
はがき		［はがき］*[3]
封筒		*[4]

*[1] 普通紙（64g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合や幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合は、［普通紙 L］に設定してください。

*[2] 106 ～ 169 g/m^2 以外のコート紙の場合は、以下の設定を行ってください。
105g/m^2 以下の場合：
［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする
170 ～ 220 g/m^2 の場合：
① ［用紙タイプ］の設定を［コート紙］にする
② ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

*[3] ［はがき］は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定が［はがき］、［往復はがき］、［4 面はがき］の場合にのみ選択できます。また、本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨 4 面はがきにも印刷することができます。はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨 4 面はがきに印刷する場合は、［厚紙 1］を選択します。

*[4] 封筒の場合は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］を設定すると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。

■ 手差しから印刷する場合に一時停止する

手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、メッセージを表示して一時停止します。手差しトレイにセットされている用紙とプリンタドライバで設定した用紙の設定が異なっている場合は、正しい用紙にセットしなおします。手差しトレイにセットされている用紙とプリンタドライバで設定した用紙の設定が一致している場合は、プリンタステータスウィンドウの［エラー復帰］ボタンをクリックします。

■ 手差しで続けて印刷する

カセットからの給紙中に用紙がなくなり、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

■ 手差しからユーザ定義用紙を横送りする

手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。

・幅 148.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 297.0mm

■ 印刷済み用紙の裏面に印刷する

手差しトレイから印刷済みの用紙の裏面に印刷する場合に、この項目にチェックマークを付けます。

[印刷品質] ページ

[印刷品質] ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 印刷品質（→P.4-64）

印刷の品質をどのようにするかを［きれい］、［標準］、［速い］、［ユーザ設定］から選択します。

［きれい］を選択すると、印刷速度は遅くなりますが印刷のきれいさを優先して印刷します。［速い］を選択すると印刷の品質を落として印刷速度を速くして印刷します。［ユーザ設定］選択すると、［設定］ボタンが有効になり、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスを表示し、印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。

■ 印刷目的（→P.4-64）

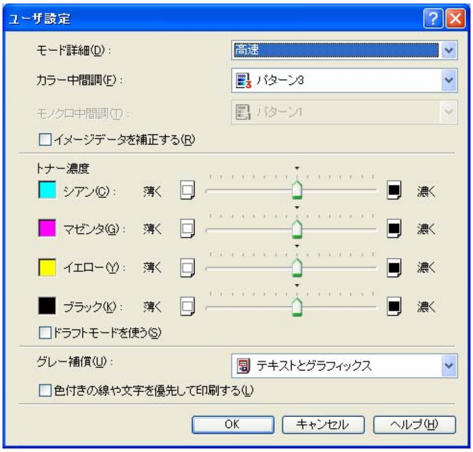
原稿の内容に合わせて以下の項目から適切な印刷目的を選択すると、内容に合った最適な設定で印刷を行うことができます。

- 一般：一般の文書や表の印刷に適したモードで印刷します。
- グラフィックス：グラフィックスの印刷に適したモードで印刷します。
- 写真：写真画像やグラフィックスなどが混在した文書の印刷に適したモードです。より画面に近い印刷結果が得られます。
- CAD：色付きの細い線などの印刷に適したモードです。写真画像やグラフィックスを濃い目に印刷するため、細い線がより明瞭に印刷されます。
- 高精細文書：小さい文字などが多く含まれる文書の印刷に適したモードで印刷します。
- Web ページ：Web ページ上のイラストなどの印刷に適したモードです。通常印刷では粗くなったり、ギザギザになったりする低解像度のイメージデータをなめらかに印刷します。

■ 設定（→P.4-64）

［設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。



重要　ドラフトモードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

■ カラーモード（→P.4-66）

カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。

■ 色の設定を行う（→P.4-67）

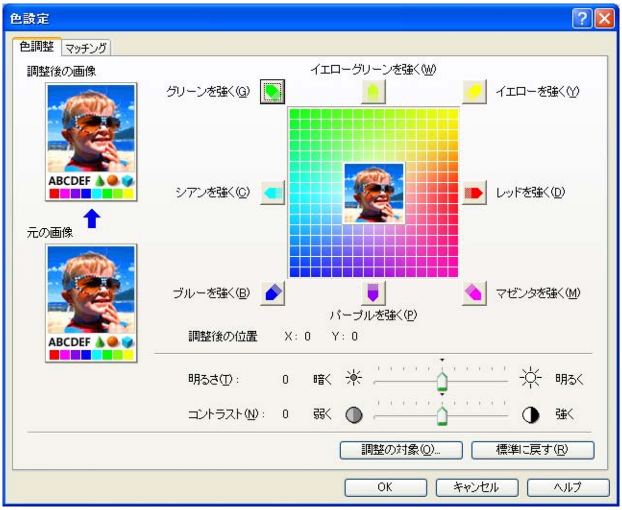
独自のカラーモードを設定するときにチェックマークを付けます。カラーモードを詳細設定するには、［色設定］をクリックして［色設定］ダイアログボックスを表示します。

■ 色設定（→P.4-67）

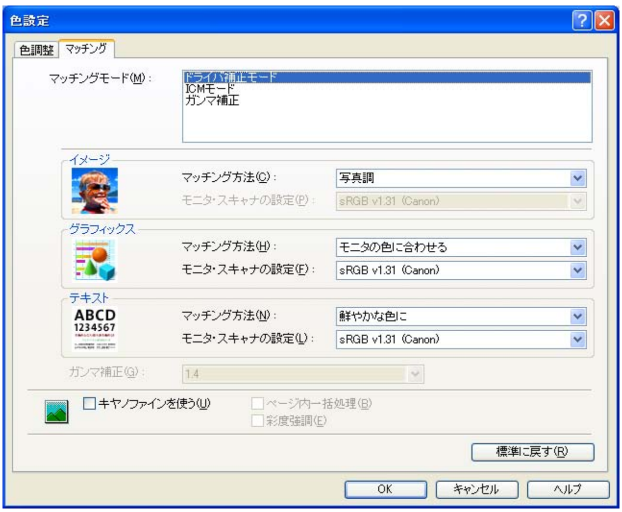
［色設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには［色調整］ページと［マッチング］ページがあります。

- ［色調整］ページ
  このページでは、印刷するときの色の調整や、明るさ、コントラストを設定します。



- ［マッチング］ページ
  このページでは、原稿を印刷するときの色補正の処理方法を設定します。
  プリンタドライバ側で色補正を行う場合は、イメージデータ、グラフィックスデータ、テキストデータのそれぞれに対して補正を行うことができます。色補正を行わない場合は、原稿の明るさを調節するガンマ補正を設定します。
  また、Windows 2000/XP/Server 2003 ではキヤノファインを使って印刷することもできます。



■ **調整の対象**

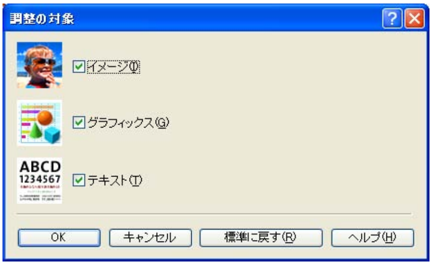
［色設定］ダイアログボックスの［色調整］ページにある［調整の対象］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

色の調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、調整を行う前に、設定の対象を選択してください。それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

イメージ：写真画像などのイメージデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

グラフィックス：図形、表、グラフなどのグラフィックスデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

テキスト：文字などのテキストデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

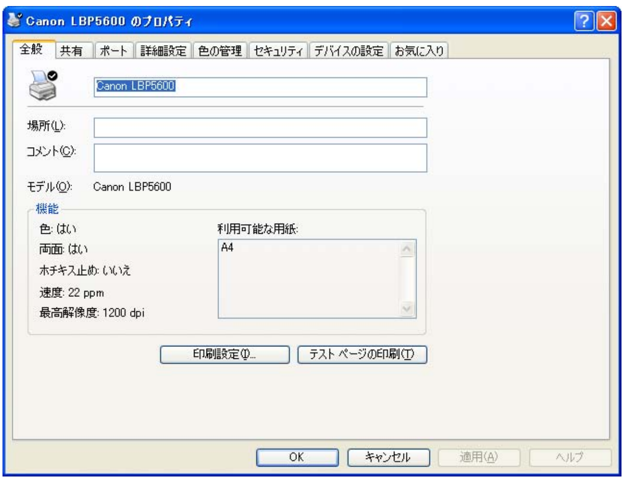


■ **色調整サンプルプリント（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）**

［色設定］をクリックしたときに表示される［色調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に調整後の画像が印刷され、調整後の画像の周りに色味をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。

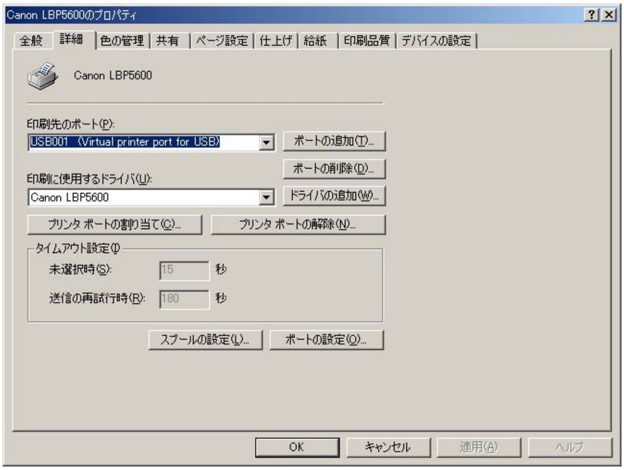
［全般］ページ

プリンタ名が表示されます。プリンタの印字テストをすることができます。



[詳細] ページ（Windows 98/Me のみ）

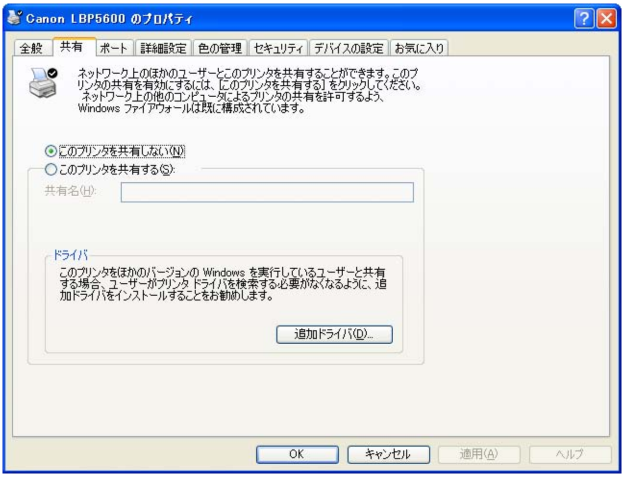
プリンタポートの設定やドライバの追加、スプールの設定などができます。



[共有] ページ

プリンタを共有するかしないかを設定できます。

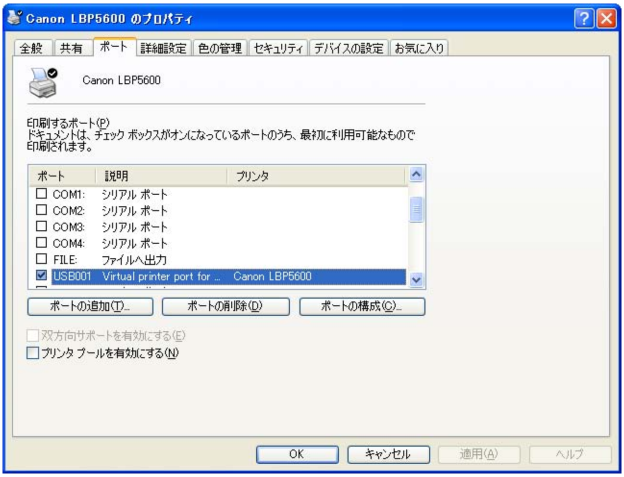
メモ
- Windows 98/Me の場合は、ネットワークの設定で［Microsoft ネットワーク共有サービス］の追加を行っていないときは、[共有] ページは表示されません。(→P.3-60)
- Windows 2000/XP/Server 2003の場合は、ネットワークの設定を行っていないときは、[共有] ページは表示されません。(→P.3-64)



4
印刷するには

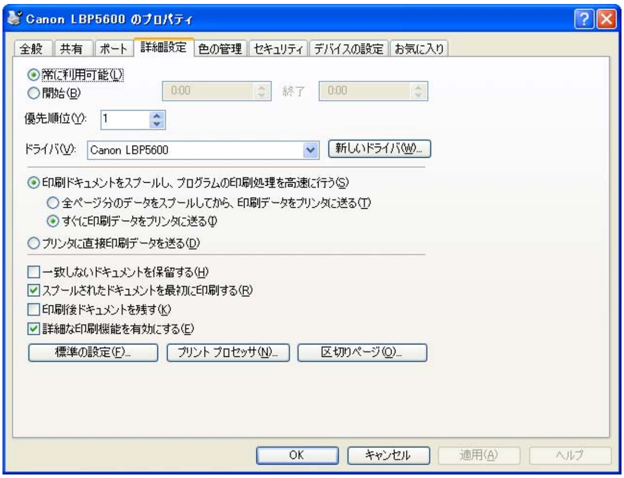
[ポート] ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

プリンタポートの追加、削除、構成などができます。



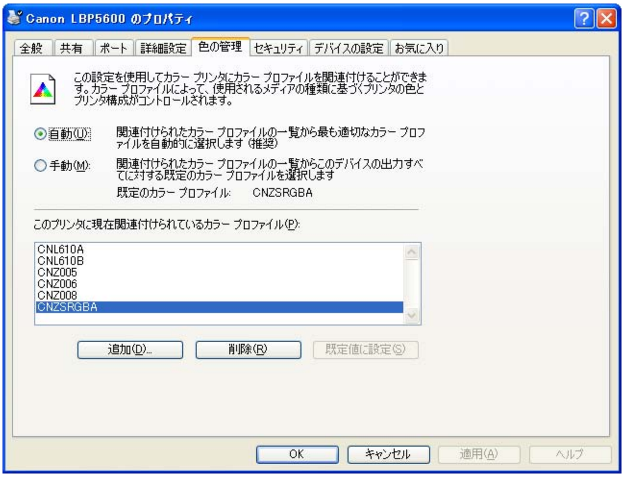
[詳細設定] ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

プリンタの利用可能時間、スプールの処理など詳細な設定ができます。



[色の管理] ページ

プリンタのカラープロファイルの設定ができます。

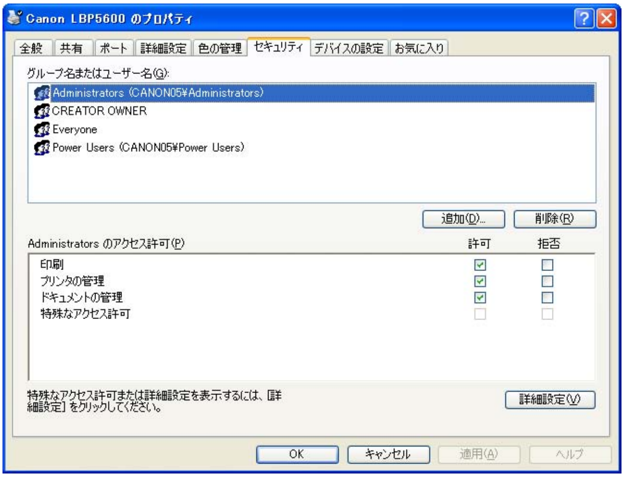


[セキュリティ]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003のみ)

ログオンユーザー名ごとのアクセス許可の状況が確認できます。

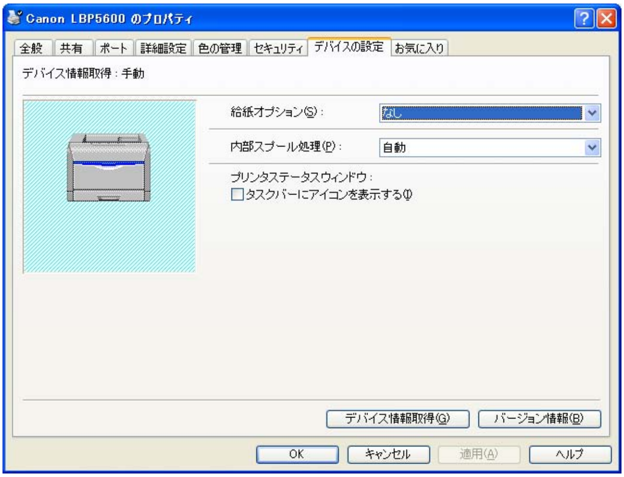
メモ

- Windows XP Professional の場合は、Windows の設定で [フォルダオプション] の [表示] ページの [簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] にチェックマークが付いているときは、[セキュリティ] ページは表示されません。
- Windows XP Home Edition の場合は、[セキュリティ] ページは表示されません。



［デバイスの設定］ページ

［デバイスの設定］ページでは、プリンタの給紙オプションやプリンタステータスウィンドウの表示のしかたなどを設定できます。



■ 給紙オプション（→P.4-3）

オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、適切な項目を選択します。

■ 内部スプール処理（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

内部スプール処理を行うかどうかを設定します。

■ タスクバーにアイコンを表示する（→P.4-81）

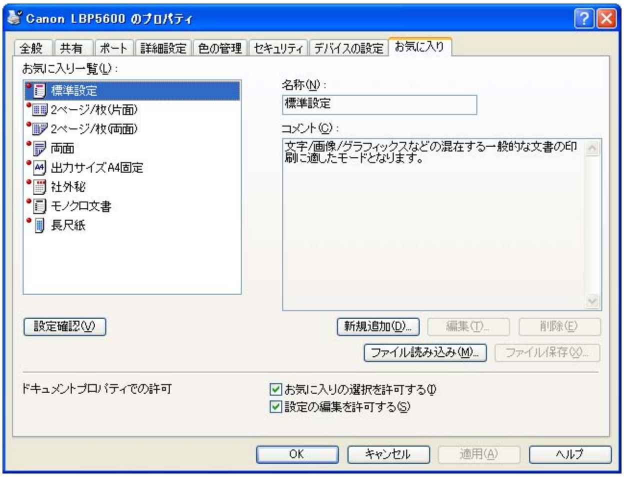
この項目にチェックマークを付けると、Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウを起動するためのアイコンが追加されます。

■ デバイス情報取得

［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタからデバイス情報などが自動的に取得され、プリンタドライバの設定値に反映されます。

[お気に入り] ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

新しい「お気に入り」を追加したり、すでに登録済みの「お気に入り」を編集することができます。



■ お気に入り一覧

「お気に入り」として登録されている項目を一覧表示します。

メモ　長尺紙を印刷する場合は、[長尺紙] を選択します。

■ 名称

[お気に入り一覧] で選択されている項目の名前を表示します。

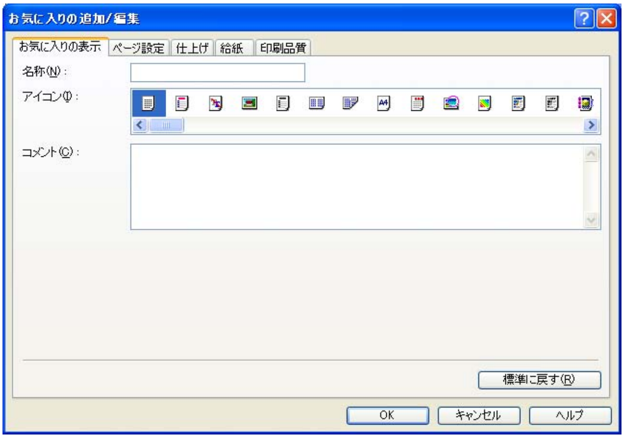
■ コメント

[お気に入り一覧] で選択されている項目に対するコメントを表示します。

■ 新規追加（→P.4-71）

［新規追加］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

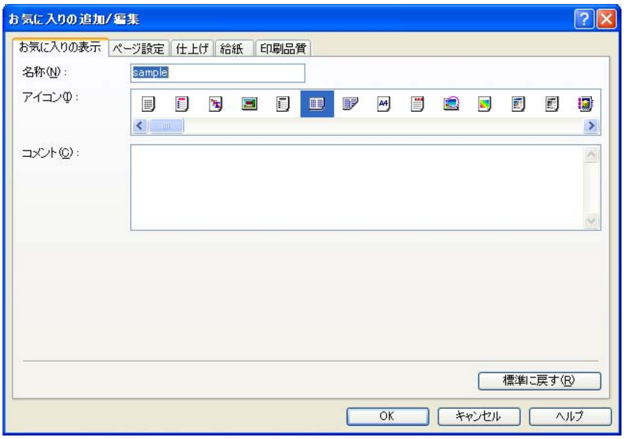
このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の名前、アイコン、コメントや印刷条件を設定します。



■ 編集（→P.4-73）

［編集］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の名前、アイコン、コメントや印刷条件を設定します。



■ 削除（→P.4-73）

登録した「お気に入り」を削除します。

■ ファイル読み込み（→P.4-73）

ファイルとして保存した「お気に入り」を読み込んでプリンタドライバに登録することができます。

■ ファイル保存（→P.4-73）

登録または編集した「お気に入り」をファイルとして保存することができます。

■ お気に入りの選択を許可する

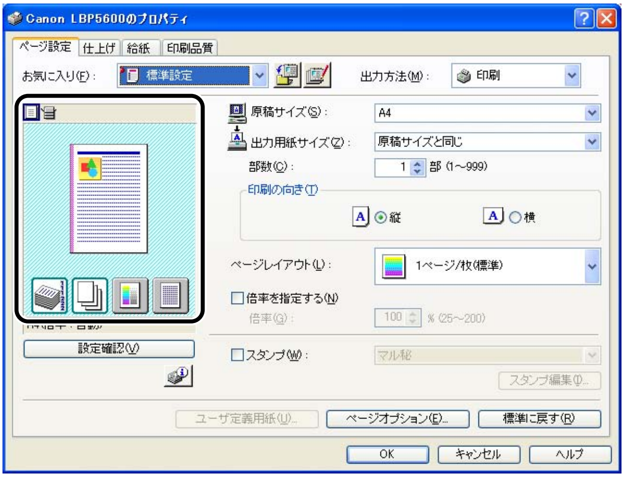
［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスで「お気に入り」を選択できるようになります。

■ 設定の編集を許可する

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスであらかじめ登録されている「お気に入り」の設定のほかに、さらに任意の設定を追加できるようになります。

プレビュー画面について

［ページ設定］、［給紙］、［仕上げ］ページにあるプレビュー画面には、現在の設定が表示されます。また、プレビュー画面をクリックすることによって［とじ方向］、［ページレイアウト］、［排紙方法］などの設定を行うことができます。



プレビュー画面の左上にあるアイコン（、）のどちらを選択しているかで、プレビュー画面での操作が以下のように異なります。

■ を選択している場合

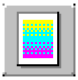
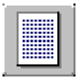
［とじ方向］、［ページレイアウト］、［印刷方法］（［片面印刷］、［両面印刷］のみ）、［カラーモード］の設定ができます。

プレビューのページ枠を左クリックすると、［とじ方向］を設定できます。

プレビューのページ枠内を繰り返し左クリックすると、［ページレイアウト］の設定が［1ページ / 枚（標準）］、［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］の順に繰り返し変更されます。

プレビューを右クリックすると、［1 ページ / 枚（片面）］、［2 ページ / 枚（片面）］、［4 ページ / 枚（片面）］、［1 ページ / 枚（両面）］、［2 ページ / 枚（両面）］、［4 ページ / 枚（両面）］、［モノクロ］、［カラー］、［カラー / モノクロ自動切替］を選択できます。

また、プレビューの右下にあるアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	［カラー / モノクロ自動切替］、［モノクロ］、［カラー］の切り替えができます。
	［片面印刷］と［両面印刷］の切り替えができます。

■ **を選択している場合**

給紙部の指定や［排紙方法］が設定できます。

プレビューのプリンタの給紙部（手差しトレイや給紙カセット）を左クリックすると、給紙部を指定することができます。印刷する用紙のサイズやタイプに応じて、給紙部を自動的に切り替えたい場合は、プレビューの右下にある［自動］を左クリックします。

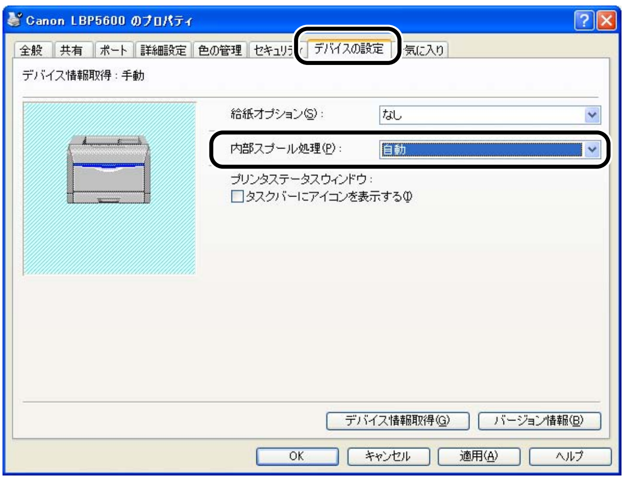
また、プレビューを右クリックすると、［排紙方法］を設定することができます。

［給紙方法］で［最初と最後の用紙を指定して印刷］、［最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷］、［表紙の用紙を指定して印刷］のどれかを選択した場合は、各ページの給紙部の指定ができます。

用紙 1 枚に複数ページを印刷する

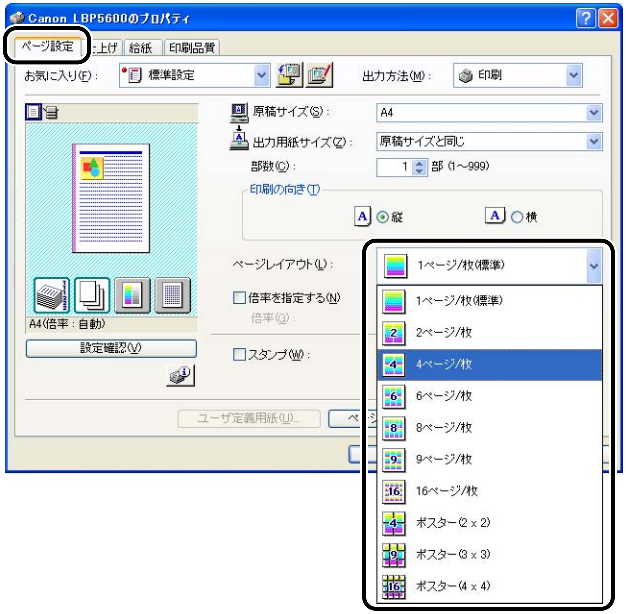
1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

1 **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。**

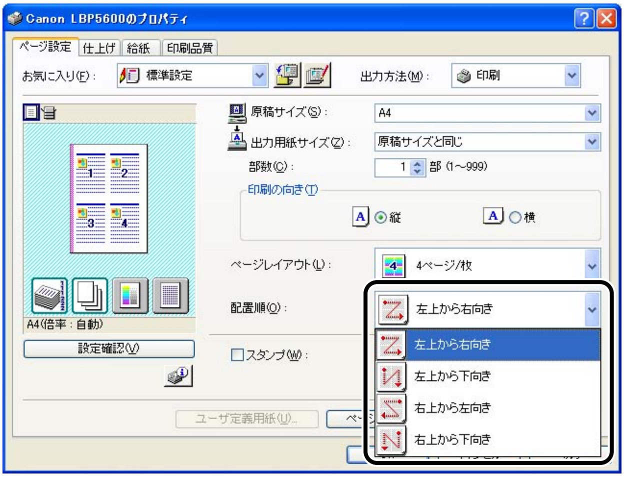


2 [ページ設定] ページを表示し、[ページレイアウト] で 1 枚に収めるページ数を選択します。

選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。



3 2、4、6、8、9、16ページ／枚を選択すると、[配置順] が表示されます。ページを並べる順番を選択します。



メモ

[配置順] プルダウンメニューの選択肢は、印刷する用紙の向きや 1 枚に収めるページ数によって異なります。

4

印刷するには

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

拡大／縮小して印刷する

[ページレイアウト] が [1 ページ／枚(標準)] に設定されているとき選択できます。

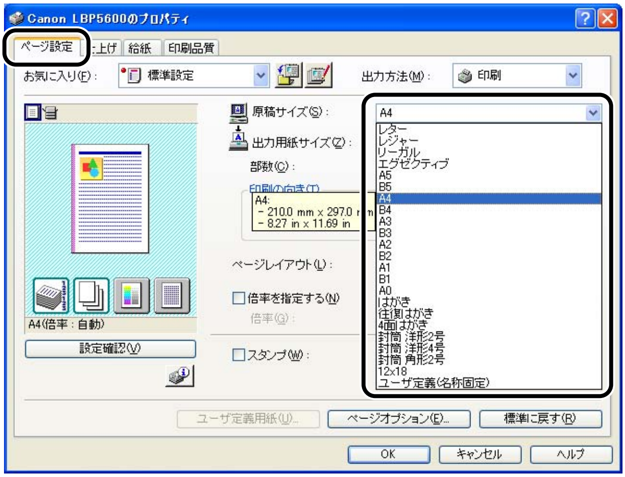
[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。

倍率を任意に設定することもできます。

設定できる倍率は 25 ～ 200% です。

自動で倍率を設定する

1 [ページ設定] ページを表示し、[原稿サイズ] を指定します。



2 [出力用紙サイズ] を指定します。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

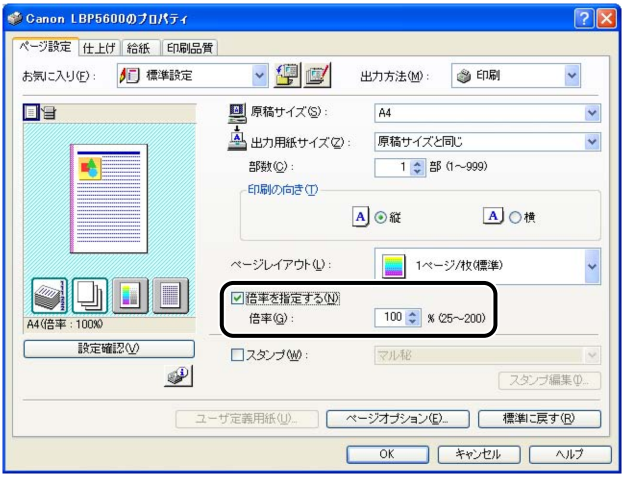
指定した [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

任意に倍率を設定する

1 [ページ設定] ページを表示し、[原稿サイズ] を指定します。

2 [出力用紙サイズ] を指定します。

3 [倍率を指定する] にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。



4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

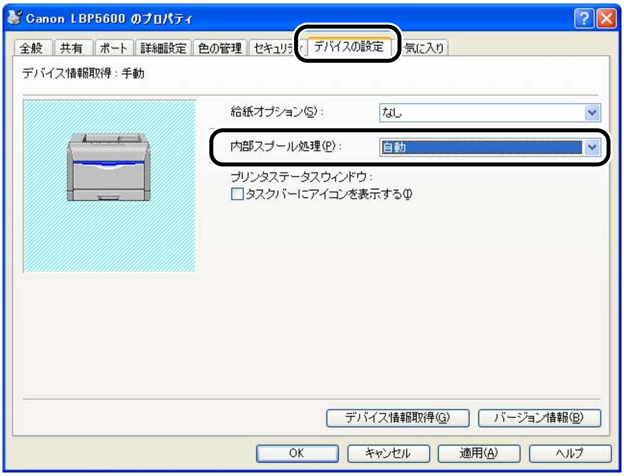
4

印刷するには

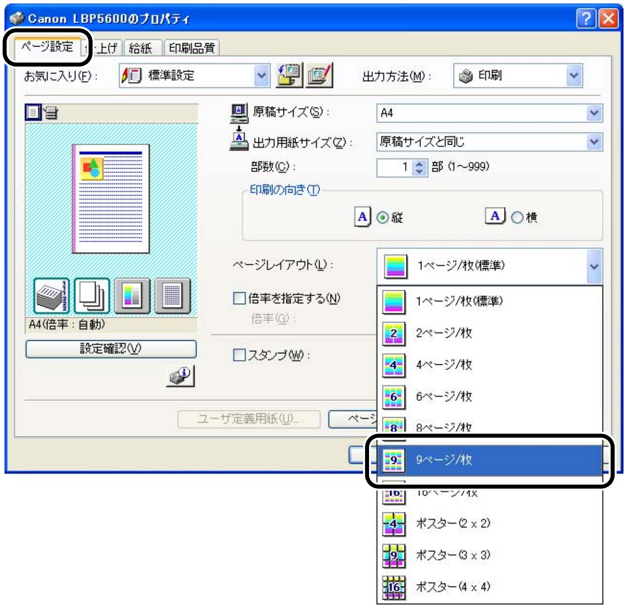
ポスター印刷を行う

1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷することができます。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントを作成します。

1 **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。**



2 [ページ設定] ページを表示し、[ページレイアウト] から [ポスター (N x N)] (N = 2、3、4) を選択します。



印刷後のレイアウトイメージがプレビュー画面に表示されます。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

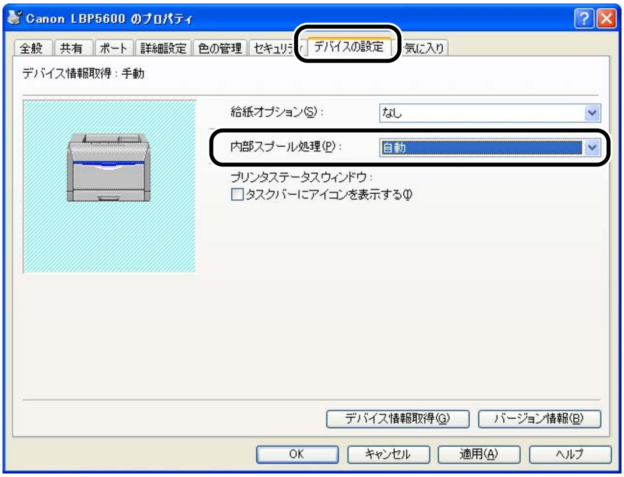
重要
- 出力用紙 (複数枚に分割された用紙) の印刷順序は、「左上から右方向」になります。
- ポスター印刷を行うときは、スタンプ印刷とページ修飾の機能は設定できません。
- ポスター印刷を行う場合、[配置順] の設定はできません。

スタンプを付けて印刷する

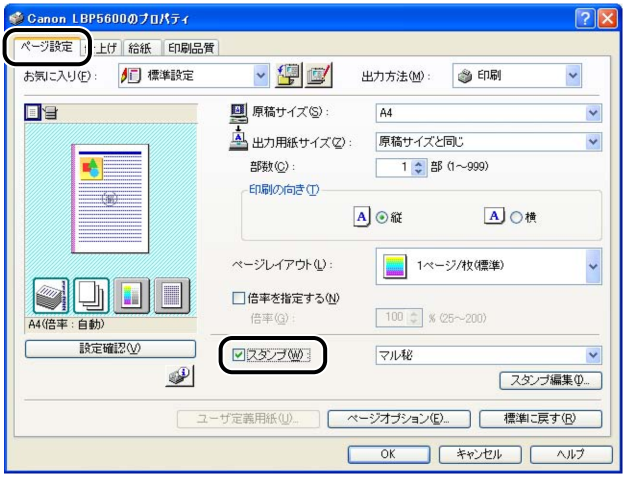
アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ (「COPY」や「社外秘」などの透かし文字) を重ね合わせて印刷します。スタンプとして登録されている文字列のリストから使用する文字列を選択します。また、[ページ設定] ページの [スタンプ編集] をクリックして、新しいスタンプを登録したり、すでにあるスタンプを編集したりすることもできます。

スタンプを付けて印刷する

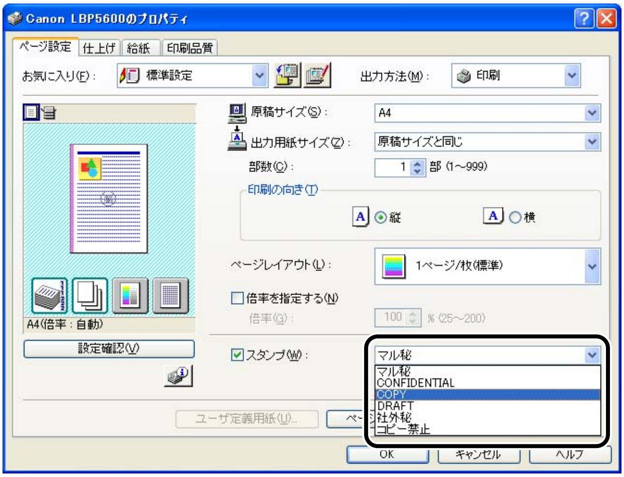
1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。



2 ［ページ設定］ページを表示し、［スタンプ］にチェックマークを付けます。



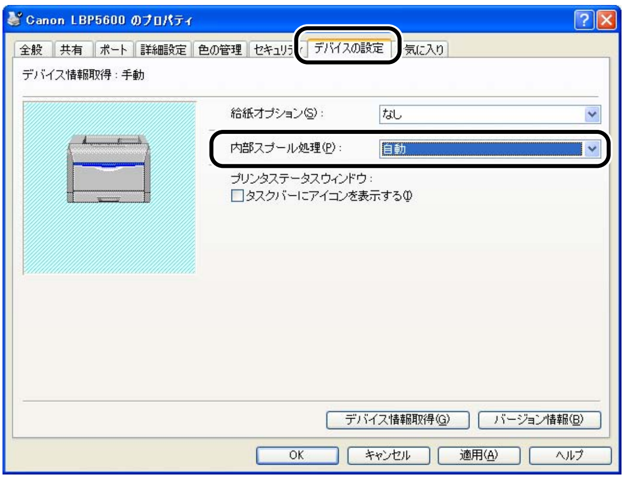
3 ［スタンプ］の右側にあるリストから、スタンプとして印字する文字列を選択します。



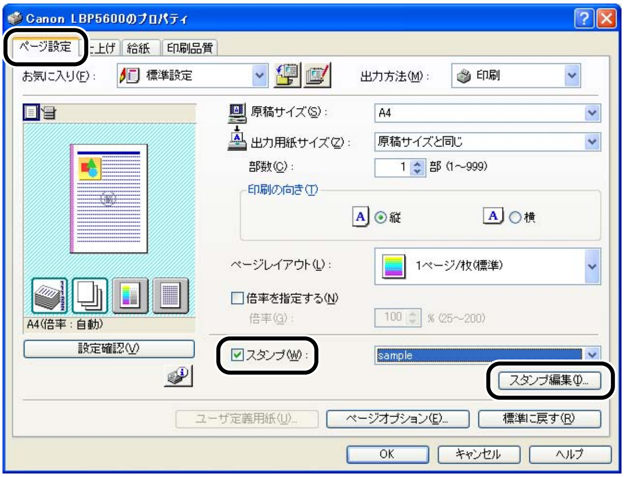
4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

スタンプを編集する

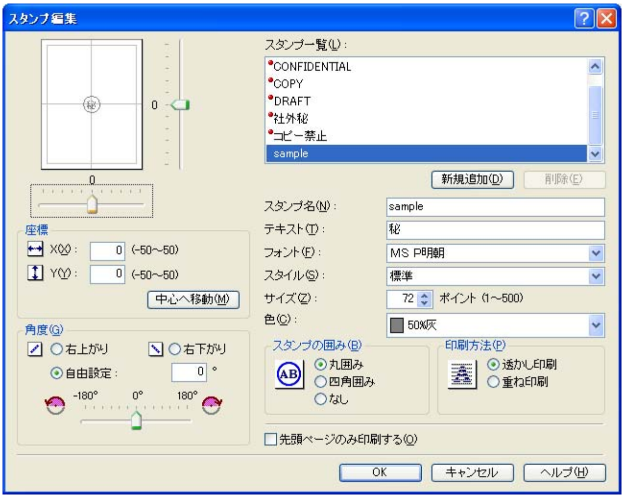
1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。



2 [ページ設定] ページを表示し、[スタンプ] にチェックマークを付けて [スタンプ編集] をクリックします。



[スタンプ編集] ダイアログボックスが表示されます。



3 必要に応じて以下の項目を設定します。

[座標]：	スタンプを印字する位置を縦横それぞれ -50 〜 50 の範囲で設定します。
[角度]：	スタンプを印字する角度を設定します。
[スタンプ名]：	新しいスタンプを登録するときに、[ページ設定] ページの [スタンプ] に表示するスタンプ名を入力します。
[テキスト]：	スタンプとして印刷する文字列を入力します。
[フォント]：	スタンプとして印刷する文字列のフォントの種類（TrueType フォントのみ）を選択します。
[スタイル]：	フォントのスタイルを選択します。
[サイズ]：	スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを設定します。
[色]：	スタンプとして印刷する文字列の色を選択します。
[スタンプの囲み]：	スタンプとして印刷する文字列の周囲に枠を付けるかどうかを設定します。
[印刷方法]：	スタンプの印刷方法を [透かし印刷]、[重ね印刷] の 2 種類から選択します。
[先頭ページのみ印刷する]：	スタンプを 1 ページ目だけに印刷する場合にチェックマークを付けます。

メモ

- 新しくスタンプを登録する場合は、[新規追加] をクリックします。
- あらかじめ登録されているスタンプの変更はできません。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

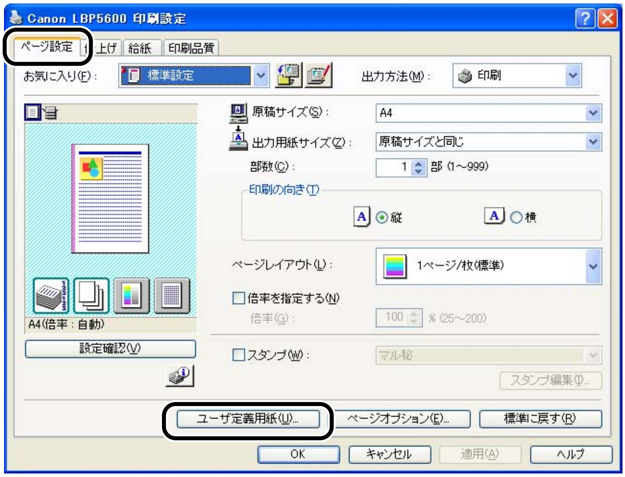
[ページ設定] ページに戻ります。

ユーザ定義用紙、長尺紙を設定する（不定形用紙）

用紙サイズを任意に設定します。

メモ　ユーザ定義用紙や長尺紙の設定は、以下のダイアログボックスを表示して行います。
- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
  ［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 は［プリンタと FAX］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。
- Windows 98/Me の場合
  ［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

1 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。



［ユーザ定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

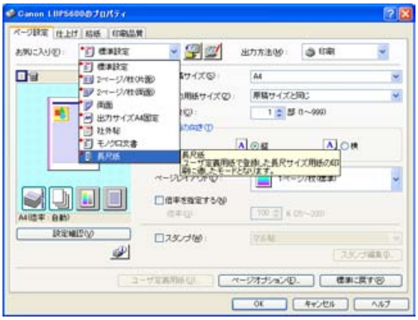
[用紙一覧]：	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙や長尺紙の名称とサイズが表示されます。
[ユーザ定義用紙名]：	登録するユーザ定義用紙や長尺紙の名称を入力します。Windows 98/Me の場合は、半角 31 文字 / 全角 15 文字まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、半角 / 全角 31 文字まで入力できます。
[単位]：	ユーザ定義用紙や長尺紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。
[用紙サイズ]：	ユーザ定義用紙や長尺紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。ユーザ定義可能な範囲は、以下の通りです。 ・ユーザ定義用紙 最小：98.0mm × 148.0mm 最大：312.0mm × 457.2mm ・長尺紙 最小：210.0mm × 457.3mm 最大：297.0mm × 1200.0mm

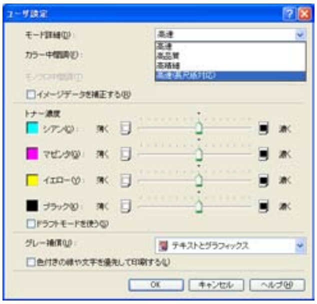
3 [登録] をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙や長尺紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合はご使用のシステム環境によって異なります。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

重要　長尺紙を印刷するときは、[お気に入り] から [長尺紙] を選択するか、[印刷品質] ページの [印刷品質] で [ユーザ設定] を選択し、[設定] ボタンをクリックして、[ユーザ設定] ダイアログボックスの [モード詳細] で [高速（長尺紙対応）] を選択します。





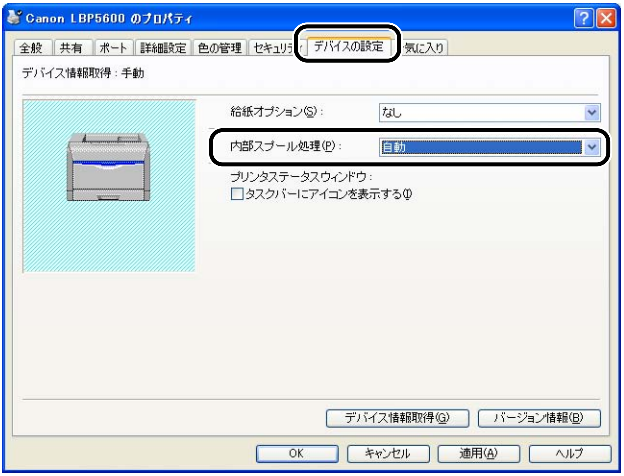
4

印刷するには

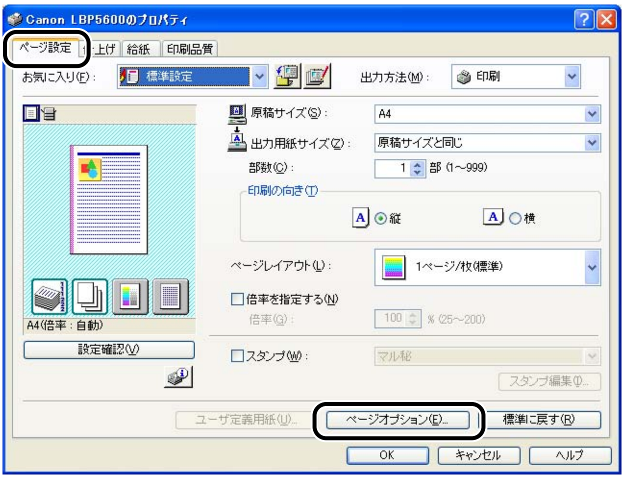
ページに枠や日付を付けて印刷する

出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷します。

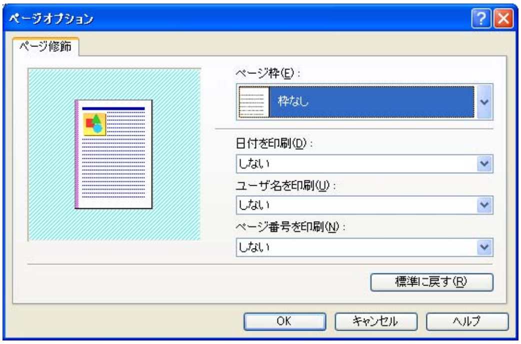
1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。



2 ［ページ設定］ページを表示させ［ページオプション］をクリックします。



[ページオプション］ダイアログボックスが表示されます。



3 必要に応じて以下の項目を設定します。

[ページ枠]：	用紙の周囲に印刷するページ枠の種類を選択します。
[日付を印刷]：	日付を印刷します。印刷する位置をリストから指定します。
[ユーザ名を印刷]：	コンピュータに登録されているユーザ名を印刷します。印刷する位置をリストから指定します。
[ページ番号を印刷]：	ページ番号を印刷します。印刷する位置をリストから指定します。

4 設定内容を確認し、[OK］をクリックします。

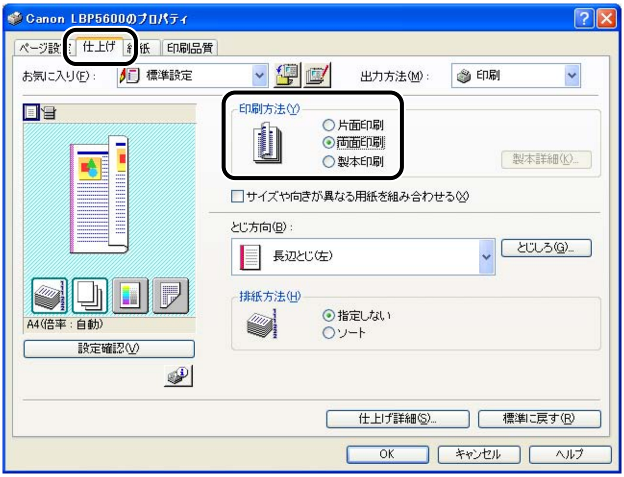
[ページ設定］ページに戻ります。

印刷方法を選択して印刷する

印刷方法（片面印刷、両面印刷、製本印刷）を設定します。

重要　Windows 2000/XP/Server 2003の場合、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］が［ホスト側での処理を無効にする］に設定されていると、［製本印刷］の機能は使用できません。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［印刷方法］で［片面印刷］、［両面印刷］、［製本印刷］のいずれかを選択します。

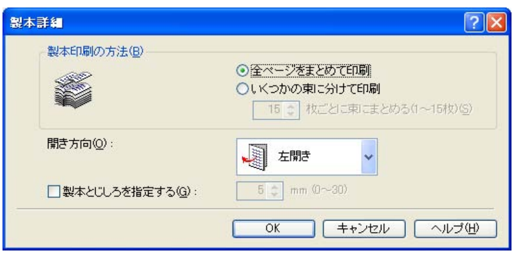


［片面印刷］：　用紙の片面に印刷を行います。

［両面印刷］：　用紙の両面に印刷を行います。

［製本印刷］：　製本印刷を行います。製本印刷とは、用紙を2つ折りにしてひとつの本になるように、1枚の用紙の表と裏にそれぞれ2ページ分のデータを並べて印刷する処理です。製本印刷の詳細設定を行う場合は、［製本詳細］ボタンをクリックします。

2 ［製本印刷］を選択した場合、必要に応じて［製本詳細］をクリックして、以下の項目を設定します。



[製本印刷の方法]：　製本印刷の単位（まとめて印刷するページ数）を設定します。

[開き方向]：　製本印刷を行うときのとじる方向を設定します。[ページ設定] ページの [印刷の向き] の設定が [縦] の場合は［左開き］または［右開き］を選択できます。また、[印刷の向き] が［横］の場合は［上開き］または［下開き］を選択できます。

[製本とじしろを指定する]：　製本印刷を行うときのとじしろの幅を設定するときにチェックマークを付けます。用紙の中央部（折り目の位置）からの距離（0 ～ 30mm）を入力します。
* 印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小して印刷します。

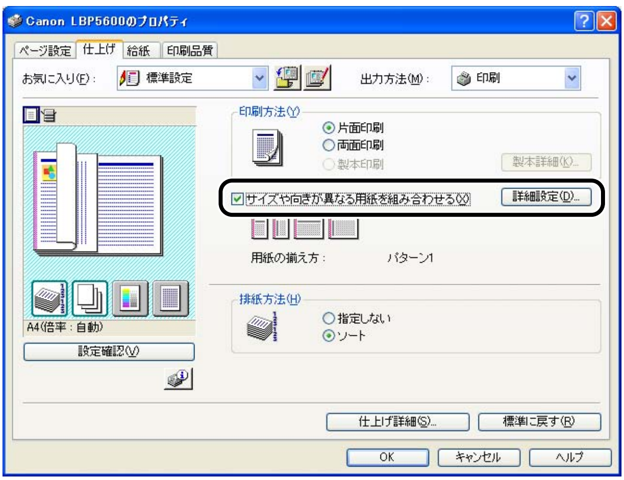
3 **設定内容を確認し、[OK] をクリックします。**

[仕上げ] ページに戻ります。

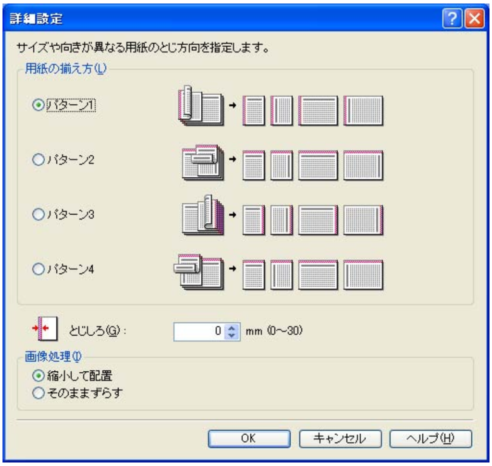
サイズや向きが異なる用紙を組み合わせて印刷する

1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合の、排紙時の用紙の揃え方などを設定することができます。

1 **[仕上げ] ページを表示し、[サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる] にチェックマークを付けて、[詳細設定] をクリックします。**



［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。



2 サイズや向きの異なる用紙を組み合わせるときの、用紙の揃え方のパターンを選択します。

必要に応じて以下の項目を設定します。

［とじしろ］：　この項目を設定すると、印刷物の片側に余白が作成されます（この余白を［とじしろ］と呼びます）。この余白は印刷物をとじるときに役立ちます。とじしろとして設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。とじしろを設定すると、印字領域は狭くなります。

［画像処理］：　［とじしろ］を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。［縮小して配置］を選択すると、画像をずらすときに印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小します。［そのままずらす］を選択すると、画像を縮小しないでそのままずらします。画像が印字領域からはみ出した場合は、画像が欠けて印刷されます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

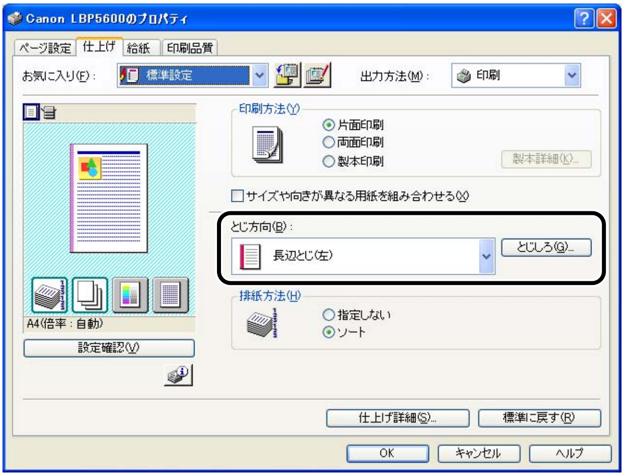
［仕上げ］ページに戻ります。

とじしろを付けて印刷する

出力する用紙にとじしろを付けて印刷することができます。とじしろとして設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。

また、とじしろを設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを設定することもできます。

1 **［仕上げ］ページを表示し、［とじ方向］でとじしろを付ける方向を設定し［とじしろ指定］をクリックします。**



［とじしろ指定］ダイアログボックスが表示されます。



2 **スピンボックスの数値を設定します。**

必要に応じて以下の項目を設定します。

［画像処理］： ［とじしろ］を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。［縮小して配置］を選択すると、画像をずらすときに印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小します。［そのままずらす］を選択すると、画像を縮小しないでそのままずらします。画像が印字領域からはみ出した場合は、画像が欠けて印刷されます。

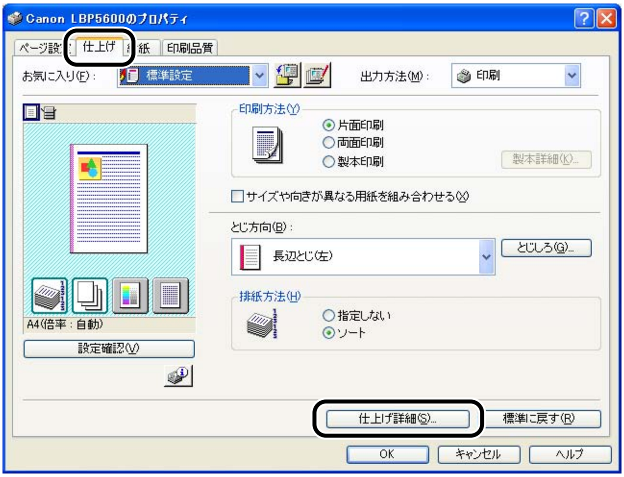
3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[仕上げ] ページに戻ります。

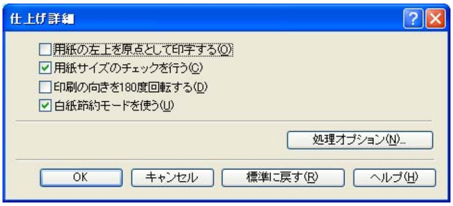
印刷の仕上げ方法を設定する

印刷処理に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 [仕上げ] ページを表示し、[仕上げ詳細] をクリックします。



[仕上げ詳細] ダイアログボックスが表示されます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

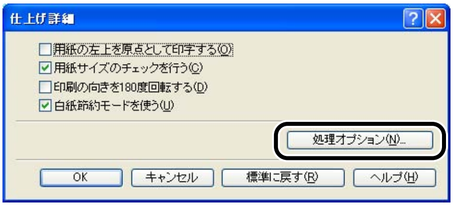
[用紙の左上を原点として印字する]：　通常、有効印字領域である用紙の左上 5mm（封筒は 10mm）を原点として印刷されるため、用紙いっぱいに印刷する原稿などは、一部の方向 （右下など）が欠けて印刷されることがあります。この項目にチェックマークを付けると、用紙の左上余白 0mm を原点として印字されるため、上下左右とも均一に印刷されます。

[用紙サイズのチェックを行う]：　この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なる場合、メッセージが表示され、プリンタが停止します。印刷を再開する場合は、プリンタステータスウィンドウの［エラー復帰］ボタンをクリックするか、正しい用紙にセットしなおします。ただし、手差しトレイの場合、電源のオフ／オンやセットしていた用紙を取り除いた直後のジョブは [出力用紙サイズ] の設定に関わらず、メッセージは表示されずに、現在セットしている用紙で印刷します。

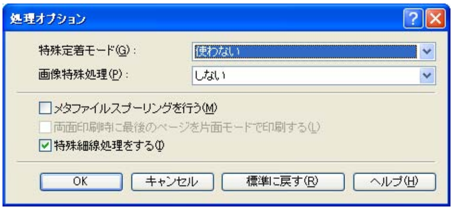
[印刷の向きを 180 度回転する]：　画像を 180 度回転させて用紙に印字します。特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

[白紙節約モードを使う]：　この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブに白紙ページがある場合、白紙ページは排出されません。

3 ［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックします。



［処理オプション］ダイアログボックスが表示されます。



4

印刷するには

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

[特殊定着モード]：	プリンタの定着モードを切り替えて印刷します。幅がレターサイズ（279.4mm）以下の普通紙を連続印刷した結果、印刷速度が遅くなる場合は、[モード 1] に設定してください。普通紙を印刷した結果、トナーの定着性が悪い場合は、[モード 2] に設定してください。[モード 2] に設定しても定着性が改善されない場合は、[モード 3] に設定してください。コート紙（170 ～ 220g/m^2）を印刷する場合は、[モード 4] に設定してください。
[画像特殊処理]：	濃度の高い部分のトナーが用紙に定着せず、正常に印字されないことがあります。そのような場合に、本項目を [レベル 1] に設定してください。[レベル 1] に設定しても問題が解決しない場合は、[レベル 2] に設定してください。
[メタファイルスプーリングを行う]（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）：	印刷データを EMF（メタファイル）形式でスプールするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、EMF 形式でスプーリングが行われます。
[両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する]：	この項目にチェックマークを付けると、両面印刷のジョブの最後のページが片面の場合、通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。
[特殊細線処理をする]：	[印字品質] ページの [印刷目的] にある [高精細文書]（1200dpi）や [ユーザ設定] ダイアログボックスの [モード詳細] にある [高精細]（1200dpi）を選択して印刷した場合、細線がかすれることがあります。そのような場合は、本項目にチェックマークを付けます。

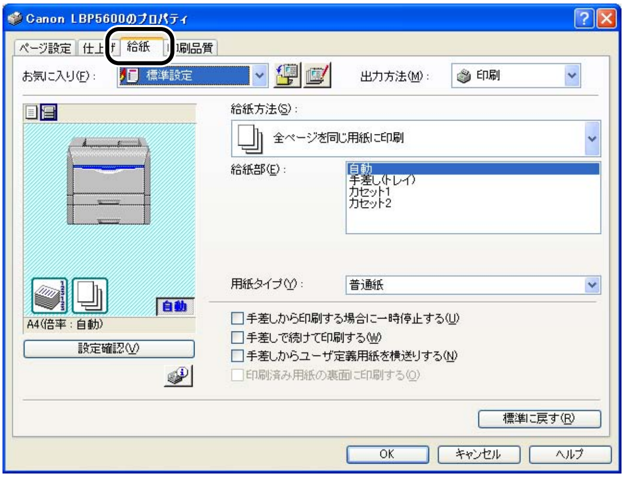
5 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[仕上げ] ページに戻ります。

給紙方法を選ぶ

用紙の給紙方法に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 ［給紙］ページを表示させせます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［給紙方法］：	給紙方法を設定することができます。
［給紙部］： ・［最初のページ］ ・［2 枚目のページ］ ・［表紙］ ・［その他のページ］ ・［最後のページ］	給紙部を選択することができます。また、［給紙方法］で選択した項目に応じて設定できる内容が異なります。
［用紙タイプ］：	プリンタで使用する用紙の種類を選択します。
［手差しから印刷する場合に一時停止する］：	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、メッセージを表示して一時停止します。手差しトレイにセットされている用紙とプリンタドライバで設定した用紙の設定が一致していることを確認して、プリンタステータスウィンドウの［エラー復帰］ボタンをクリックします。
［手差しで続けて印刷する］：	カセットからの給紙中に用紙がなくなり、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

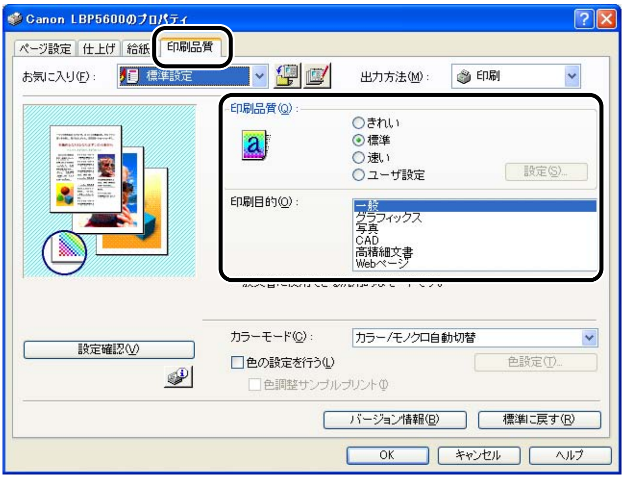
[手差しからユーザ定義用紙を横送りする]：	手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。 幅148.0～297.0mm、長さ210.0～297.0mm
[印刷済み用紙の裏面に印刷する]：	手差しトレイから印刷済みの用紙の裏面に印刷する場合に、この項目にチェックマークを付けます。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

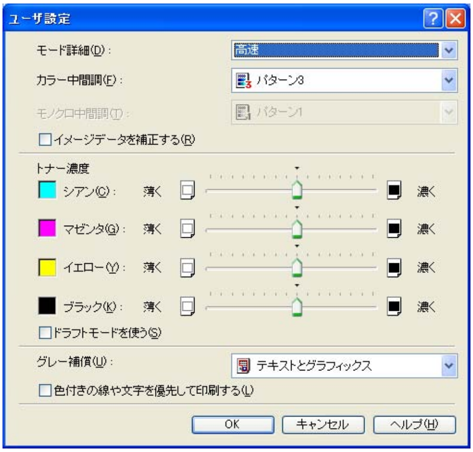
印刷の品質を設定する

[印刷品質] と [印刷目的] の中から項目を選択するだけで、原稿の内容に適した適切なプリントを行うことができます。

1 [印刷品質] ページを表示し、[印刷品質] と [印刷目的] を設定します。



詳細な設定を行う場合は、[ユーザ設定] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。



[ユーザ設定] ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[モード詳細]：	印刷するときの処理方法を設定します。長尺紙を印刷する場合は、[高速（長尺紙対応）] を選択します。また、細線などが印刷できない場合に [高速（長尺紙対応）] を選択すると、問題が解決することがあります。
[カラー中間調]：	カラーデータの中間調を印刷するときのディザパターンの種類を選択します。
[モノクロ中間調]：	モノクロデータの中間調を印刷するときのディザパターンの種類を選択します。
[イメージデータを補正する]：	写真やグラフィックスなどのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷する場合、本項目にチェックマークを付けてください。
[トナー濃度]：	印刷するトナーの濃度を調節します。
[ドラフトモードを使う]：	テスト印刷をするときに使用します。ドラフトモードを使用すると、データを間引いて印刷が行われるため印刷時のトナー使用量を節約することができます。
[グレー補償]：	グレー補償を行うかどうかを設定します。グレー補償を行うと、黒色と灰色のデータが確実に黒色や灰色で印刷されます。リストからグレー補償の対象を選択します。
[色付きの線や文字を優先して印刷する]：	色の付いた線や文字などがかすれたり、破線のように印刷される場合は、本項目にチェックマークを付けてください。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

色の設定をする

カラーモードを設定する

1 [印刷品質] ページを表示させます。

2 [カラーモード] を設定します。

[モノクロ]：	カラーの原稿でも黒のみで印刷します。
[カラー]：	CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の4 色で印刷します。
[カラー / モノクロ自動切替]：	原稿の種類によって、カラー印刷とモノクロ印刷を自動的に切り替えます。



重要　[カラー / モノクロ自動切替] を選択した場合、アプリケーションの出力によっては一部のモノクロページがカラーモードで印刷されることがあります。

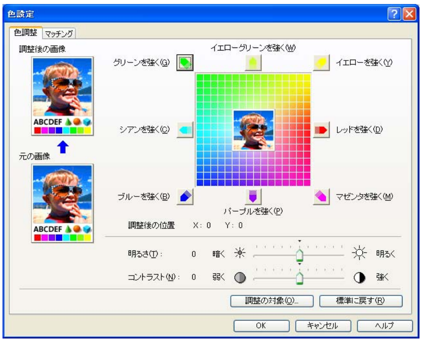
3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

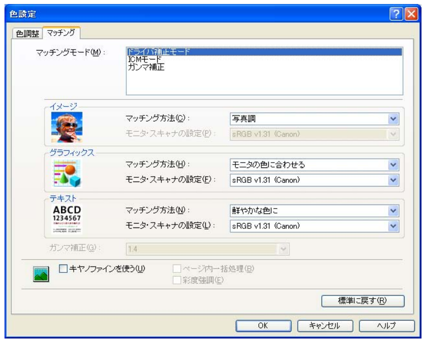
色の設定をする

1 **［印刷品質］ページを表示し、［色の設定を行う］にチェックマークを付け［色設定］をクリックします。**



［色設定］ダイアログボックスが表示されます。





2 **［色調整］ページを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。**

［調整領域］：
調整領域の中央にある［プレビューボタン］を上下左右に移動させて色の調整を行います。

［調整の対象］：
色の調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。調整の設定を行う前に、設定の対象を選択してください。この設定により、1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

［明るさ］：
印刷するときの明るさを調整します。［明るさ］のつまみを左右にドラッグして調整します。

[コントラスト]：	印刷するときのコントラストを調整します。[コントラスト]のつまみを左右にドラッグして調整します。

3 [マッチング]ページを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

[マッチングモード]：	色補正の処理方法を設定します。
[マッチング方法]：	マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。イメージ、グラフィックス、テキストのデータごとに設定することができます。
[モニタ・スキャナの設定]：	使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目（コンピュータに登録されているプロファイルが表示されます）を選択します。
[ガンマ補正]：	[マッチングモード]を[ガンマ補正]に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。
[キヤノファインを使う]（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）：	キヤノファインを使う場合に選択します。
[彩度強調]（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）：	鮮やかさを強調してキヤノファインの処理を行います。[キヤノファインを使う]を選択したときに設定できます。
[ページ内一括処理]（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）：	ページ内にあるビットマップデータを1つのデータと見なして、キヤノファインの処理を行います。[キヤノファインを使う]を選択したときに設定できます。

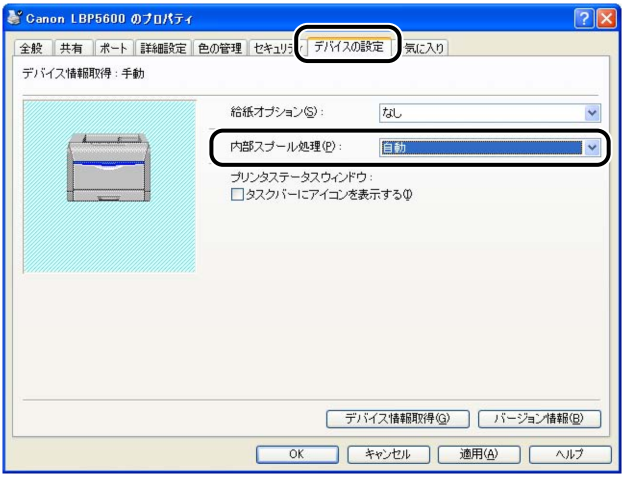
4 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

[印刷品質]ページに戻ります。

色調整サンプルを印刷する（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）

［色調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に調整後の画像が印刷され、調整後の画像の周りに色味をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。出力を調整するのに役立ちます。

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。

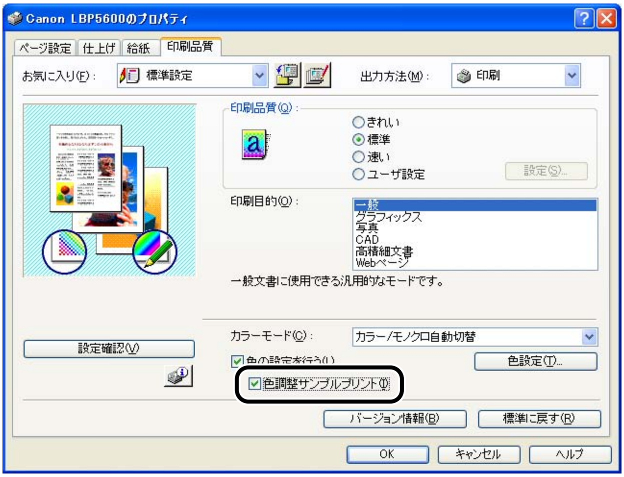


2 ［印刷品質］ページを表示し、［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックします。



3 ［色設定］ダイアログボックスで、必要に応じて項目を設定し、［OK］をクリックします。

4 ［印刷品質］ページに戻り、［色調整サンプルプリント］にチェックマークを付けます。



5 設定内容を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

重要 色調整サンプルプリントをする場合は、［ページ設定］ページの［ページレイアウト］は必ず［1 ページ / 枚 (標準)］を選択してください。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

色調整サンプルが印刷されます。

重要 色調整サンプルプリントを終了したあとは、［色調整サンプルプリント］のチェックマークを消してください。

お気に入りを設定する

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の４つのページで設定した印刷条件を、まとめて保存／読み込みできます。また、設定を追加、編集、選択することができます。

印刷条件を［お気に入り］として保存するときは、次の手順で行います。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

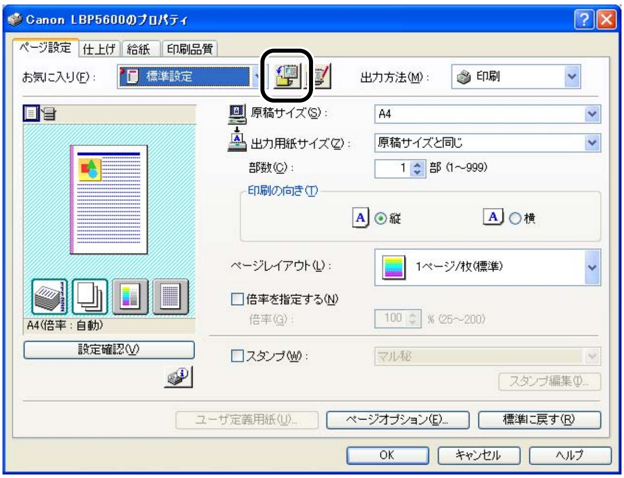
メモ

- Windows 98/Me の場合、お気に入りは最大 50 まで設定できます。ただし、［マイコンピュータ］➞［コントロールパネル］➞［パスワード］をダブルクリックし、［ユーザー別の設定］ページを表示させ「ログオン時に各ユーザーのデスクトップ設定に変更する」を選択した場合は、ログオンユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003の場合、お気に入りはログインユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- プリンタの名称を変更すると、保存したお気に入りが読み込めなくなります。名称を元に戻すと読み込み可能になります。
- Windows 98/Meで保存したお気に入り情報のファイルをWindows 2000/XP/Server 2003 で使用したり、Windows 2000/XP/Server 2003 で保存したお気に入りの情報のファイルを Windows 98/Me で使用することはできません。

お気に入りの新規追加

1 ［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、および［印刷品質］の各ページで登録したい内容を設定します。

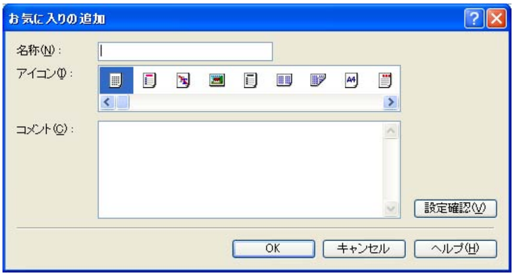
2 ［］（お気に入りの追加）をクリックします。



［お気に入りの追加］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［名称］にお気に入りの名前を入力します。

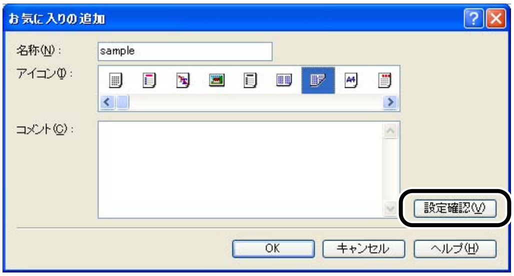
［アイコン］では、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、［コメント］に入力します。



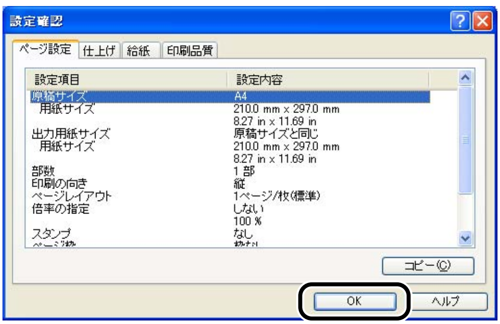
メモ
- Windows 98/Me の場合、［名称］には全角で 15 文字（半角 31 文字）まで、［コメント］には全角で 127 文字（半角 255 文字）まで入力できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［名称］には全角、半角にかかわらず 31 文字まで、［コメント］には全角、半角にかかわらず 255 文字まで入力できます。

● 設定内容の確認

❑ ［設定確認］をクリックします。



❑ ［OK］をクリックすると、［お気に入りの追加］ダイアログボックスに戻ります。



4 [OK] をクリックします。

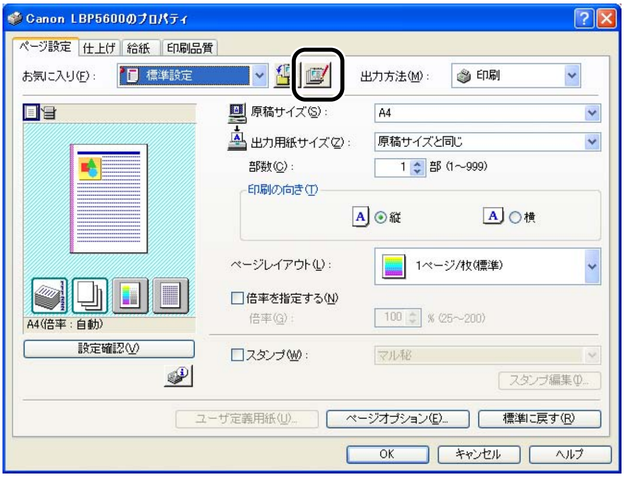
最初のページに戻ります。

設定したお気に入りの名称が、[お気に入り] のリストに追加されていることを確認します。

お気に入りの編集／削除

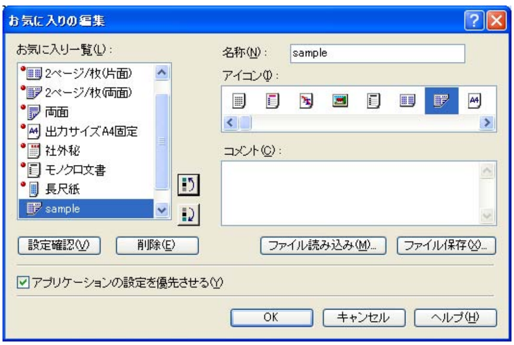
お気に入り情報の変更や保存、[お気に入り一覧] リストからの削除などができます。

1 [ ] (お気に入りの編集) をクリックします。



[お気に入りの編集] ダイアログボックスが表示されます。

2 お気に入り情報を編集します。



● **編集のしかた**

❏ [名称]、[アイコン]、[コメント] の登録内容を変更できます。

❏ []、[] をクリックすると、選択されているお気に入りを並べ替えることができます。

❏ [ファイル読み込み] をクリックすると、あらかじめ保存しておいたファイルからお気に入りの情報を読み込みます。

❏ [ファイル保存] をクリックすると、選択されているお気に入りの情報をファイルに保存します。ファイルに保存しておくと、いったんリストから削除したお気に入りをもう一度使うことができます。

❏ [アプリケーションの設定を優先させる] にチェックマークを付けると、アプリケーションソフトで設定した [原稿サイズ]、[印刷の向き]、[部数] の項目を優先して印刷します。お気に入りを変更しても前記の項目は、アプリケーションソフトの設定が有効になります。

● **削除のしかた**

❏ [削除] をクリックすると、お気に入りがリストから削除されます。

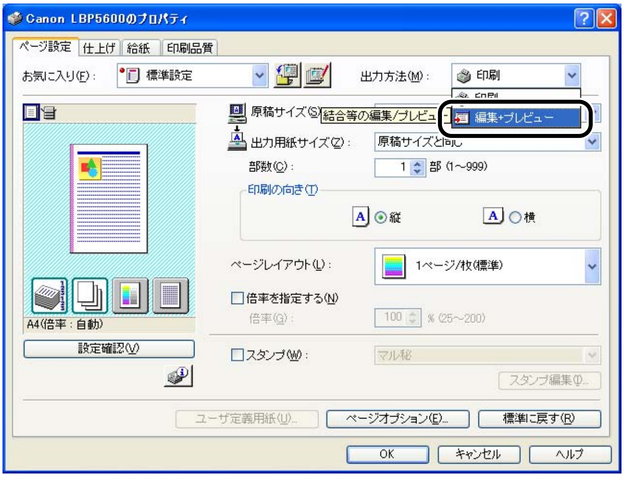
重要 削除できるのは独自に登録した「お気に入り」だけです。あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。また、各ページで選択中の「お気に入り」も削除することはできません。

ジョブを編集する

2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションの印刷ジョブの編集も可能です。
また、ジョブのプレビュー表示もできます。

[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスで [ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

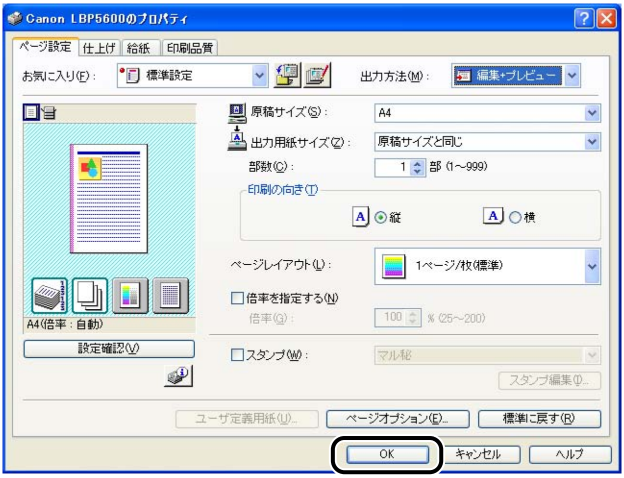
1 [出力方法] から [編集＋プレビュー] を選択します。



2 [編集＋プレビュー] モードのメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。



3 各ページで印刷条件の設定を行い、[OK] をクリックます。



[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

お使いのアプリケーションによっては、［印刷］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示され、ジョブがリストに表示されます。



5 編集したいジョブを同様に手順 1 から 4 を繰り返します。

6 ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでリストにあるジョブの編集を行います。

メモ

- ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでの詳しい設定方法については、Canon PageComposer のヘルプをご覧ください。
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスで［編集 + プレビュー］モードを選択し、［ ］（ロック）を設定している場合は、印刷時に必ず［Canon PageComposer］ダイアログボックスが起動します。

設定を確認する／設定を標準値に戻す

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各ページで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻すことができます。

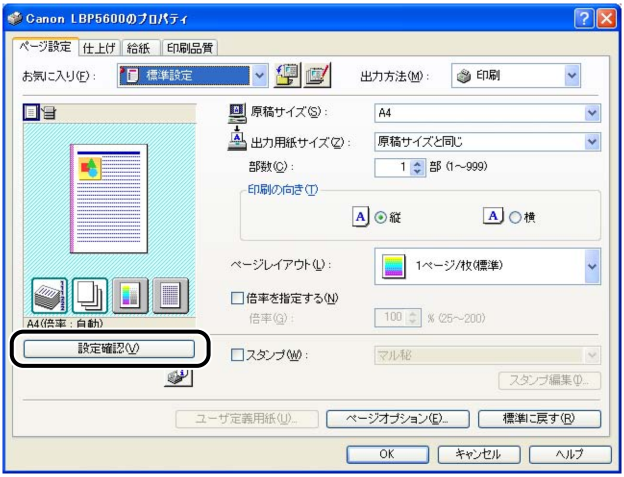
［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ

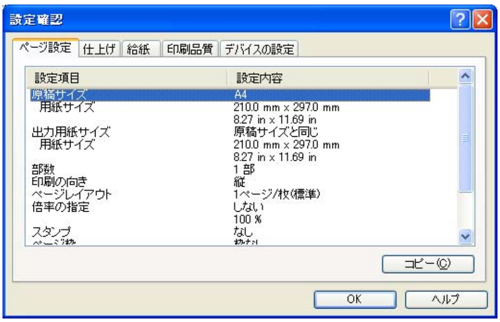
各ページではプレビューが表示されます。プレビューで印刷イメージの確認をすることもできます。

設定を確認する

1 [設定確認] をクリックします。



[設定確認] ダイアログボックスが表示されます。



[ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質]、[デバイスの設定] の各タブをクリックすると、それぞれのページで設定した印刷条件が一覧表示されます。

2 [OK] をクリックします。

元のページに戻ります。

設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、［標準に戻す］をクリックします。

標準値に戻るのは、［標準に戻す］と同じページまたは同じダイアログボックスで表示されている条件のみになります。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の５つのページの設定が、すべて一度に標準値に戻ることはありません。

プリンタステータスウィンドウについて

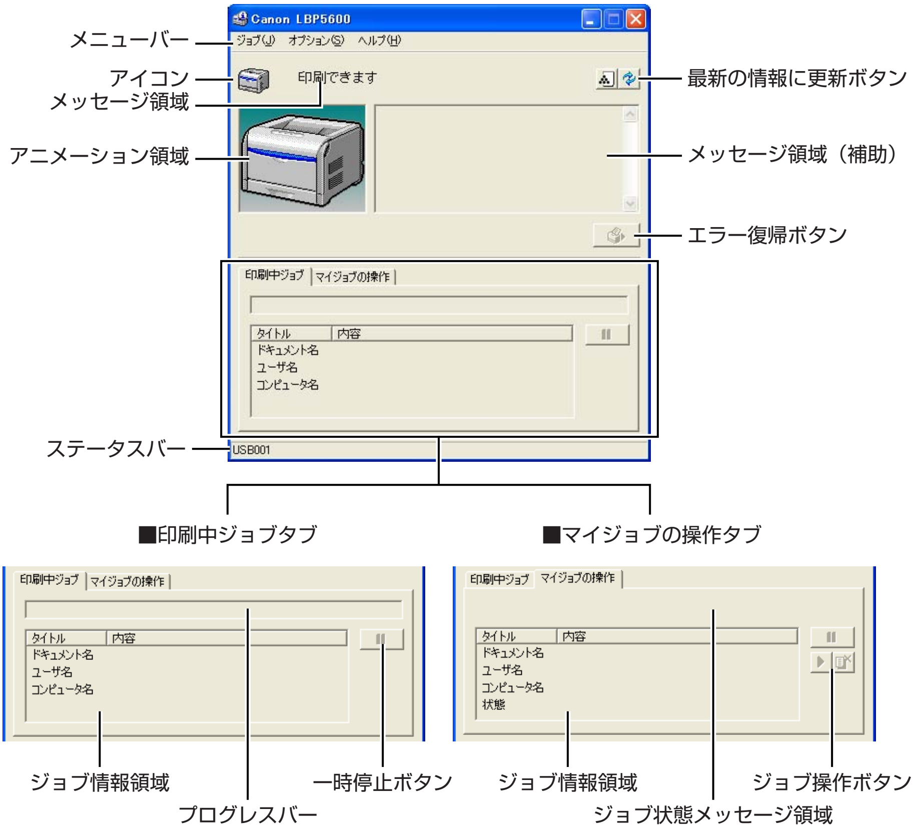
プリンタステータスウィンドウは、LBP5600 プリンタのステータス（操作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

メモ　サウンドを使用するには、お使いのコンピュータに PCM 音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの機能は、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 で共通です。

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。



■ メニューバー

ジョブメニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。また、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、[エラー復帰] を選択すると、ジョブを再開することができます。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
オプションメニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定やプリンタのキャリブレーション、印字位置の調整などを行います。
ヘルプメニュー	オンラインヘルプを表示します。

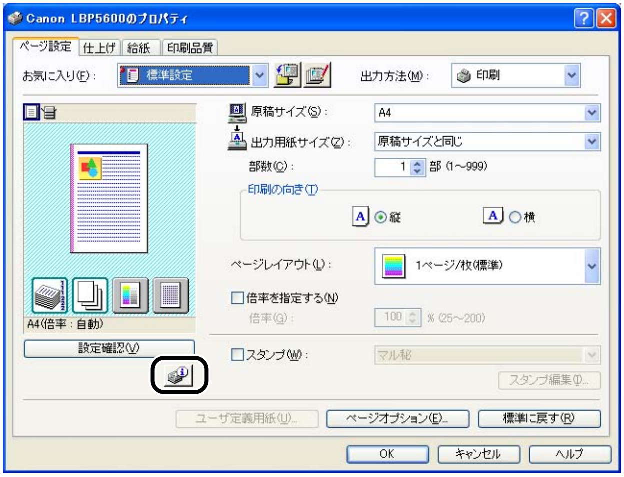
■ その他の機能

アイコン	プリンタのステータスをアイコンで表示します。
メッセージ領域	プリンタのステータスを短文で表示します。
メッセージ領域（補助）	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
アニメーション領域	プリンタのステータスをグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
最新の情報に更新ボタン	プリンタのステータスを取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
エラー復帰ボタン	印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。
印刷中ジョブタブ	プログレスバー： 印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。 一時停止ボタン： ジョブを一時的に停止します。 ジョブ情報領域： ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名を表示します。
マイジョブの操作タブ	ジョブ状態メッセージ領域： ジョブの状態を表すメッセージが表示されます。 ジョブ操作ボタン： 印刷の一時停止／ 再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。 ジョブ情報領域： ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名、状態を表示します。
ステータスバー	プリンタの接続先（ローカルまたはネットワーク）を表示します。メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

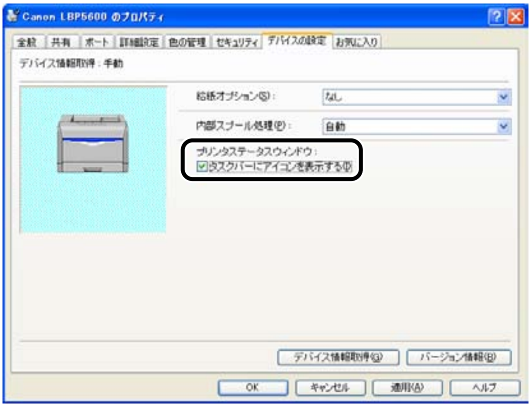
プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の 2 通りあります。

- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［ページ設定］ページなどにある［］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして起動します。



- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［デバイスの設定］ページにある［タスクバーにアイコンを表示する］にチェックマークを付けます。Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックし、［Canon LBP5600］をクリックして起動します。



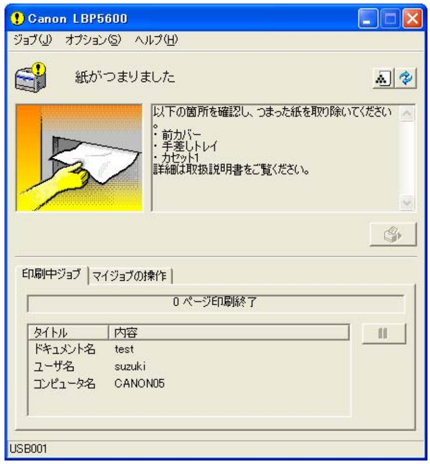


プリンタステータスウィンドウは、印刷中やエラー発生時などには自動的に表示されます。プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［環境設定］にある、［印刷開始時に表示］を選択していない場合は、印刷中には表示されません。（➞ 環境設定メニューについ て：P.4-82）

・印刷中▯



・エラー発生時▯



環境設定メニューについて

環境設定メニューでは、プリンタステータスウィンドウの自動表示、サウンドの設定、ステータスの監視などの設定ができます。

■［プリンタステータスウィンドウの表示］グループ

- 印刷開始時に表示（初期値）
  印刷が開始されたときに、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。
- エラー発生時のみ表示
  印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。
- 自動で表示しない
  印刷が開始されても、エラーが表示されても、プリンタステータスウィンドウを自動的には表示しません。
- 常に手前に表示する
  プリンタステータスウィンドウを常に最前面に表示します。

■［プリンタ状態の監視］グループ

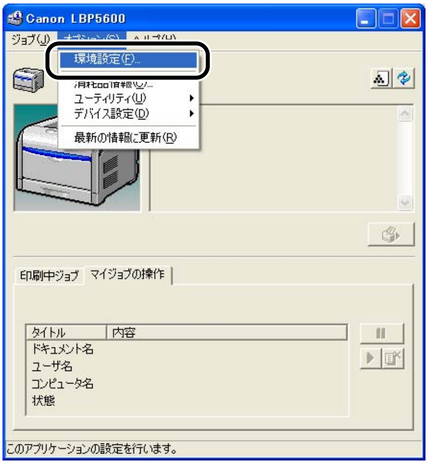
- プリンタステータスウィンドウ表示時のみ監視（初期値）
  プリンタステータスウィンドウが表示されている間のみプリンタのステータスを監視します。
- 印刷時のみ監視
  印刷時のみプリンタのステータスを監視します。

- 常に監視
  常にプリンタのステータスを監視します。
- プリンタに時刻を通知する
  ［常に監視］を選択した場合、［プリンタに時刻を通知する］にチェックマークを付けると、お使いのコンピュータで設定されている時刻がプリンタに通知されます。オプションのネットワークボードが NTP サーバから時刻を取得できない場合にチェックマークを付けます。

■［サウンド設定］グループ

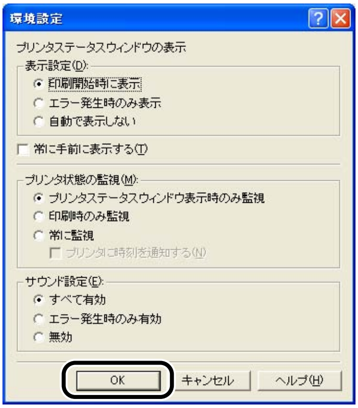
- すべて有効（初期値）
  メッセージと共にサウンドが流れます。
- エラー発生時のみ有効
  エラー発生を通知するときのみサウンドが流れます。
- 無効
  サウンドは流れません。

1 **［オプション］メニューから［環境設定］を選択します。**



［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **各設定を確認し、[OK]をクリックします。**



メモ　プリンタステータスウィンドウの操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

[消耗品情報]メニューについて

[オプション]メニューから[消耗品情報]を選択すると、[消耗品情報]ダイアログボックスが表示されます。[消耗品情報]ダイアログボックスには、各色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの寿命、廃トナー容器の状態を示すアイコンとメッセージが表示されます。

プリンタステータスウィンドウ上の[ ](消耗品情報)をクリックしても同様の操作ができます。



［ユーティリティ］メニューについて

［ユーティリティ］メニューでは、プリンタのキャリブレーションやプリンタステータスプリントなどを行います。

■ キャリブレーション

手動でプリンタのキャリブレーションを行います。印刷した色味が以前と変わってしまったときに実行します。詳しくは、「プリンタのキャリブレーションを行う」（➞P.5-62）を参照してください。

■ プリンタステータスプリント

プリンタのオプション設定や［オプション］メニューの［デバイス設定］の設定値、総印刷ページ数などの現在のプリンタの情報が印刷されます。詳しくは、「プリンタの機能を確認したいときには」（➞P.7-72）を参照してください。

■ ネットワークステータスプリント（ネットワークボード装着時のみ）

オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が印刷されます。詳しくは、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

■ 印字位置調整プリント

［印字位置調整プリント］ダイアログボックスを表示します。［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで印字位置を確認したい給紙部を選択し、印字位置調整プリントを印刷して、印字位置を確認します。詳しくは、「印字位置を調整する」（➞P.5-66）を参照してください。

■ テストチャートプリント

印字不良が発生した場合、テストチャートプリントを印刷して、印字不良の原因を調べます。詳しくは、「テストチャート 1 を印刷する」（➞P.7-51）、「テストチャート 2 を印刷する」（➞P.7-53）を参照してください。

■ クリーニング

ITB ユニットの転写ベルトをクリーニングします。転写ベルトに手などが触れて、印字品質が低下した場合に行ってください。詳しくは、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」（➞P.5-65）を参照してください。

［デバイス設定］メニューについて

印字位置がずれているときの調整やスリープ、キャリブレーションの設定など、プリンタに対する設定を行います。

■ 印字位置調整

［オプション］メニューの［ユーティリティ］にある［印字位置調整プリント］で出力した印字位置調整プリントで印字位置を確認し、この項目で印字位置（横位置）を調整します。詳しくは、「印字位置を調整する」（➞P.5-66）を参照してください。

■ スリープ設定

スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が［移行時間］で設定した時間を経過したときに、スリープモードに移行します。スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモードを使用する場合は、［スリープモードを使用する］にチェックマークを付けて、スリープモードに移行するまでの時間を［移行時間］で設定します。詳しくは、「消費電力の節約（スリープモード）について」（➞P.1-15）を参照してください。

■ キャリブレーション設定

毎日、設定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うことができます。設定した時刻に自動的にキャリブレーションを行う場合は、［定刻キャリブレーションタイマーを使用する］にチェックマークを付けて、キャリブレーションを行う時刻を［時刻］で設定します。詳しくは、「設定した時刻に自動でキャリブレーションを行う」（➞P.5-63）を参照してください。

■ カセット設定

［給紙］ページの［給紙部］を［自動］に設定した場合（自動給紙選択時）に、どのカセットを使用するかや、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）からユーザ定義用紙を印刷する場合、ペーパーフィーダにセットしたユーザ定義用紙の送り方向（置き方）を設定します。詳しくは、「給紙部の選択」（➞P.2-13）、「カセット 2、カセット 3、カセット 4 の用紙サイズを変更する」（➞P.2-46）を参照してください。

■ 消耗品情報リセット

プリンタステータスウィンドウに「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合は、このダイアログボックスで交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットします。詳しくは、「トナーカートリッジのカウンタをリセットする」（➞P.5-12）を参照してください。

■ 部品カウンタリセット

定着器やを交換した場合、［部品カウンタリセット］ダイアログボックスで、定着器のカウンタをリセットします。詳しくは、「定着器のカウンタをリセットする」（➞P.5-52）を参照してください。

■ 警告表示設定

プリンタの状態を警告するメッセージ（消耗品、定期交換部品の交換時期が近づいたことを知らせるメッセージ）をプリンタステータスウィンドウに表示するかどうかを設定します。

■ ネットワーク設定（ネットワークボード装着時のみ）

Windows XP Service Pack2 などの Windows ファイアウォール機能をもっている OS の場合、ネットワークの設定がされていないと、ネットワーク環境で使用するためのソフトウェアをインストールするときにプリンタを探索できないことがあります。そのような場合、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続して、プリンタドライバをインストールし、事前にこのダイアログボックスでネットワークの設定を行います。詳しくは、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

■ **小サイズ紙特殊設定**

幅の狭い用紙（A5 サイズなど）から幅の広い用紙（A4 サイズなど）へ切り替えて印刷する場合や幅の狭い用紙（A5 サイズなど）を連続で印刷する場合の設定を行います。

［最新の情報に更新］について

［オプション］メニューから［最新の情報に更新］を選択すると、プリンタの最新の情報を取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。

プリンタステータスウィンドウ上の［］（最新の情報に更新）をクリックしても同様の操作ができます。

[エラー復帰] について

[ジョブ] メニューから [エラー復帰] を選択すると、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。ただし、[エラー復帰] を選択して、ジョブを再開した場合、正しく印刷されないことがあります。以下の場合は [エラー復帰] の機能は使用できません。

• 紙づまりが起こった、用紙がなくなったなどのプリンタ本体の問題で印刷が停止している場合
• 他のユーザのジョブが停止している場合（ただし、コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では [エラー復帰] の機能は使用可能）

プリンタステータスウィンドウ上の []（エラー復帰）をクリックしても同様の操作ができます。

重要 プリンタステータスウィンドウに、「ディスク容量が不足しています」というメッセージが表示されている場合は、不要なファイルを削除してから、[エラー復帰] を選択してください。

プリントサーバを使用しているときの表示

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけでなく、クライアントのプリンタステータスウィンドウにも表示されます。

プリントサーバが立ち上がっていない場合はクライアントのプリンタステータスウィンドウは表示されません。

• プリントサーバのプリンタステータス
  · プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

[印刷中ジョブ] タブ		[マイジョブの操作] タブ		ジョブの動作
[ジョブ情報領域]	[一時停止] ボタン	[ジョブ情報領域]	[ジョブ操作] ボタン	
先頭のジョブが表示される	有効 *1	先頭のジョブが表示される *2	有効	一時停止： すべてのジョブが一時停止する 再開： すべてのジョブが再開する 印刷中止： 先頭のジョブが中止される

*1：[一時停止] ボタンをクリックすると、[マイジョブの操作] タブに移動します。
*2：プリントサーバとなるコンピュータ上で印刷した場合は、そのジョブが表示されます。

  · サウンドを流します。
  · プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、誰もログオンしていないとステータスは表示されません。（印刷は可能です。）

- クライアントのプリンタステータス
  - ・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

[印刷中ジョブ] タブ		[マイジョブの操作] タブ		ジョブの動作
[ジョブ情報領域]	[一時停止] ボタン	[ジョブ情報領域]	[ジョブ操作] ボタン	
プリントサーバにある先頭のジョブが表示される	自分のジョブが [ジョブ情報領域] に表示されている場合：有効 * 他のユーザのジョブが [ジョブ情報領域] に表示されている場合：無効	自分のジョブの先頭のジョブが表示される	有効	一時停止： すべての自分のジョブが一時停止する 再開： すべての自分のジョブが再開する 印刷中止： 自分の先頭のジョブが中止される

＊： [一時停止] ボタンをクリックすると、[マイジョブの操作] タブに移動します。

・[エラー復帰] ボタンは他のユーザのジョブが停止している場合、使用できません。

・プログレスバーは他のユーザのジョブが印刷されている場合、グレー表示になります。

・ユーザが一致するクライアントのみ、サウンドを流します。

メモ　ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、次のいずれかのプロトコルが使用できる環境が必要です。

・TCP/IP

・NetBEUI

日常のメンテナンス

5
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリンタステータスウィンドウにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
＜トナーの色＞*のトナーカートリッジは交換時期が近づいています。	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
トナーカートリッジの交換が必要です ＜トナーの色＞*のトナーカートリッジが寿命になりました。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジが寿命になったとき	・ブラックのトナーカートリッジが寿命になったときは、プリンタは停止し、継続して印刷することはできません ・ブラック以外のトナーカートリッジが寿命になったときは、モノクロ印刷のみ行うことができます ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

* ＜トナーの色＞には、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます（複数表示される場合もあります）。

重要

- 交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP5600	Toner Cartridge 502 Black Toner Cartridge 502 Yellow Toner Cartridge 502 Magenta Toner Cartridge 502 Cyan

- 「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合は、必ずトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください（→P.5-12）。

メモ　本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・ブラック（Toner Cartridge 502 Black）　：約 10,000 ページ
・イエロー（Toner Cartridge 502 Yellow）　：約 6,000 ページ
・マゼンタ（Toner Cartridge 502 Magenta）：約 6,000 ページ
・シアン（Toner Cartridge 502 Cyan）　：約 6,000 ページ

[消耗品情報] ダイアログボックスの表示について

トナーカートリッジの交換時期を知る目安として、プリンタステータスウィンドウに［消耗品情報］ダイアログボックスがあります。［消耗品情報］ダイアログボックスには、各色のトナーカートリッジの状態が表示されます。

[消耗品情報] ダイアログボックスの表示方法

1　プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-81）を参照してください。

2　[　]（消耗品情報）をクリックします。

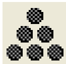
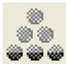
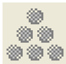
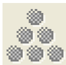
［オプション］メニューから［消耗品情報］を選択しても、［消耗品情報］ダイアログボックスを表示することができます。



［消耗品情報］ダイアログボックスが表示されます。



アイコンの意味は以下のとおりです（ブラックのトナーカートリッジを例に説明します）。

アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	トナーカートリッジの寿命が近づいています。交換用のトナーカートリッジを用意してください。
	トナーカートリッジが寿命になりました。トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが装着されていません。

トナーカートリッジの交換

プリンタステータスウィンドウに「トナーカートリッジの交換が必要です」と表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください。

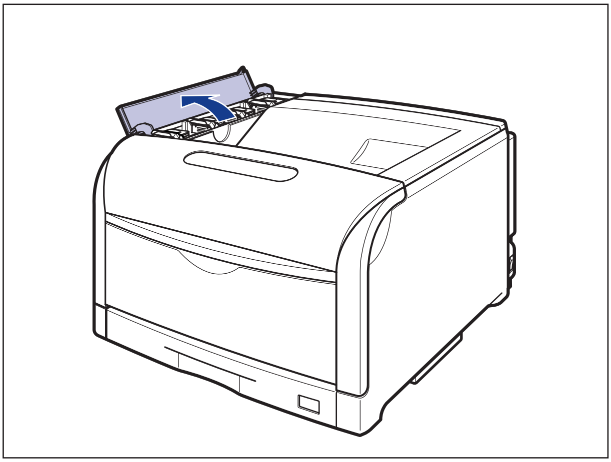
警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

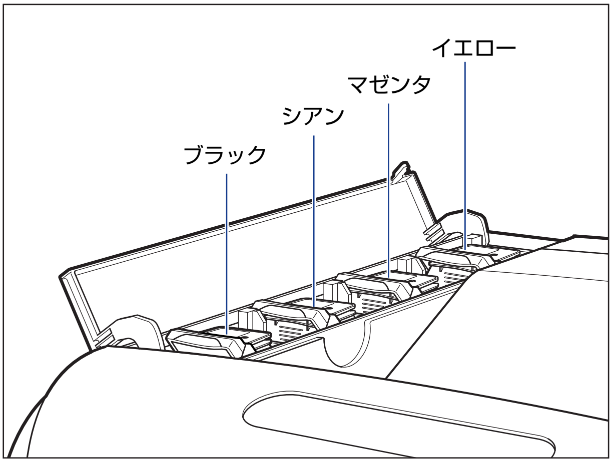
重要　必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

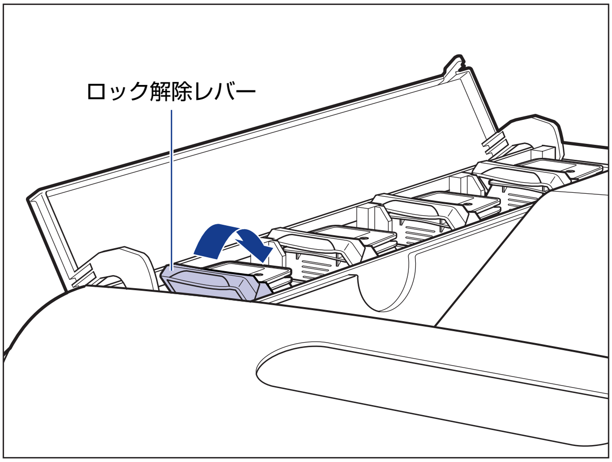
1 トナーカバーを開けます。



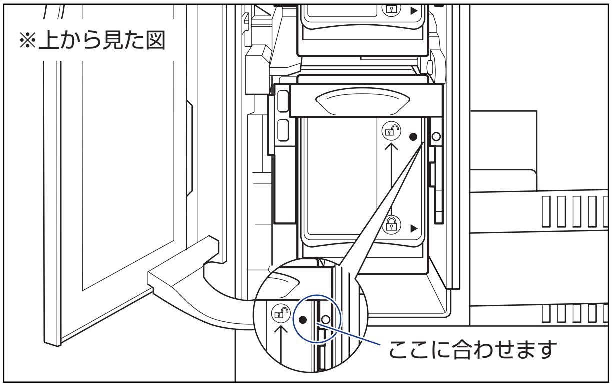
重要 トナーカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。



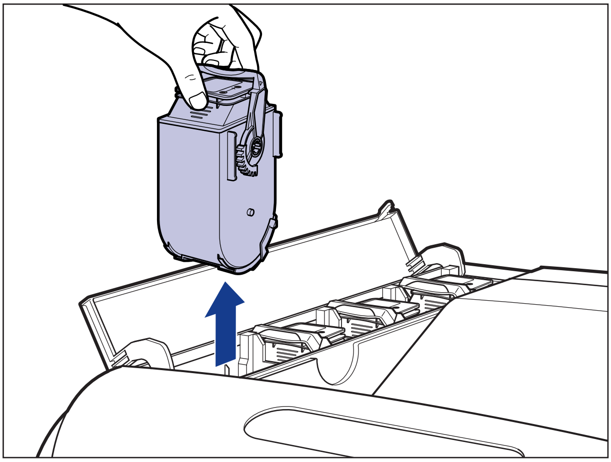
2 交換する色のトナーカートリッジのロック解除レバーを「🔓」の位置まで倒して、ロックを解除します



ロック解除レバーの丸マークをトナーカートリッジの丸マークに合わせます。



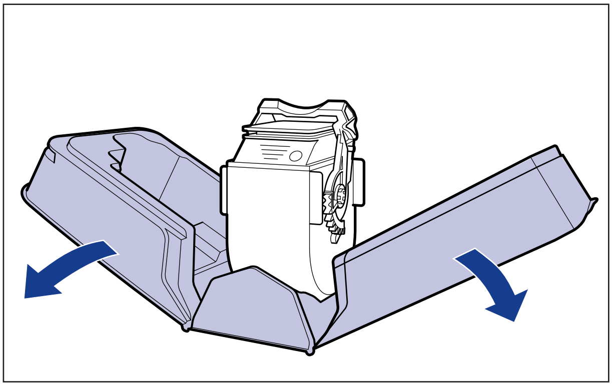
3 トナーカートリッジを本体から取り外します。



重要　トナーカートリッジが取り外せない場合は、ロック解除レバーの丸マークとトナーカートリッジの丸マークが合っているかを確認してください。無理に取り外すと故障の原因になります。

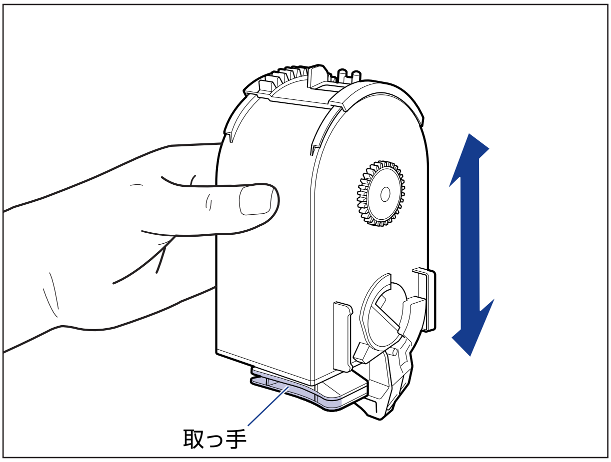
4 トナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護パックから取り出します。

保護パックは上面の中央部を持って、左右に開きます。



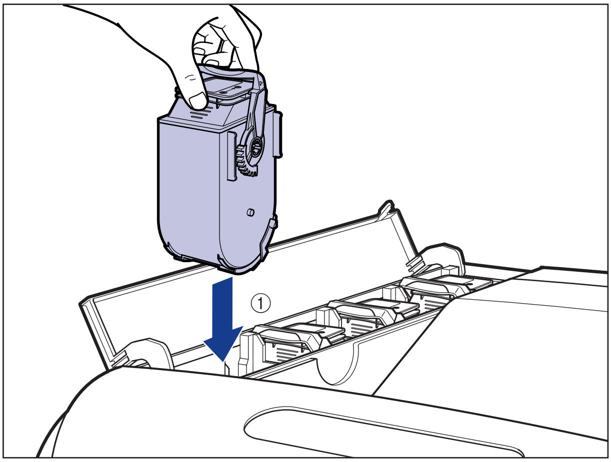
重要　トナーカートリッジが入っていた保護パックは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

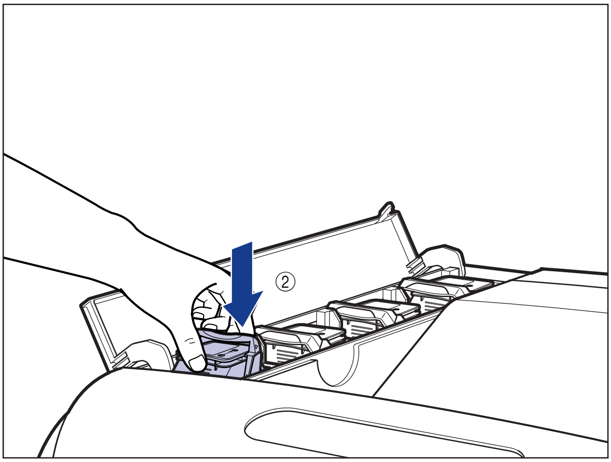
5 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復10回振って、内部のトナーを均一にならします。



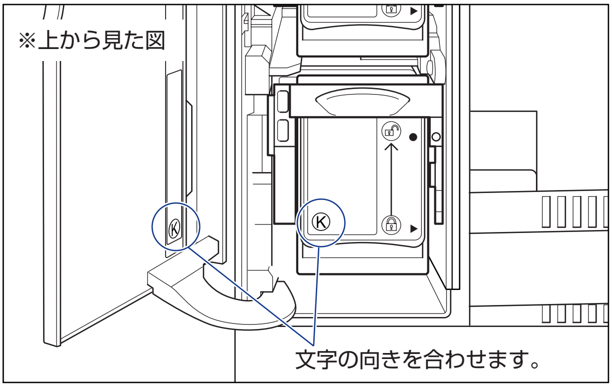
重要 トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

6 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを本体に挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

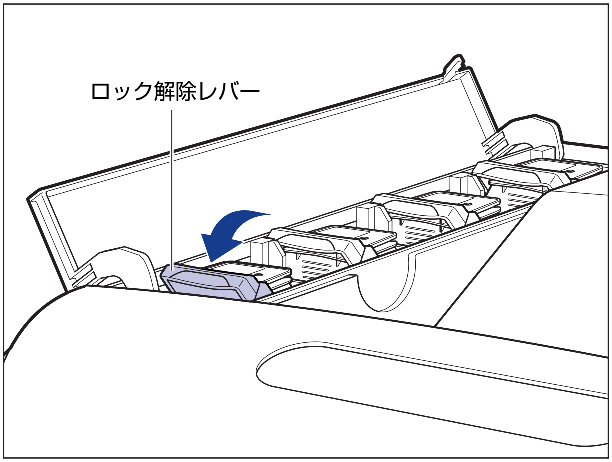




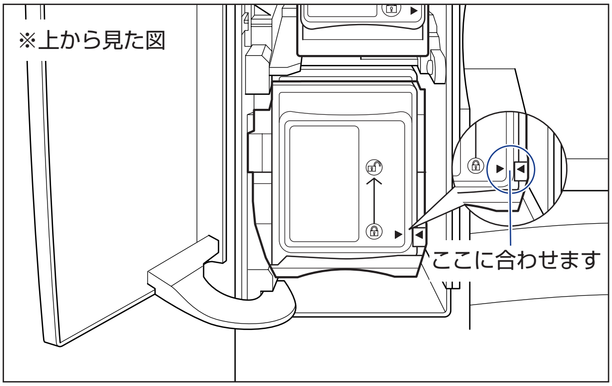
トナーカートリッジとトナーカバーにある文字の向きが合うように取り付けます。



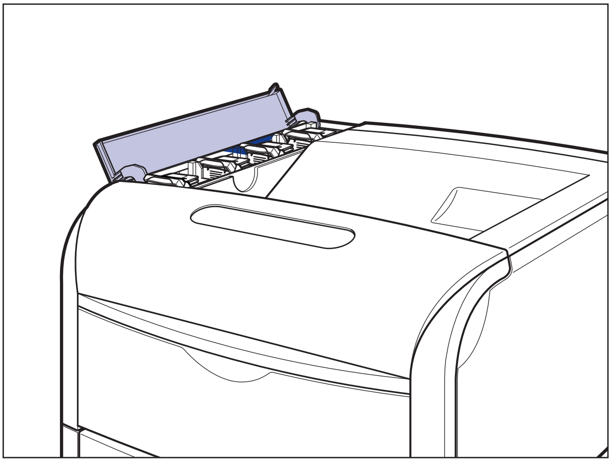
7 ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。



ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。



8 トナーカバーを閉めます。



重要
- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

メモ
トナーカートリッジをセットしても、「トナーカートリッジの交換が必要です」が消えるまで数秒時間がかかります。「トナーカートリッジの交換が必要です」が消えない場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、「トナーカートリッジのカウンタをリセットする」（➞P.5-12）でカウンタのリセットを行います。

トナーカートリッジのカウンタをリセットする

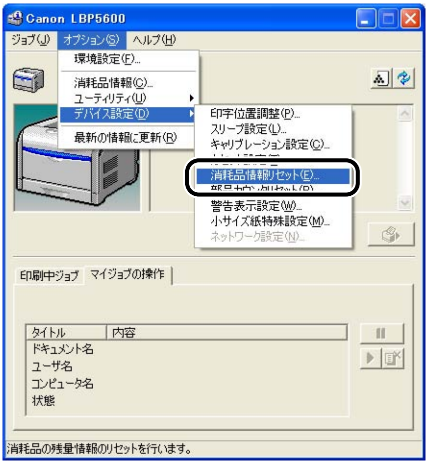
「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合は、次の手順で必ずトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。カウンタのリセットを行わないと、トナーカートリッジの寿命が正しく検知されなくなります。

重要
この操作は「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合にのみ行ってください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

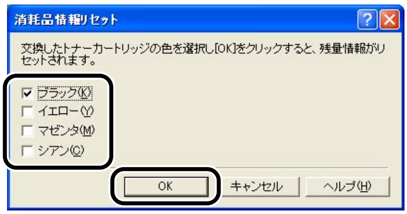
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-81）を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［消耗品情報リセット］を選択します。



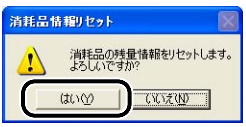
［消耗品情報リセット］ダイアログボックスが表示されます。

3 交換した色のトナーカートリッジを選択して、［OK］をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

4 ［はい］をクリックします。



メモ トナーカートリッジのカウンタをリセットしたあと、「トナーカートリッジの交換が必要です」が表示された場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

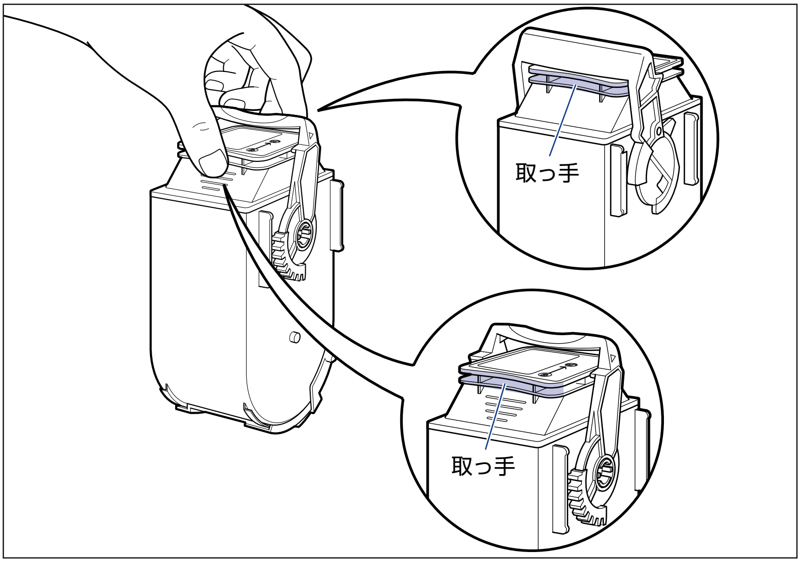
トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

⚠警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

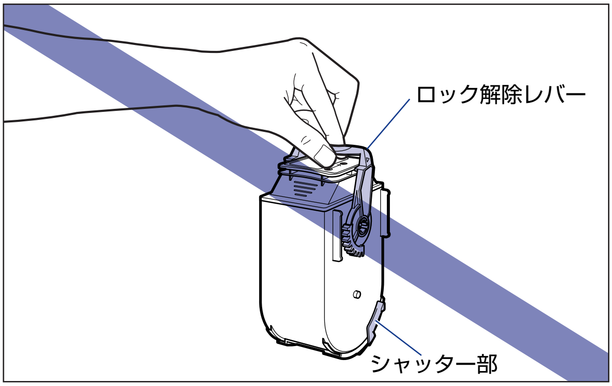
⚠注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- プリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護パックに入れるか、厚い布で包んでください。

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように取っ手を持って取り扱ってください。



- 図のようにトナーカートリッジのロック解除レバーを持ったり、シャッター部を触ったりしないでください。また、指定された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

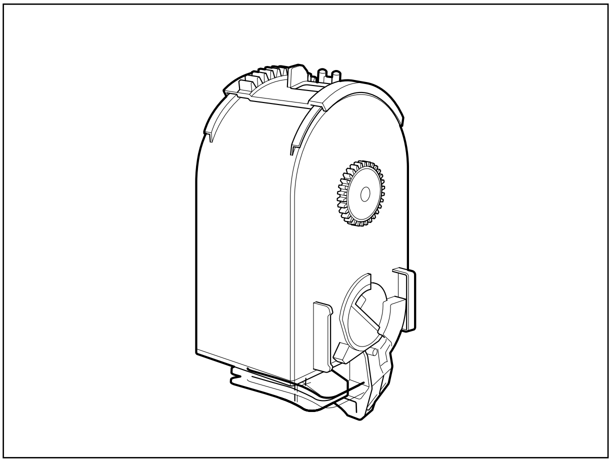


- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護パックを開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護パックから取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護パックに入れるか、厚い布で包み、以下の状態で保管してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、プリンタステータスウィンドウにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
＜ドラムの色＞*のドラムカートリッジは交換時期が近づいています。	ドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のドラムカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします
ドラムカートリッジの交換が必要です ＜ドラムの色＞* のドラムカートリッジは交換が必要ですが、このまま印刷を続けることもできます。ただし、正しい印刷結果を得られない場合があります。	ドラムカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止します ・［エラー復帰］ボタンをクリックすると少しの間はそのまま印刷を継続できますが、印字品質が低下することがあります ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください
＜ドラムの色＞*のドラムカートリッジは交換が必要です。なるべく早く交換してください。	ドラムカートリッジが寿命になったとき	・少しの間はそのまま印刷を継続できますが、印字品質が低下することがあります ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください
ドラムカートリッジの交換が必要です ＜ドラムの色＞*のドラムカートリッジが寿命になりました。カバーを開けて、ドラムカートリッジを交換してください。	ドラムカートリッジが使用できなくなったとき	・プリンタは停止し、継続して印刷することはできません ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください

* ＜ドラムの色＞には、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます（複数表示される場合もあります）。

重要 交換の際は、必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正ドラムカートリッジ
LBP5600	Drum Cartridge 502 Black Drum Cartridge 502 Yellow Drum Cartridge 502 Magenta Drum Cartridge 502 Cyan

メモ

- 本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、連続 / 片面印刷
  ・ブラック（Drum Cartridge 502 Black）：約 45,000 ページ
  ・イエロー（Drum Cartridge 502 Yellow）：約 45,000 ページ
  ・マゼンタ（Drum Cartridge 502 Magenta）：約 45,000 ページ
  ・シアン（Drum Cartridge 502 Cyan）：約 45,000 ページ
- 2枚ずつ間隔をあけて印刷（2 枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 40,000 ページ、カラー各色約 36,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

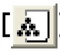
［消耗品情報］ダイアログボックスの表示について

ドラムカートリッジの交換時期を知る目安として、プリンタステータスウィンドウに［消耗品情報］ダイアログボックスがあります。［消耗品情報］ダイアログボックスには、ドラムカートリッジの状態が表示されます。

［消耗品情報］ダイアログボックスの表示方法

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

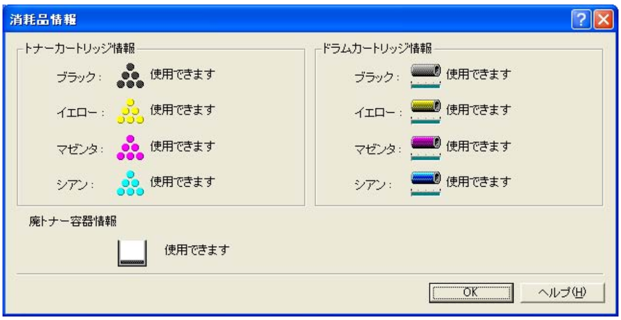
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-81）を参照してください。

2 []（消耗品情報）をクリックします。

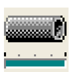
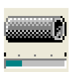
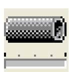
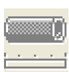
［オプション］メニューから［消耗品情報］を選択しても、［消耗品情報］ダイアログボックスを表示することができます。



［消耗品情報］ダイアログボックスが表示されます。



アイコンの意味は以下のとおりです（ブラックのドラムカートリッジを例に説明します）。

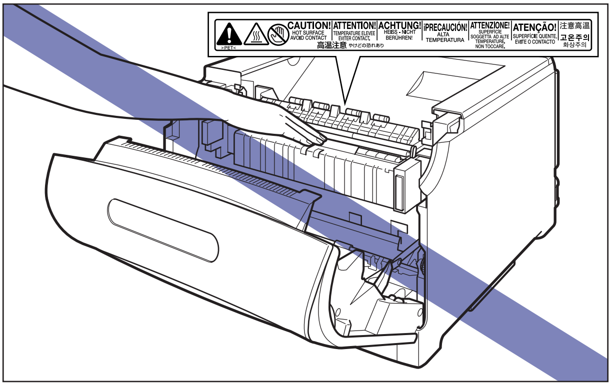
アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。交換用のドラムカートリッジを用意してください。
	ドラムカートリッジが寿命になりました。ドラムカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが装着されていません。

ドラムカートリッジの交換

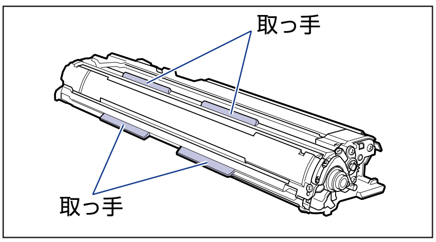
プリンタステータスウィンドウに「ドラムカートリッジの交換が必要です」と表示されたときは、ドラムカートリッジを新品のドラムカートリッジに交換してください。

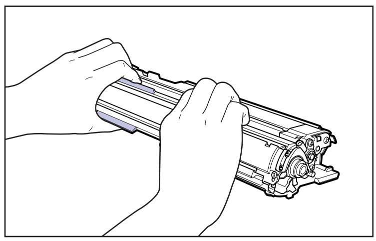
⚠警告
- 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

⚠注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



重要
- 必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。
- 一度使用したドラムカートリッジを再度プリンタに取り付けないでください。ドラムカートリッジの寿命が正しく検知されなかったり、故障の原因になることがあります。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

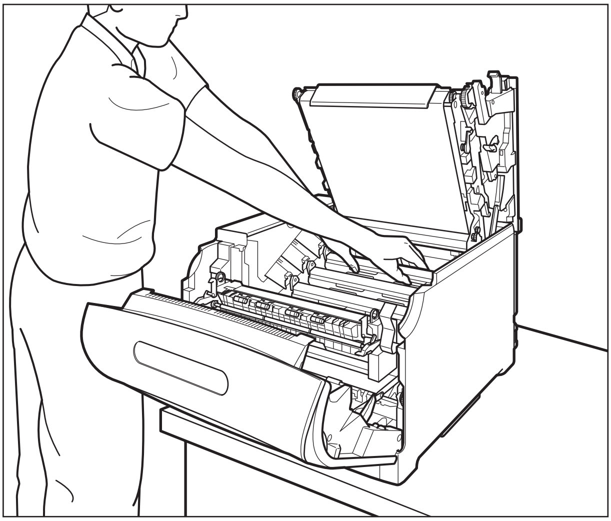




- ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。

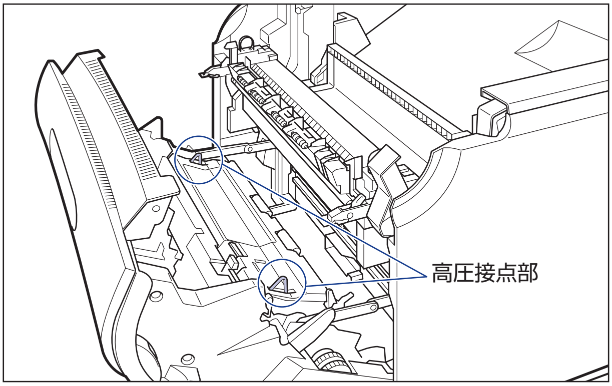
5
日常のメンテナンス

- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。



- 次の位置にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

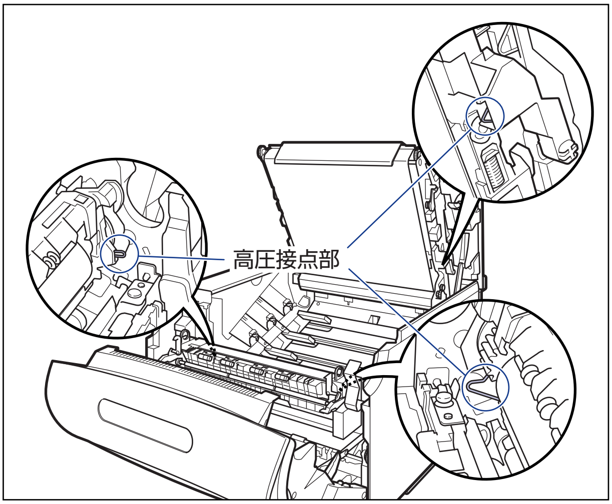
  ・前カバー内側



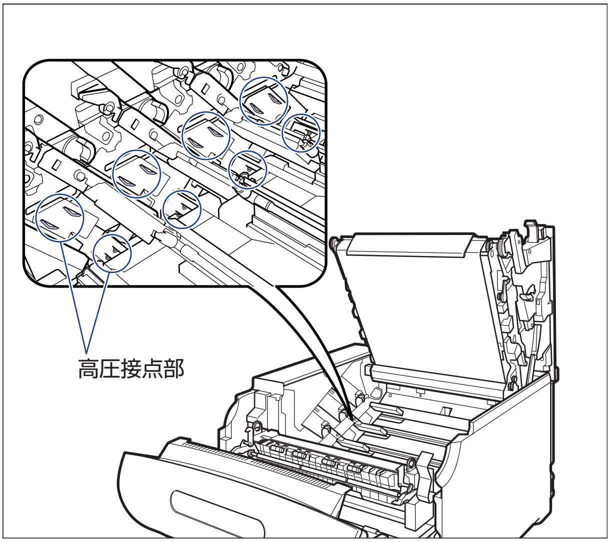
5

日常のメンテナンス

・ITB ユニット右側、プリンタ内部



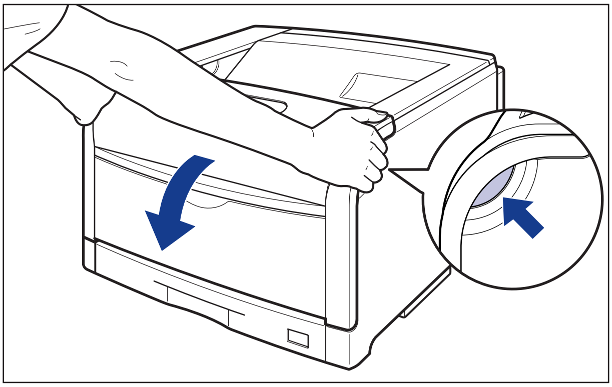
・ドラムカートリッジガイド部



メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

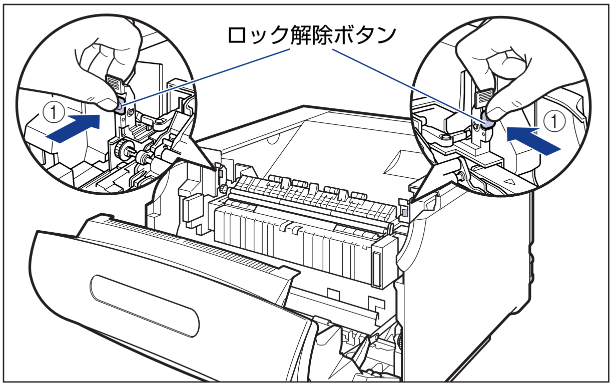
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

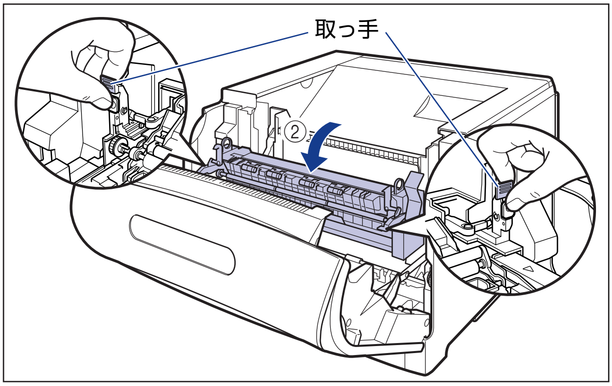


重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

2 定着器を手前に倒します。

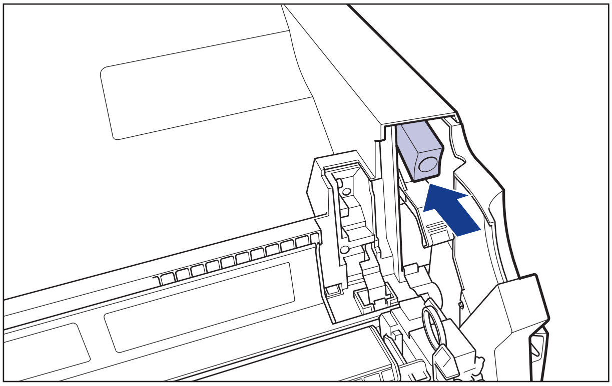
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。



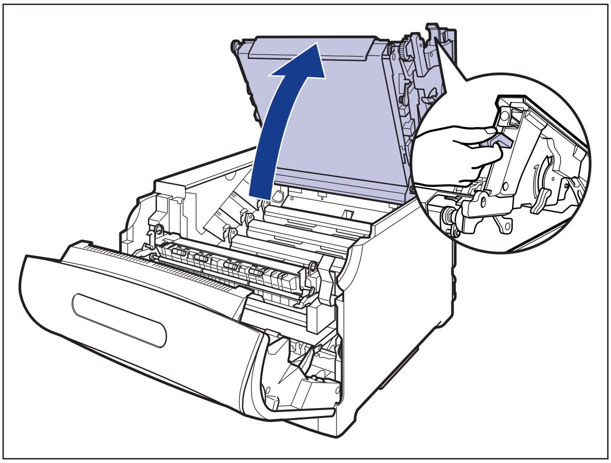


3 上カバーを開けます。

上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

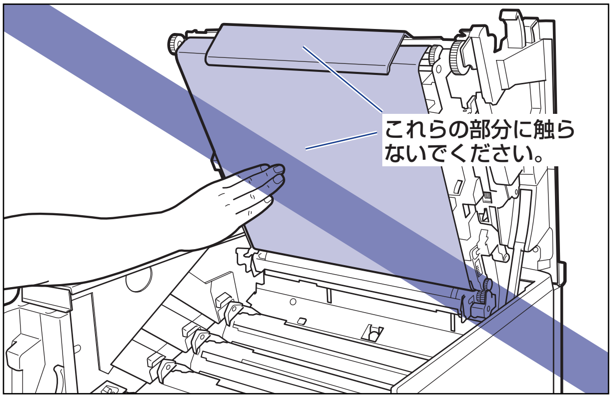


上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

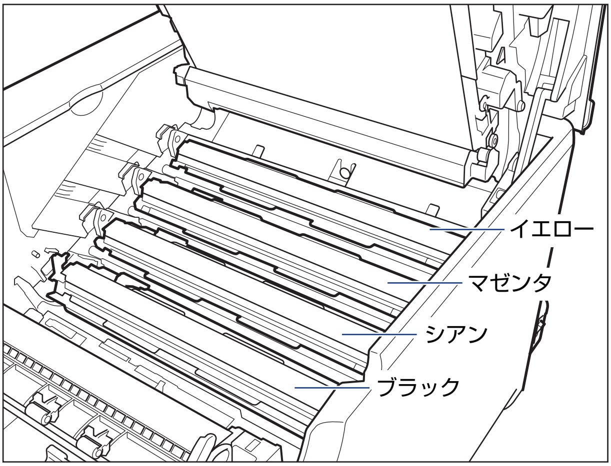


重要

- ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB　ユニットの転写ベルトを清掃する」（➞P.5-65）を参照して、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITB ユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

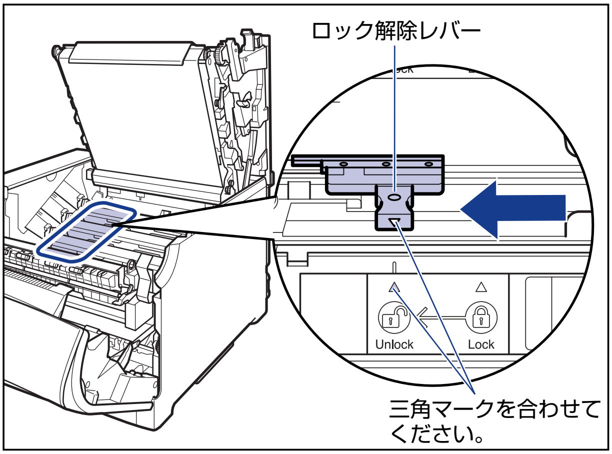


- ドラムカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。



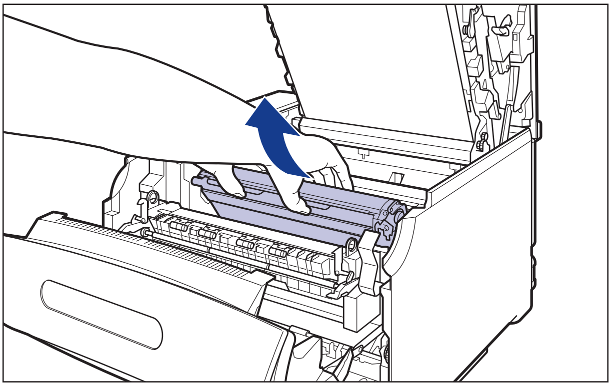
4 交換する色のドラムカートリッジの青色のロック解除レバーを「🔓」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

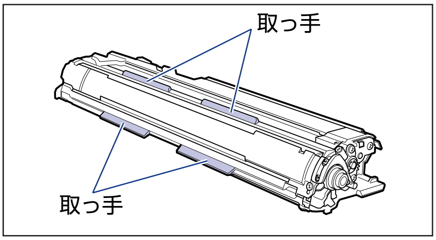


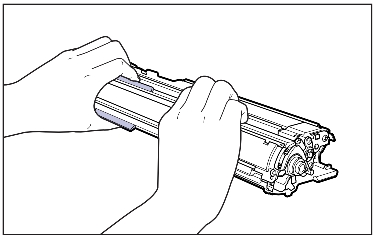
5
日常のメンテナンス

5 ドラムカートリッジを取り出します。



ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。



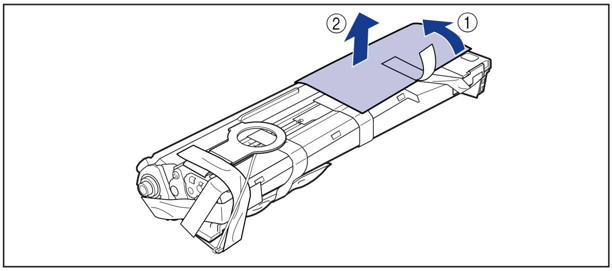


6 ドラムカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

重要　ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。

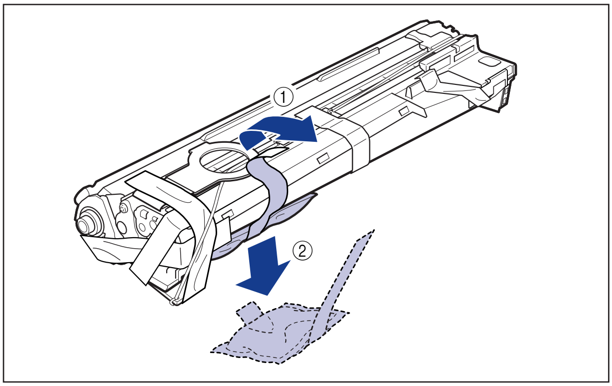
7 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。



8 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから ①、取り外します ②。



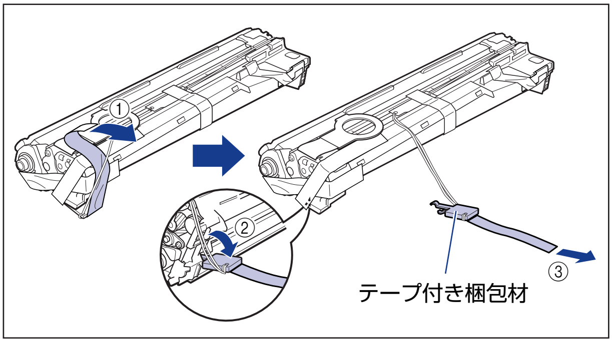
重要　取り外した乾燥剤は、地域の条例にしたがって処分してください。

5

日常のメンテナンス

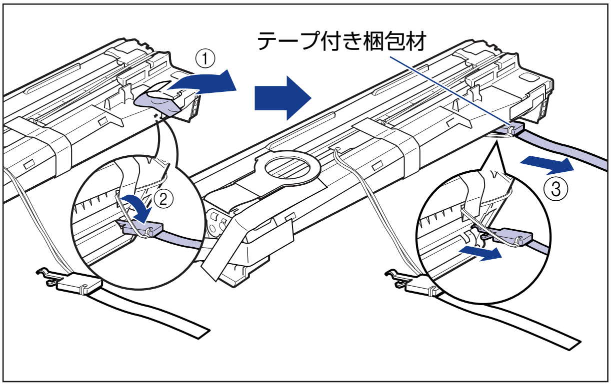
9 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



10 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

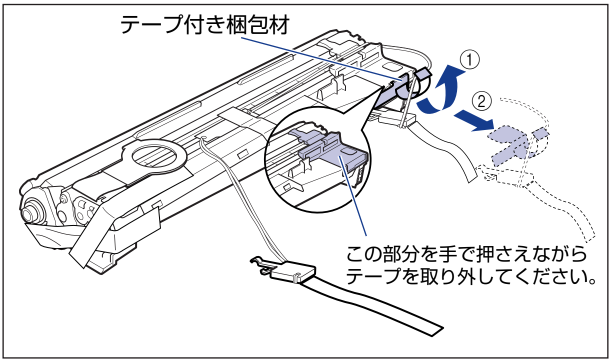
テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



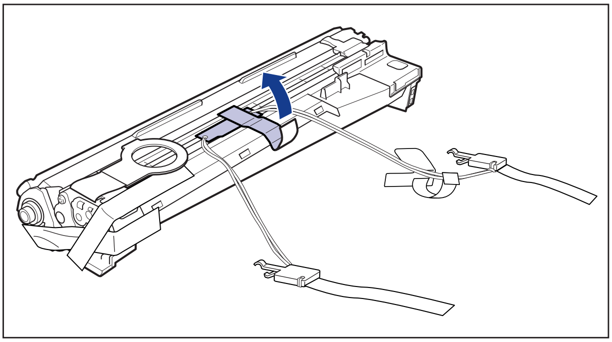
11 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。



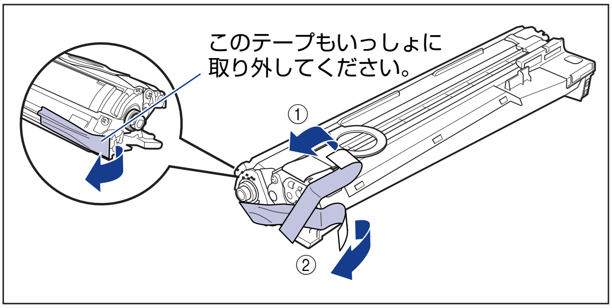
12 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。



重要　取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

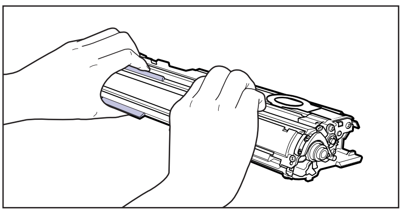
13 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、② の順に取り外します。

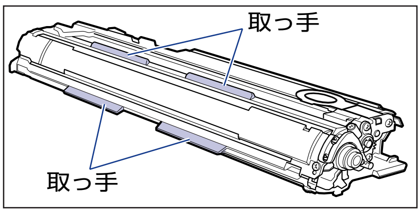
② で取り外すテープは、テープの後端にもう 1 枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。



14 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち、図のように往復 10 ～ 12回振って、内部の現像剤を均一にならします。

ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。

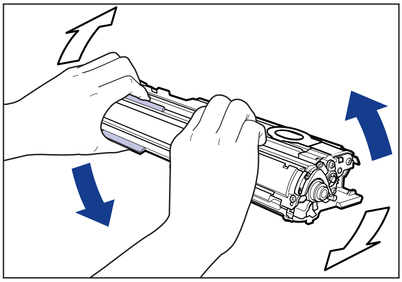


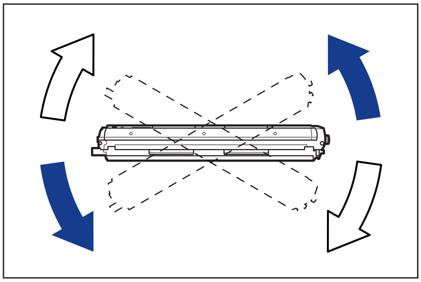


5

日常のメンテナンス

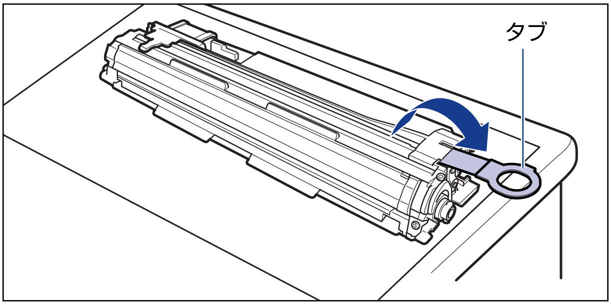
ドラムカートリッジを図のように往復 10 ～ 12 回振ります。



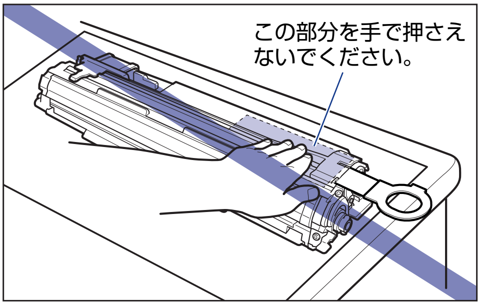


重要 現像剤が均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

15 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。

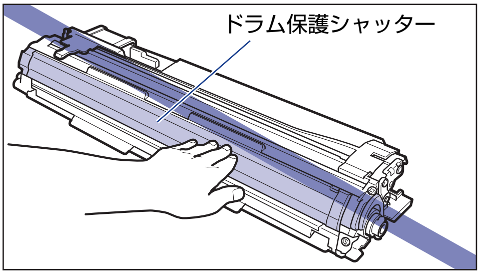


重要
- ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。
- シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

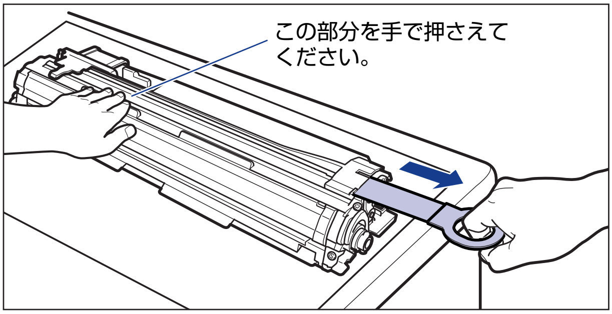


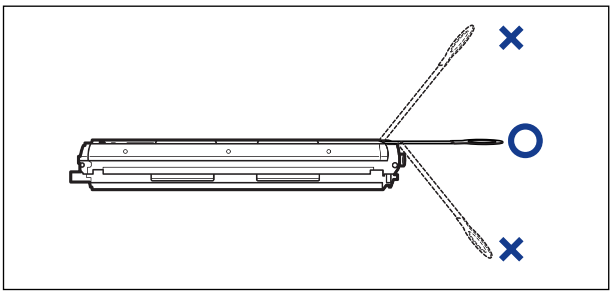
5
日常のメンテナンス

- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



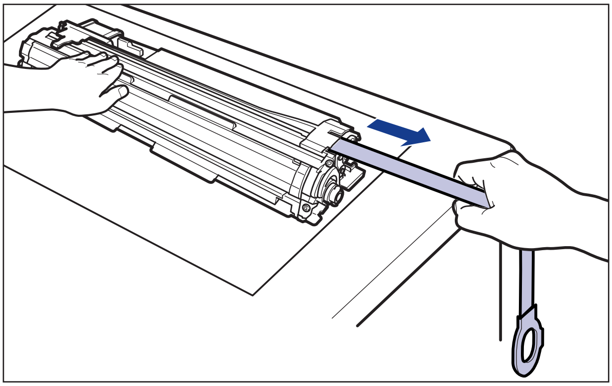
16 **ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 70cm）をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。**
シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。





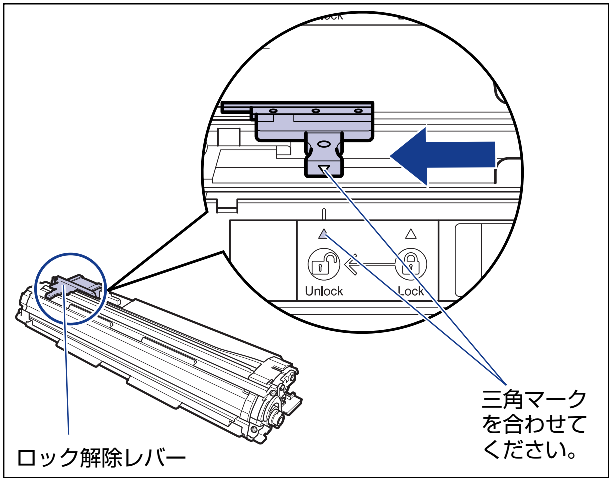
重要

- シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

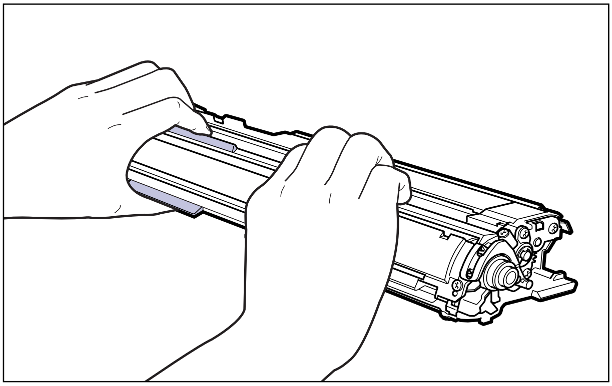


- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがドラムカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

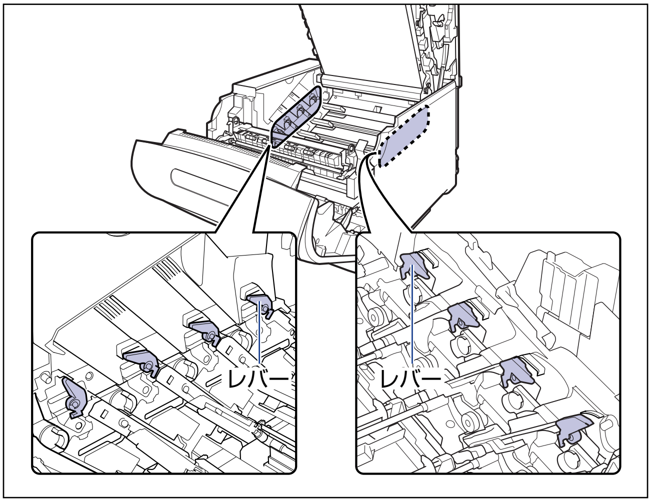
17 **ドラムカートリッジをセットする前に、図のようにロック解除レバーの三角マークとラベルの「（アンロックマーク）」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。**



ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

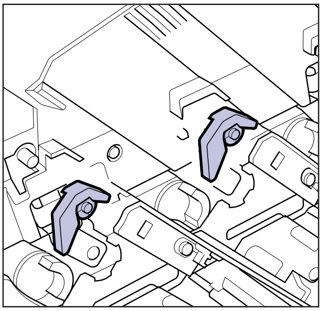


18 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

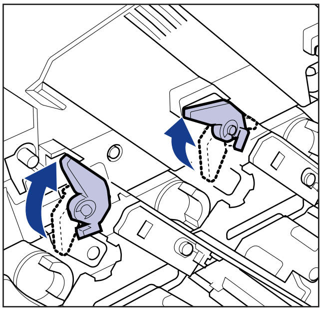


正しい位置にレバーがないとドラムカートリッジを取り付けることはできません。図のようにレバーを正しい位置まで押し上げます。

●正しくない位置

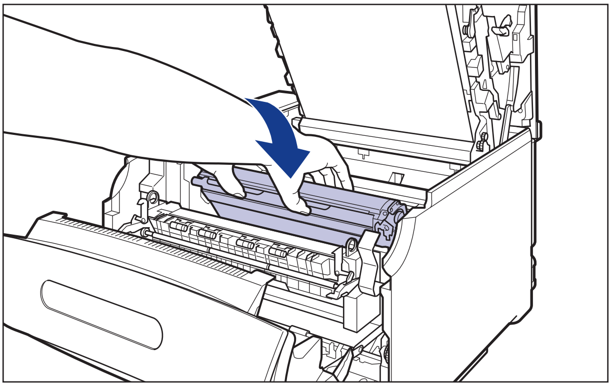


●正しい位置



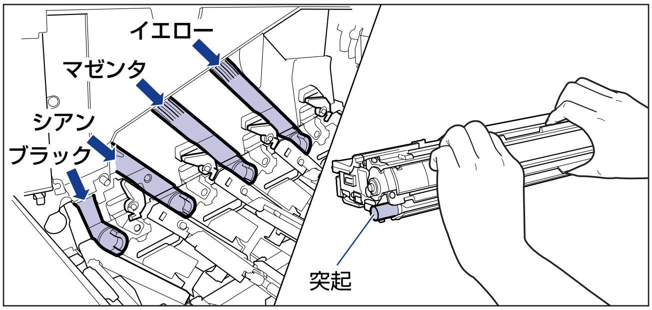
19 ドラムカートリッジを本体に取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

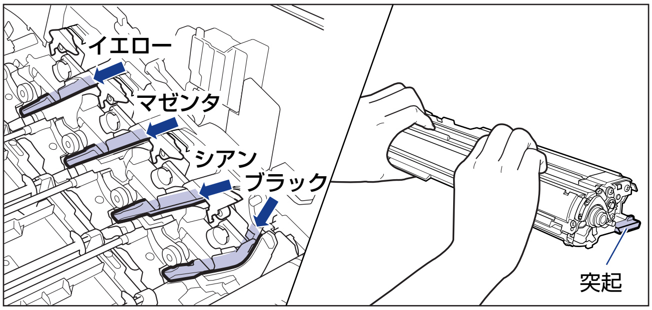


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドに挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）



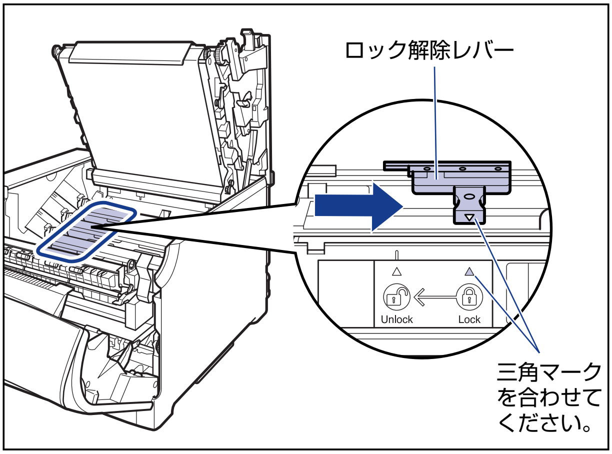
●ドラムカートリッジガイド（右）



重要 ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

20 青色のロック解除レバーを「🔒」の位置までスライドさせて、ロックします。

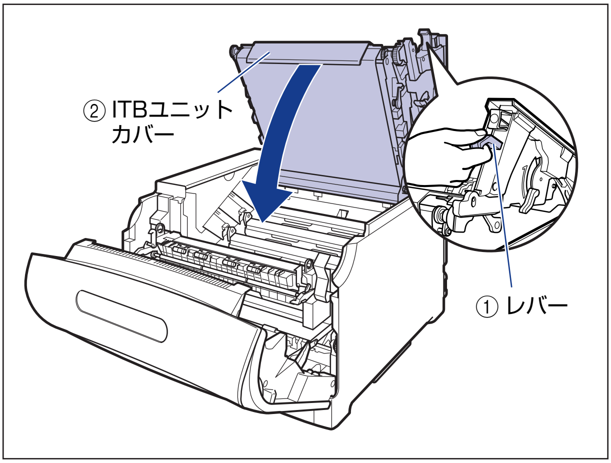
ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。



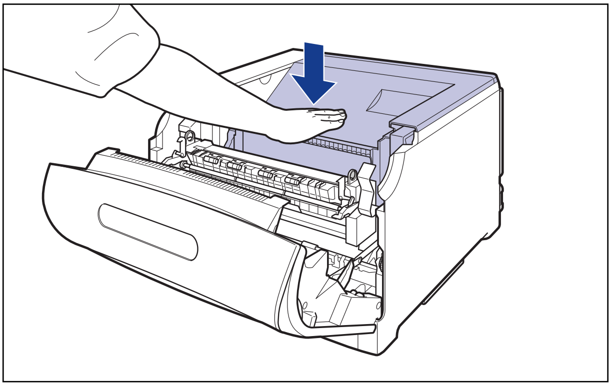
5 日常のメンテナンス

21 上カバーを閉めます。

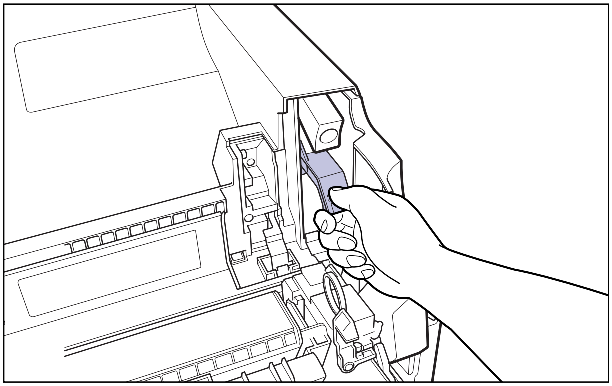
プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。



図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

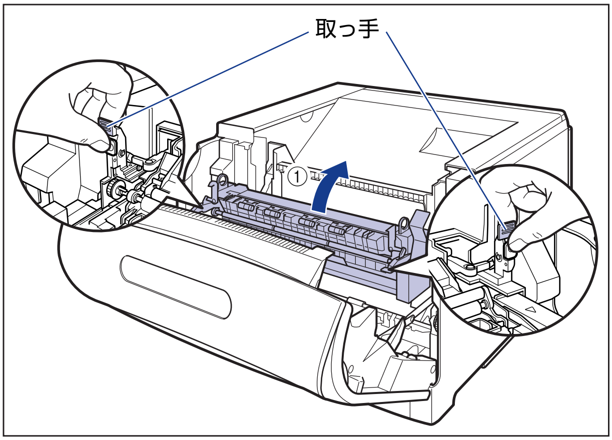


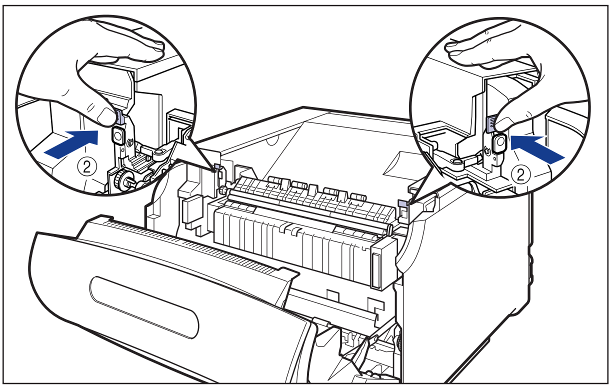
図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。



重要　上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

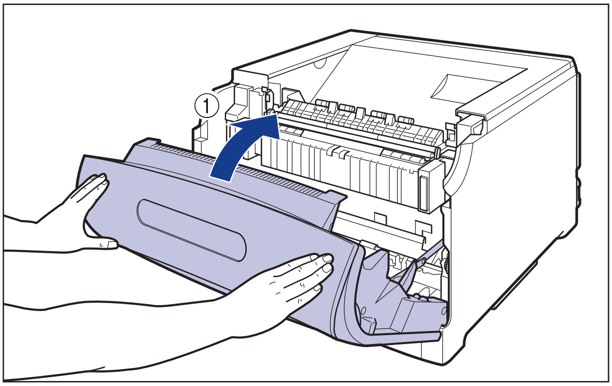
22 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

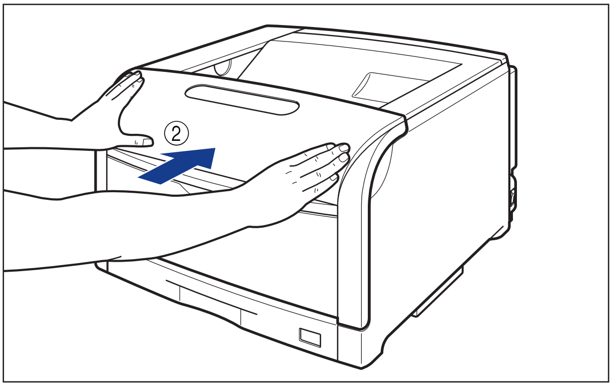




23 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





⚠注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

使用済みドラムカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みドラムカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

ドラムカートリッジ取り扱いのご注意

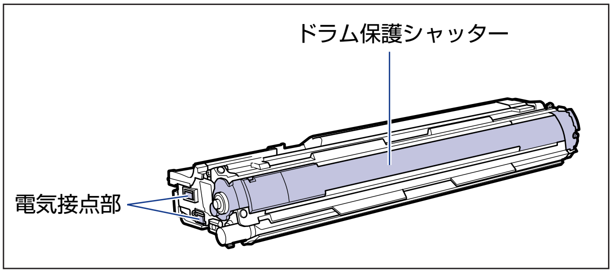
ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

⚠警告
- 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

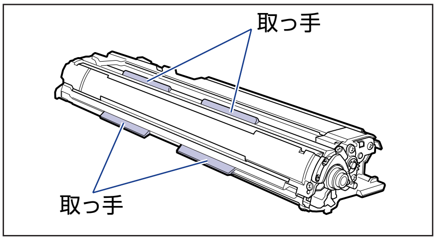
⚠注意
トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

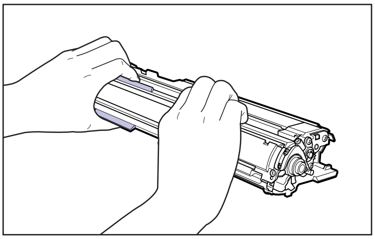
重要

- 内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、電気接点部など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- ドラムカートリッジは、 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- ドラムカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。 データ破損などの原因になることがあります。
- プリンタの修理のためにドラムカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。 立てたり、裏返したりしないでください。

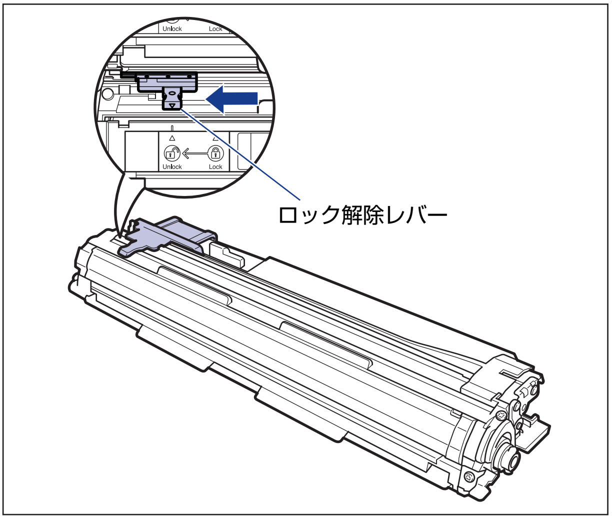




5

日常のメンテナンス

- ドラムカートリッジを取り扱う際は、青色のロック解除レバーが「(解除アイコン)」の位置にあることを確認してください。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってドラムカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はドラムカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着器を交換する

定着器の交換方法について説明しています。

メッセージが表示されたときは

定着器のカウンタが規定値になると、プリンタステータスウィンドウに「定着器の交換時期が近づいています。」のメッセージが表示されます。そのままでも印刷することはできますが、トナーの定着性が悪くなるなど印字品質が低下してきます。「定着器の交換時期が近づいています。」が表示され印字品質が低下したときは、新しい定着器への交換をおすすめします。定着器は定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。

重要 交換の際は、必ず本プリンタ専用の定着器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正定着器
LBP5600	FUSER KIT UM-98F

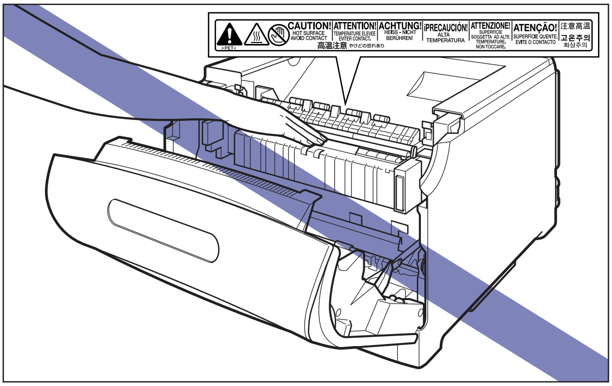
メモ 本プリンタ用の定着器（キヤノン純正品）の寿命は、A4 サイズを片面印刷した場合で約 150,000 ページです。

定着器の交換

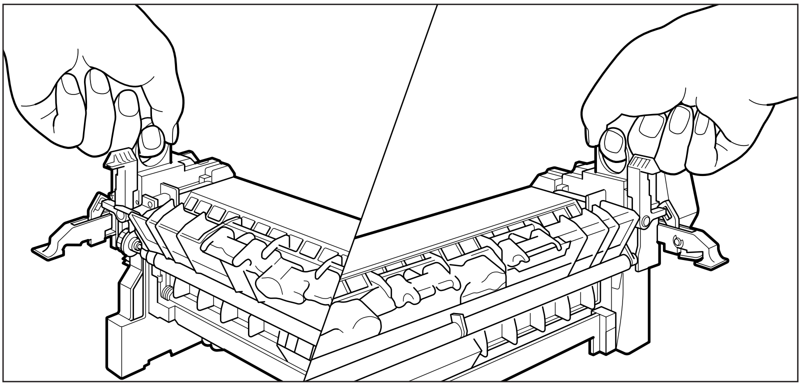
定着器を交換するときは、次の手順で新しい定着器と交換してください。

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器を交換するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

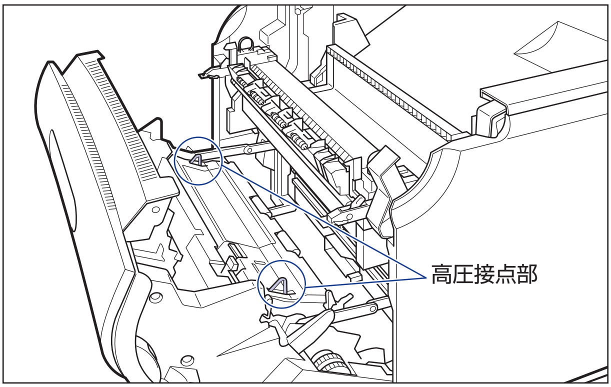


- 定着器は約 2.9kg あります。定着器を持つときは、左右の取っ手を両手でしっかりと持ってください。足などの上に落とすとけがの原因になることがあります。



重要

- 定着器の交換後は、カウンタのリセットを行ってください。
  ·「定着器のカウンタをリセットする」(→P.5-52)
- 定着器のローラなど、指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。印字品質の低下や故障の原因になります。
- 前カバー内側にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

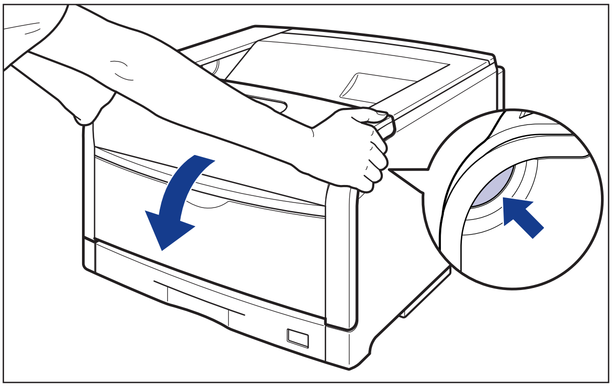


メモ

梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

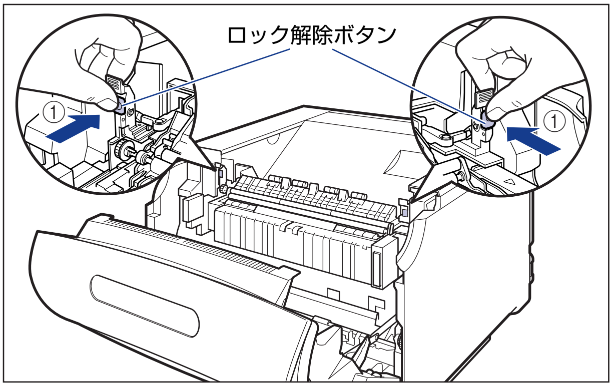
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

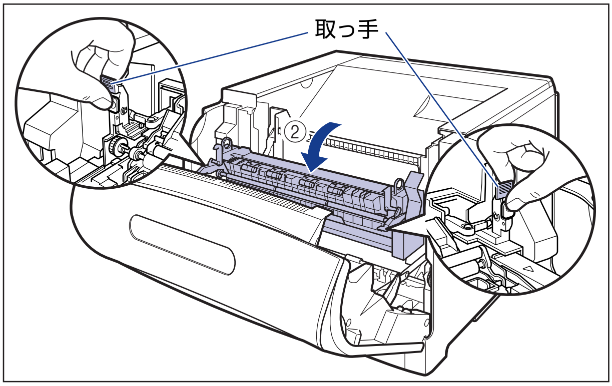


重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

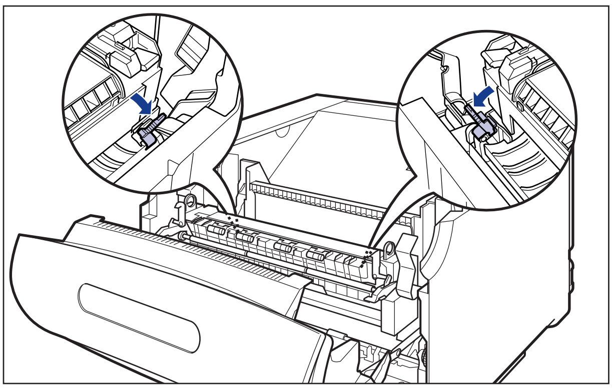
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。





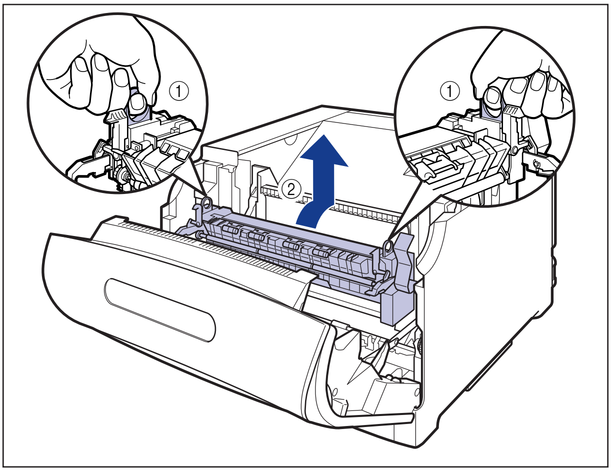
3 定着器裏側の左右にあるロック解除レバーを矢印の方向へ倒し、ロックを解除します。



5

日常のメンテナンス

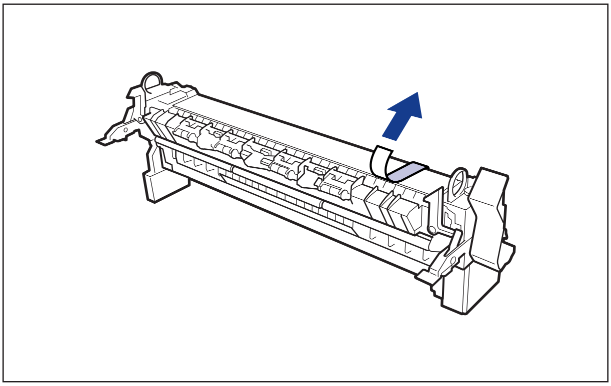
4 定着器の左右にある青色の取っ手に指をかけ、少し奥側に倒して ①、定着器を取り外します ②。



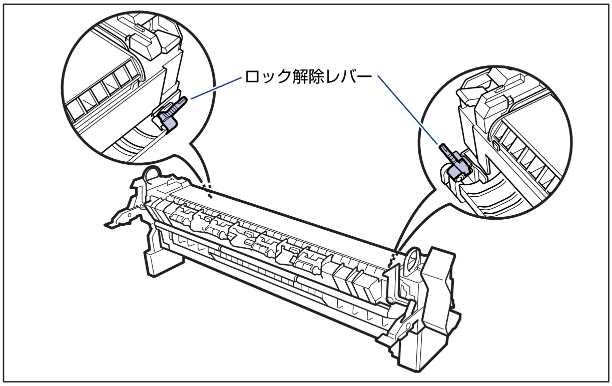
重要　取り外した使用済みの定着器は、同封の送付伝票にて発送頂くか、お買い求めの販売店または最寄りのキヤノンマーケティングジャパン営業拠点にお持ちください。

5 新しい定着器を保護袋から取り出します。

6 定着器に貼られているテープを取り外します。

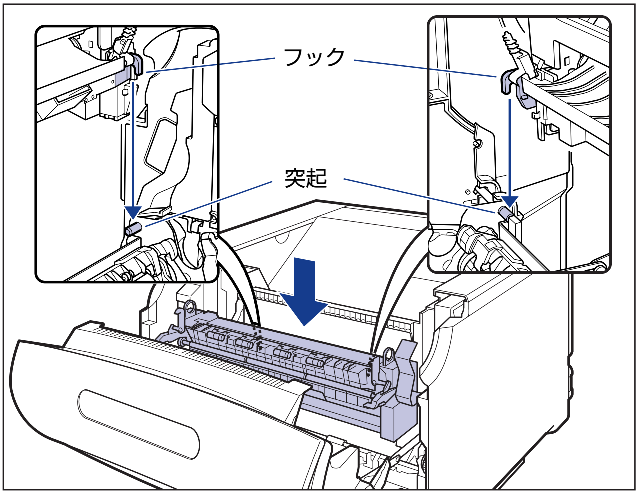


定着器裏側の左右にあるロック解除レバーが、図のように倒れていることを確認してください。

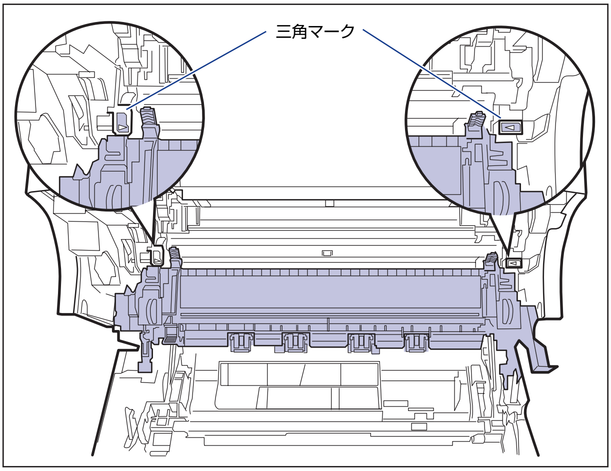


7 定着器をプリンタに取り付けます。

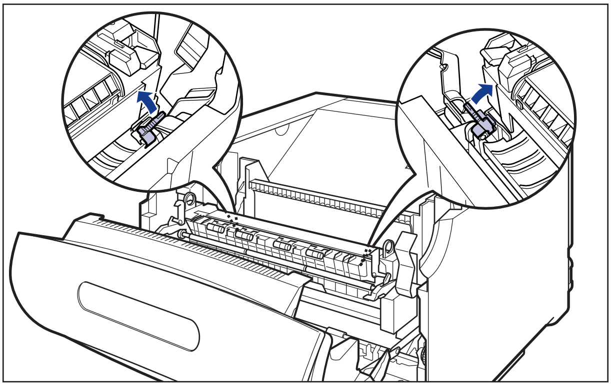
図のように定着器のフックをプリンタの突起に掛けます。



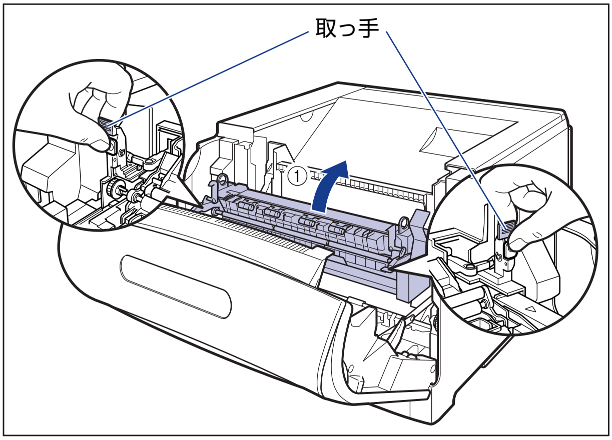
フックは三角マークの内側にある突起に掛けます。正しく取り付けられていることを確認してください。

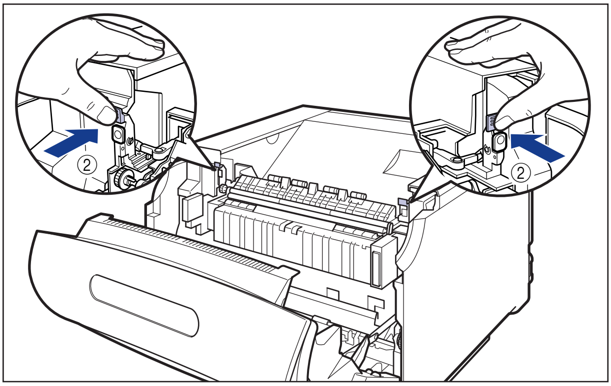


8 定着器裏側の左右にあるロック解除レバーを矢印の方向へ倒し、ロックします。



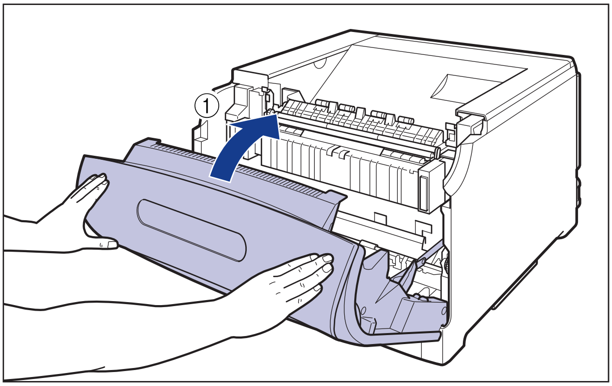
9 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

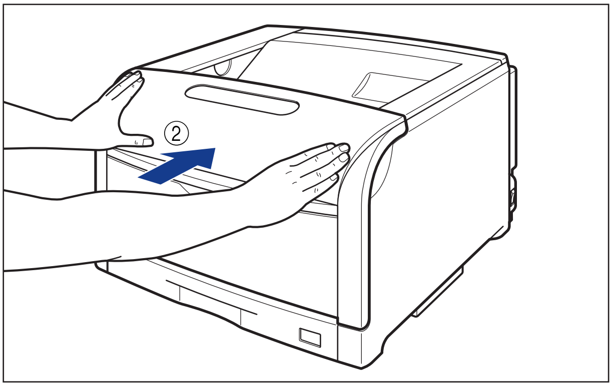




10 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





⚠注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

定着器を交換したあと、「定着器のカウンタをリセットする」（→P.5-52）の手順にしたがって、定着器のカウンタをリセットしてください。

5

日常のメンテナンス

定着器のカウンタをリセットする

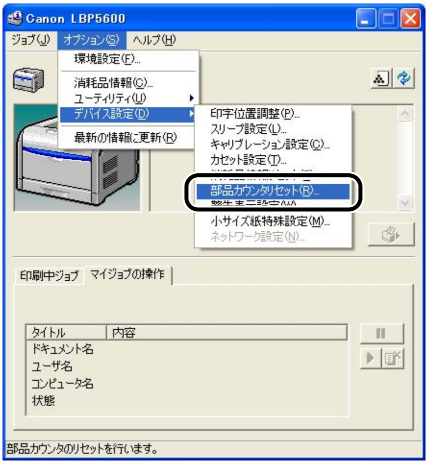
定着器を交換したあとは、プリンタステータスウィンドウに表示されている「定着器の交換時期が近づいています」を消すために、次の手順でカウンタのリセットを行います。

重要 この操作は定着器の交換時にのみ行ってください。定着器を交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、プリンタが故障する原因になります。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

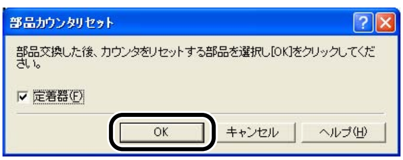
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-81）を参照してください。

2 **プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］➞［部品カウンタリセット］を選択します。**



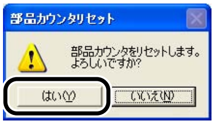
［部品カウンタリセット］ダイアログボックスが表示されます。

3 **［定着器］を選択して、［OK］をクリックします。**



確認のメッセージが表示されます。

4 ［はい］をクリックします。



廃トナー容器を交換する

廃トナー容器の交換方法について説明しています。

メッセージが表示されたときは

廃トナー容器がいっぱいになると、プリンタステータスウィンドウにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
廃トナー容器の交換時期が近づいています。	廃トナー容器の交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品の廃トナー容器を用意してください
廃トナー容器がいっぱいです。カバーを開けて、廃トナー容器を交換してください。	廃トナー容器がいっぱいになったとき	・プリンタは停止します ・新品の廃トナー容器に交換してください

重要

- 交換の際は、必ず本プリンタ専用の廃トナー容器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正廃トナー容器
LBP5600	廃トナーボックス WT-98A

- 「廃トナー容器の交換時期が近づいています。」や「廃トナー容器がいっぱいです。」のメッセージが表示された廃トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。廃トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい廃トナー容器と交換してください。

メモ

- 本プリンタ用廃トナー容器（キヤノン純正品）は、約2,300ページでいっぱいになります。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定、2枚間欠/片面印刷
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面/両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

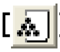
［消耗品情報］ダイアログボックスの表示について

廃トナー容器の交換時期を知る目安として、プリンタステータスウィンドウに［消耗品情報］ダイアログボックスがあります。［消耗品情報］ダイアログボックスには、廃トナー容器の状態が表示されます。

［消耗品情報］ダイアログボックスの表示方法

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

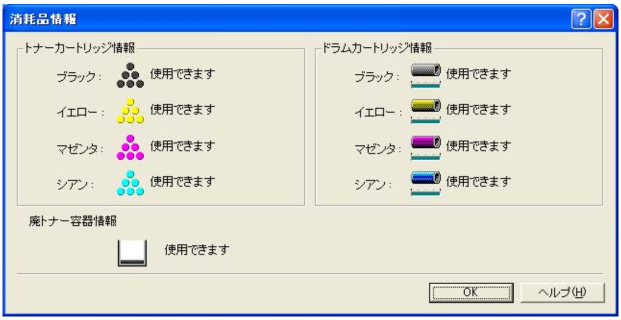
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

2 []（消耗品情報）をクリックします。

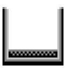
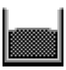
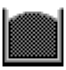
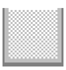
［オプション］メニューから［消耗品情報］を選択しても、［消耗品情報］ダイアログボックスを表示することができます。



［消耗品情報］ダイアログボックスが表示されます。



アイコンの意味は以下のとおりです。

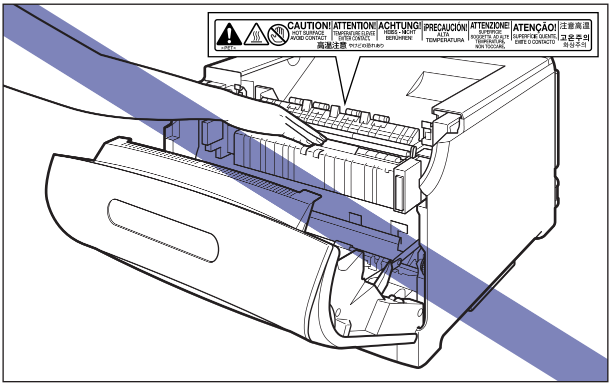
アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	廃トナー容器の交換時期が近づいています。交換用の廃トナー容器を用意してください。
	廃トナー容器がいっぱいになりました。廃トナー容器を交換してください。
	廃トナー容器が装着されていません。

廃トナー容器の交換

「廃トナー容器がいっぱいです」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい廃トナー容器と交換してください。

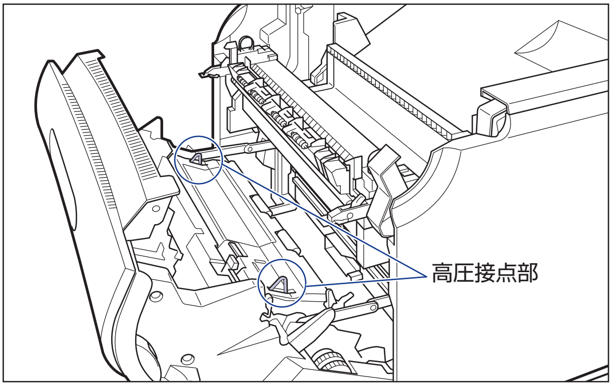
⚠警告
- 使用済みの廃トナー容器を火中に投じないでください。廃トナー容器のトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

⚠注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



重要
- 必ず本プリンタ専用の廃トナー容器を使用してください。
- 「廃トナー容器の交換時期が近づいています。」や「廃トナー容器がいっぱいです。」のメッセージが表示された廃トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。廃トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい廃トナー容器と交換してください。
- 廃トナーは再利用できません。新しいトナーと混ぜないでください。

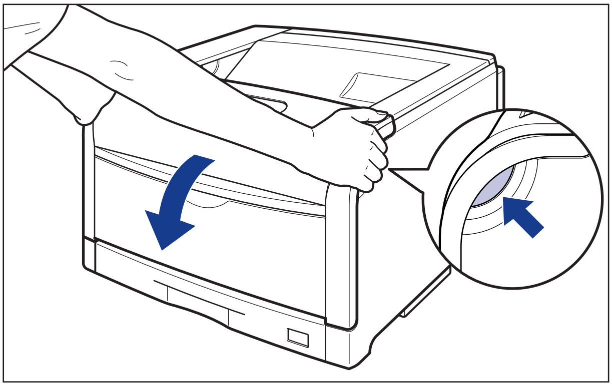
- 前カバー内側にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。



メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

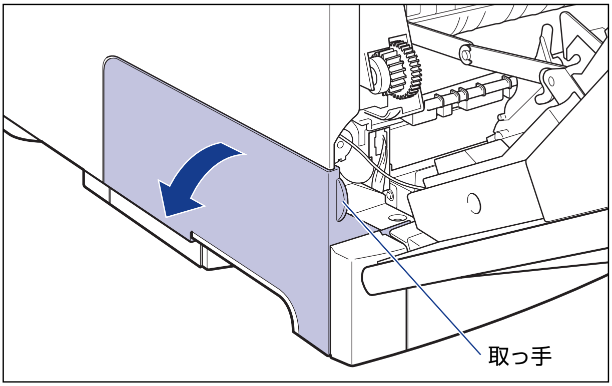
1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

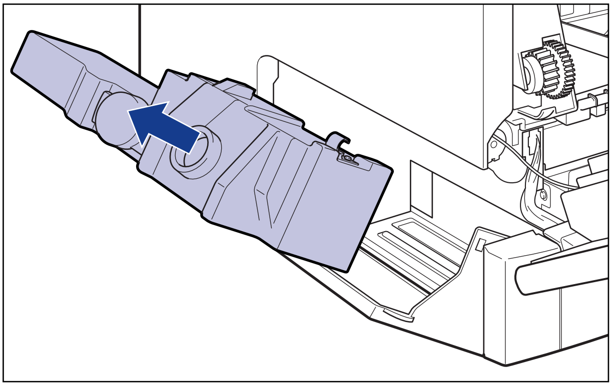


重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

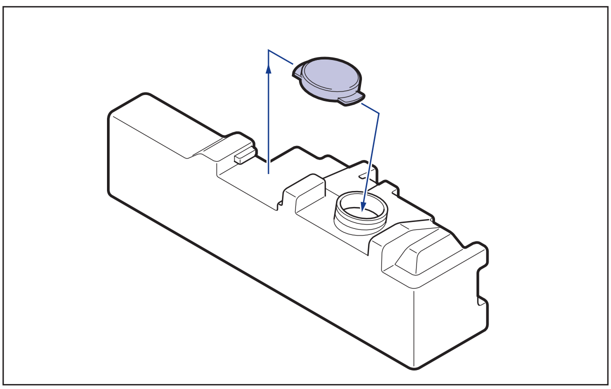
2 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを開けます。



3 廃トナー容器を取り外します。

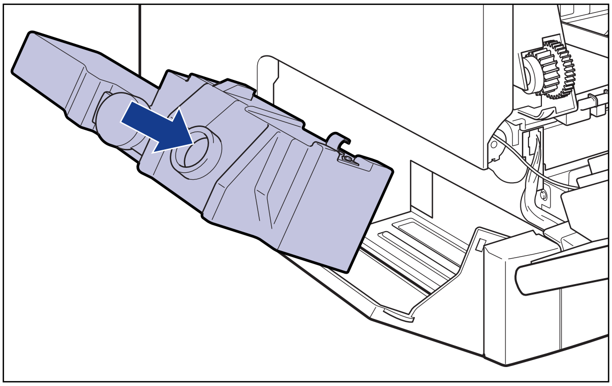


4 付属のふたを廃トナー容器に取り付けます。

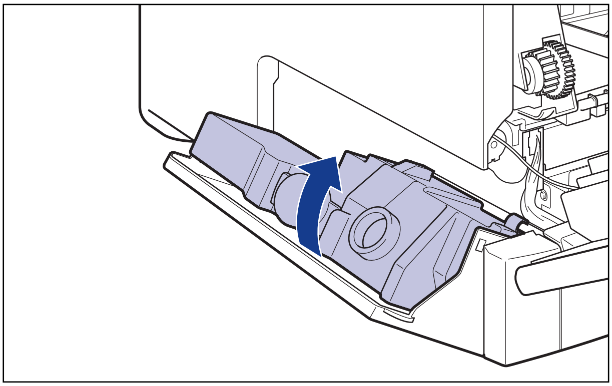


5 新しい廃トナー容器を保護袋から取り出します。

6 廃トナー容器を取り付けます。

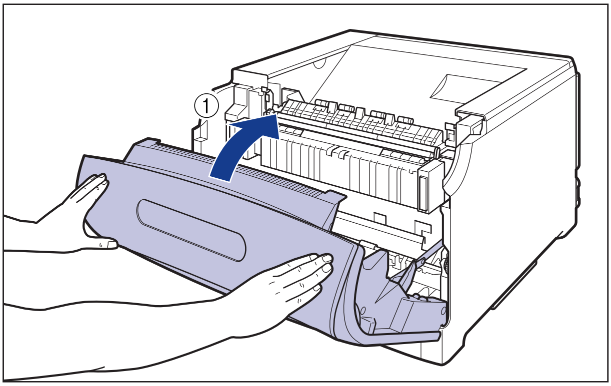


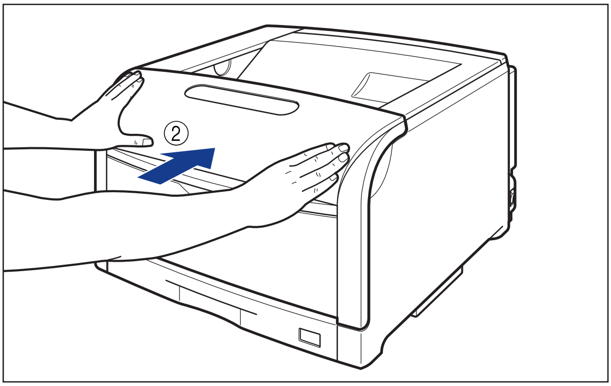
7 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを閉めます。



8 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





⚠注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

使用済み廃トナー容器回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済み廃トナー容器の回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済み廃トナー容器を下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済み廃トナー容器の数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

プリンタのキャリブレーションを行う

色味が変わってしまったときなどに、キャリブレーションを行います。キャリブレーションは、手動で行ったり、毎日、設定した時刻に自動でキャリブレーションを行うことができます。

メモ　キャリブレーションの実行には、約 60 秒かかります。

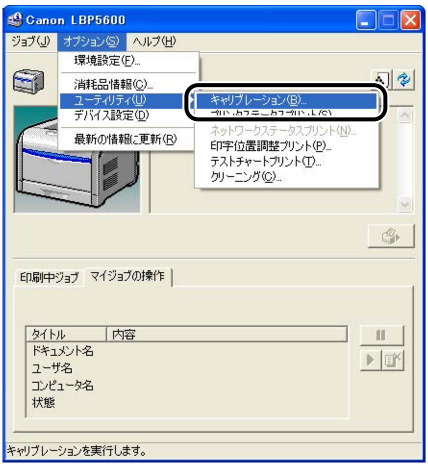
手動でキャリブレーションを行う

手動でキャリブレーションを行う場合は、以下の手順で行います。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-81）を参照してください。

2 **プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［キャリブレーション］を選択します。**



確認のメッセージが表示されます。

3 ［OK］をクリックします。



設定した時刻に自動でキャリブレーションを行う

設定した時刻に自動でキャリブレーションを行う場合は、以下の手順で行います。

重要　以下のキャリブレーション実行時から 30 分以内に、［キャリブレーション設定］ダイアログボックスで設定した時刻に達した場合は、キャリブレーションは実行されません。

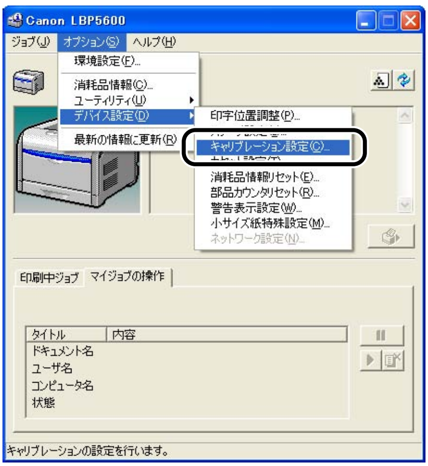
- 1000 ページ印刷すると自動的に行われるキャリブレーション
- ［オプション］メニューの［ユーティリティ］にある［キャリブレーション］で行う手動キャリブレーション

---

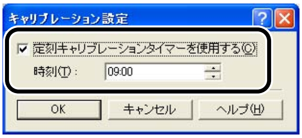
1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［キャリブレーション設定］を選択します。



3 ［キャリブレーション設定］ダイアログボックスの［定刻キャリブレーションタイマーを使用する］にチェックマークを付け、［時刻］でキャリブレーションを行う時刻を設定します。



4 ［OK］をクリックします。



5
日常のメンテナンス

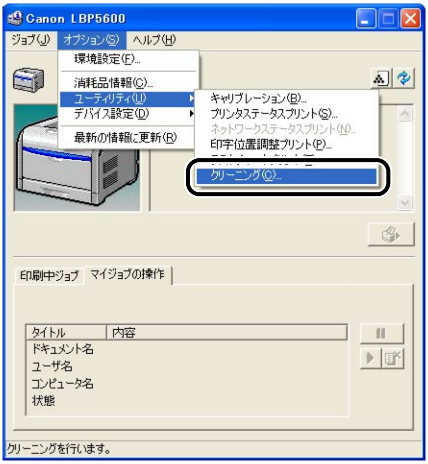
ITB ユニットの転写ベルトを清掃する

ITB ユニットの転写ベルトに触れてしまうと、印字品質が低下する場合があります。そのような場合に、次の手順で ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行います。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング］を選択します。



確認のメッセージが表示されます。

3 ［OK］をクリックします。



メモ
- クリーニングの実行には、約 130 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

印字位置を調整する

特定の給紙部からの印字位置がずれている場合にプリンタステータスウィンドウから印字位置を調整することができます。

重要 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ 両面印刷時の 2 面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや［仕上げ］ページの［とじ方向］の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

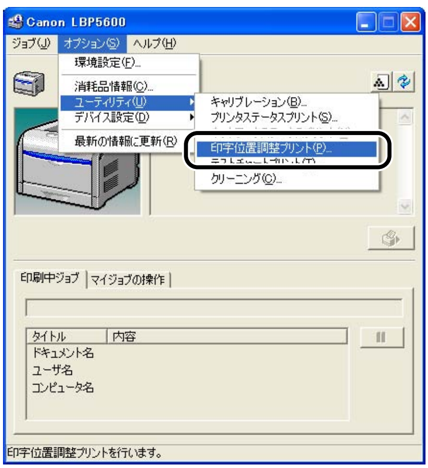
印字位置の確認

印字位置調整プリントを印刷し、調整する位置を確認します。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-81）を参照してください。

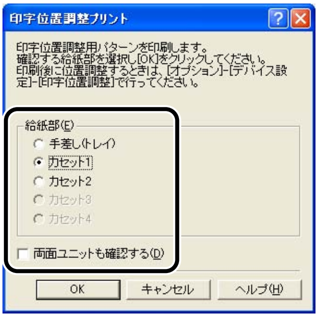
2 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［印字位置調整プリント］を選択します。



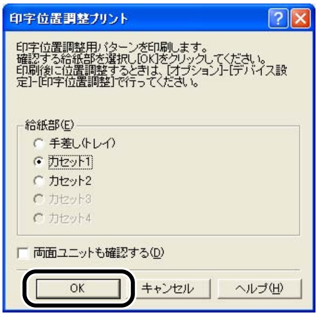
［印字位置調整プリント］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで、印字位置を確認したい給紙部を選択します。

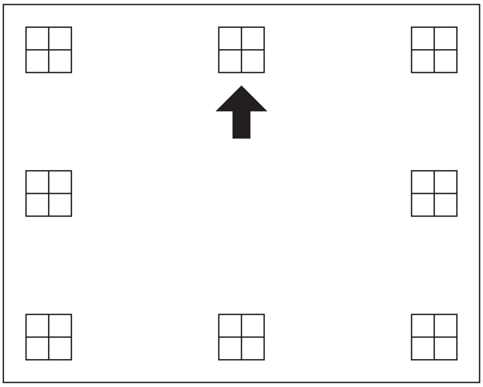
両面印刷時の印字位置を調整する場合は、［両面ユニットも確認する］にチェックマークを付けます。



4 ［OK］をクリックします。



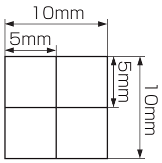
以下のような印字位置調整プリントが印刷されます。印字された矢印の先端が、印字位置調整プリントの上端になります。



次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（→P.5-68）で、調整する位置を設定します。

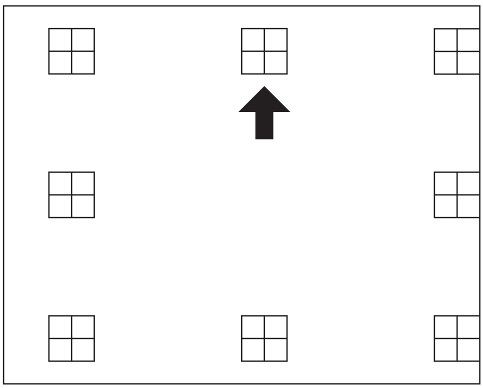
印字位置の調整

印字位置調整プリントの印刷結果を見て、調整する方向と位置を設定します。
印刷された用紙に印字された"田"は以下の数値で形成されています。



※用紙の端からそれぞれ5mm（封筒は10mm）

ここでは例として、［印字位置調整プリント］ダイアログボックスの［給紙部］で［カセット 1］を選択し、以下の印字位置調整プリントが印刷された場合の設定を行います。
この場合、左方向に -5.0mm の印字位置の調整を行います。

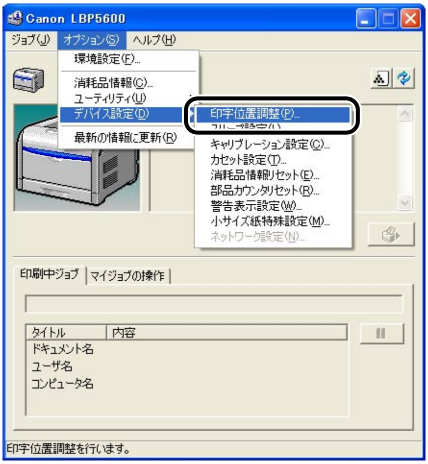


メモ　印字位置が調整できる範囲は、-10.0mm ～ +10.0mm（横方向のみ）です。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［印字位置調整］を選択します。



［印字位置調整］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［印字位置調整］ダイアログボックスで印字位置を調整します。

印字位置調整プリントの印刷結果を見て、調整する数値を選択します。印字位置を調整できる範囲は -10.0 ～ +10.0mm です。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に入力した数値だけ移動します。



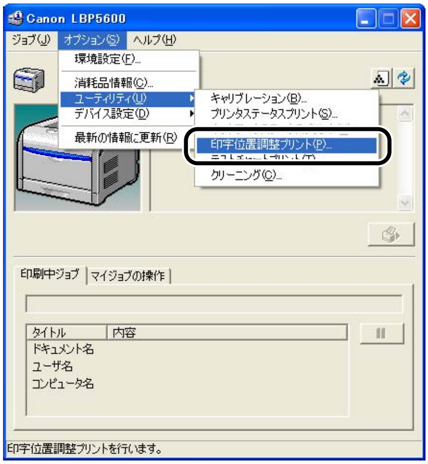
メモ　印字位置の調整は 0.1mm 単位で設定することができます。

5
日常のメンテナンス

4 ［OK］をクリックします。

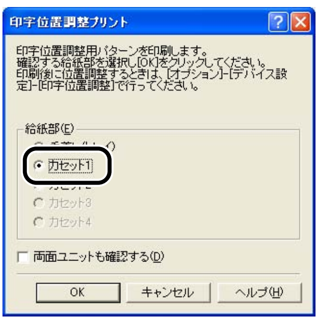


5 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

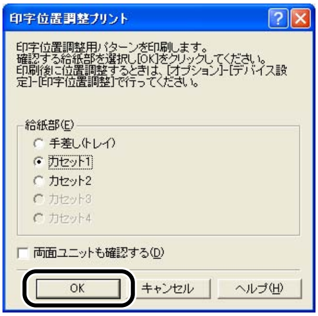


［印字位置調整プリント］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで、印字位置を調整した給紙部を選択します。



7 ［OK］をクリックします。



設定変更された印字位置が印刷されます。印刷結果を見て、印字位置の確認をします。
さらに印字位置の調整を行う場合は、手順 1 ～ 7 を繰り返します。

プリンタの外部を清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や吸排気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

警告

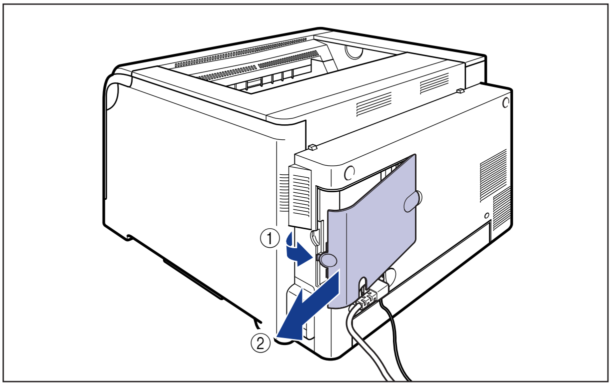
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

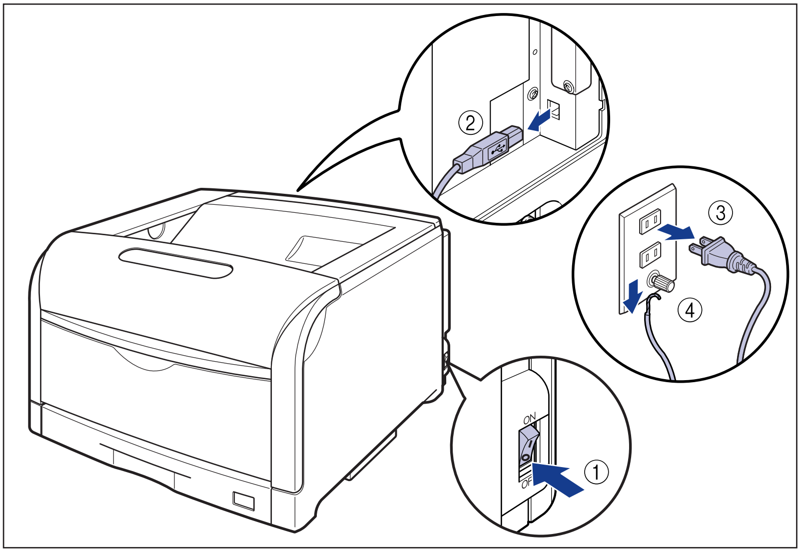
- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。

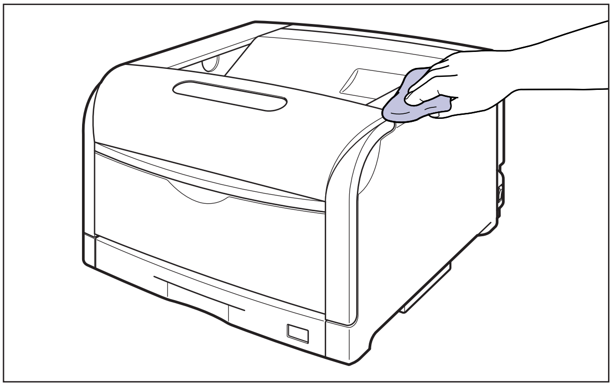


2 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



3 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

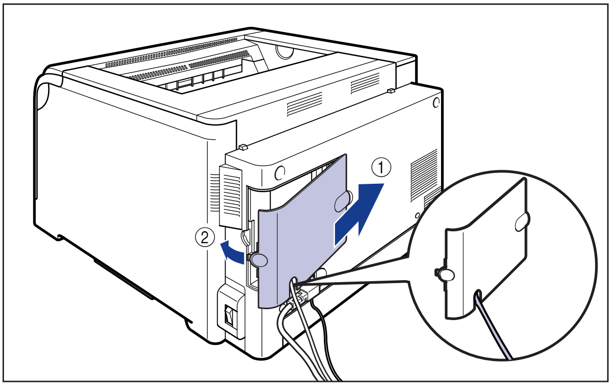


4 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

5 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続し、USB ケーブルを接続します。

6 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。

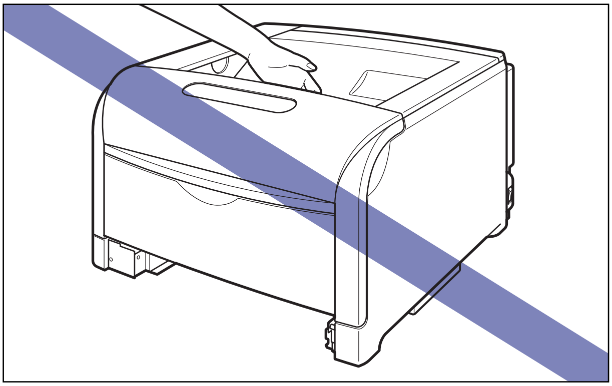


プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動させてください。

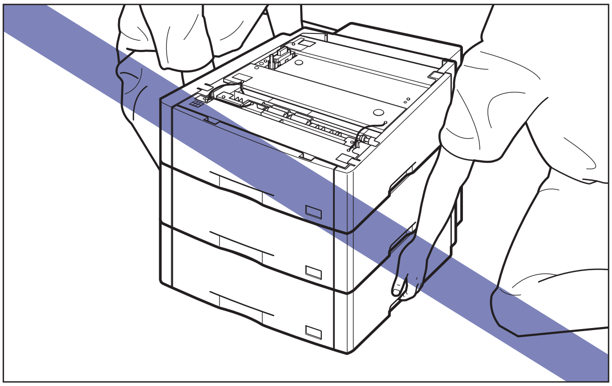
⚠警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

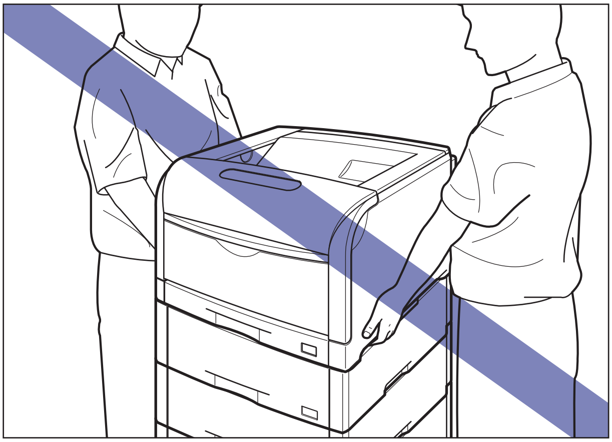
⚠注意
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 48.3kg（本体：約 39.4kg/ トナーカートリッジ× 4：約 1.3kg ／ドラムカートリッジ× 4：約 7.6kg）あります。必ず 4 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に前カバーなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。





重要　必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

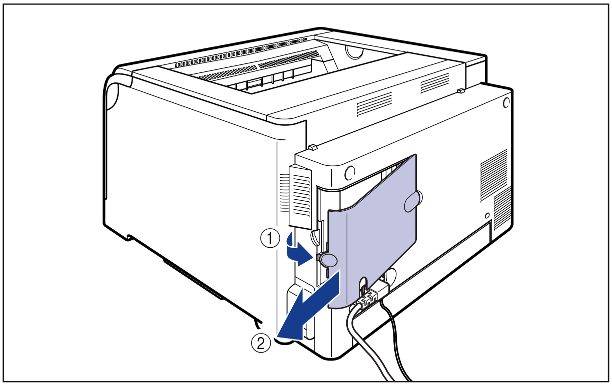
メモ　設置場所については、「設置時にお読みください」を参照してください。

本体を移動する

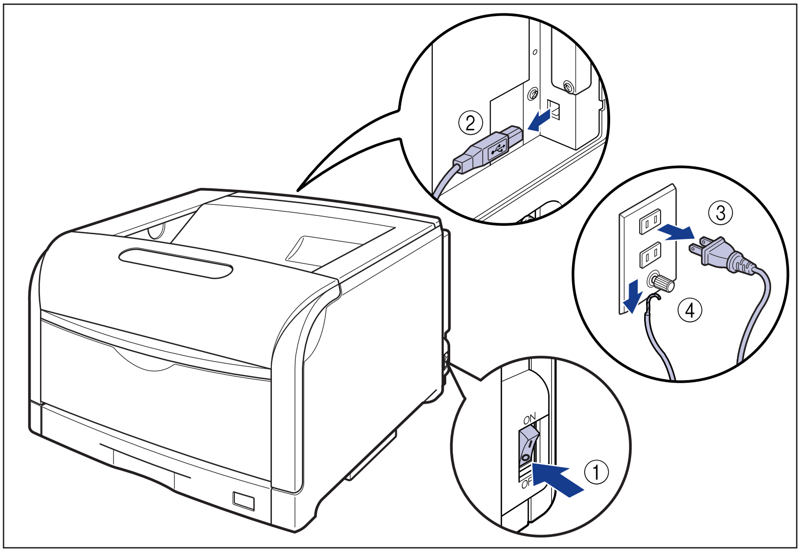
本プリンタの本体のみを移動するときは、次の手順で正しく持ち運んでください。

1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



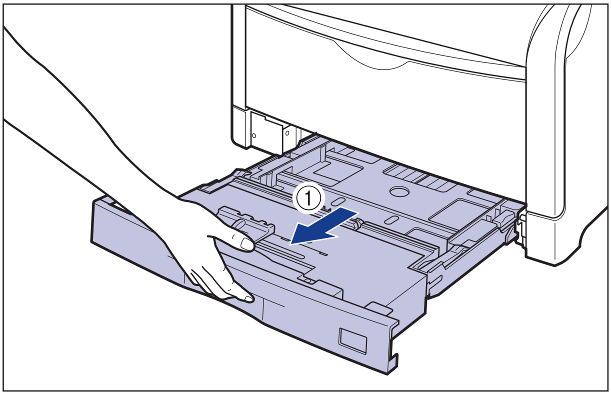
2 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



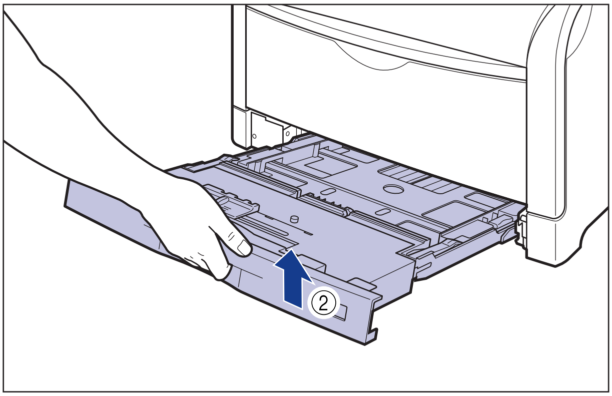
3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

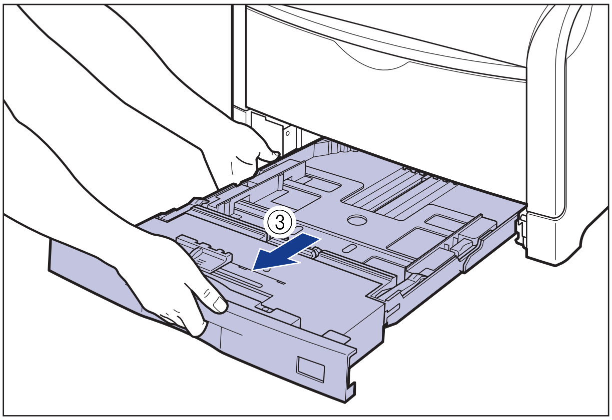
4 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

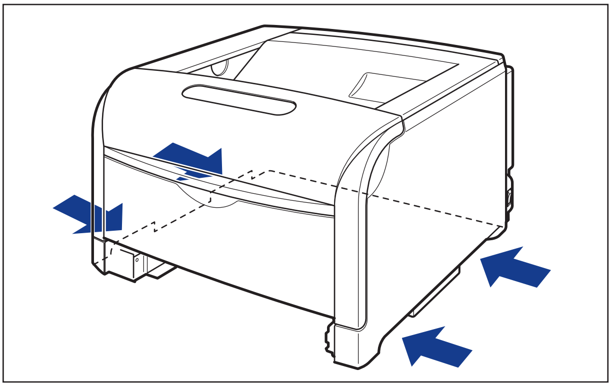


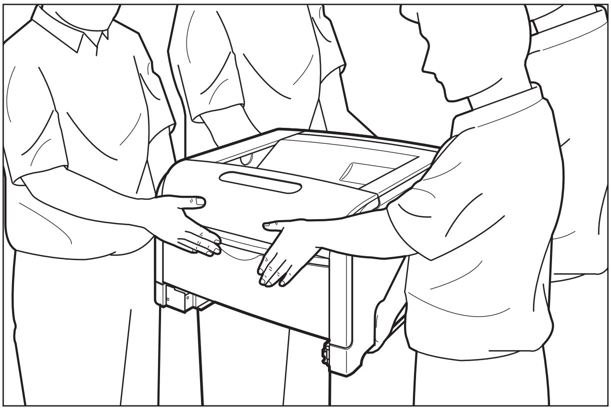


重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

5 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に４人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。





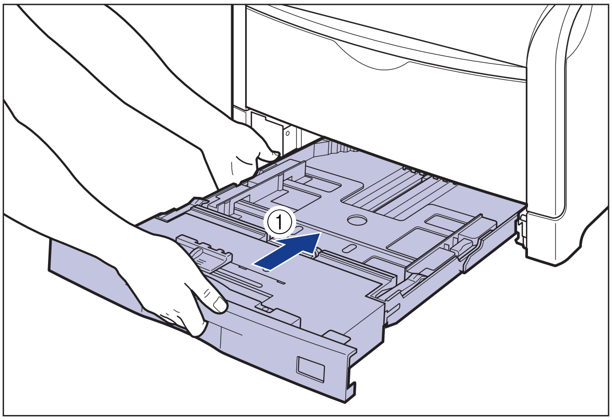
メモ　オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、「ペーパーフィーダを取り付ける」（➞P.6-15）を参照してください。

6 移動場所にゆっくりとおろします。

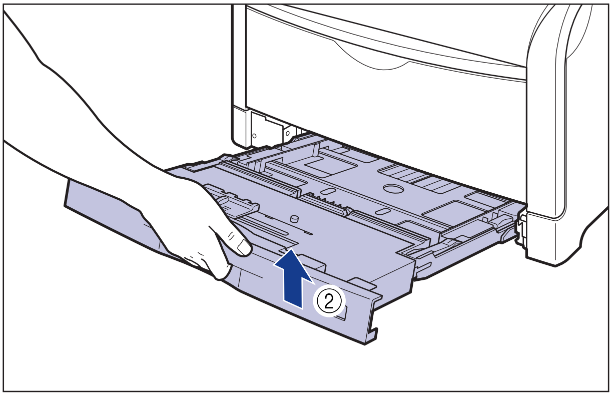
注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

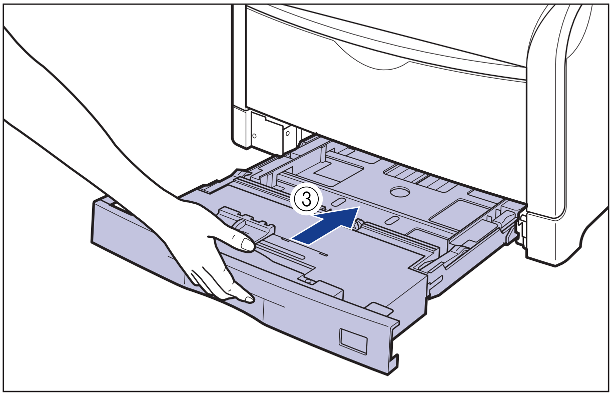
重要　設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

7 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。





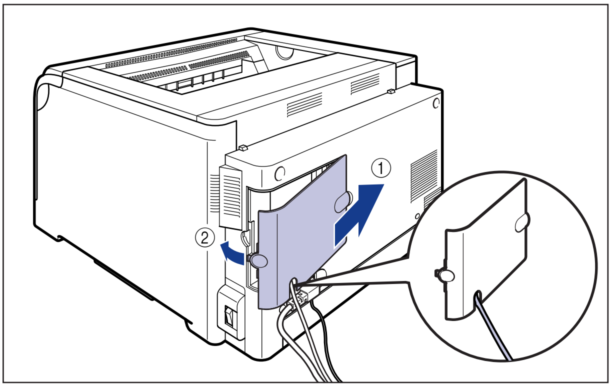
8 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 USB ケーブルを接続します。

11 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



●プリンタを輸送するときは

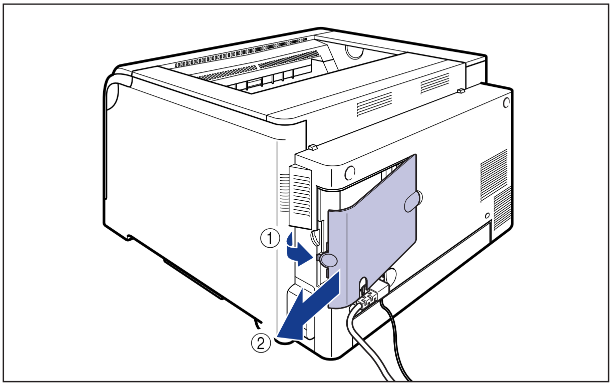
移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

ペディスタルごと移動する

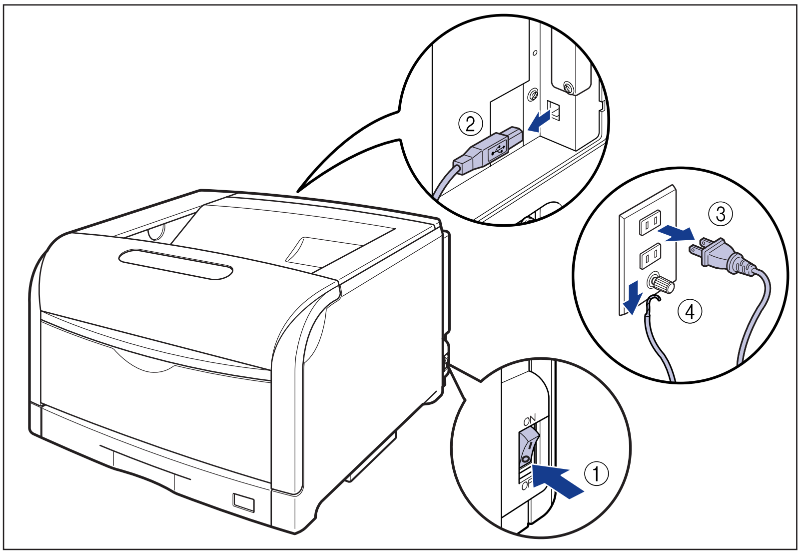
本プリンタにペディスタルを装着しているときは、次の手順で正しく移動してください。

1 **後カバーを取り外します。**

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。

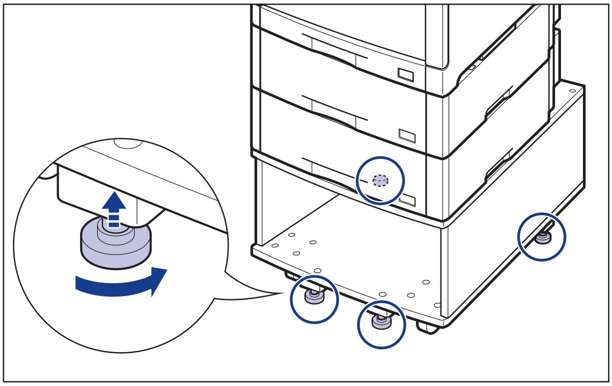


2 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**



3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

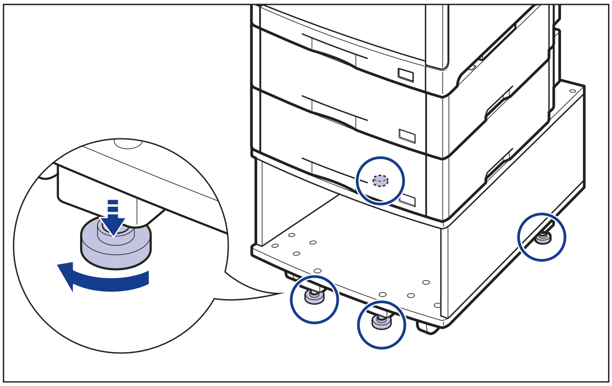
4 アジャスタを矢印の方向に回して上に突き当たるまで縮めます。



5 必ず４人以上で前後を支え、転倒しないように慎重に押して運びます。

6 アジャスタを矢印の方向に回して固定します。

アジャスタが均等に床に着くまで下ろし、しっかりと固定します。



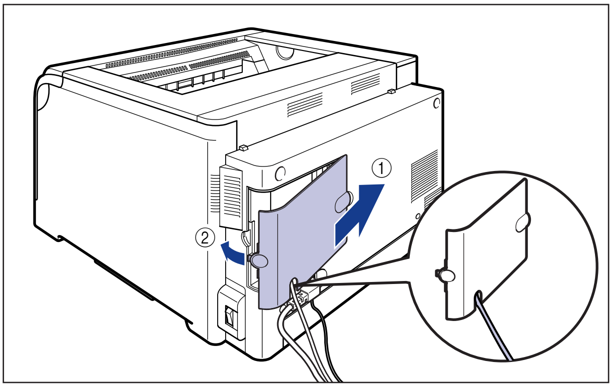
7 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 USB ケーブルを接続します。

10 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。

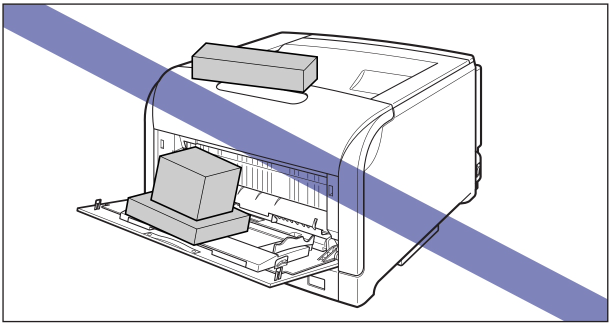


プリンタの取り扱いについて

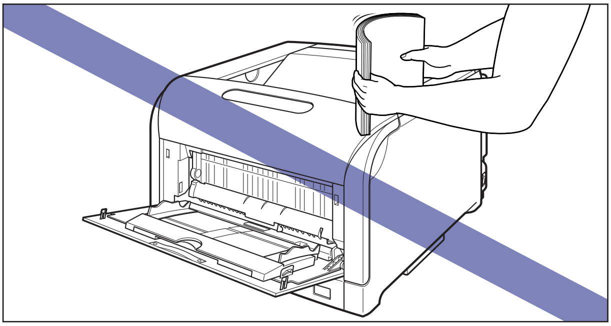
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要

- 本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」(➞P.xiv) もお読みください。
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

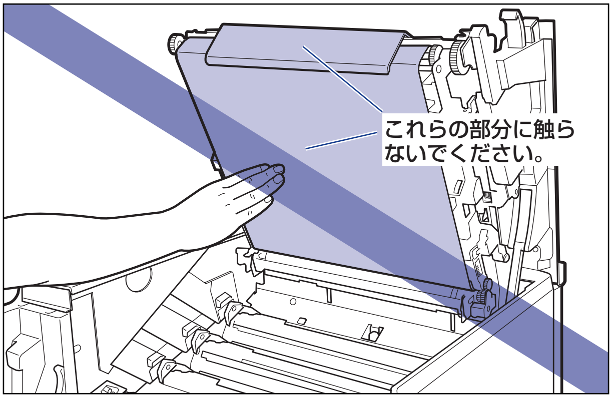


- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷の品質が低下する原因になります。
- 印刷中に振動を与えないでください。印刷の品質が低下することがあります。



- 印刷中は、絶対にプリンタのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 前カバーや手差しトレイなどプリンタの各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

• ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB　ユニットの転写ベルトを清掃する」（➞P.5-65）を参照して、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITB ユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。



5

日常のメンテナンス

オプション品について

6
CHAPTER

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。ペディスタルの取り付けかたについては、ペディスタルに付属の取扱説明書を参照してください。

オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

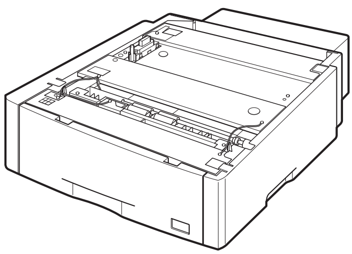
ペーパーフィーダ

本プリンタは、標準状態で給紙カセットと手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。オプションの 550 枚ペーパーフィーダを 3 台装着すると、最大 5 つの給紙部を使用することが可能です。

550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98 は、550 枚ペーパーフィーダと 550 枚給紙カセットがセットになっています。

550 枚給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズと以下のサイズのユーザ定義用紙を普通紙（64g/m^2 の場合）で最大約 550 枚までセットできます。

- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm



550枚ペーパーフィーダユニットPF-98

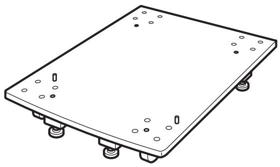
メモ

- ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台までです。
- ペーパーフィーダは、LBP5900/5600 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。
- ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.6-4）を参照してください。

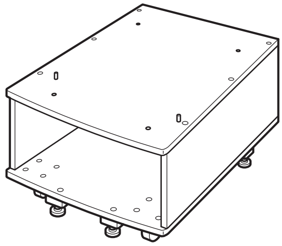
ペディスタル

ペディスタルは、本プリンタを操作しやすい高さに設置したり、移動しやすくするための専用台です。プリンタ本体の底面またはペーパーフィーダの底面に取り付けることができます。移動用のキャスタと固定するためのアジャスタが付いています。

ペディスタルには、キャスタタイプとボックスタイプの 2 種類があります。



ペディスタル（キャスタタイプ）



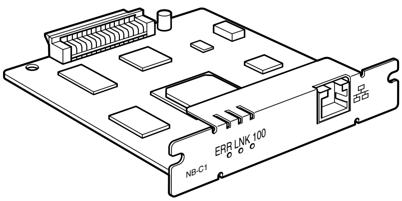
ペディスタル（ボックスタイプ）

メモ

- ペディスタル（キャスタタイプ）を装着した場合、ペーパーフィーダは 3 台まで取り付けることができますが、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は 2 台までです。
- ペディスタルの取り付けかたについては、ペディスタルに付属の取扱説明書を参照してください。

ネットワークボード

ネットワークボードは、本プリンタを LAN に接続するための TCP/IP プロトコルに対応したプリンタ内蔵型ネットワークボードです。ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、コンピュータ上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」も利用することができます。



ネットワークボード（キヤノン NB-C1）

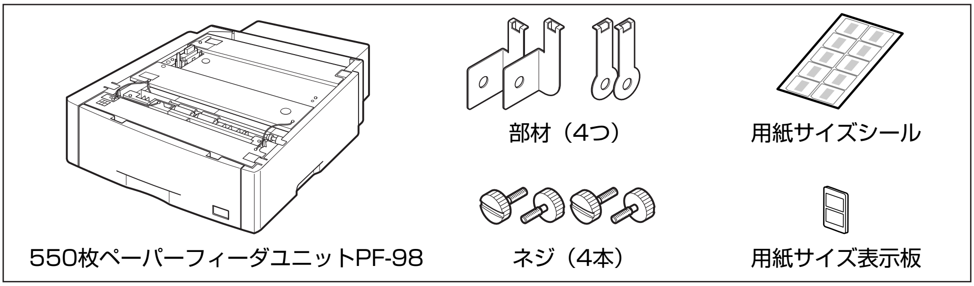
メモ

- 「リモート UI」の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- 「NetSpot Device Installer」の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード」(➞P.6-30) を参照してください。

ペーパーフィーダ

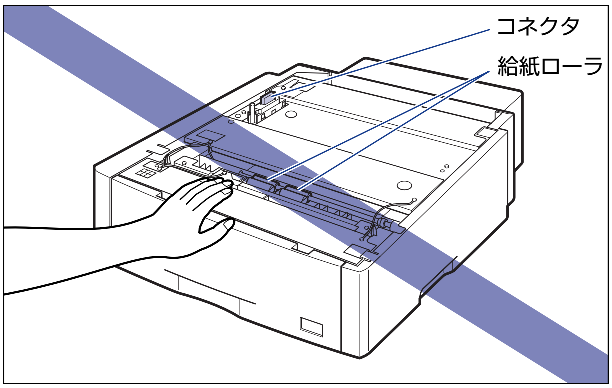
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



⚠警告 ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要 ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。



メモ
- ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台までです。
- ペーパーフィーダの用紙のセット方法については、「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.2-19）を参照してください。

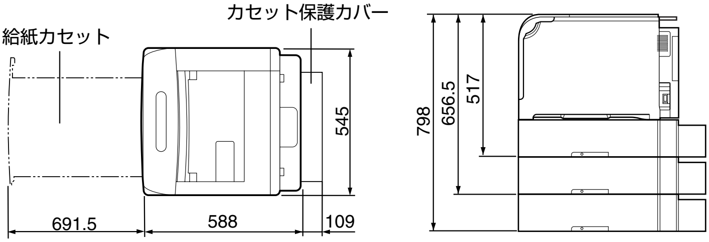
設置スペース

本プリンタにペーパーフィーダを装着して使用する場合の各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

●プリンタの寸法

前面 ➡

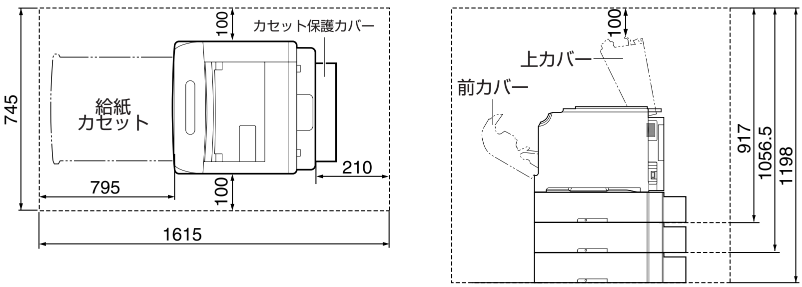
(mm)



●周囲に必要なスペース

前面 ➡

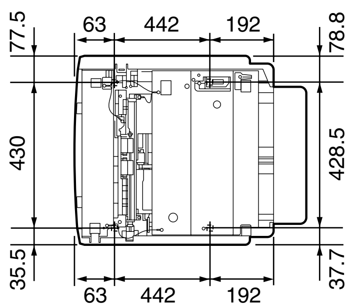
(mm)



●ペーパーフィーダの足の位置

前面 ➡

(mm)



足の高さは5mm、先端の直径は18mmです。

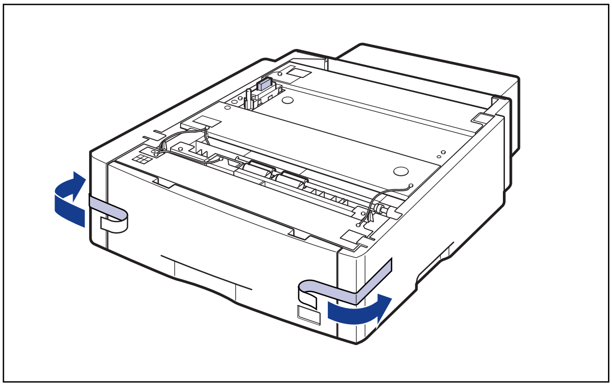
梱包材を取り外す

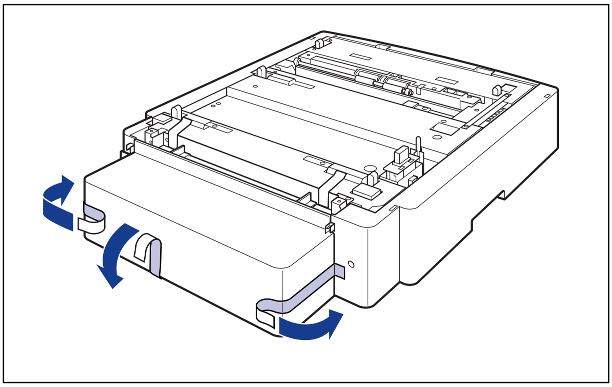
ペーパーフィーダには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、これらのテープや梱包材を取り外してください。

重要
- ペーパーフィーダ内部に梱包材が残っていると、動作時に給紙不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

メモ
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

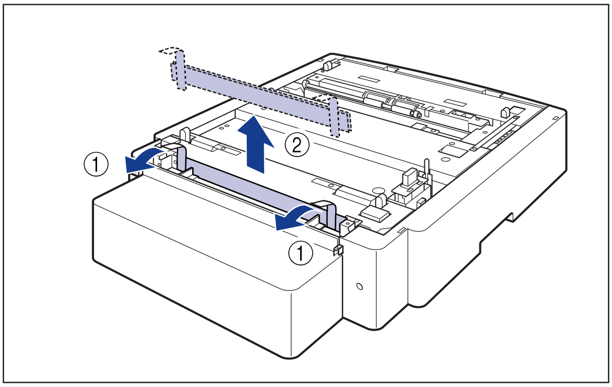
1 **給紙カセット、カセット保護カバーを止めているテープを取り外します。**





6
オプション品について

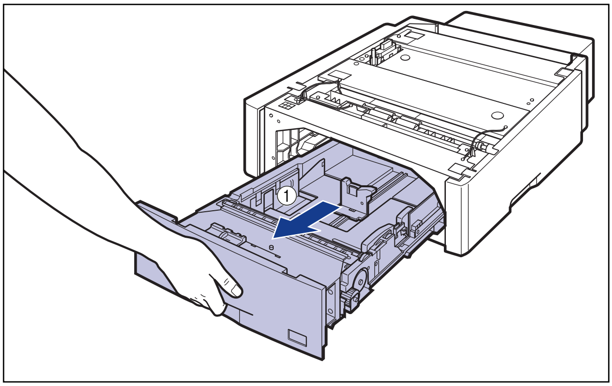
2 図の位置にある梱包材を ①、② の順に取り外します。



重要　取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

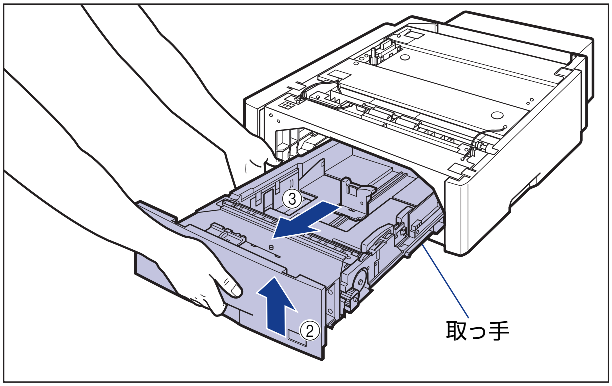
3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

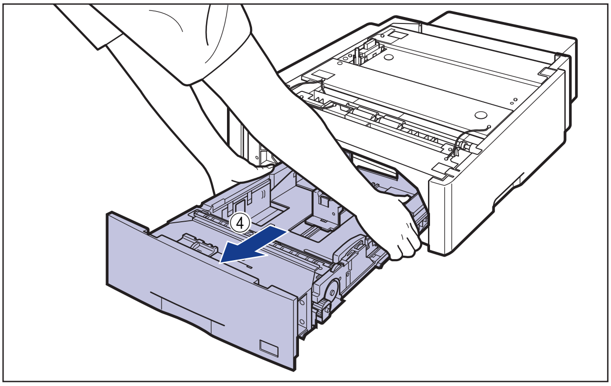


6 オプション品について

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。



図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

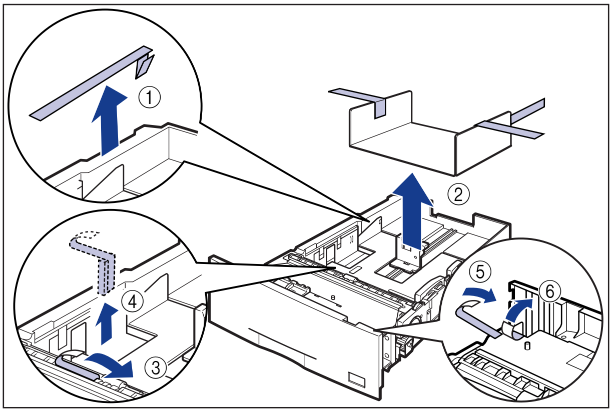


重要

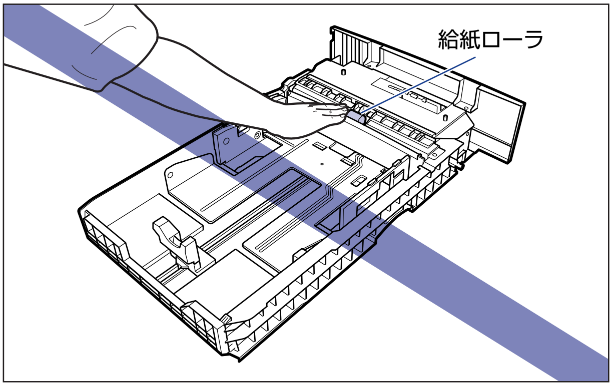
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

6 オプション品について

4 給紙カセット内部のテープと梱包材を取り外します。



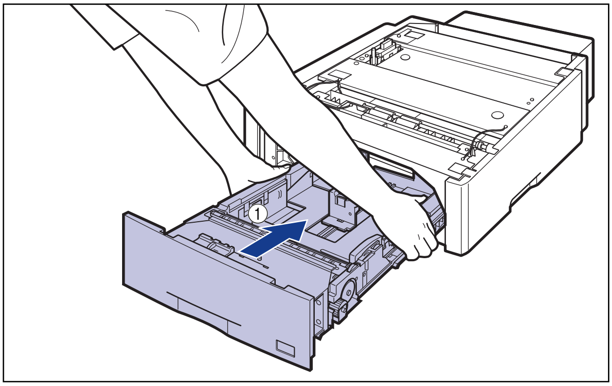
重要
- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。
- 給紙カセットの給紙ローラには触れないでください。給紙不良の原因になります。

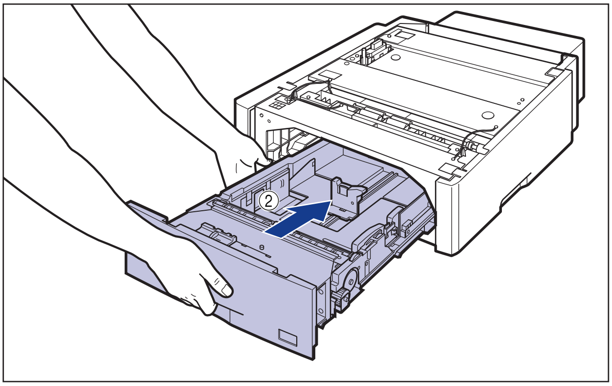


- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

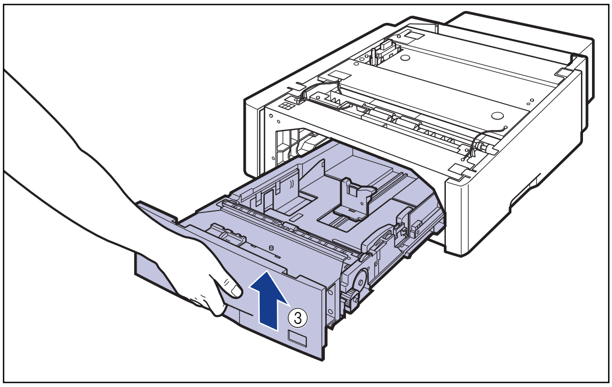
5 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

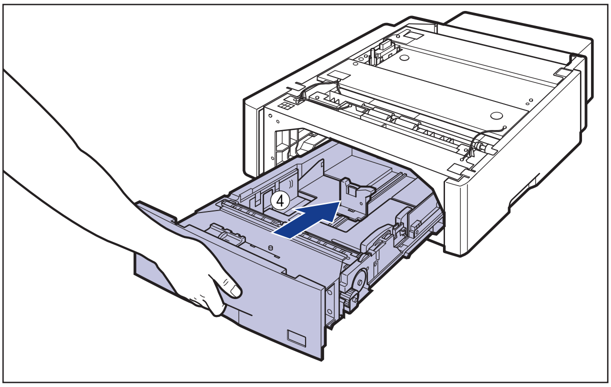
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。





注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

プリンタ本体を移動する

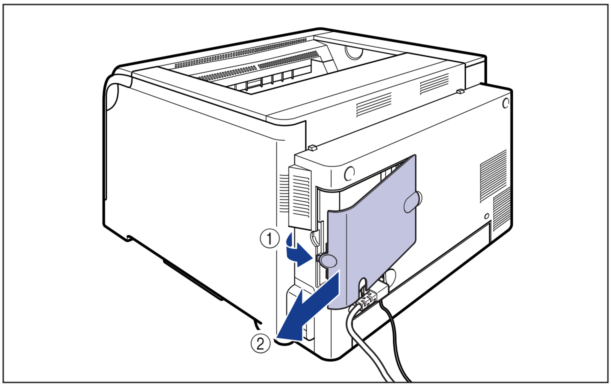
プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

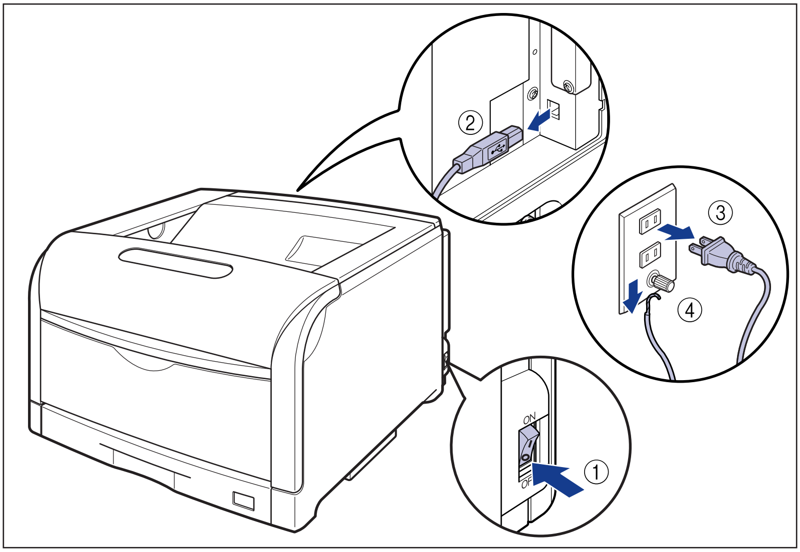
注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



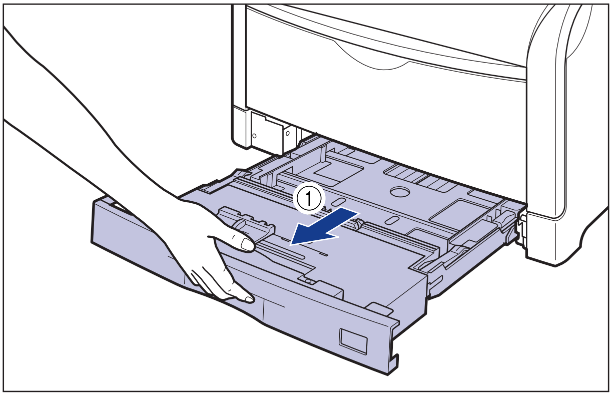
2 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



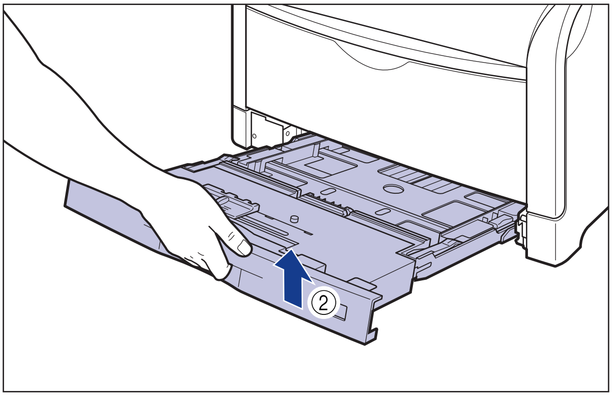
3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

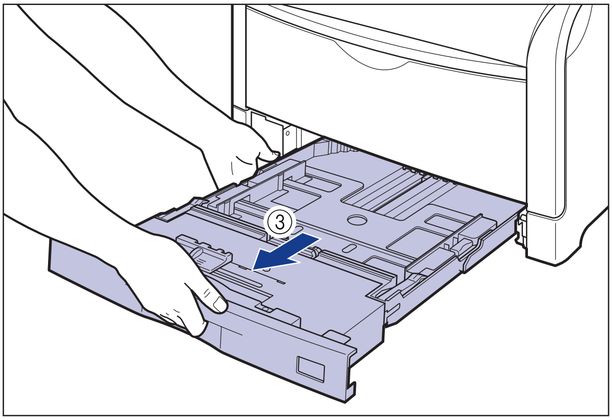
4 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

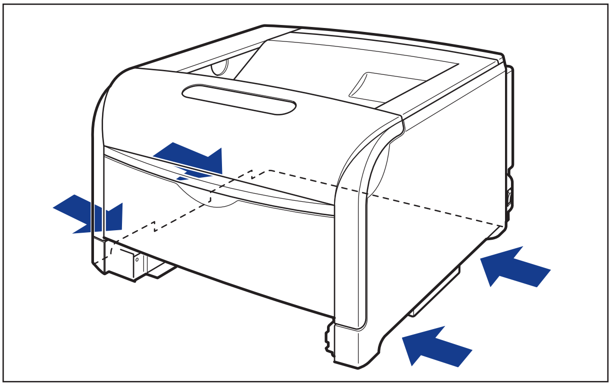


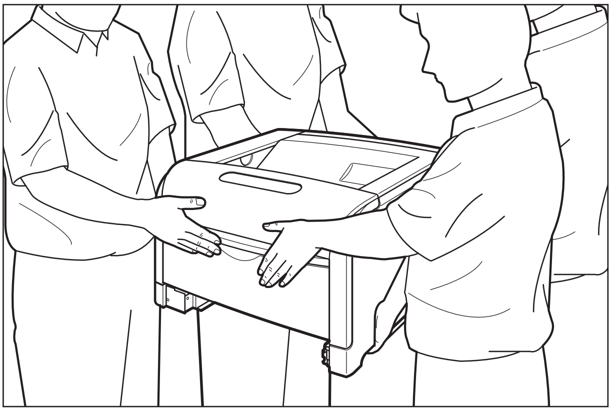


重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

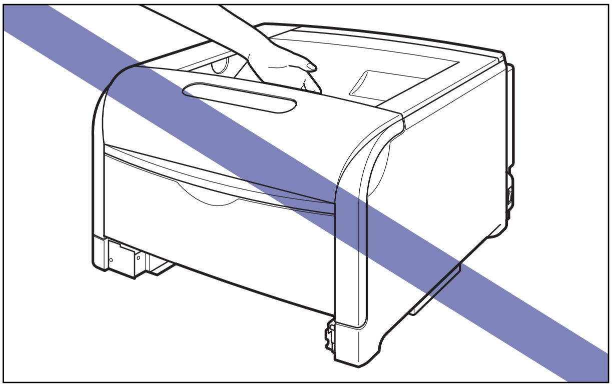
5 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に４人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。





注意
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 48.3kg（本体：約 39.4kg/ トナーカートリッジ× 4：約 1.3kg、ドラムカートリッジ× 4：約 7.6kg）あります。必ず 4 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に前カバーなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

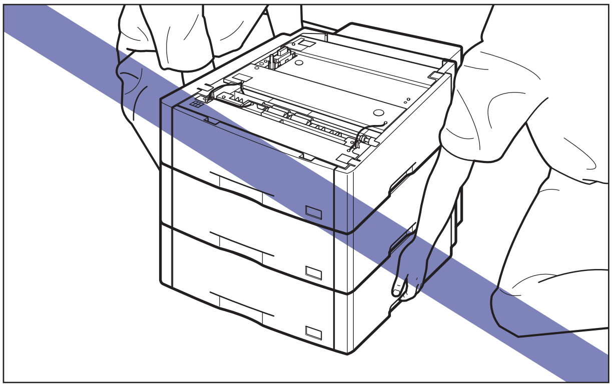


重要　必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

ペーパーフィーダを取り付ける

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

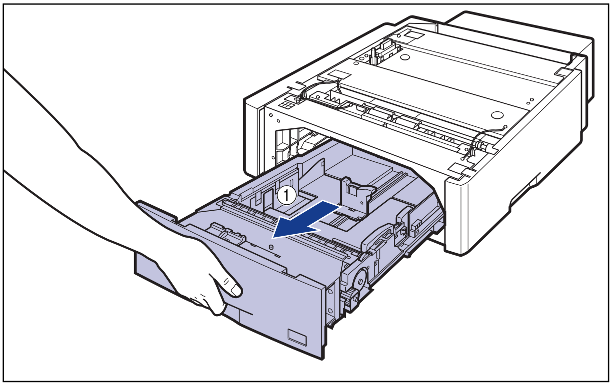
注意
- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。



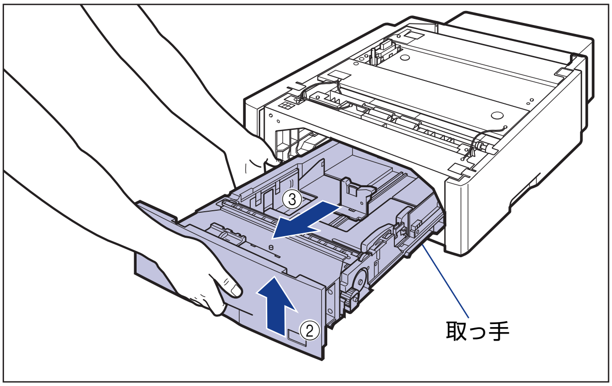
重要
ペーパーフィーダを装着した場合、給紙するペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット4）より上段の給紙カセットは必ずセットした状態で使用してください。給紙カセットがセットされていないと、下段の給紙部から給紙することはできません。（たとえば、カセット 2 がセットされていない場合、カセット 3 から給紙することはできません。）

1 すべてのペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

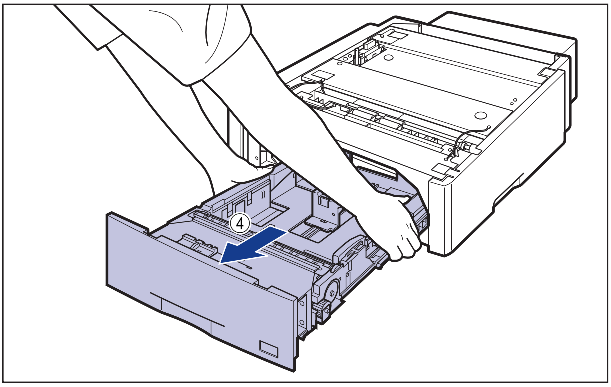
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。



図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

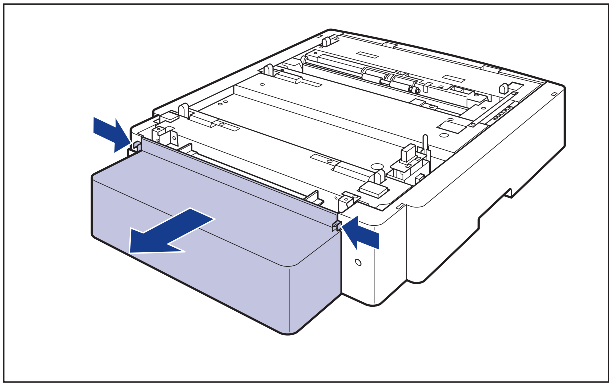


重要

- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

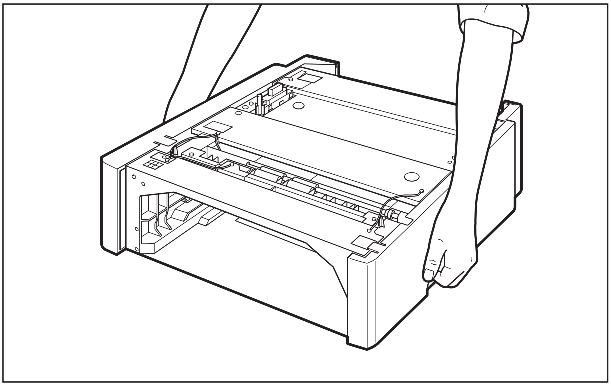
2 ペーパーフィーダのカセット保護カバーを取り外します。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、カセット保護カバーを取り外します。



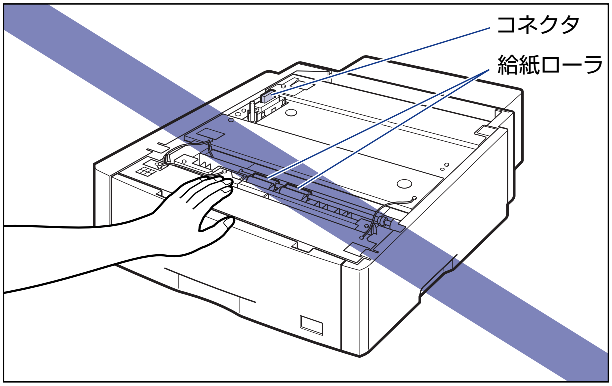
3 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。



重要

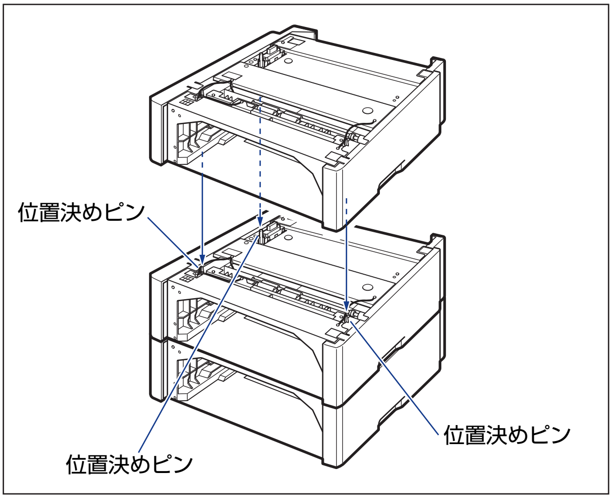
- ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。



- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

4 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

ペーパーフィーダを 1 台のみ取り付ける場合は、手順 6 に進んでください。

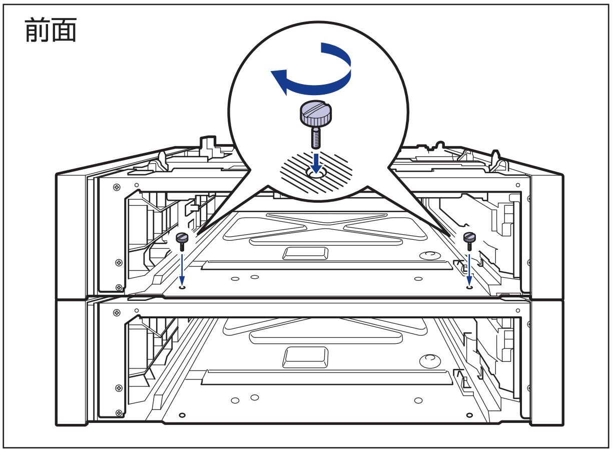


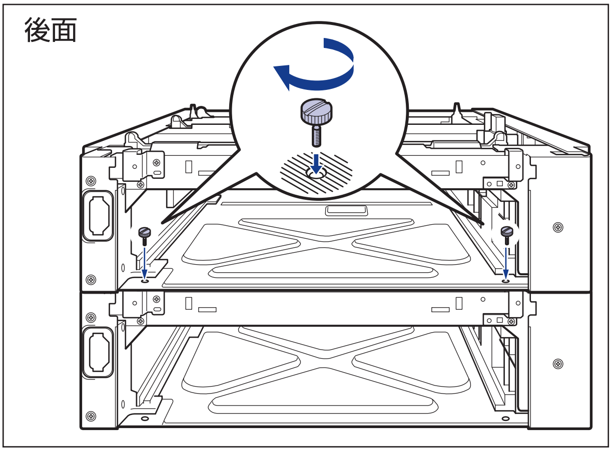
メモ　ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。

6
オプション品について

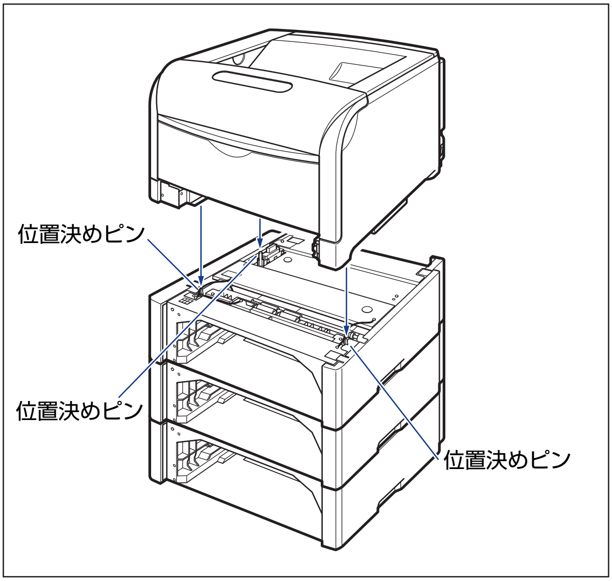
5 付属の４本のネジでペーパーフィーダを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。



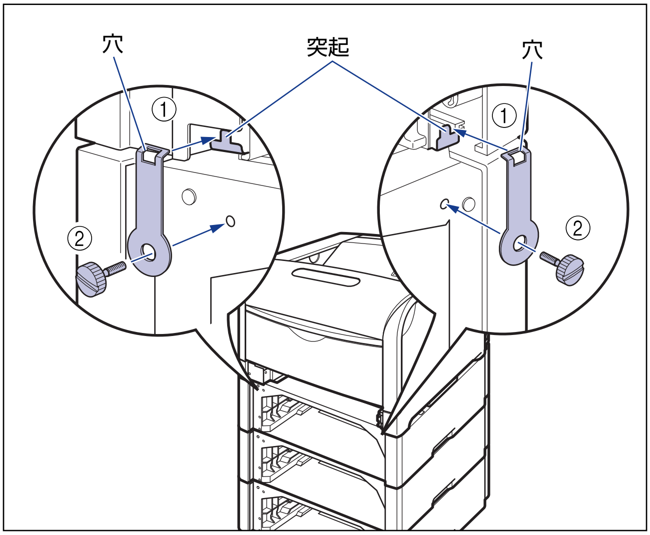


6 プリンタ本体をペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

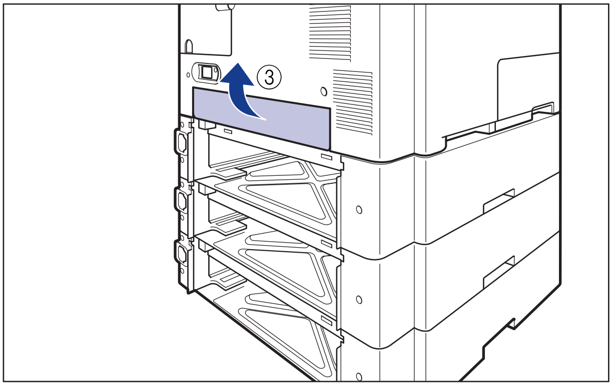


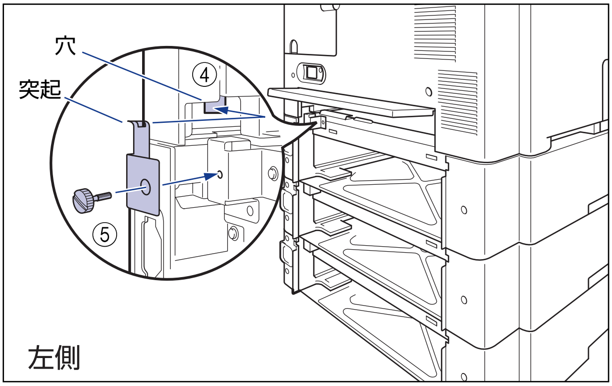
7 付属の4つの部材とネジで、プリンタ本体とペーパーフィーダを固定します。

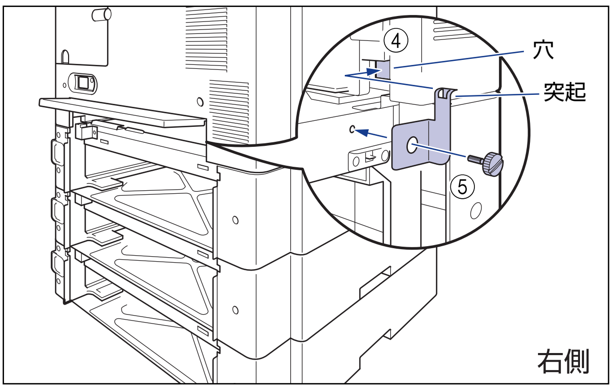
部材の穴をプリンタの突起に取り付けて ①、ネジで固定します ②。



プリンタ本体のカセット保護カバーを上げながら ③、部材の突起をプリンタの穴に取り付け ④、ネジで固定します ⑤。

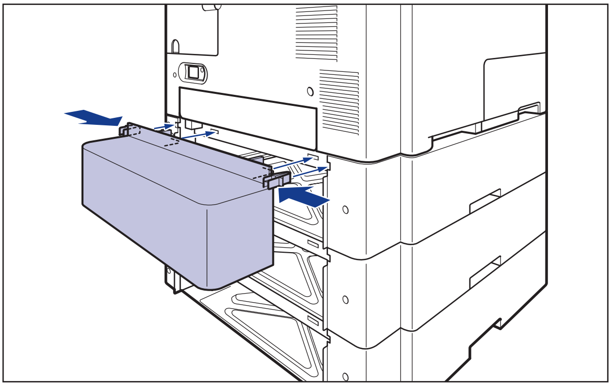






8 カセット保護カバーを取り付けます。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、突起をペーパーフィーダ背面の溝に差し込みます。



重要　カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

9 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

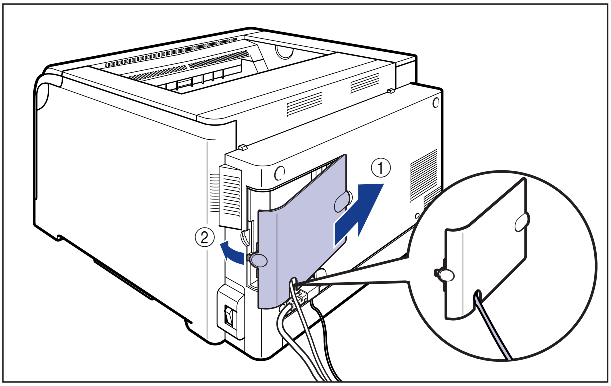
10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

13 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



メモ　ペーパーフィーダを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

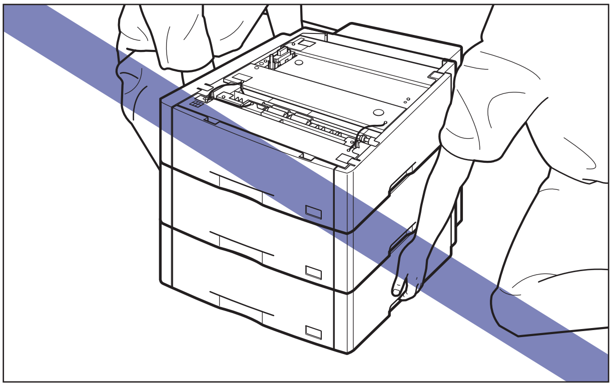
6　オプション品について

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

警告　ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。



重要　プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

1 後カバーを取り外します。

2 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

4 プリンタ本体、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。

5 4 つのネジと部材を取り外します。

取り付けるときと逆に回してネジを取り外します。

重要　取り外したネジは再度ペーパーフィーダを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

6 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

7 ペーパーフィーダを 2 台以上取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

8 ペーパーフィーダを移動します。

9 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

10 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

11 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

12 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

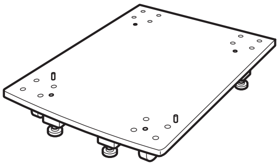
13 USB ケーブルを接続します。

14 後カバーを取り付けます。

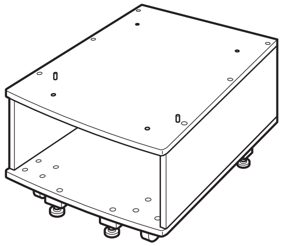
ペディスタル

ペディスタルは、本プリンタを操作しやすい高さに設置したり、移動しやすくするための専用台です。プリンタ本体の底面またはペーパーフィーダの底面に取り付けることができます。移動用のキャスタと固定するためのアジャスタが付いています。

ペディスタルには、キャスタタイプとボックスタイプの 2 種類があります。



ペディスタル
（キャスタタイプ）



ペディスタル
（ボックスタイプ）

メモ

- ペディスタル（キャスタタイプ）を装着した場合、ペーパーフィーダは 3 台まで取り付けることができますが、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は 2 台までです。
- ペディスタルの取り付けかたについては、ペディスタルに付属の取扱説明書を参照してください。

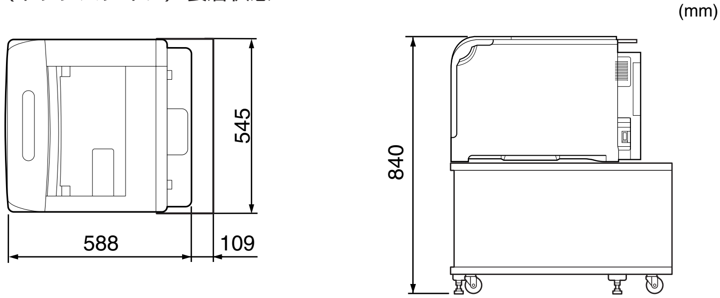
設置スペース

本プリンタにペディスタルを装着して使用する場合の各部の寸法、周囲に必要な寸法、およびキャスタ、アジャスタの位置は次のようになっています。

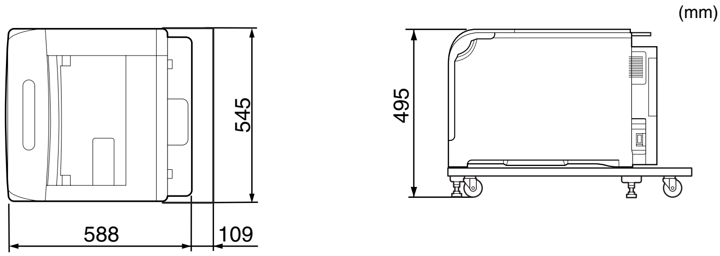
●プリンタの寸法

前面 ➡

・ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態



・ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

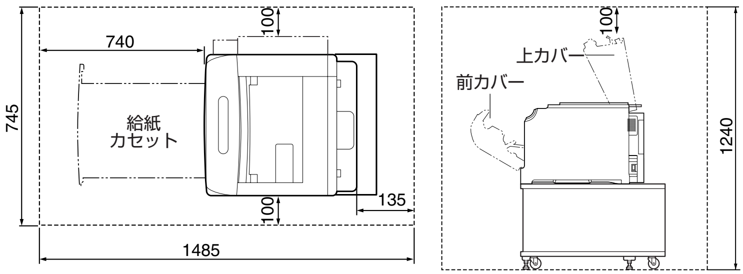


●周囲に必要なスペース

前面 ➡

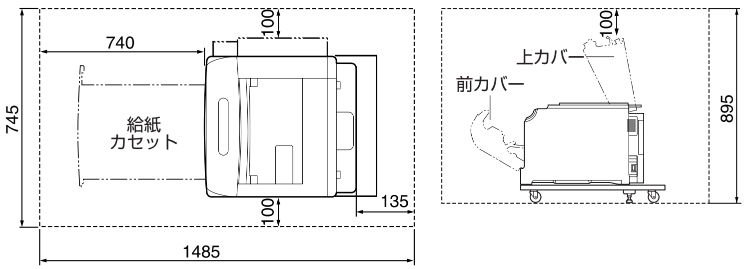
・ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

(mm)



・ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

(mm)



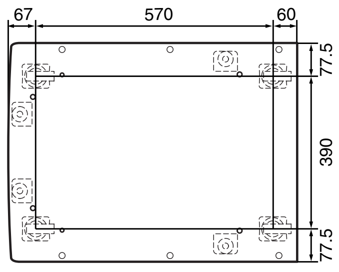
●ペディスタルのキャスタ、アジャスタの位置

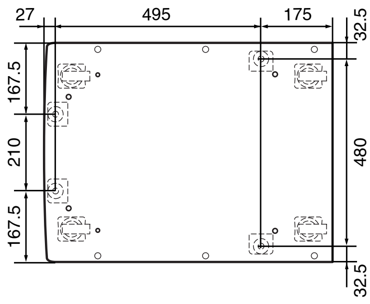
前面 ➡

・キャスタ

・アジャスタ

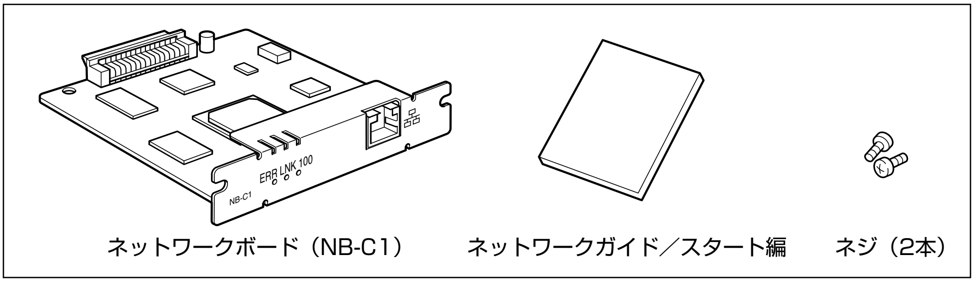
(mm)





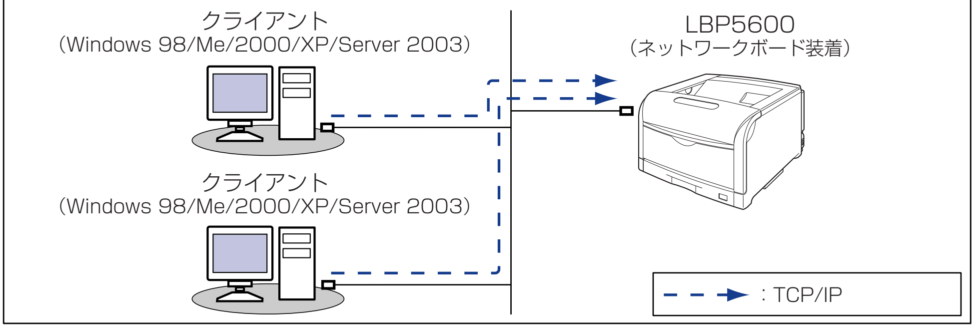
ネットワークボード

ネットワークボードは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

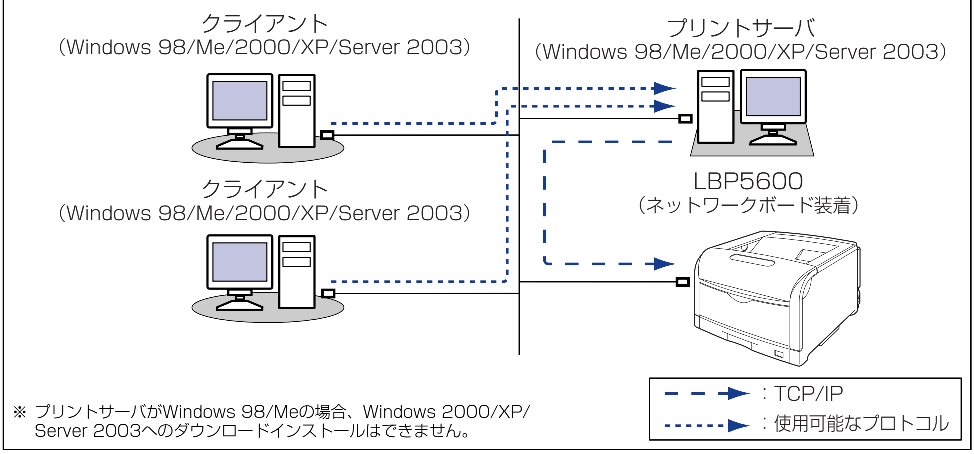


オプションのネットワークボードを装着すると、LBP5600 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

■ネットワークボードとコンピュータを直結する場合



■プリントサーバを経由して接続する場合



※ プリントサーバがWindows 98/Meの場合、Windows 2000/XP/Server 2003へのダウンロードインストールはできません。

注意

- ネットワークボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

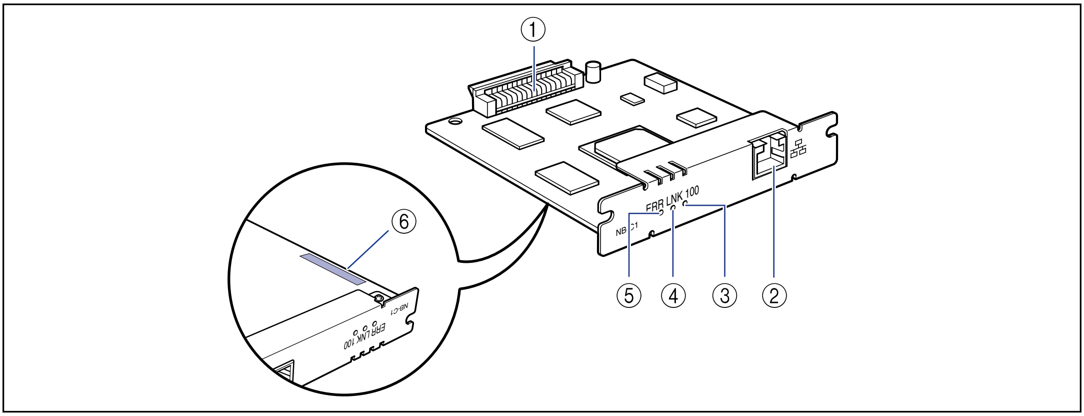
重要

- ネットワークボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、ネットワークボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はネットワークボードを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。
- 本プリンタにネットワークボードを装着してご使用になる場合、ネットワークボードのファームウェアのバージョンが 1.10 以上でないと正常に動作しません。ネットワークボードの取り付けとソフトウェアのインストールが完了したあと、ファームウェアのバージョンをリモート UI の［ネットワーク］ページにある［ファームウェア］の［バージョン］、またはネットワークステータスプリントの［ファームウェアバージョン］で確認してください。リモート UI については、リモート UI ガイド「第 3 章リモート UI のいろいろな機能」、ネットワークステータスプリントについては、ネットワークガイド「第 2 章ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」を参照してください。
  ファームウェアの更新が必要な場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）から最新のファームウェアをダウンロードして、ファームウェアに添付の README ファイルの記載にしたがってファームウェアを更新してください。

メモ

本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

各部の名称と機能



① **プリンタ接続コネクタ**
プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

② **LAN コネクタ**
10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

③ **100 ランプ（緑色）**
ネットワークボードが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。
10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

④ **LNK ランプ（緑色）**
ネットワークボードがネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

⑤ **ERR ランプ（オレンジ色）**
ネットワークボードが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

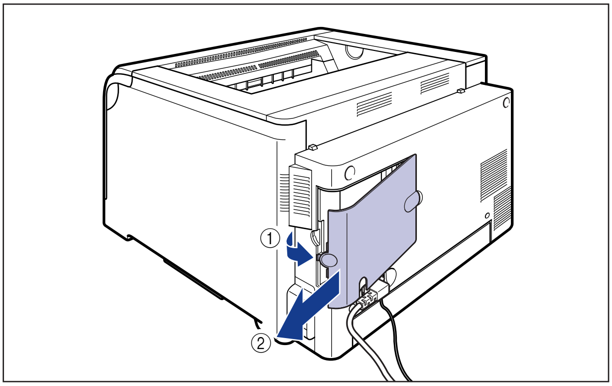
⑥ **MAC アドレス**
ARP/PING コマンドを使用して、IP アドレスを設定する場合に必要になります。また、プリンタドライバをインストールする場合に必要になることがあります。

ネットワークボードを取り付ける

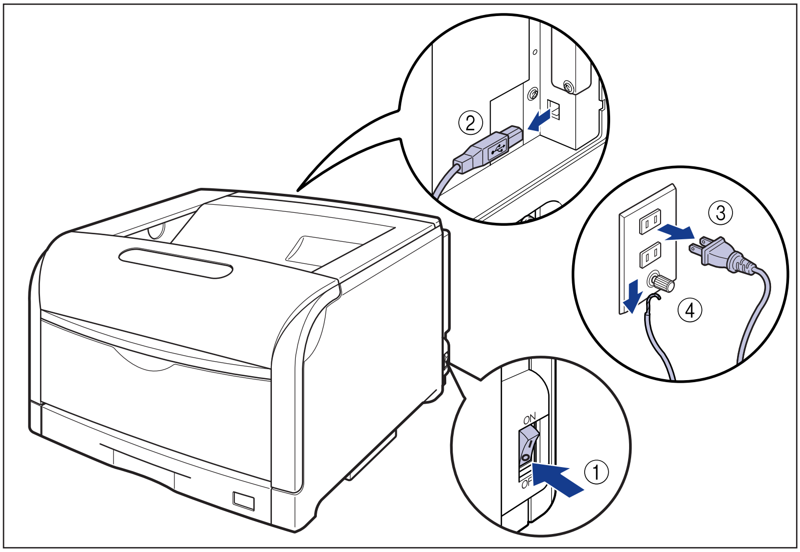
ネットワークボードは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



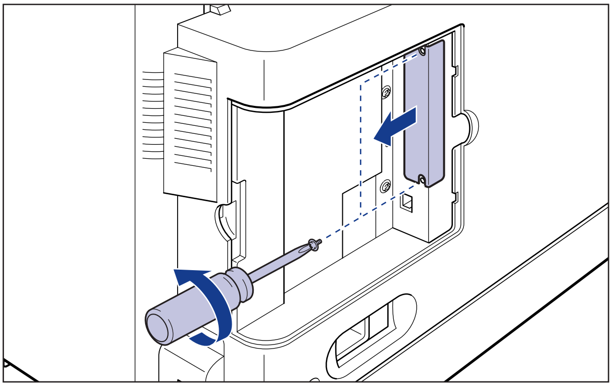
2 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



3 電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

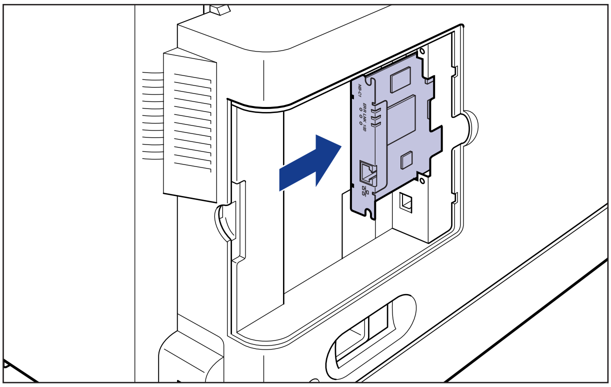
4 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。



重要　取り外した保護板とネジは、ネットワークボードを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

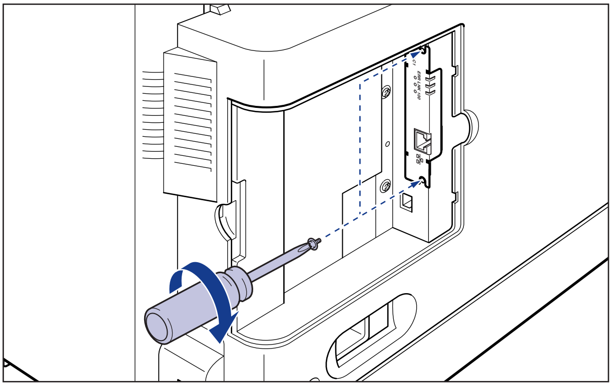
5 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。



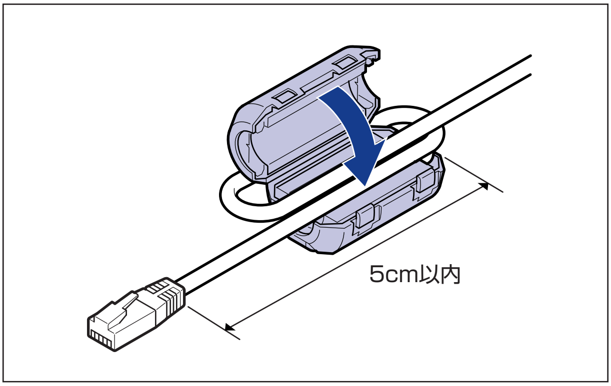
重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。



7 図のように LAN ケーブルにフェライトコアを取り付けます。

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタから 5cm 以内の場所に取り付けます。

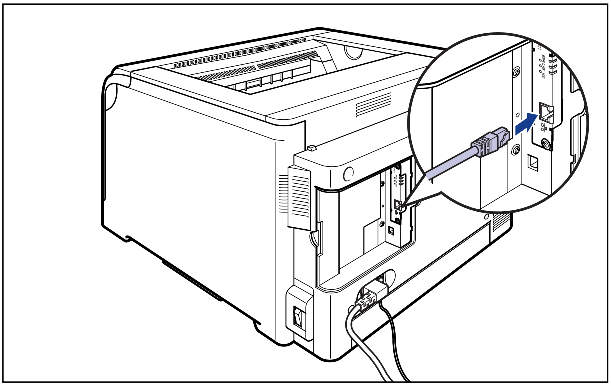


メモ

- フェライトコアは、プリンタに同梱されています。
- 本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

8 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

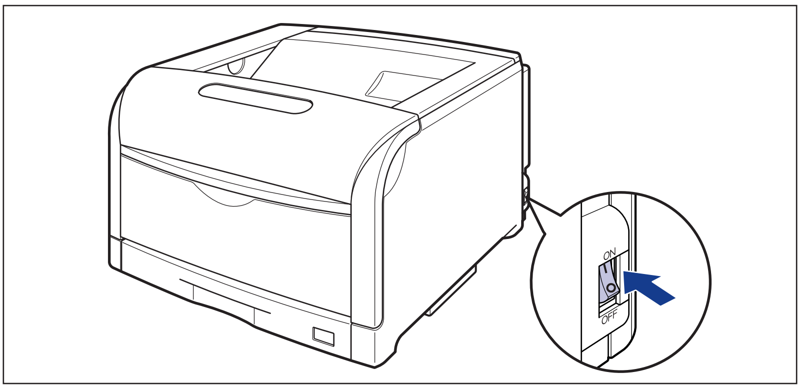


9 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

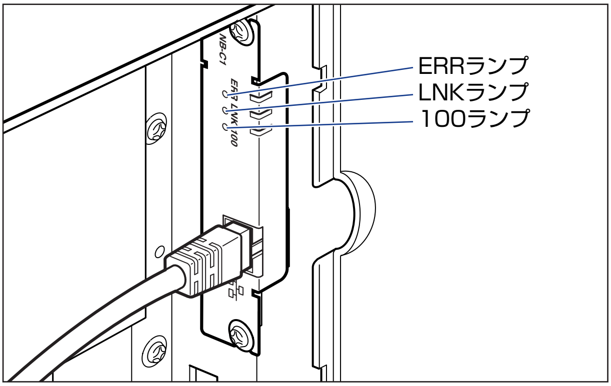
12 電源スイッチの"|"側を押して、プリンタの電源をオンにします。



重要 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→P.7-1）を参照してください。

13 ネットワークボードのLNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。



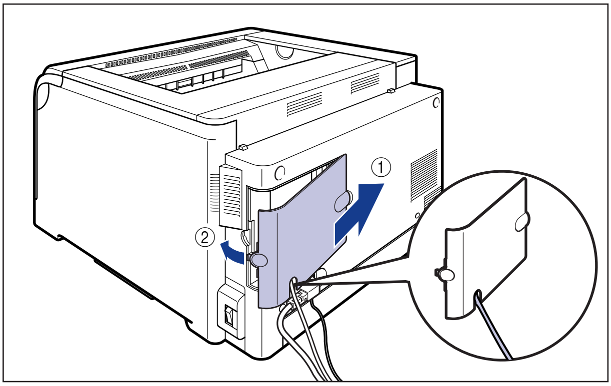
正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、ネットワークボードの取り付け状態を確認してください。

重要

本プリンタにネットワークボードを装着してご使用になる場合、ネットワークボードのファームウェアのバージョンが 1.10 以上でないと正常に動作しません。ネットワークボードの取り付けとソフトウェアのインストールが完了したあと、ファームウェアのバージョンをリモート UI の［ネットワーク］ページにある［ファームウェア］の［バージョン］、またはネットワークステータスプリントの［ファームウェアバージョン］で確認してください。リモート UI については、リモート UI ガイド「第 3 章リモート UI のいろいろな機能」、ネットワークステータスプリントについては、ネットワークガイド「第 2 章ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」を参照してください。
ファームウェアの更新が必要な場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）から最新のファームウェアをダウンロードして、ファームウェアに添付の README ファイルの記載にしたがってファームウェアを更新してください。

14 後カバーを取り付けて ①、閉めます ②。

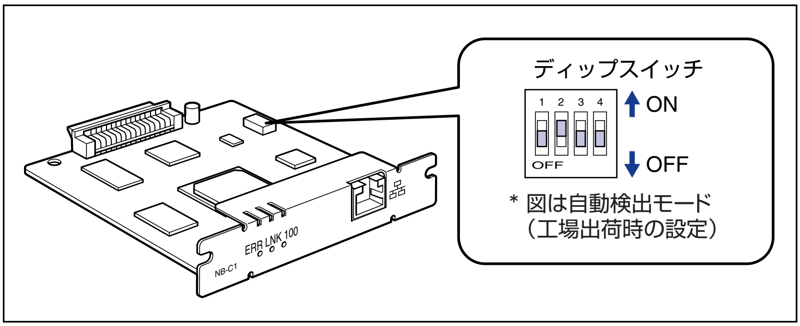
手順 7 で LAN ケーブルに取り付けたフェライトコアを後カバーに入れて、図のようにケーブルを後カバーの溝に通します。



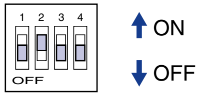
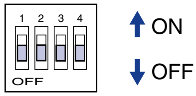
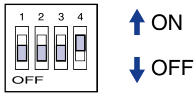
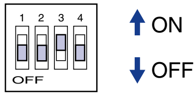
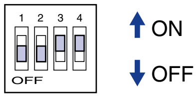
ネットワークボードを設定する

ネットワークボードは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、ネットワークボードのディップスイッチを設定してください。ディップスイッチの設定は、プリンタの電源をオフにしてネットワークボードを取り外してから行います。ネットワークボードの取り外しの作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。



■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	

1 後カバーを取り外します。

2 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

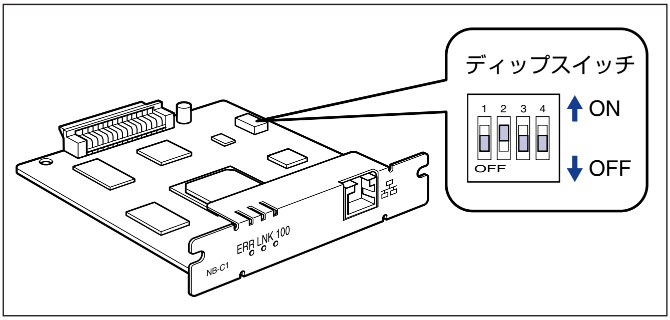
3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

4 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要　ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

5 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.6-39 の表を参照してください。



6 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要

- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

7 ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

8 LAN ケーブルを接続します。

9 電源コード、アース線を接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 USB ケーブルを接続します。

12 後カバーを取り付けます。

ネットワークボードの初期化

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、リモートUI、FTPクライアントのいずれかの方法で行います。リモートUIについてはリモートUIガイド「第3章 リモートUIのいろいろな機能」、FTPクライアントについてはネットワークガイド／本編「第5章 付録」を参照してください。

もし、上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でディップスイッチを操作して、ネットワークボードの設定値をリセットすることができます。ネットワークボードをリセットする作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **後カバーを取り外します。**

2 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USBケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

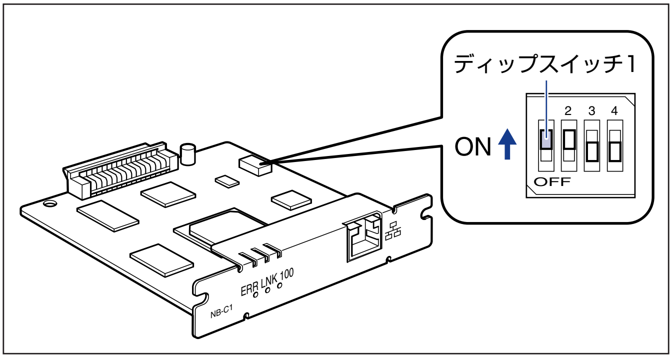
3 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

4 **2本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。**

重要　ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

5 **ディップスイッチ1をオン側に切り替えます。**

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



6 オプション品について

重要　ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

6 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要

- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

7 ネットワークボードの上下を、付属の2本のネジで固定します。

8 電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

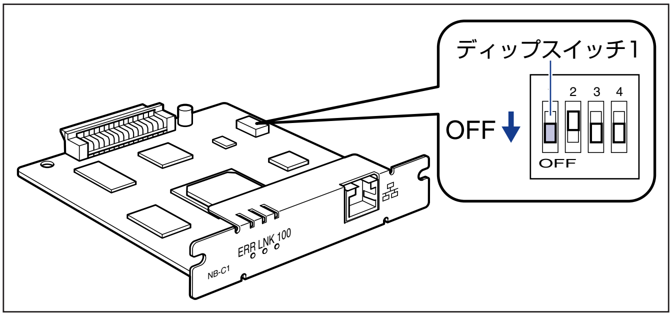
10 電源スイッチの“|”側を押して、プリンタの電源をオンにし、印刷可ランプが点灯するまで待ってから、電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにします。

11 電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

12 電源コード、アース線を取り外します。

13 ネットワークボードを取り外し、ディップスイッチ 1 をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

14 ネットワークボードを取り付けます。

15 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

16 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントに接続します。

17 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

18 後カバーを取り付けます。

ネットワークボードを取り外す

ネットワークボードの取り外しは、次の手順で行います。ネットワークボードの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

1 **後カバーを取り外します。**

2 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

3 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

4 **2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。**

取り外したネットワークボードは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 取り外したネジは再度ネットワークボードを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

5 **拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。**

6 **USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。**

7 **アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

8 **USB ケーブルを接続します。**

9 **後カバーを取り付けます。**

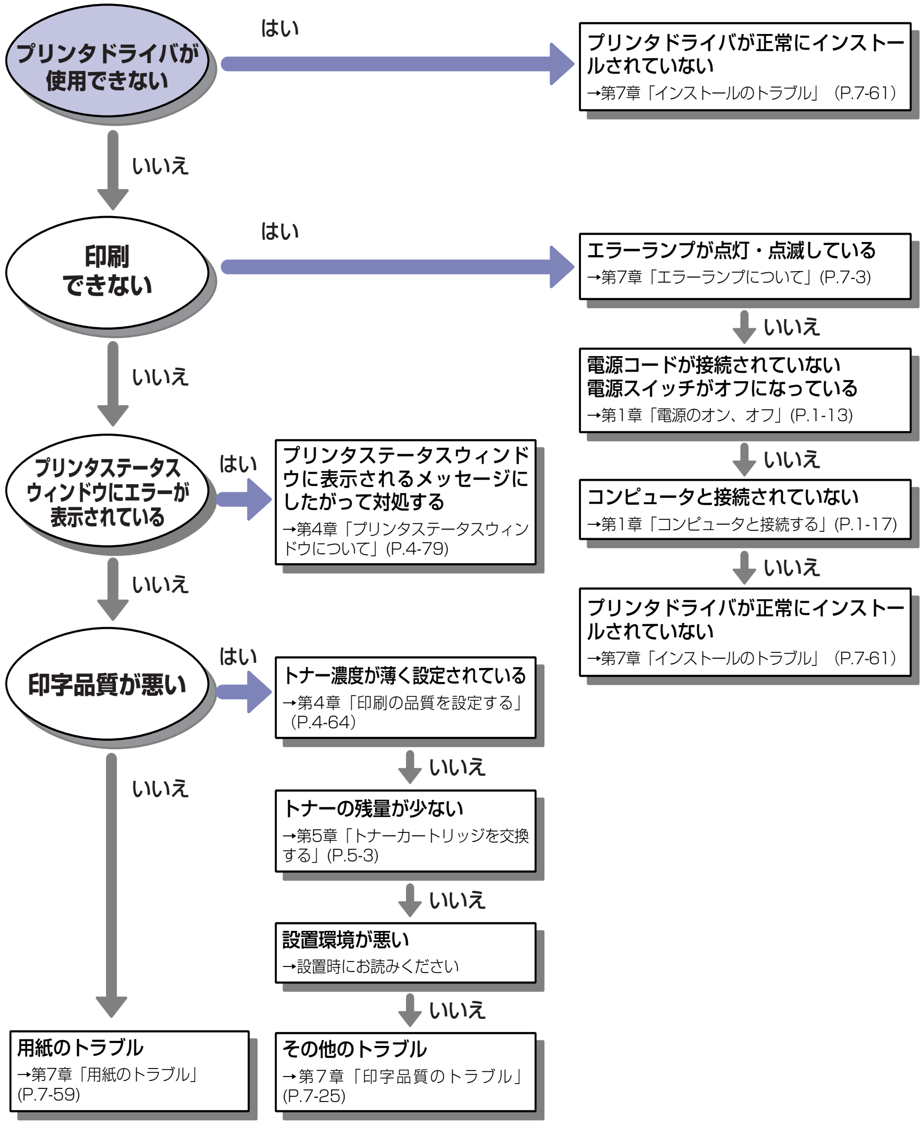
困ったときには

7
CHAPTER

この章では、紙づまりが起こったときや印字品質に問題があるときの対処のしかたについて説明しています。

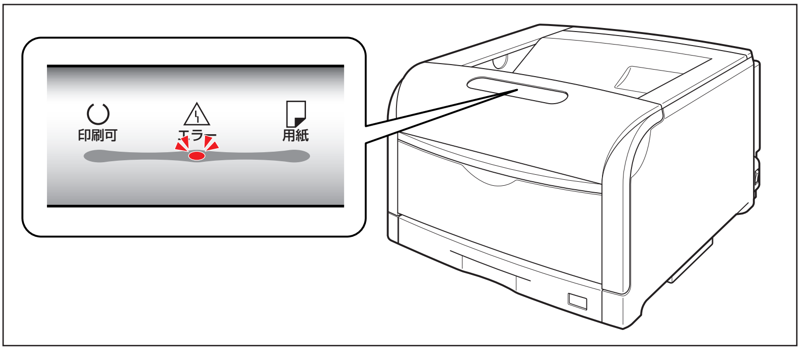
トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。



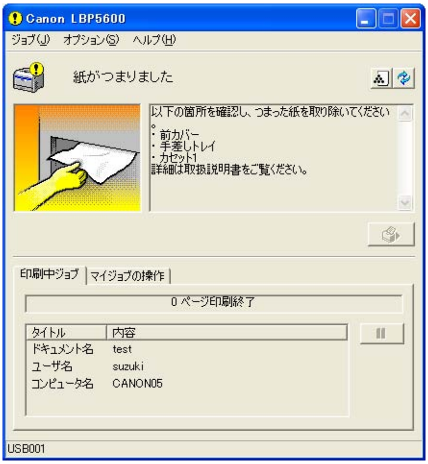
エラーランプについて

プリンタに何らかのトラブルが起こると、エラーランプ（赤色）が点灯または点滅します。



エラーランプが点灯しているときは、サービスエラーが発生していますので、「サービスコール表示」（→P.7-22）を参照してください。

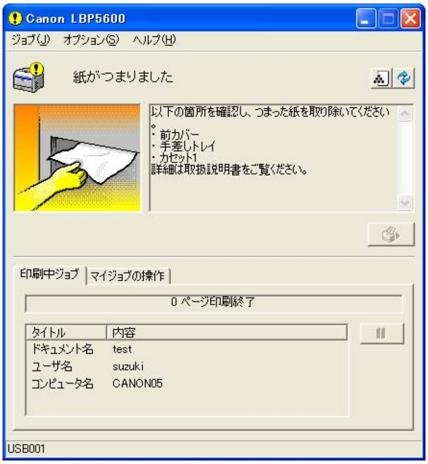
エラーランプが点滅しているときは、プリンタステータスウィンドウの表示にしたがって対処してください。



7
困ったときには

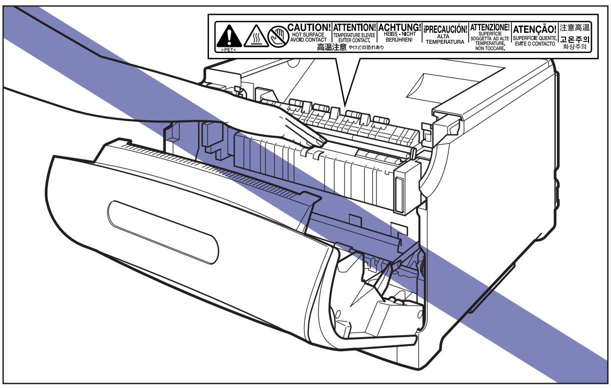
紙づまりが起こったときには

印刷中に紙づまりが起こると、プリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。



⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

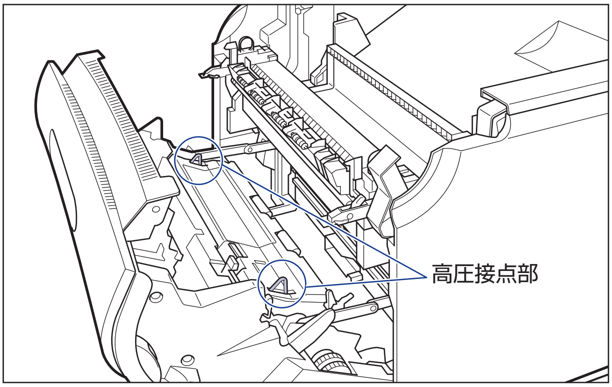
⚠注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

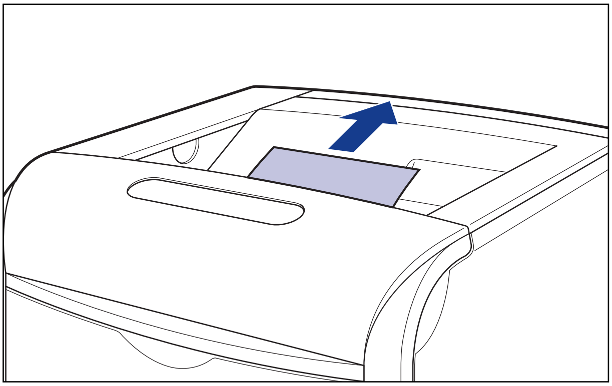
重要
- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、印刷中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 前カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーを一度開閉してください。
- 前カバー内側にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。



紙づまりの除去手順

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

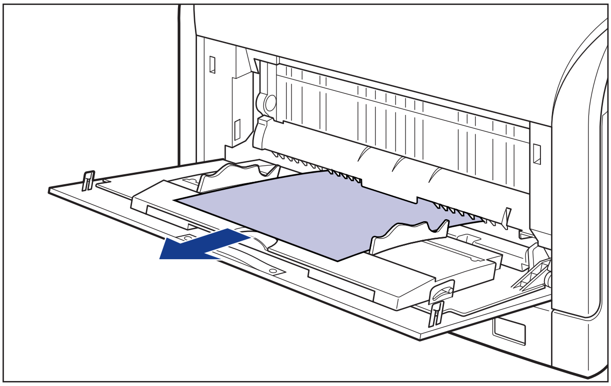
1 **排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。**



重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

メモ　取り除いた用紙に定着していないトナーが付着している場合、次に印刷する用紙にトナーの汚れが付くことがあります。

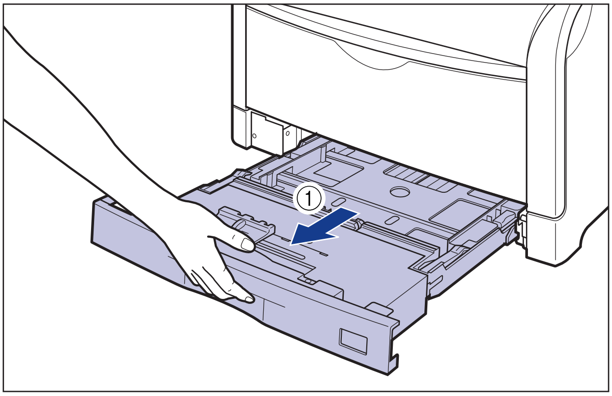
2 **手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。**



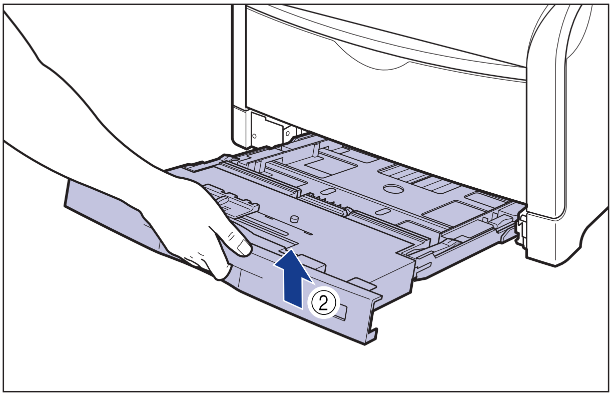
重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

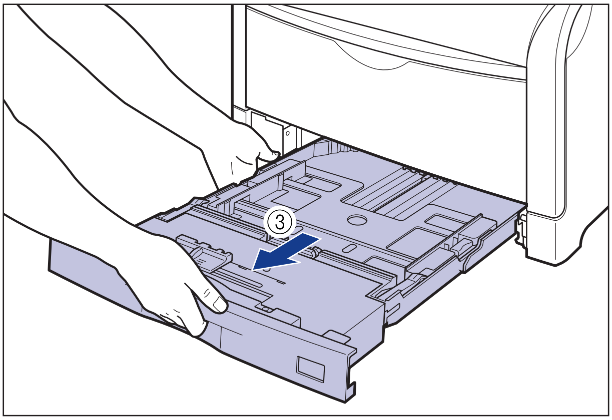
3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

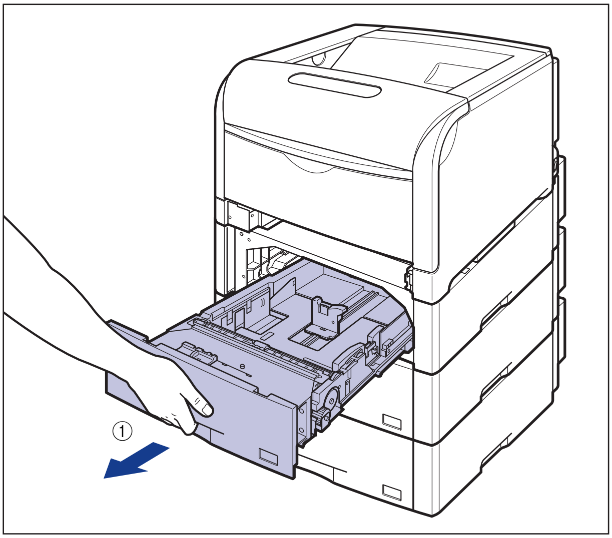




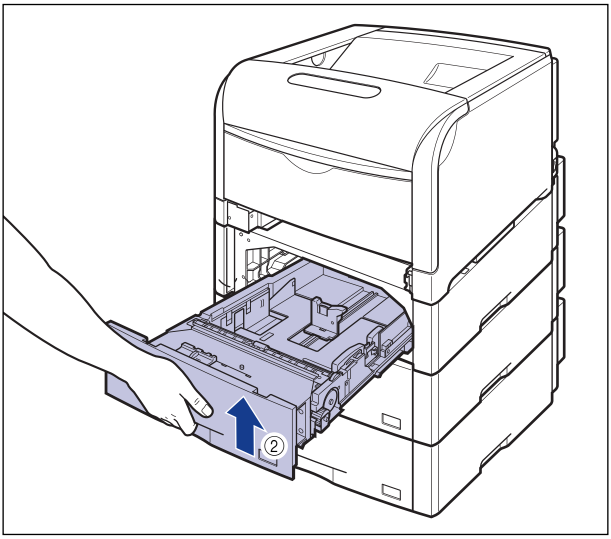
重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

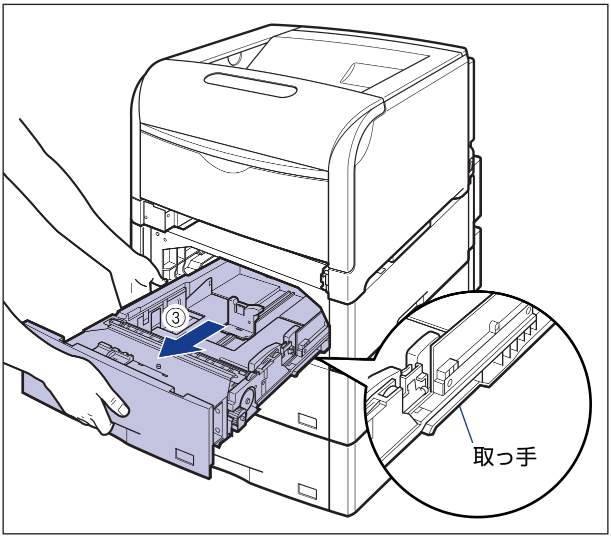
4 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

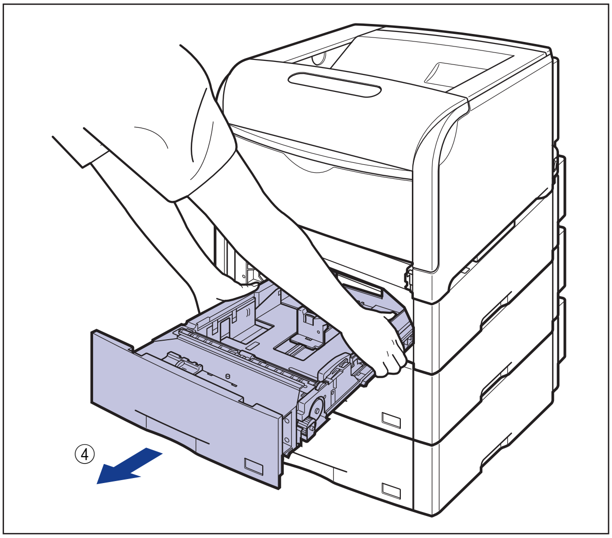


給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。





図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

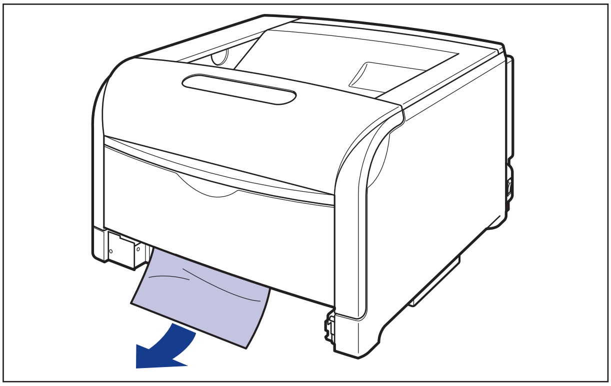


重要

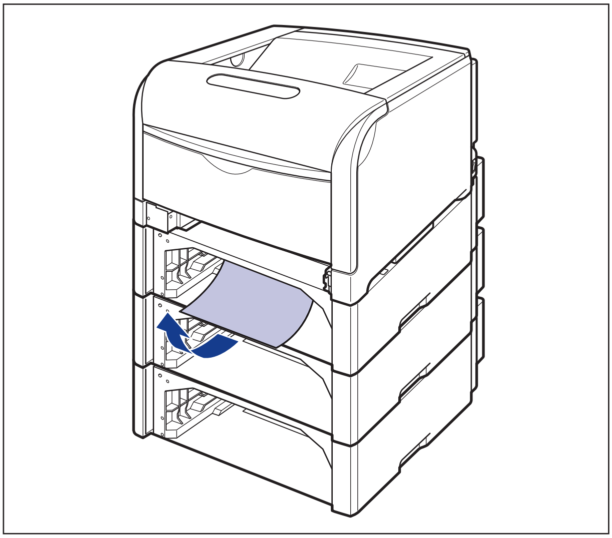
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

5 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタの場合

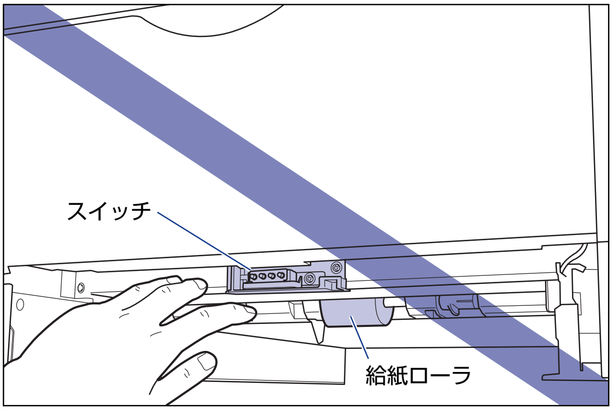


ペーパーフィーダの場合



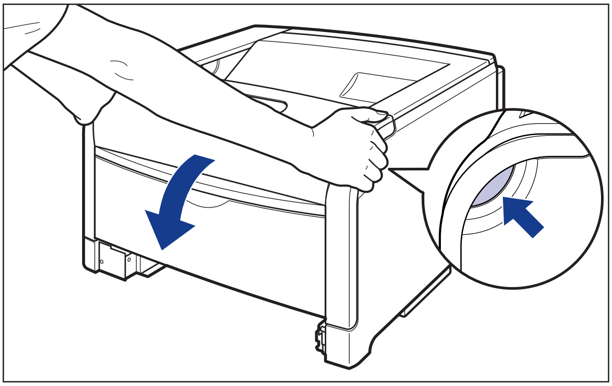
重要

- つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。
- プリンタ下部の給紙ローラやスイッチには、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。



6 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



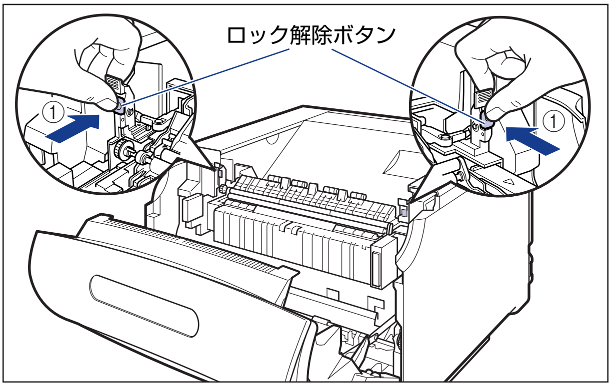
重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイが閉まっていることを確認してください。

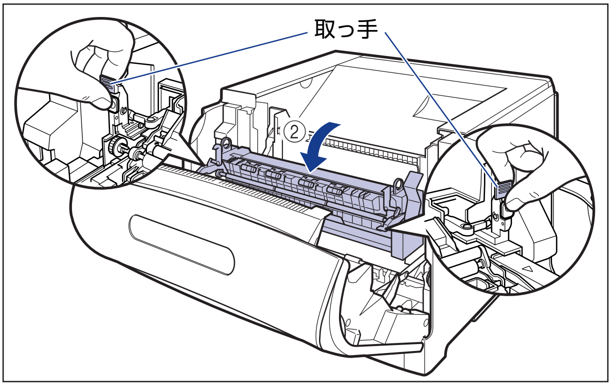
7

困ったときには

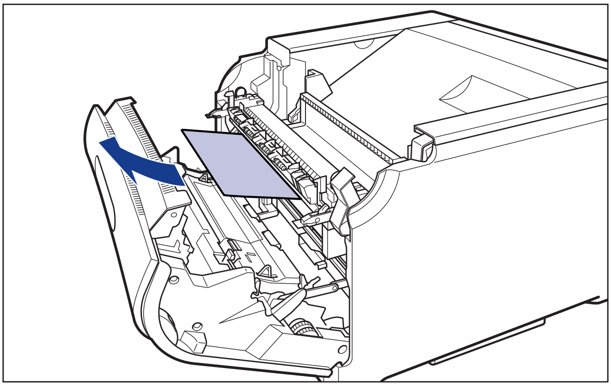
7 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。





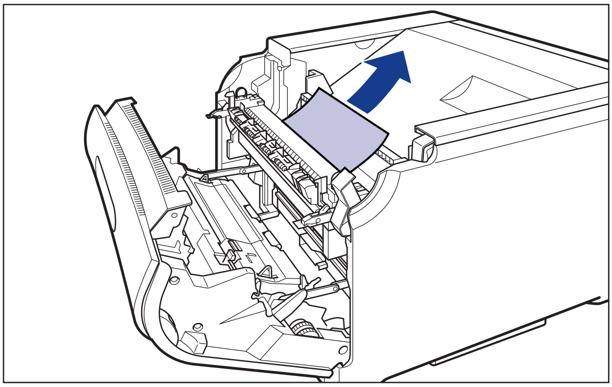
8 定着器の手前側から、つまっている用紙を取り除きます。



重要

つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、ゆっくりと強く引いて取り除いてください。それでも、つまった用紙が取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

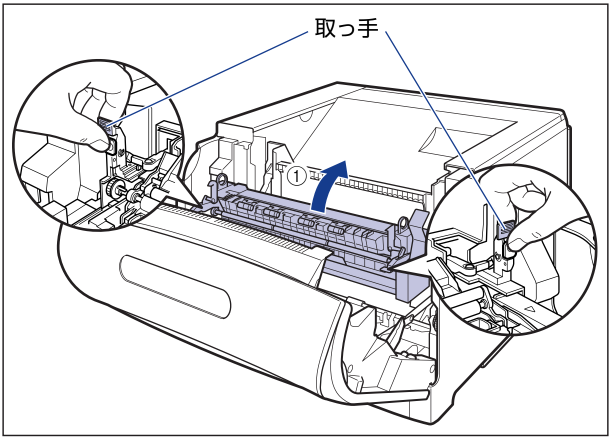
9 定着器の奥側から、つまっている用紙を取り除きます。

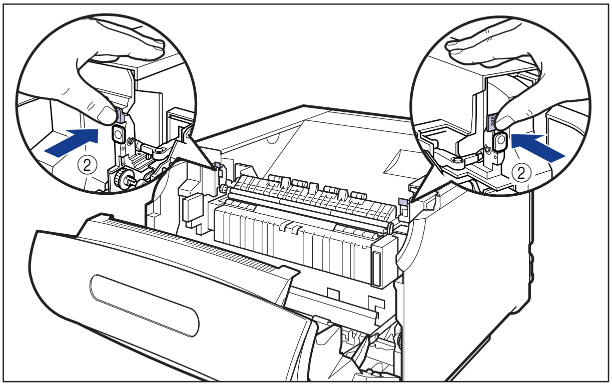


重要

定着していないトナーが飛び散らないように、ゆっくりと強く引いてつまっている用紙を取り除きます。

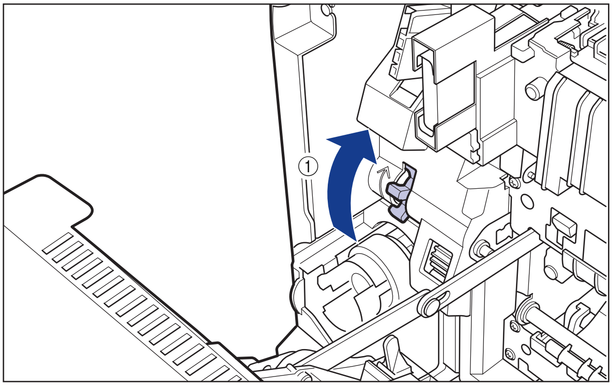
10 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。



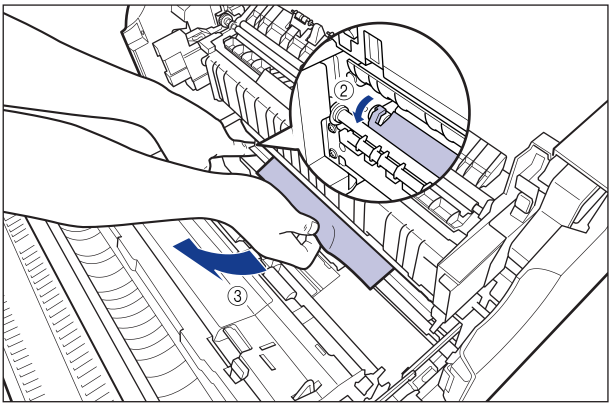


11 定着器の下側につまっている用紙を取り除きます。

図のように定着器の左側にあるダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します ①。



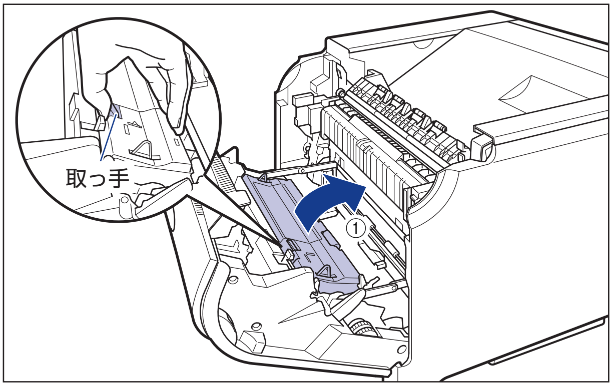
図のように定着器の下にあるレバーを手前に引き②、つまっている用紙を取り除きます③。

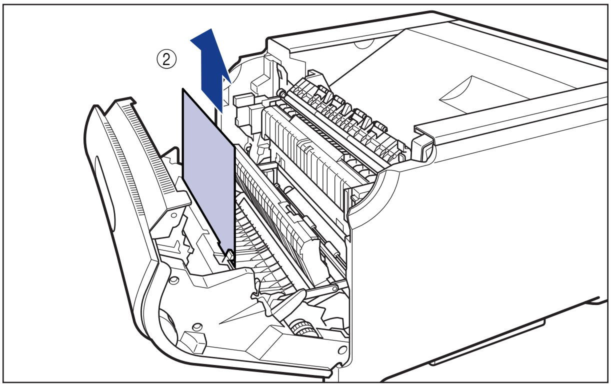


7

困ったときには

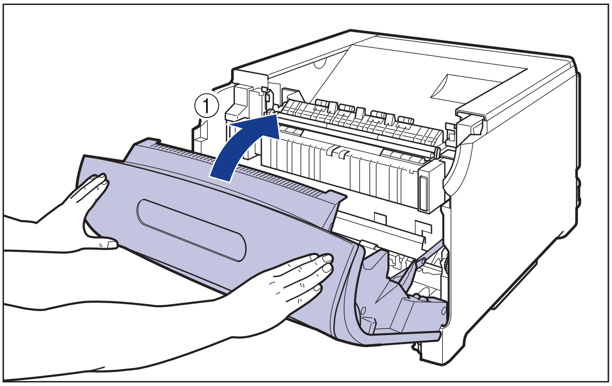
12 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、図のように前カバー内側の取っ手を持って両面搬送部のカバーを開け ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

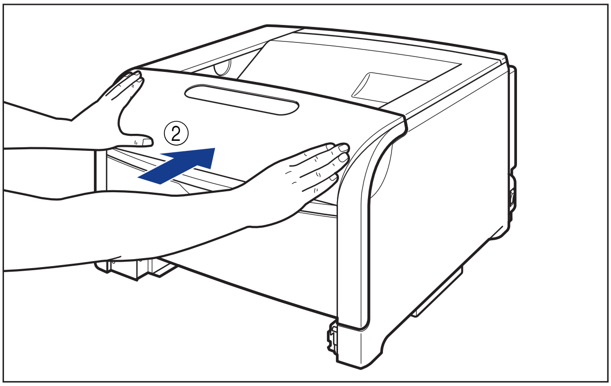




13 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

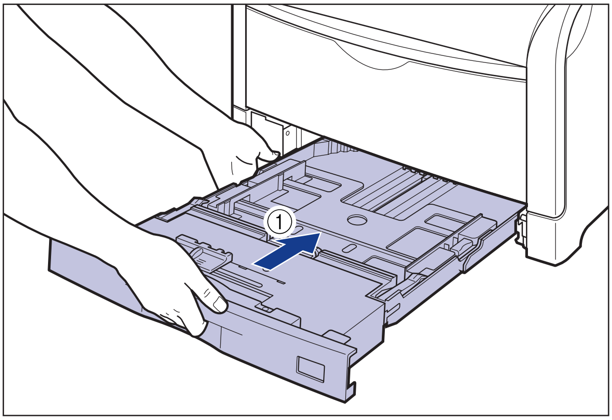




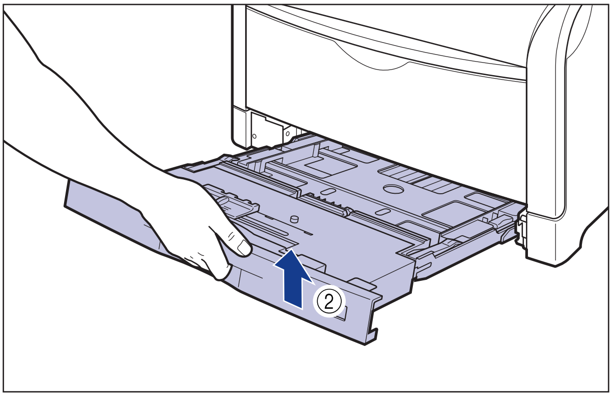
⚠注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

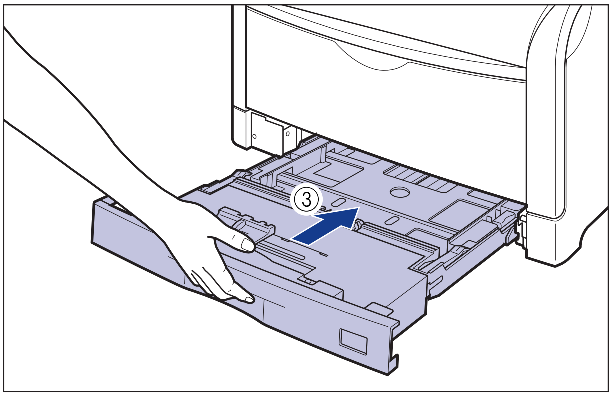
14 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



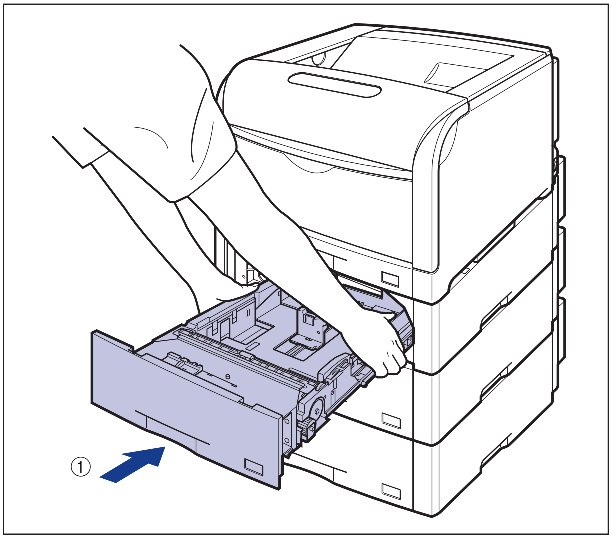
給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

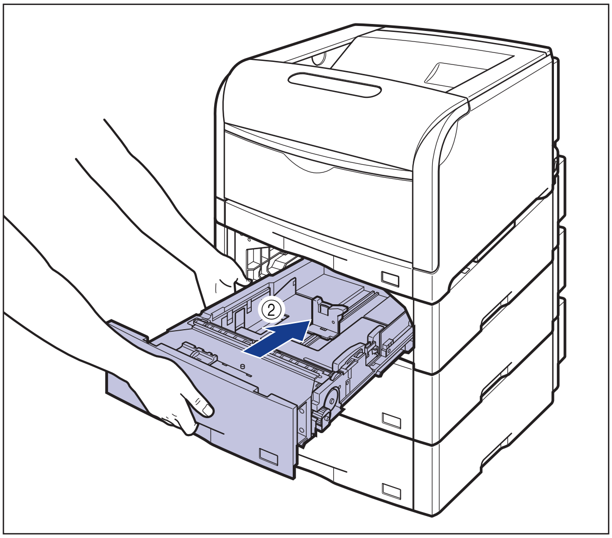




15 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。

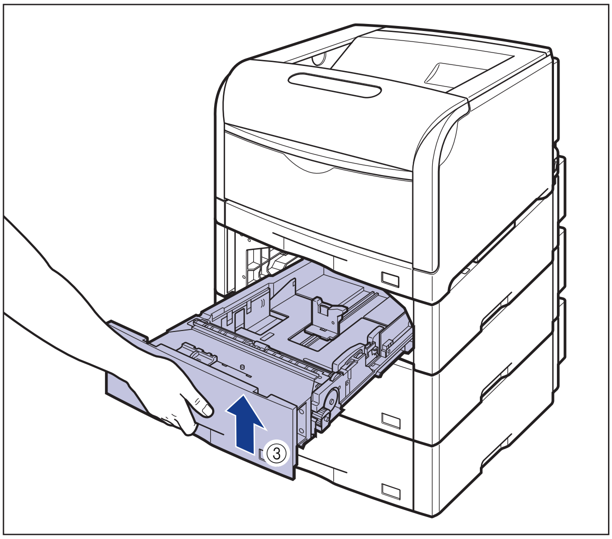


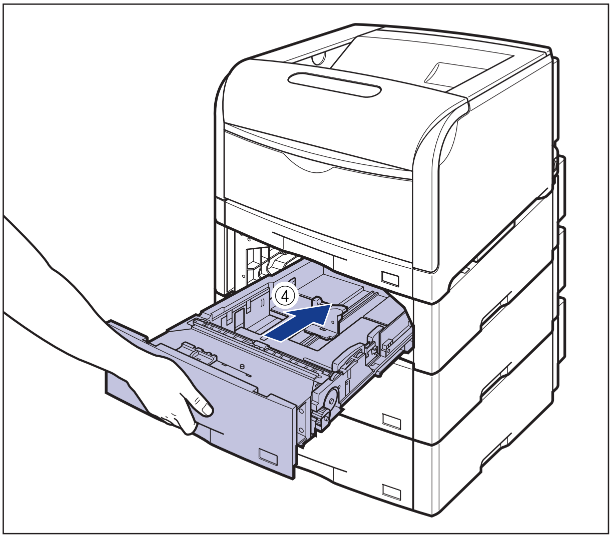


7

困ったときには

給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。

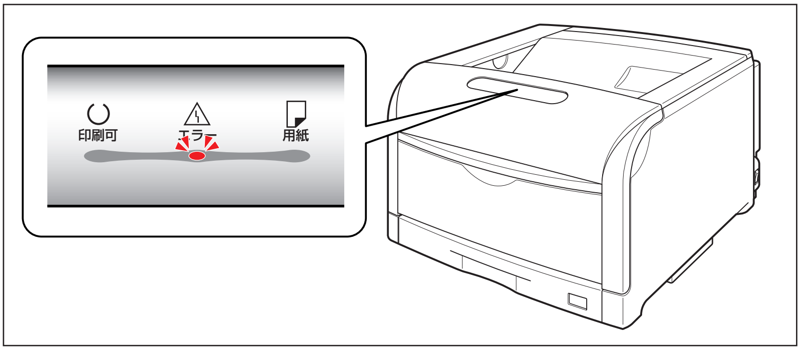




⚠注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

サービスコール表示

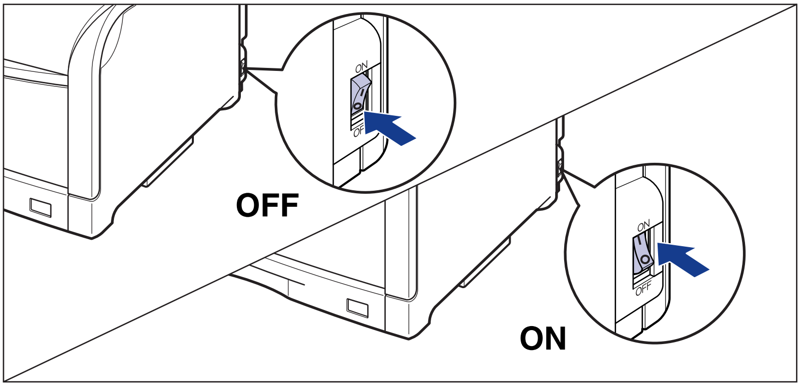
プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、プリンタのエラーランプ（赤色）が点灯し、プリンタステータスウィンドウに次のようなサービスコールが表示されます。





サービスコールが表示されたら、次の手順で電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。



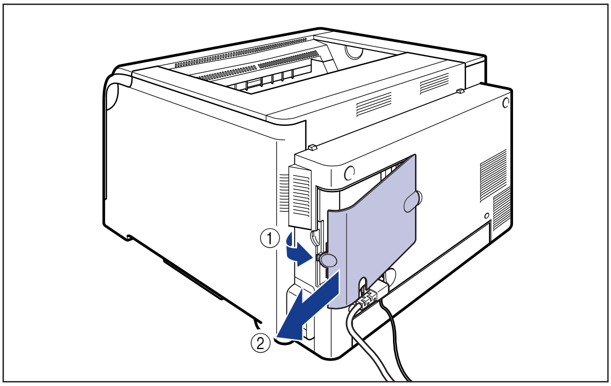
メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 プリンタステータスウィンドウに表示されているエラーコードを書きとめます。

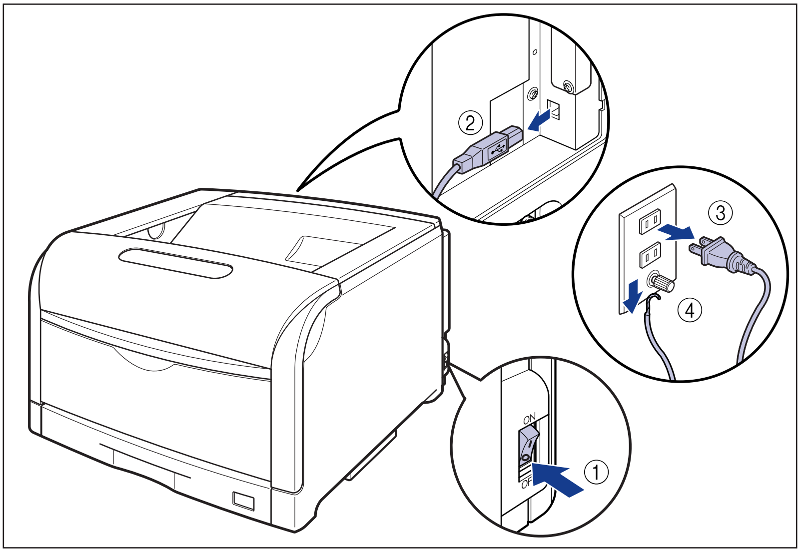


3 後カバーを取り外します。

後カバーを少し開けてから ①、後カバーを取り外します ②。



4 電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



5 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

メモ　不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

印字品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要
- プリンタステータスウィンドウにメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」(➞P.7-4) を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」(巻末参照) にお問い合わせください。

用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない

原因 1 ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」(➞P.7-33) を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」(➞P.7-55) にサンプルを掲載しています。

原因 2 プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1 プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2 処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

白いすじが入る

原　因 ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」(➞P.7-33) を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」(➞P.7-55) にサンプルを掲載しています。

色すじが入る

原　因　プリンタに何らかの不具合がある、または ITB ユニットが劣化、あるいは損傷している

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.7-33）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.7-55）にサンプルを掲載しています。

部分的に白く抜ける

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 3　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.7-33）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.7-55）にサンプルを掲載しています。

印刷しない部分に残像が現れる

原因 1　印刷する用紙が適当でない

処　置　用紙を取り替えて印刷してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　幅の狭い用紙（A5 など）を連続印刷したあとに、幅の広い用紙に印刷した

処置 1　定着器の温度を下げるため、しばらく待ってから印刷しなおしてください。

処置 2　プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［小サイズ紙特殊設定］で［小サイズ紙特殊処理 1］のつまみを［画質優先］へドラッグします（ただし、印刷待ち時間が長くなることがあります）。

原因 3　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.7-33）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.7-55）にサンプルを掲載しています。

印字が全体的にうすい

原因 1 トナー濃度の設定が適当でない

処　置 プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 ［ドラフトモードを使う］が有効になっている

処　置 プリンタドライバで［ドラフトモードを使う］のチェックマークを消します。
［ドラフトモードを使う］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

印字が全体的に黒ずむ

原因 1 ［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置 プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置 プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因 1 用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置 適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→ 用紙について：P.2-2）

原因 2 ドラムカートリッジが劣化している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→P.7-33）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→P.7-55）にサンプルを掲載しています。

ページの一部が印刷されない

原因 1 拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1 プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2 プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2 用紙をセットする位置が合っていない

処　置 用紙を正しくセットしてください。（➞ 手差しトレイから印刷する：P.2-71、給紙カセットから印刷する：P.2-18）

原因 3 余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処　置 用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印刷できませんので、データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってください。

印字位置がずれてしまう

原因 1 ［とじしろ］が設定されている

処　置 プリンタドライバで［とじしろ］の設定を「0」にします。
［とじしろ］の設定は、［仕上げ］ページの［とじしろ］ボタンをクリックして、［とじしろ指定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない

処　置 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因 3 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［印字位置調整］で印字位置が調整されている

処　置 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［印字位置調整］で適切な値に調整してください。（➞ 印字位置を調整する：P.5-66）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➡ アプリケーションソフトの取扱説明書）

定着性が悪い

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➡ 用紙について：P.2-2）

原因 2　トナーの定着性が悪い

処　置　プリンタドライバの［特殊定着モード］で適切な定着モードを選択します。
［特殊定着モード］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。トナーの定着性が悪い場合は、［モード 2］に設定してください。［モード 2］に設定しても定着性が悪い場合は、［モード 3］に設定してください。

原因 3　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

カラーの線や文字がかすれる

原　因　細い線や文字を使用している

処　置　プリンタドライバで［色付きの線や文字を優先して印刷する］にチェックマークを付けます。
［色付きの線や文字を優先して印刷する］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処　置　プリンタドライバで［マッチング方法］の設定を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

色ズレにより正しい色（指定した色）で印刷されない、カラーの文字がぼけて見える

原因 1　ドラムカートリッジが正しくセットされていない

処　置　ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(→ ドラムカートリッジを交換する：P.5-17)

原因 2　4 色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している

処置 1　キャリブレーションを行ってください。(→ プリンタのキャリブレーションを行う：P.5-62)

処置 2　［消耗品情報］ダイアログボックスを表示して、寿命に近づいている色のトナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。(→ トナーカートリッジを交換する：P.5-3)

処置 3　「印字不良が起こったときには」(→P.7-33) を参照して、処置してください。

原因 3　適切な用紙を使用していない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおします。(→ 用紙について：P.2-2)

原因 4　電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った

処　置　印刷可ランプが点灯していることを確認してから、データを送ってください。

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう

原因 1　色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある

処置 1　アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。

処置 2　アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。

原因２　網点のパターンにより、色が違って見える

処置１　濃い色に変更して、印刷しなおします。

処置２　用紙の送り方向を変えてセットし、印刷しなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）で印刷されない

原　因　印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処置１　アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。

処置２　プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。
［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因　画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある

処置１　プリンタドライバで［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

処置２　プリンタドライバで［ガンマ補正］を調整します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る

原　因　図形の「すじ」のグレーの色の部分に、グレー補償が効いている

処　置　プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある

原　因　ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している、または定着器に不具合がある

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.7-33）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.7-55）にサンプルを掲載しています。

印刷した用紙の裏が汚れる

原　因　セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った

処　置　印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認する。

印字不良が起こったときには

「印字不良サンプル」（→P.7-55）に掲載しているような印字不良が発生した場合は、以下の項目を順に参照して、印字不良を解決してください。

1. プリンタ内部を清掃して、キャリブレーションを行う（→P.7-33）
2. テストチャート 1 を印刷する（→P.7-51）
3. テストチャート 2 を印刷する（→P.7-53）

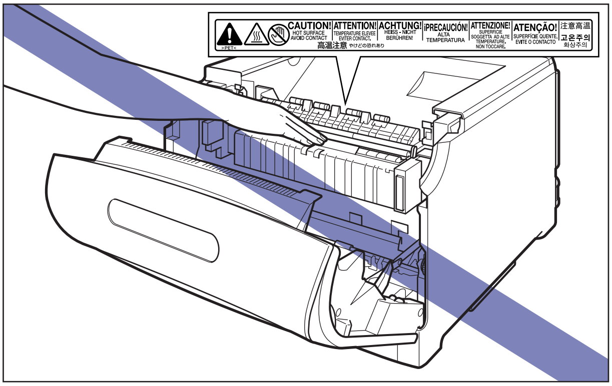
重要　プリンタステータスウィンドウにメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。

プリンタ内部を清掃する

印字品質にトラブルが発生し、「印字不良サンプル」（→P.7-55）に掲載しているような印刷結果になった場合は、以下の手順でプリンタの内部を清掃し、キャリブレーションを行います。

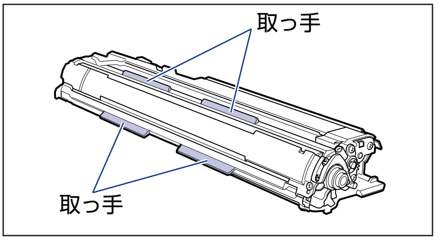
警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

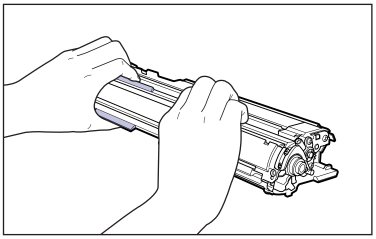
注意　プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。プリンタ内部を清掃するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



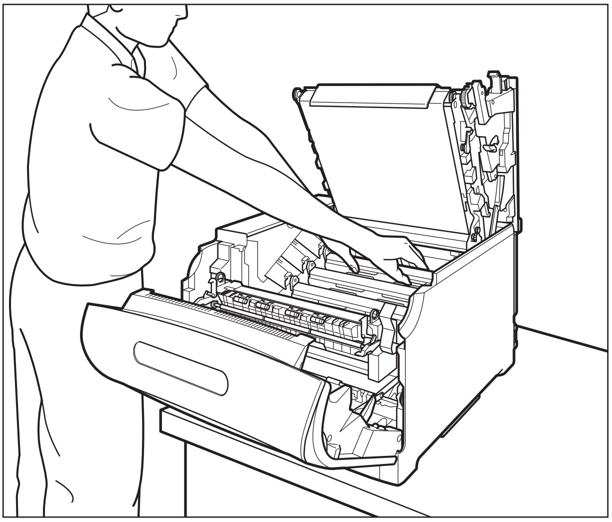
重要

- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



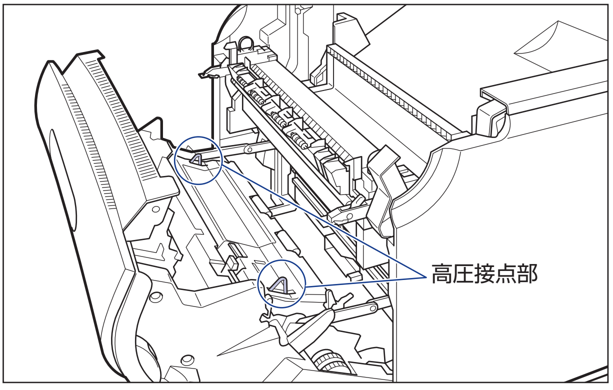


- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。



- 次の位置にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

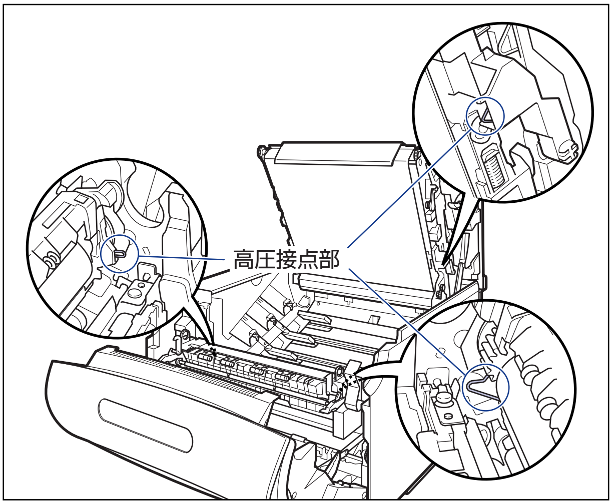
・前カバー内側



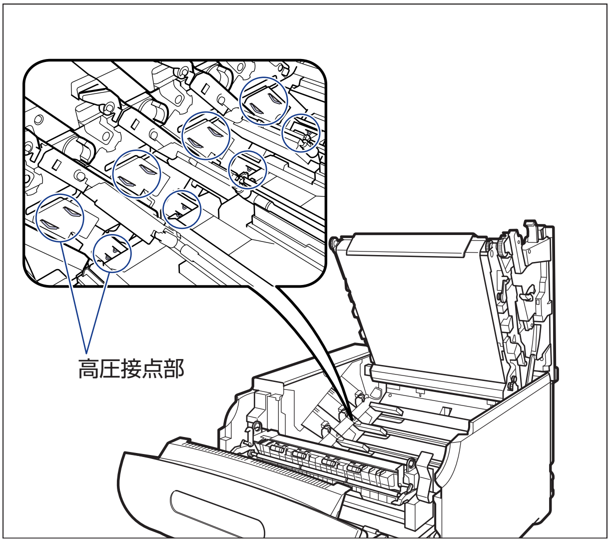
7

困ったときには

・ITB ユニット右側、プリンタ内部

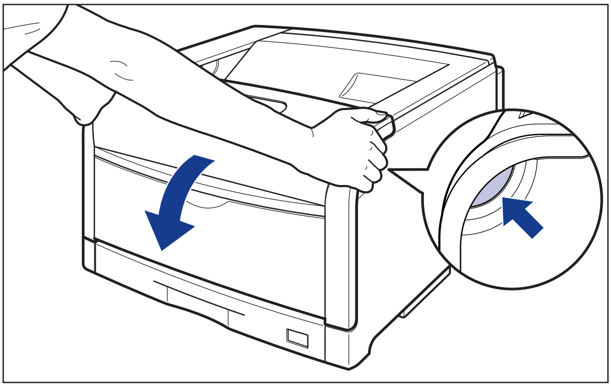


・ドラムカートリッジガイド部



1 前カバーを開けます。

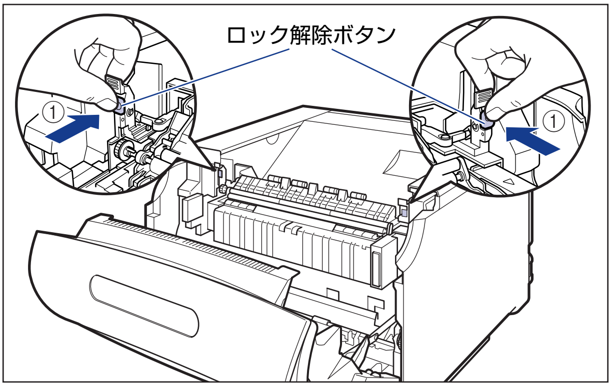
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

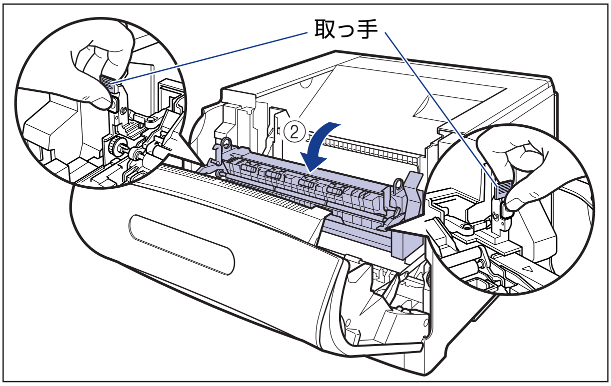


重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

2 定着器を手前に倒します。

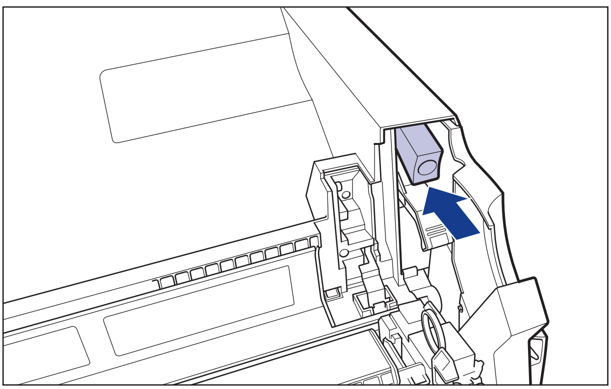
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。



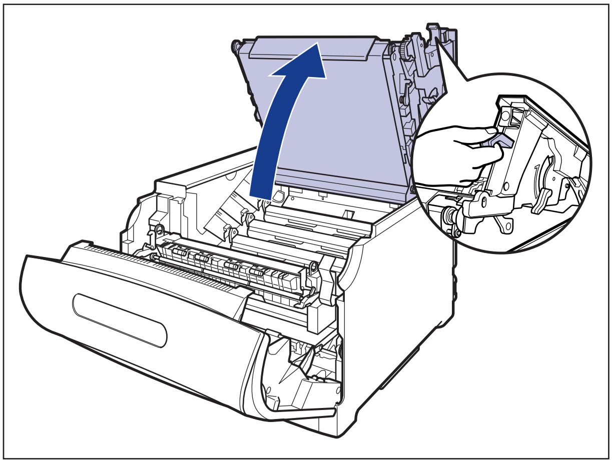


3 上カバーを開けます。

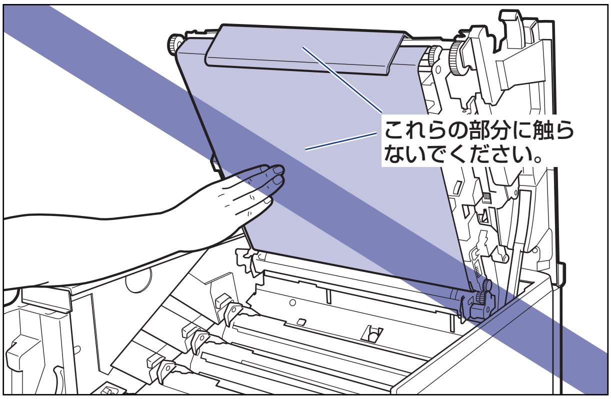
上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。



上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。



重要 ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」(➞P.5-65)を参照して、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITB ユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

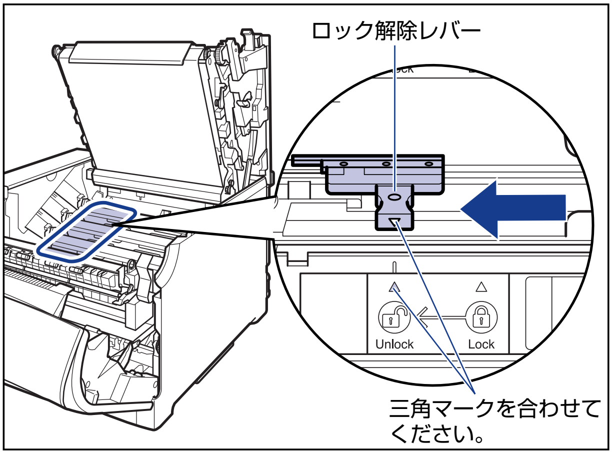


7

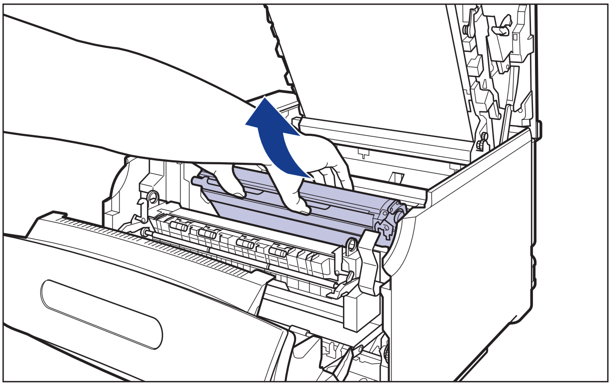
困ったときには

4 すべてのドラムカートリッジの青色のロック解除レバーを「🔓」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

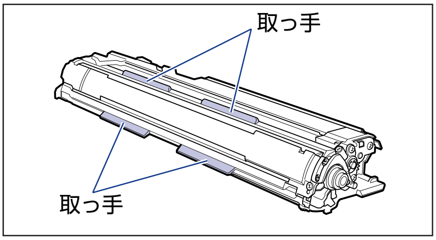
ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

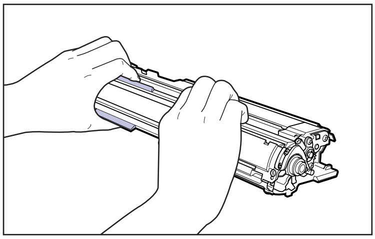


5 すべてのドラムカートリッジを取り出します。



ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。



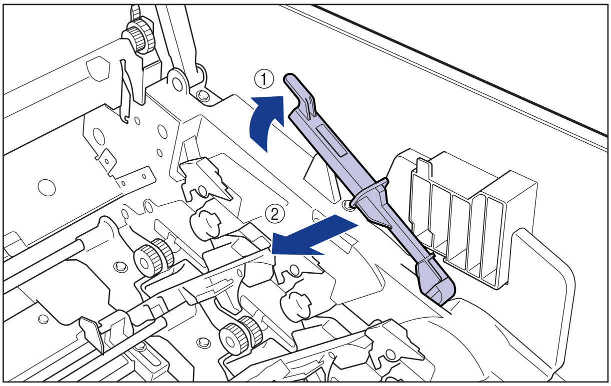


重要

取り出したドラムカートリッジは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。

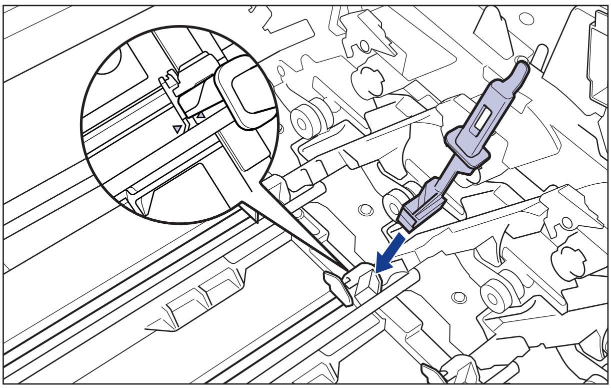
6 プリンタ内部の右側にある清掃ブラシを取り外します。

図のように清掃ブラシの後端を持ち上げてから ①、横に引き抜きます ②。



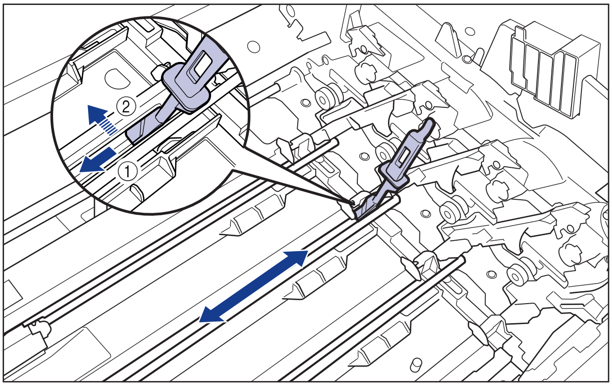
7 清掃ブラシをスロットに差し込みます。

清掃ブラシとプリンタの三角マークが合うように差し込みます。

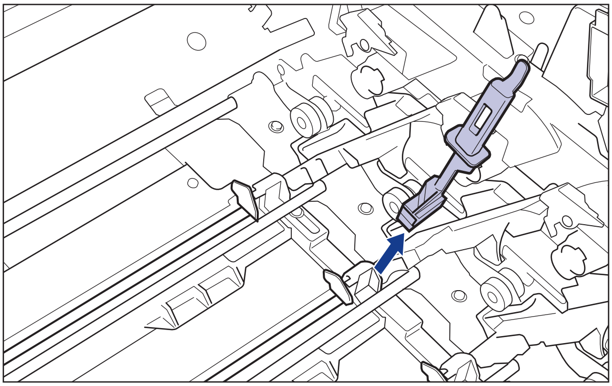


8 スロットに沿って清掃ブラシを数回往復させせます。

清掃ブラシを移動させると ①、カバーが自動的に開きます ②。

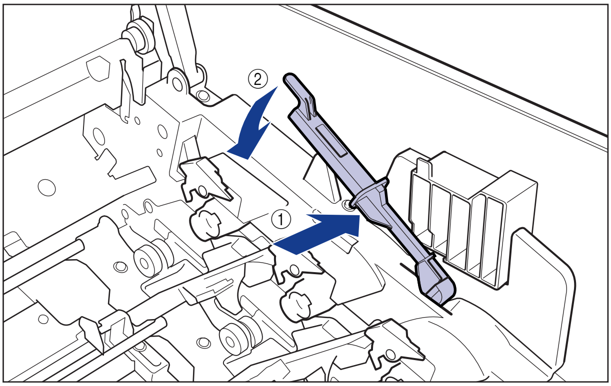


9 清掃ブラシをスロットから引き抜きます。

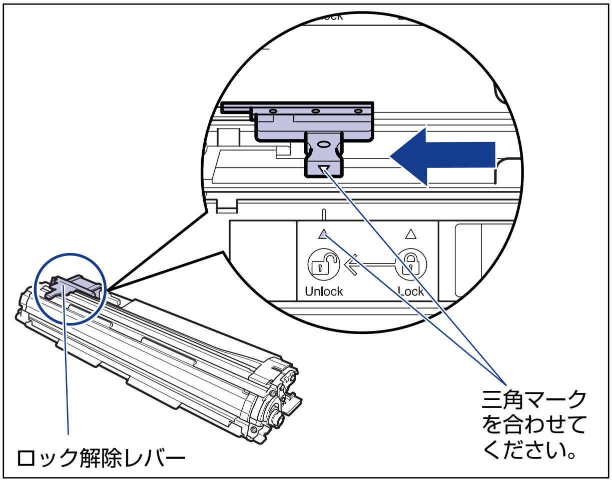


手順 7 ～ 9 を繰り返し、各色のスロットを清掃します。

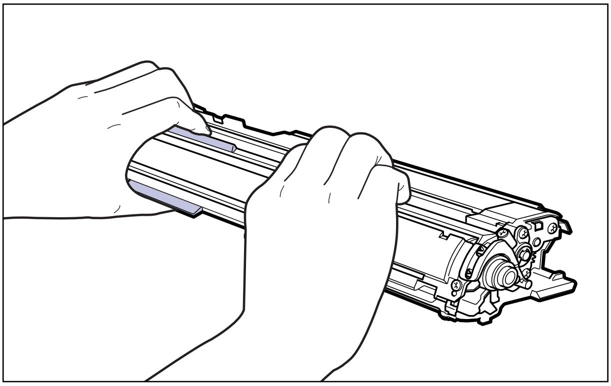
10 清掃ブラシを元の位置に戻します。



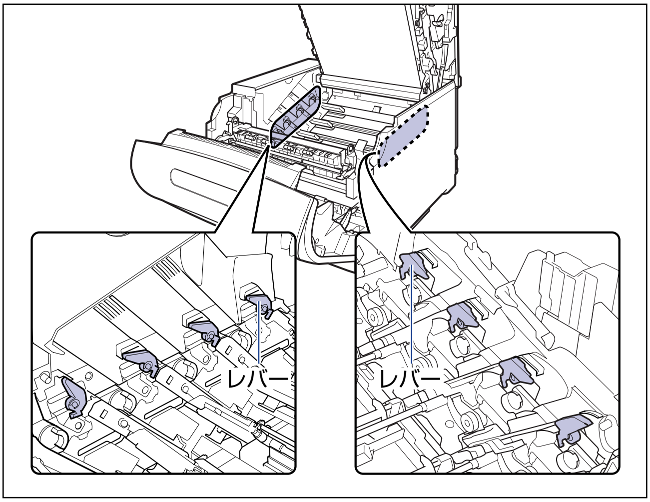
11 ドラムカートリッジをセットする前に、図のようにロック解除レバーの三角マークとラベルの「🔓」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。



ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

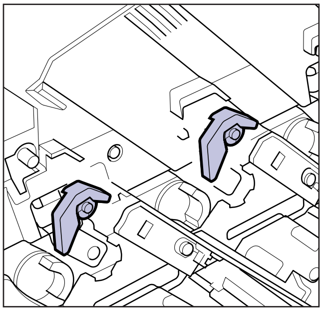


12 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

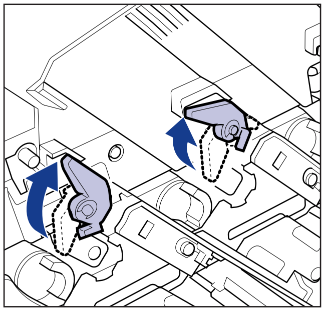


正しい位置にレバーがないとドラムカートリッジを取り付けることはできません。図のようにレバーを正しい位置まで押し上げます。

●正しくない位置

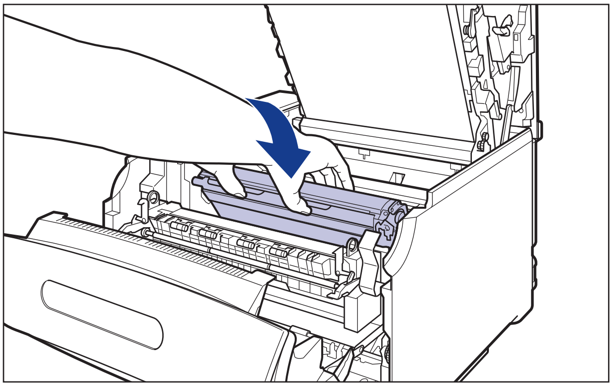


●正しい位置



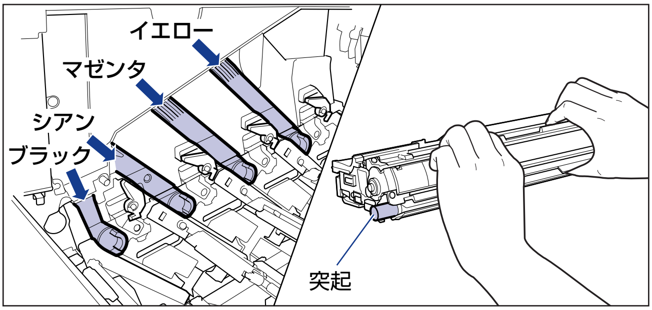
13 ドラムカートリッジを本体に取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

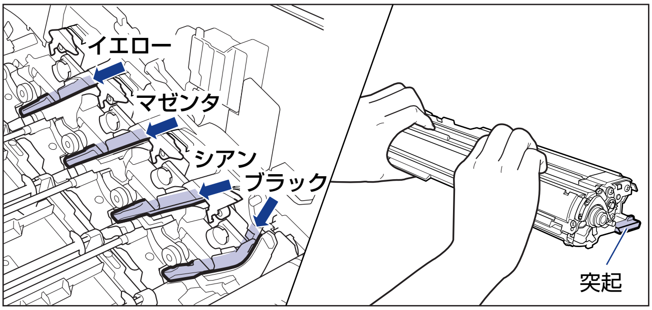


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドに挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）



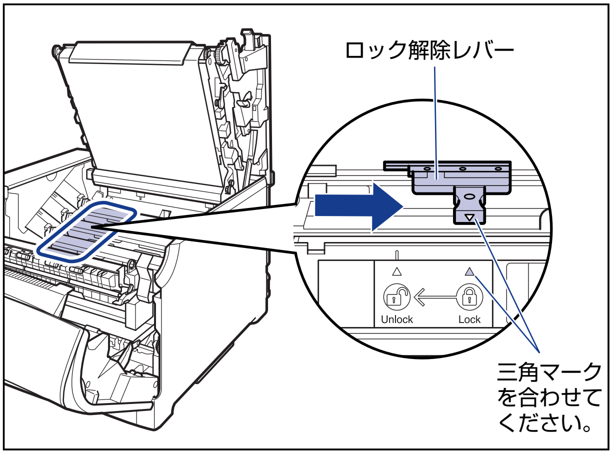
●ドラムカートリッジガイド（右）



重要　ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

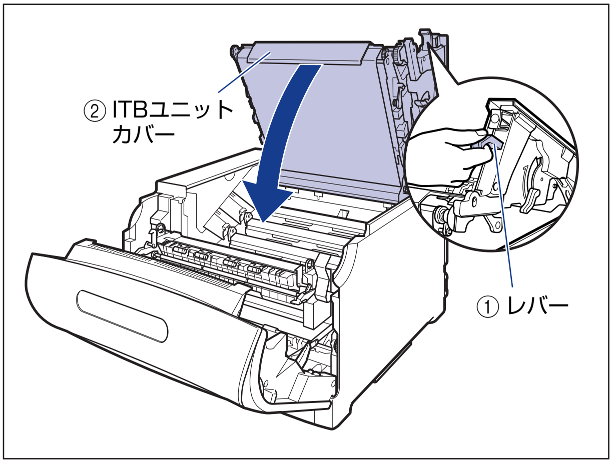
14 青色のロック解除レバーを「🔒」の位置までスライドさせて、ロックします。

ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

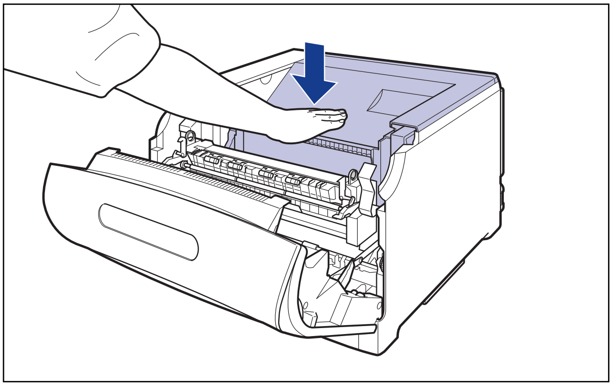


15 上カバーを閉めます。

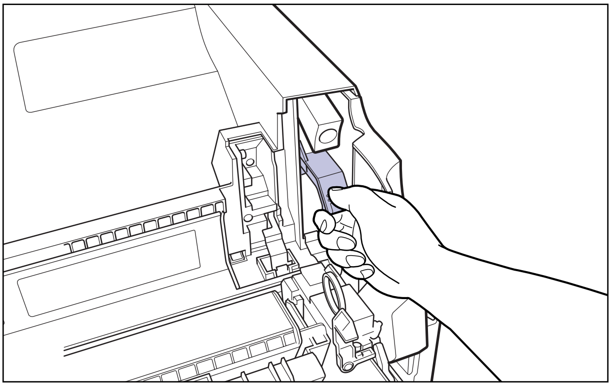
プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。



図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

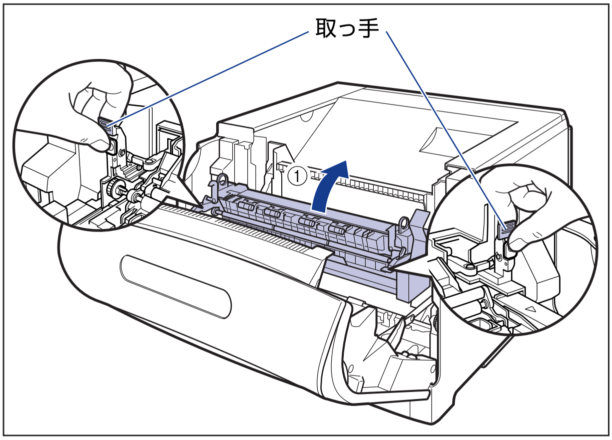


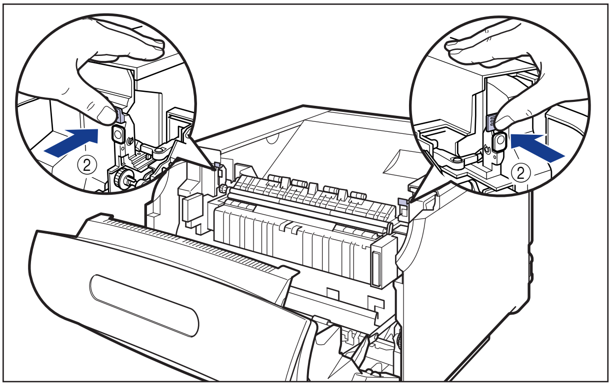
図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。



重要　上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

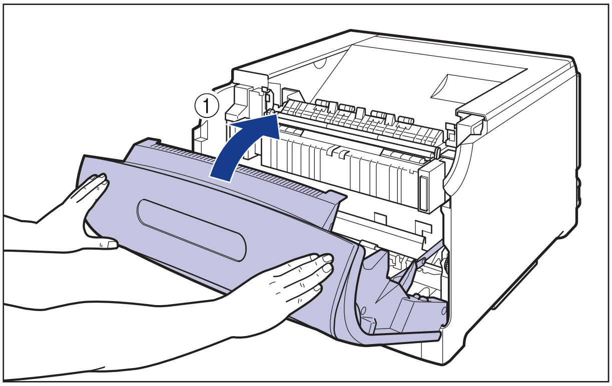
16 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

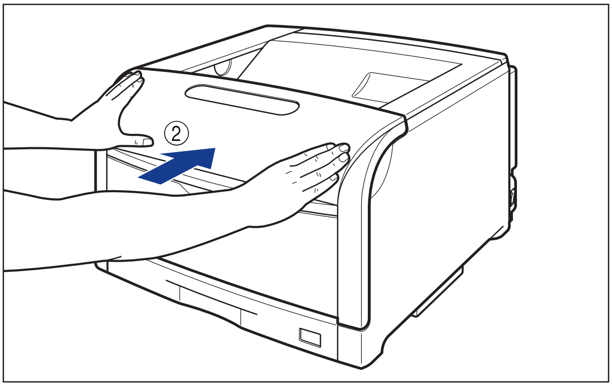




17 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





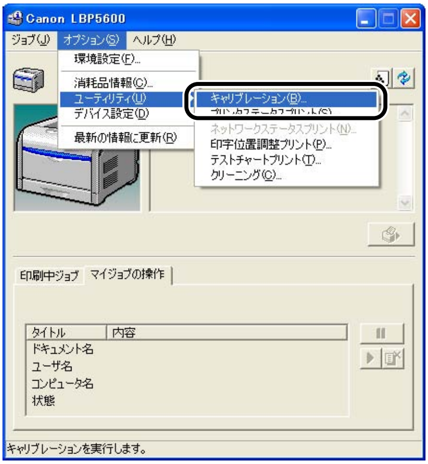
プリンタ内部の清掃が終わったら、次の手順でキャリブレーションを行います。

注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

18 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(→P.4-81) を参照してください。

19 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［キャリブレーション］を選択します。



確認のメッセージが表示されます。

20 ［OK］をクリックします。



21 キャリブレーションが終わったら、印字不良が発生した印刷データを再度印刷します。

印字不良が解決した場合は、そのままプリンタをご使用いただけます。印字不良が解決しなかった場合は、続いて「テストチャート 1 を印刷する」（→P.7-51）を行ってください。

テストチャート 1 を印刷する

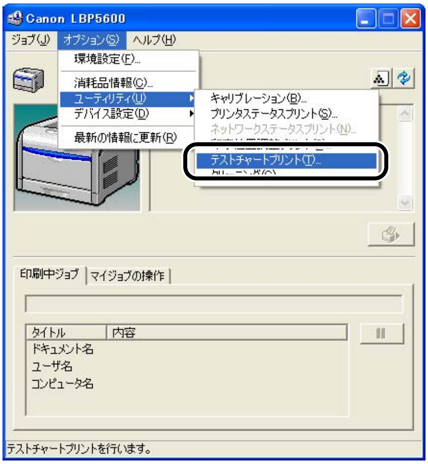
テストチャート 1 は、印字不良の原因がドラムカートリッジかどうかを判断するときに印刷します。テストチャート 1 は、以下の手順で印刷します。

メモ　テストチャート 1 は、A4 サイズの用紙 8 枚に印刷されます。A4 サイズの用紙をセットしてください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

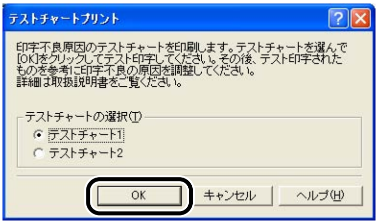
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(→P.4-81) を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの [オプション] メニューから [ユーティリティ] → [テストチャートプリント] を選択します。



[テストチャートプリント] ダイアログボックスが表示されます。

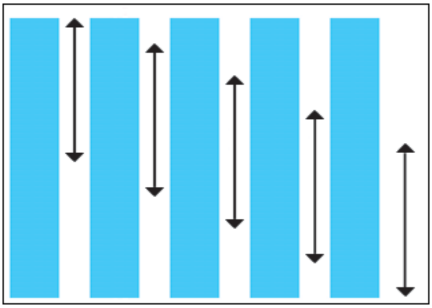
3 [テストチャート 1] を選択して、[OK] をクリックします。



テストチャート 1 が印刷されます。

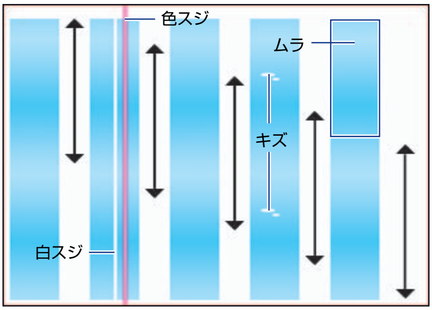
4 印刷したテストチャート1に以下のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

● 不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合



すべてのテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、続いて「テストチャート 2 を印刷する」（→P.7-53）を行ってください。

● 不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合



すべての色のテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、続いて「テストチャート 2 を印刷する」（→P.7-53）を行ってください。

特定の色のテストチャート 1 にのみ不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、以下の処置を行ってください。

- テストチャート 1 に白いスジがあった場合：お買い求めの販売店へご連絡ください。
- テストチャート 1 に白いスジがなかった場合：不具合（キズやムラ、スジなど）があった色のドラムカートリッジを交換します。ドラムカートリッジの交換については、「ドラムカートリッジを交換する」（→P.5-17）を参照してください。ドラムカートリッジを交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

テストチャート２を印刷する

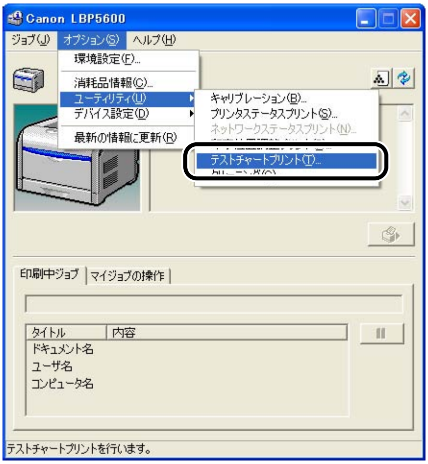
テストチャート ２ は、印字不良の原因が定着器かどうかを判断するときに印刷します。テストチャート ２ は、以下の手順で印刷します。

メモ　テストチャート ２ は、A4 サイズの用紙 １ 枚に印刷されます。A4 サイズの用紙をセットしてください。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

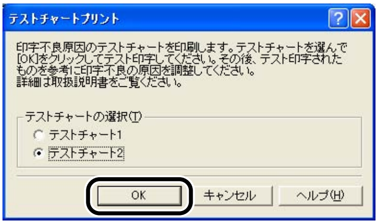
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

2 **プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［テストチャートプリント］を選択します。**



［テストチャートプリント］ダイアログボックスが表示されます。

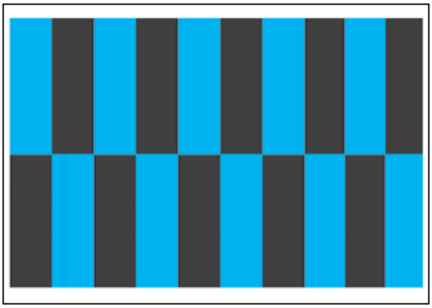
3 **［テストチャート２］を選択して、［OK］をクリックします。**



テストチャート ２ が印刷されます。

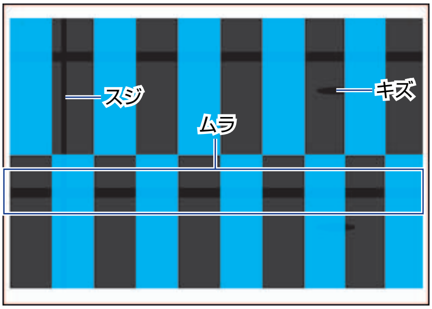
4 印刷したテストチャート2に以下のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

● 不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合



テストチャート 2 に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、プリンタに何らかの不具合がある可能性があります。お買い求めの販売店へご連絡ください。

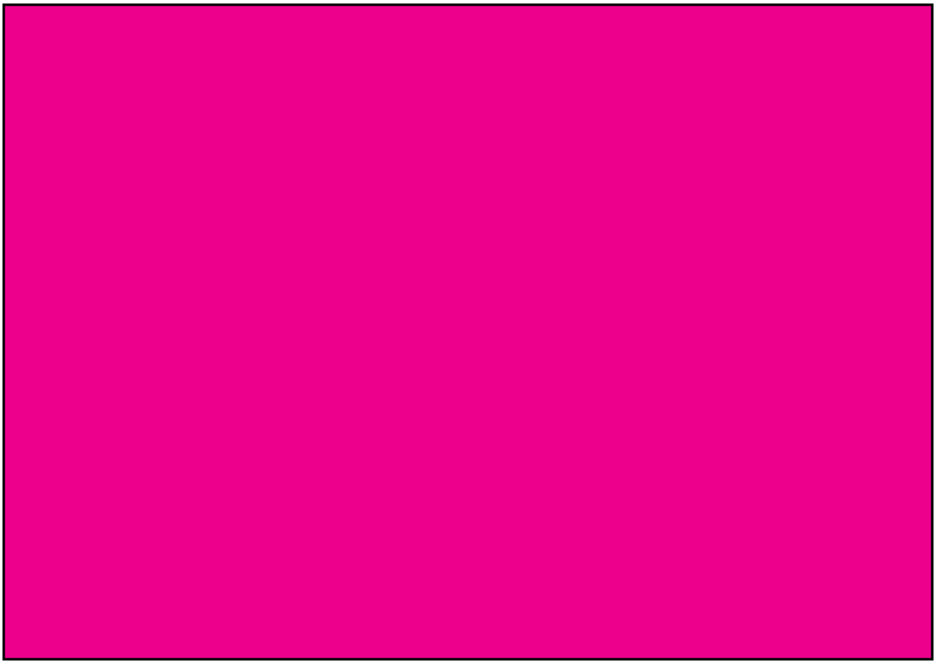
● 不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合



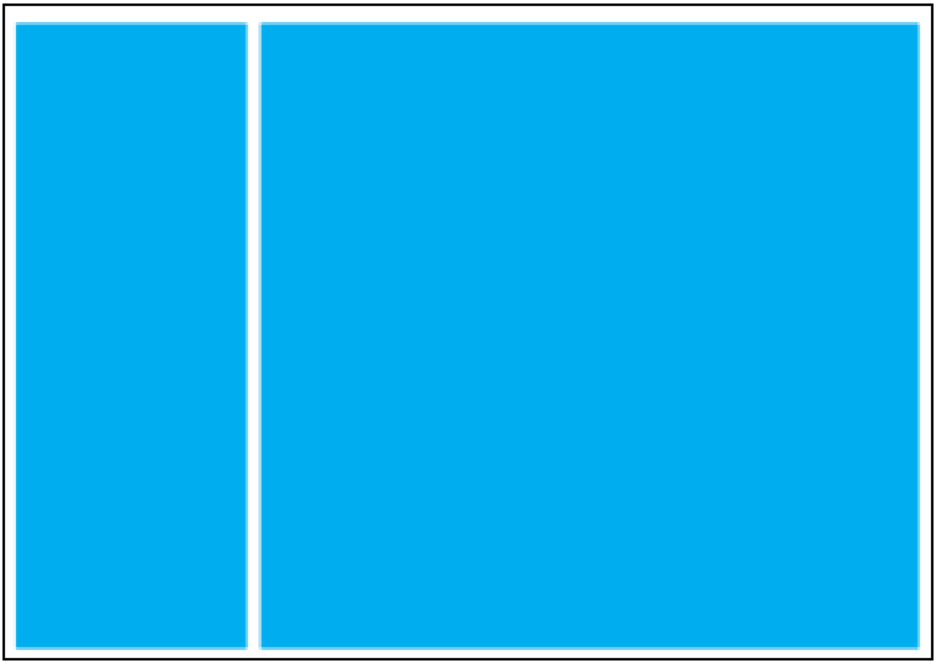
テストチャート 2 に不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合は、定着器を交換します。定着器の交換については、「定着器を交換する」（→P.5-43）を参照してください。定着器を交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

印字不良サンプル

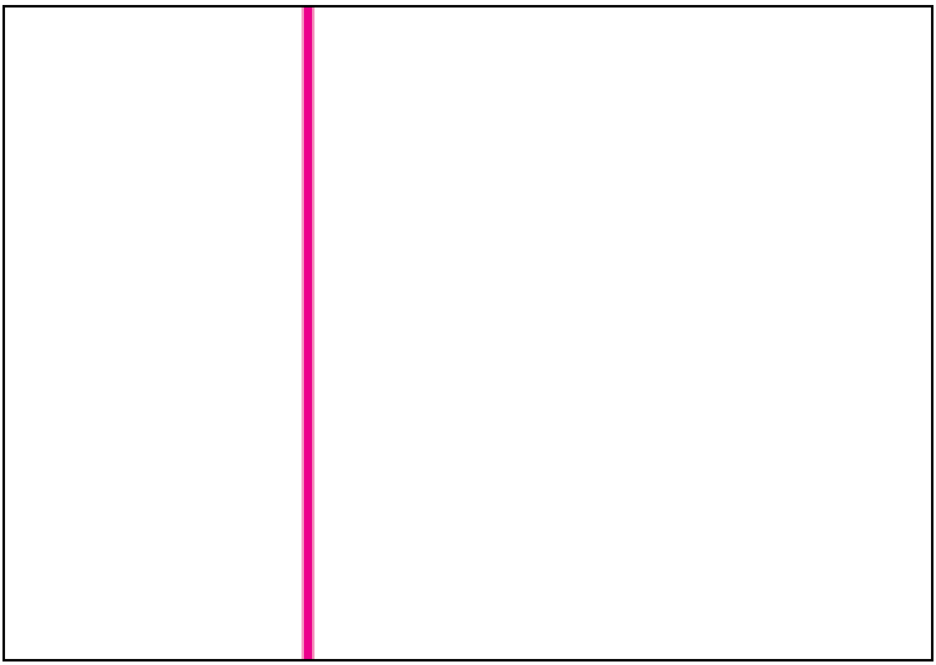
■ 用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない



■ 白いすじが入る



■ 色すじが入る



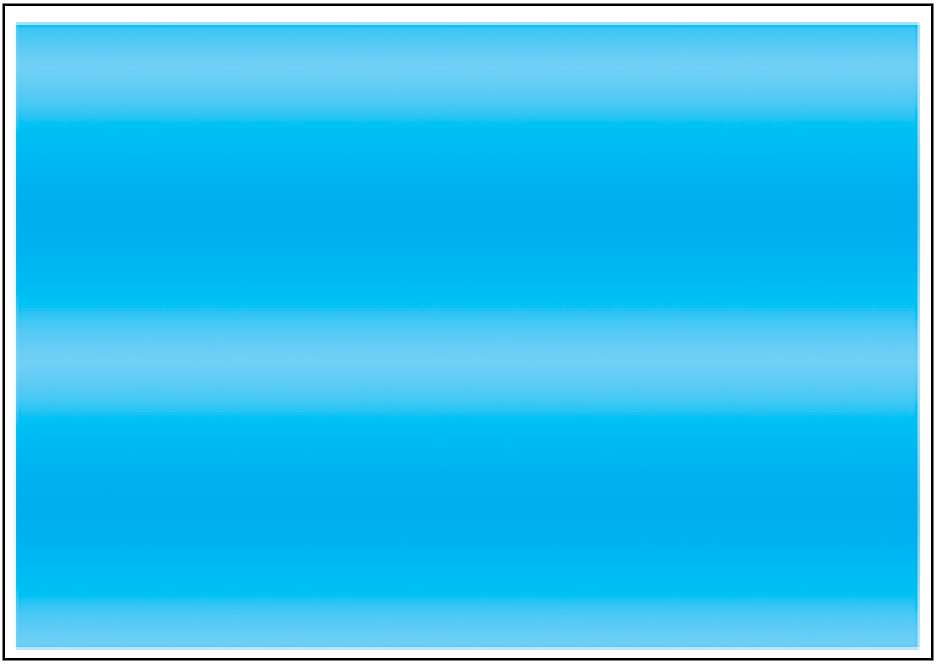
■ 部分的に白く抜ける



■ 印刷しない部分に残像が現れる



■ 印字ムラが出る



■ 濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある



用紙のトラブル

用紙にしわがよる

原因 1 給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置 給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.2-18）

原因 2 手差しトレイに用紙を斜めにセットした

処　置 手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。（➞ 手差しトレイから印刷する：P.2-71）

原因 3 用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処置 1 新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

処置 2 上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、定着器の寿命が考えられます。定着器の交換をおすすめします。定着器の寿命は A4 用紙で約 150,000 ページです。

用紙がカールする

原因 1 用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置 新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2 用紙が適切でない

処　置 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 3 薄手の用紙を使用している

処　置 プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認してください。

1 **プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。**

重要　プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されないときは、CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてください。（→CAPT ソフトウェアの削除：P.3-82）

2 **テストページを印刷します。**

● **Windows 98/Me の場合**

❏ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［印字テスト］をクリックします。

● **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合**

❏ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

■ **テストページが適切に印刷される場合**

CAPT ソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

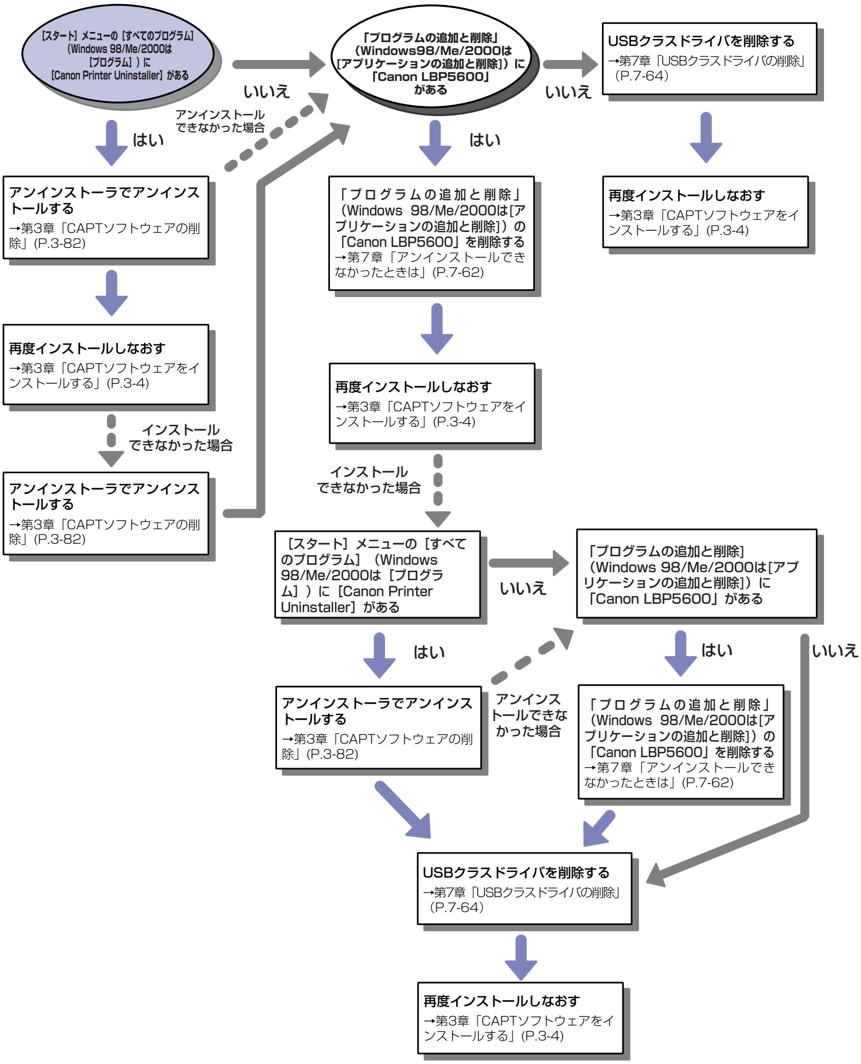
■ **テストページが印刷できない場合**

CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてから、テストページを印刷してください。（→CAPT ソフトウェアの削除：P.3-82）

インストールのトラブル

「USB クラスドライバ」と「LBP5600 プリンタドライバ」のインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ　ネットワークインストール時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第４章 困ったときには」を参照してください。



アンインストールできなかったときは

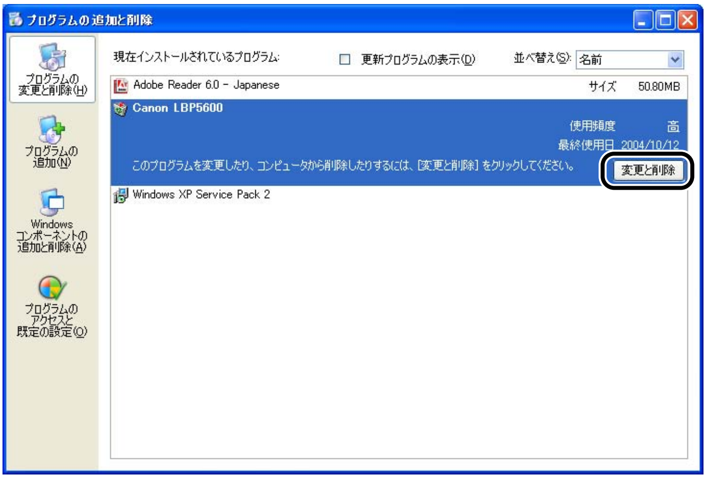
インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、以下の手順にしたがって［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）で CAPT ソフトウェアを削除します。

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［プログラムの追加と削除］を選択します。

2 **［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon LBP5600］を選択し、［変更と削除］をクリックします。**

Windows 2000 の場合は［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon LBP5600］を選択し、［変更と削除］をクリックします。
Windows 98/Me の場合は［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon LBP5600］を選択し、［追加と削除］をクリックします。



メモ

［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP5600］がない場合は「USB クラスドライバの削除」（➞P.7-64）を行って再度インストールしてください。

3 本プリンタを選択し、[削除] をクリックします。

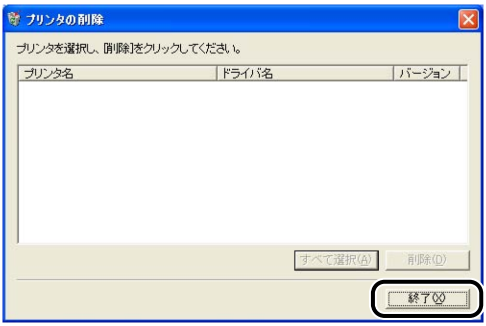


4 [はい] をクリックします。



アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 [終了] をクリックします。



[プリンタの削除] ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

USB クラスドライバの削除

USB クラスドライバの削除は、一度アンインストールを行っても、正しくインストールできなかった場合やアンインストールできなかった場合に行います。

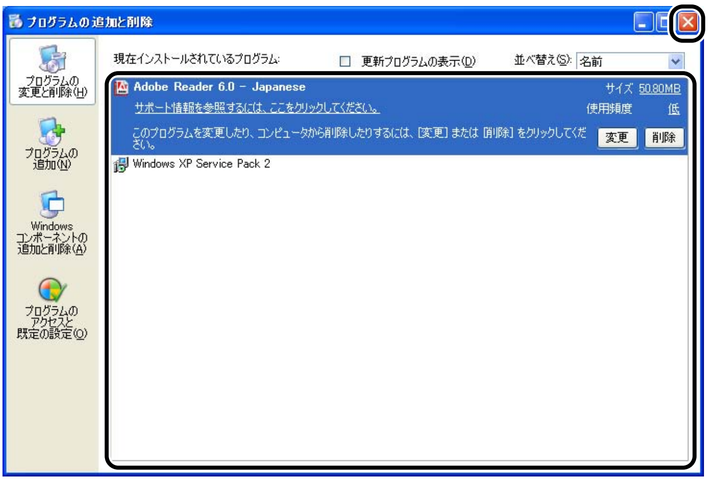
1 **USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➞ [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] ➞ [プログラムの追加と削除] を選択します。

3 **[プログラムの追加と削除] ダイアログボックス内に [Canon LBP5600] がないことを確認し、[×] をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、[アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックス内に [Canon LBP5600] がないことを確認し、[×] をクリックします。

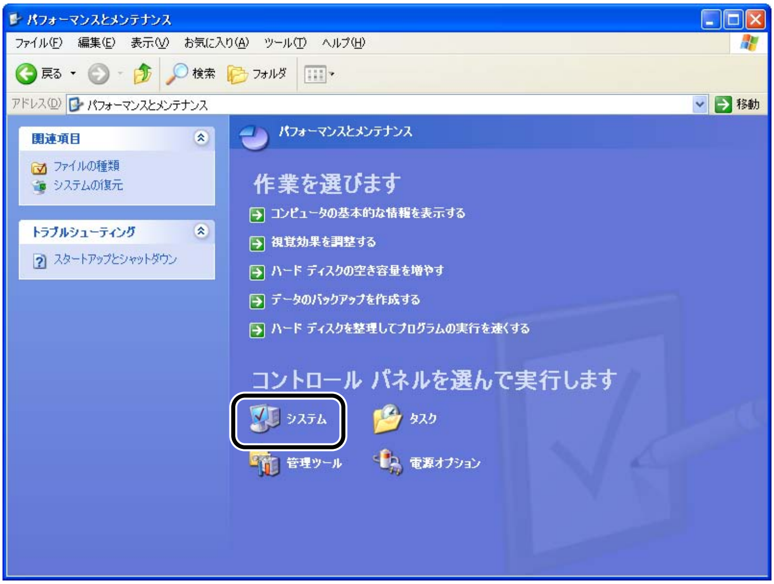


メモ

[プログラムの追加と削除] (Windows 98/Me/2000 は [アプリケーションの追加と削除]) ダイアログボックス内に [Canon LBP5600] がある場合は、「アンインストールできなかったときは」(➞P.7-62) を参照して [プログラムの追加と削除] (Windows 98/Me/2000 は [アプリケーションの追加と削除]) ダイアログボックス内の [Canon LBP5600] を削除してください。

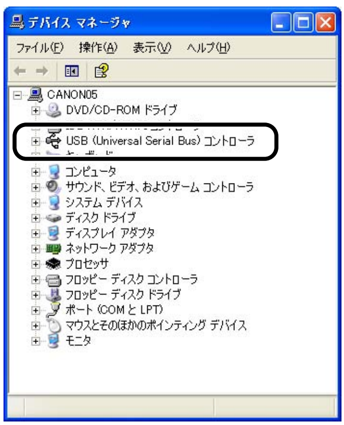
4 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。



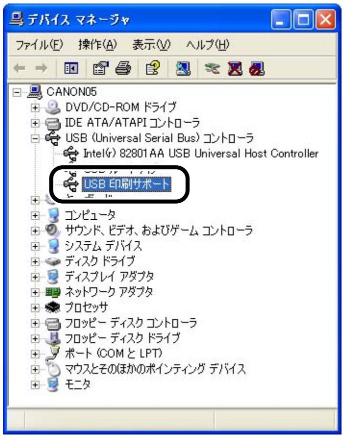
5 ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。

Windows 98/Me の場合は［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させて［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。



6 ［USB 印刷サポート］を選択して、［操作］メニューの［削除］を選択します。

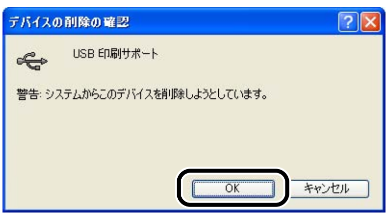
Windows 98 の場合は［Canon LBP5600］を、Windows Me の場合は［Canon CAPT USB Device］を選択して、［削除］をクリックします。



重要

- USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下にある場合も正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、［Canon LBP5600］、［Canon CAPT USB Device］、または［不明なデバイス］のいずれかを選択して削除してください。
- 他のデバイスや device driver などの他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は［USB 印刷サポート］（Windows 2000/XP/Server 2003）、［Canon CAPT USB Device］（Windows Me）、［Canon LBP5600］（Windows 98）は表示されません。

7 ［デバイス削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。



8 ［］をクリックします。

［デバイスマネージャ］が閉じます。

9 **USB ケーブルをコンピュータから外し、Windows を再起動します。**

再起動が終了したらもう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。
(→CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4)

ローカルインストール時のトラブル

CD-ROM からプリンタドライバをインストールするとき、USB ケーブルを接続しても自動認識しない

原因 1 プリンタドライバをインストールする前に、すでに USB ケーブルが接続されていて、プリンタの電源がオンになっている

処　置 プリンタの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外し、再度 USB ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにします。

原因 2 プリンタの電源がオフになっている

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 USB ケーブルが正しく接続されていない

処　置 プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 4 USB ケーブルが合っていない

処　置 本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。本プリンタのUSBインタフェース環境は、USB 2.0 High-Speed(Windows 2000/XP/Server 2003 のみ)、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。

原因 5 CD-ROM Setup からインストールできない

処　置 プラグ・アンド・プレイでインストールを行ってください。(プラグ・アンド・プレイでインストールする：P.3-10、P.3-28、P.3-44)

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスで［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］* が選択できない（Windows 2000/XP/Server 2003）

原　因 Administrators 権限がないユーザがインストールを行っている

処　置 CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストールには Administrators 権限が必要です。権限のある方がインストールを行ってください。

* Windows 2000 の場合、［ローカルプリンタ］となります。

プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブル

接続するプリントサーバが見つからない

原因 1　プリントサーバが起動されていない

処　置　プリントサーバを起動してください。

原因 2　プリンタが共有設定されていない

処　置　[プリンタプロパティ] ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。

原因 3　プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない

処　置　ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

その他のトラブル

メモ　オプションのネットワークボード装着時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

LBP5600 が正常に動作しない

原因 1　LBP5600 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置　通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2　CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある

処　置　CAPT　ソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。（➞CAPT ソフトウェアの削除：P.3-82、CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4）

新しいトナーカートリッジに交換しても、「トナーカートリッジの交換が必要です」が表示される

原　因　トナーカートリッジの底にトナーが固まっている

処　置　交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

印刷中にプリンタが一時的に停止する

原因 1　連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた

処置 1　そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。

処置 2　プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［小サイズ紙特殊設定］で［小サイズ紙特殊処理 2］のつまみを［スピード優先］へドラッグします（ただし、連続印刷したあとに幅の広い用紙を印刷した場合、用紙の両端に一度印刷した文字や画像の残像が印字されることがあります）。

原因 2 幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えて印刷した場合、印字品質を保つため、定着器の冷却を行っている

処置 1 そのままばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。定着器の冷却が終わると、機械の駆動が止まり、印刷可能状態になります。印刷中の場合は、冷却が終わると印刷を再開します。

処置 2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［小サイズ紙特殊設定］で［小サイズ紙特殊処理 1］のつまみを［スピード優先］へドラッグします（ただし、用紙の両端に一度印刷した文字や画像の残像が印字されることがあります）。

CD-ROM Setup が自動的に表示されない

原因 1 CD-ROM Setup の［CD-ROM 挿入時に自動表示する］が選択されていない

処　置 ［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、［開く］を選択して CD-ROM Setup を手動で表示させます。［CD-ROM 挿入時に自動表示する］を選択してください。

原因 2 ［挿入の自動通知］が選択されていない（Windows 98/Me のみ）

処　置 ［デバイスマネージャー］から CD-ROM ドライブのプロパティを表示し、［設定］ページの［挿入の自動通知］を選択してください。

CD-ROM Setup 起動時に「CD-ROM 上のファイルが見つかりません。」とエラーが表示される

原　因 プログラムがハードディスクから読み込まれている

処　置 お使いのコンピュータの検索機能を利用して［CNAC2MNU.EXE］を検索して、ハードディスクから CNAC2MNU.EXE ファイルを削除し、付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」から CD-ROM Setup を起動してください。

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる

原　因 Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置 プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.8-20）

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されない

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをクライアントとして使用している場合に、プリントサーバ側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→Windows ファイアウォール機能について：P.8-20）

プリンタの機能を確認したいときには

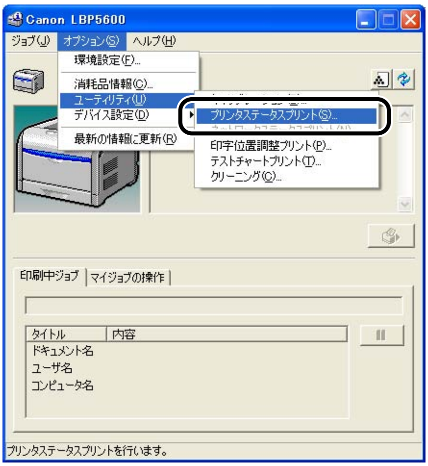
本プリンタは、プリンタのオプション設定やプリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューにある［デバイス設定］の設定値、総印刷ページ数などのプリンタの情報が確認できるプリンタステータスプリントの機能を備えています。また、オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が確認できるネットワークステータスプリントの機能も備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ネットワークステータスプリントについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章困ったときには」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-81）を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］を選択します。



確認のメッセージが表示されます。

7

困ったときには

3 ［OK］をクリックします。



プリンタステータスプリントが印刷されます。

4 プリンタステータスプリントの印刷内容を確認します。

プリンタステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。プリンタのオプション設定やプリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューにある［デバイス設定］の設定値、総印刷ページ数などのプリンタの情報が確認できます。

7

困ったときには

重要　ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon　**ステータスプリント**

オプション機器	
カセット2	: あり
カセット3	: なし
カセット4	: なし
ネットワークボード	: なし
デバイス設定	
スリープ設定	
スリープモード	: 使う
スリープモード移行時間	: 30 分
キャリブレーション設定	
定刻キャリブレーションタイマー	: 使わない
キャリブレーション時刻	: 9:00
警告表示	
トナーカートリッジ交換予告	: する
ドラムカートリッジ交換予告	: する
廃トナー容器交換予告	: する
定着器交換予告	: する
自動選択	
カセット1	: する
カセット2	: する
カセット3	: する
カセット4	: する
ユーザ定義用紙の送り方向	
カセット2	: 縦送り
カセット3	: 縦送り
カセット4	: 縦送り
印刷位置調整	
手差し(トレイ)	: 0.0 mm
カセット1	: 0.0 mm
カセット2	: 0.0 mm
カセット3	: 0.0 mm
カセット4	: 0.0 mm
両面ユニット	: 0.6 mm
小サイズ紙特殊設定	
小サイズ紙特殊処理1	: 0
小サイズ紙特殊処理2	: 0
プリンタ日時	: 2005/01/19 16:42
製品名	: LBP5600
コントローラバージョン	: XXXXX
エンジンバージョン	: XXXXX
ドライババージョン	: XXXXXXXXXX
USB	
ベンダーID	: 0x04a9
プロダクトID	: 0x2645
シリアルナンバー	: XXXXXXXXXXXX
最終キャリブレーション情報	
日時	: 2005/01/19 16:42
総印刷ページ数	: 0 ページ
カウンタ	
日時	: 2005/01/19 16:42
総印刷ページ数	: 0 ページ
カラーS印刷ページ数	: 0 ページ
カラーL印刷ページ数	: 0 ページ
モノクロS印刷ページ数	: 0 ページ
モノクロL印刷ページ数	: 0 ページ
両面印刷枚数	: 0 枚
ジョブ数	: 0 ジョブ

付録

8
CHAPTER

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などを記載しています。

おもな仕様

ハードウェアの仕様

形式	デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度　普通紙 (64～105g/m²)	A4 連続プリント時 22 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間（20 ℃）	0 秒 ・ 電源オン時は 30 秒以下 ・ スリープモードに入って 8 時間以上経過した時は 30 秒以下
ファーストプリント時間	A4 プリント時 モノクロ　約 7.5 秒 カラー　　約 9 秒 *出力環境によって異なる場合があります。(最大19秒以下)

用紙サイズ	**カセット１**	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚 （64g/m²）
	カセット２（オプション） **カセット３（オプション）** **カセット４（オプション）**	・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm 最大積載枚数　約 550 枚 （64g/m²）
	手差しトレイ	・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、12X18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、封筒角形 2 号 ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm ・ 長尺紙 幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm 最大積載枚数　約 100 枚 （64g/m²）
自動両面プリント		・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
排紙方式		フェースダウン
排紙積載枚数		排紙トレイ　約 250 枚（64g/m²）
稼働音（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		音響パワーレベル スタンバイ時：暗騒音（4.0B 以下） プリント時：6.6B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） スタンバイ時：25db ［A］ 以下 プリント時：52db ［A］ 以下
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 10 ～ 80%RH（結露しないこと）
ホストインタフェース		USB インタフェース ・Windows 98/Me　USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・Windows 2000/XP/Server 2003　USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

ユーザインタフェース	LED ランプ 3 個
拡張ボードスロット	1
電源	100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）	動作時平均　約 470W*1 　スタンバイ時平均　約 20W*1 　スリープモード時平均　約 3W*1 　最大 1300W*2 以下 *1 本体標準状態での値です。 *2 この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

消耗品	**トナーカートリッジ**	・ キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Black（ブラック） プリント可能ページ数　約 10,000 ページ * * A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
		・ キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Yellow（イエロー） ・ キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Magenta（マゼンタ） ・ キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Cyan（シアン） プリント可能ページ数　約 6,000 ページ * * A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
	ドラムカートリッジ	・ キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Black（ブラック） ・ キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Yellow（イエロー） ・ キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Magenta（マゼンタ） ・ キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Cyan（シアン） プリント可能ページ数　約 45,000 ページ *1*2*3 *1 このページ数は下記の条件でのページ数です。 用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、連続 / 片面印刷 *2 2 枚ずつ間隔をあけて印刷（2 枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 40,000 ページ、カラー各色約 36,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。 モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。 *3 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
	定着器	キヤノン純正品 FUSER KIT UM-98F プリント可能ページ数　約 150,000* ページ *A4 サイズ片面プリントの場合
	廃トナー容器	キヤノン純正品廃トナーボックス WT-98A*1*2 *1 本プリンタ用廃トナー容器（キヤノン純正品）は、約 2,300 ページでいっぱいになります。 このページ数は下記の条件でのページ数です。 用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定、2 枚間欠 / 片面印刷 *2 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

質量	**プリンタ本体および同梱品**	プリンタ本体 （トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは除く）... 約 50kg トナーカートリッジ（ブラック）..................... 約 0.4kg トナーカートリッジ （イエロー、マゼンタ、シアン）....................... 約 0.3kg ドラムカートリッジ... 約 1.9kg 定着器.. 約 2.9kg 廃トナー容器.. 約 0.2kg
	消耗品、定期交換部品およびオプション品	トナーカートリッジ（ブラック） （キヤノン純正品）... 約 0.4kg*1 トナーカートリッジ（シアン、イエロー、マゼンタ） （キヤノン純正品）... 約 0.3kg*1 ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）............. 約 1.9kg*2 定着器（キヤノン純正品).................................... 約 2.9kg*3 廃トナー容器（キヤノン純正品）........................ 約 0.2kg*4 ペーパーフィーダユニット PF-98 （カセット含む）.. 約 11kg ペディスタル（ボックスタイプ）........................ 約 24kg ペディスタル（キャスタタイプ）........................ 約 8.7kg *1 トナーカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Toner Cartridge 502 Black Toner Cartridge 502 Yellow Toner Cartridge 502 Magenta Toner Cartridge 502 Cyan *2 ドラムカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Drum Cartridge 502 Black Drum Cartridge 502 Yellow Drum Cartridge 502 Magenta Drum Cartridge 502 Cyan *3 定着器は以下のキヤノン純正品の場合 FUSER KIT UM-98F *4 廃トナー容器は以下のキヤノン純正品の場合 廃トナーボックス WT-98A

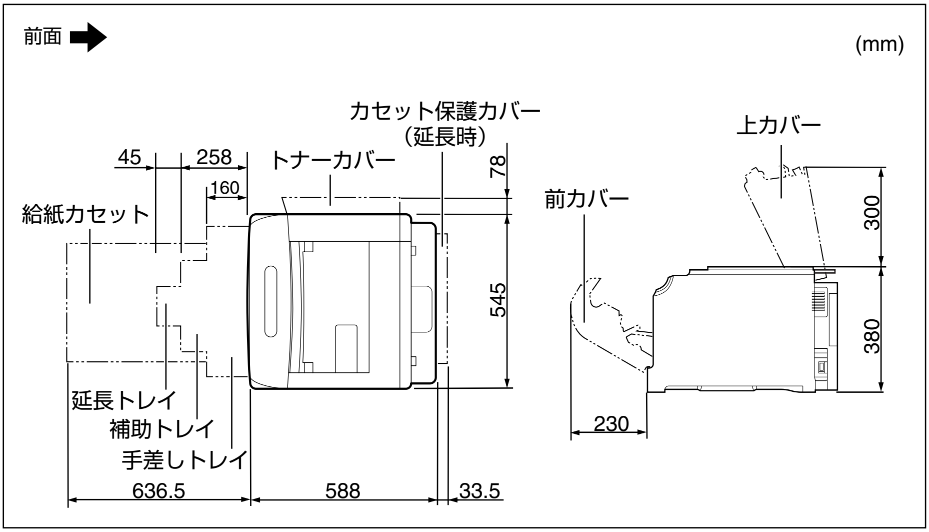
ソフトウェアの仕様

プリンティングソフトウェア	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域	上下左右 5.0mm の範囲には印字できません。（封筒は上下左右 10mm）

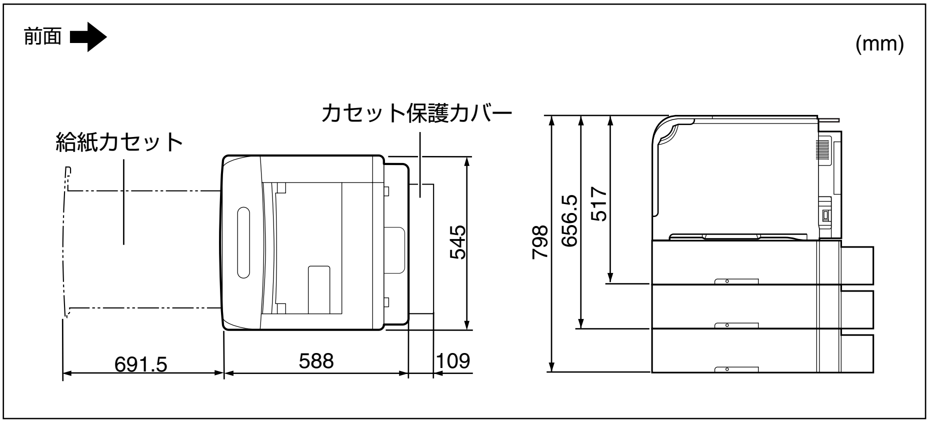
各部の寸法

■ プリンタ本体

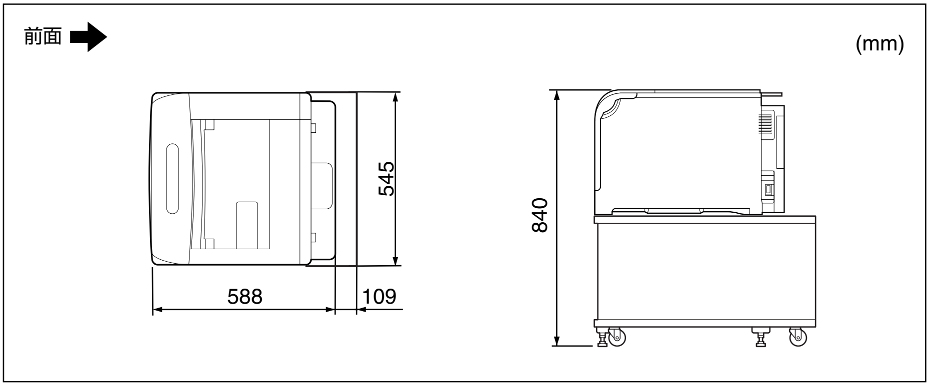
• 標準仕様



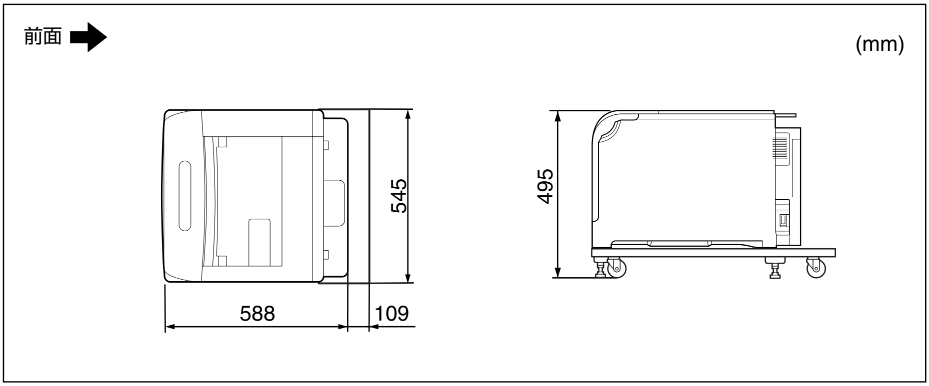
• 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段装着仕様



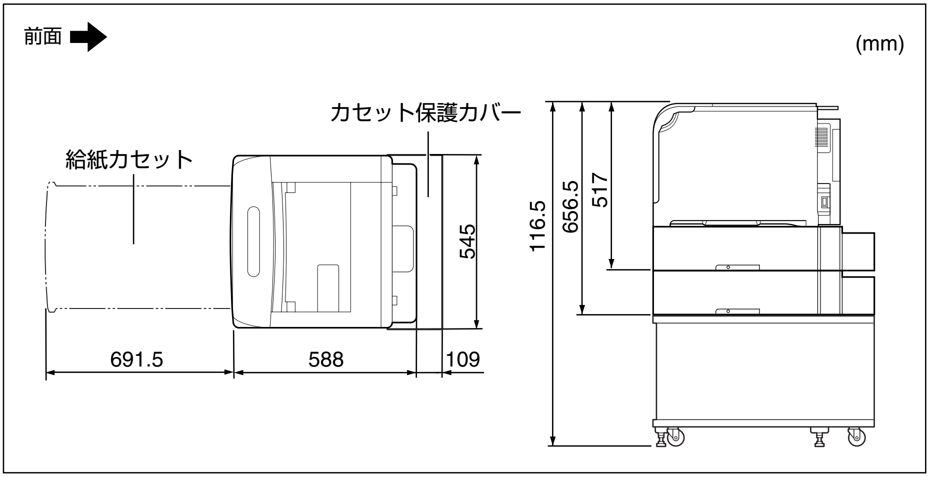
• ペディスタル（ボックスタイプ）装着仕様



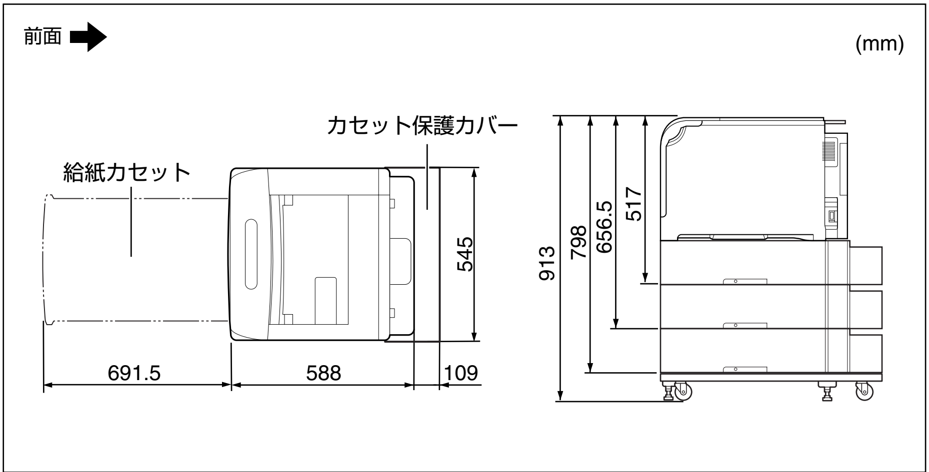
• ペディスタル（キャスタタイプ）装着仕様



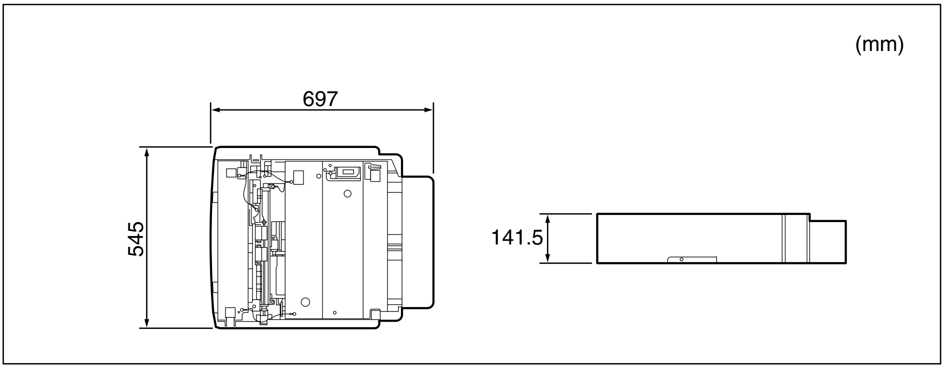
• 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段＋ペディスタル（ボックスタイプ）装着仕様



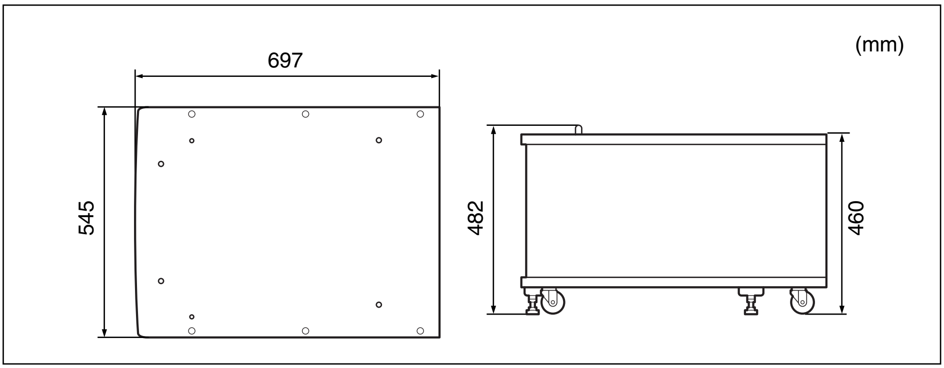
• 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段+ペディスタル（キャスタタイプ）装着仕様



■ 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98

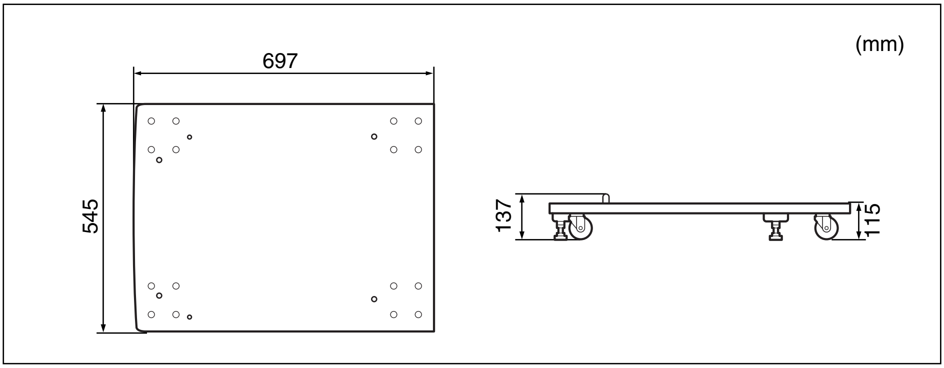


■ ペディスタル（ボックスタイプ）



8
付録

■ ペディスタル（キャスタタイプ）

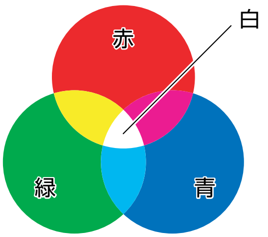


カラープリントのしくみ

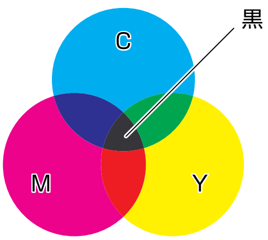
ここでは、色についての基礎知識や、本プリンタのカラープリントのしかたなどを説明します。

光の 3 原色と色の 3 原色

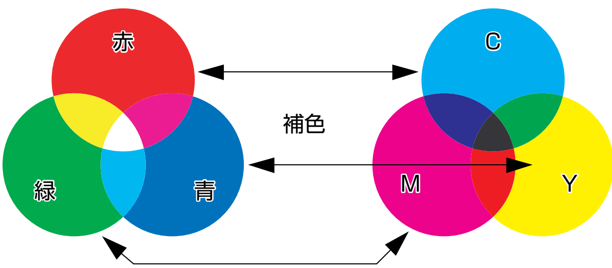
パソコンのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の 3 原色で表現されます。光の 3 原色は、赤と緑と青の 3 色をすべて混合すると白になります（加法混色）。



カラープリンタは、光の 3 原色ではなく、絵の具などと同じ色の 3 原色で色を表現します。色の 3 原色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）で、3 色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。



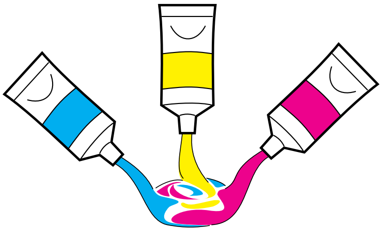
そして、光の 3 原色と色の 3 原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。



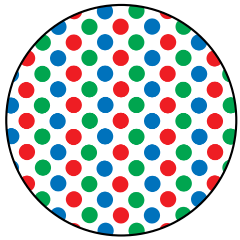
8
付録

色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

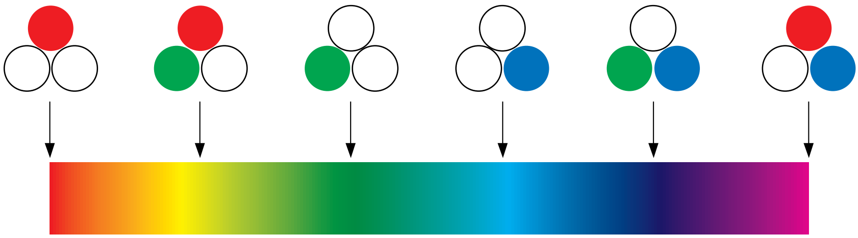


絵の具



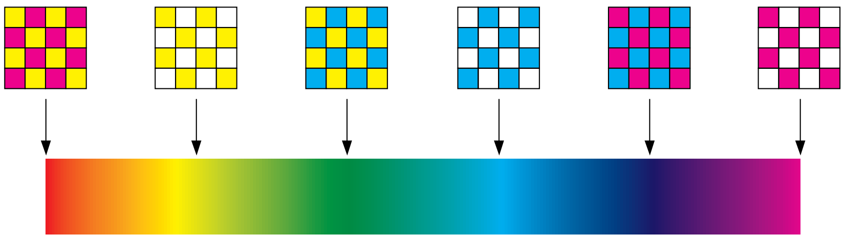
ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。



カラーバー

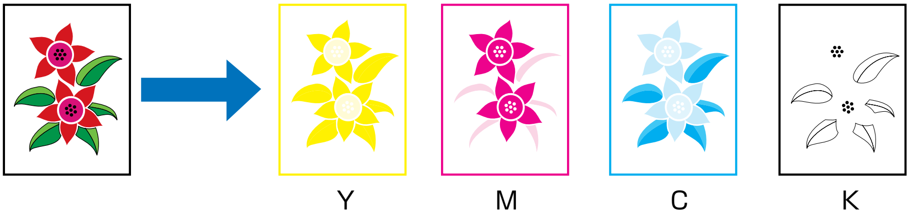
プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）に K（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。



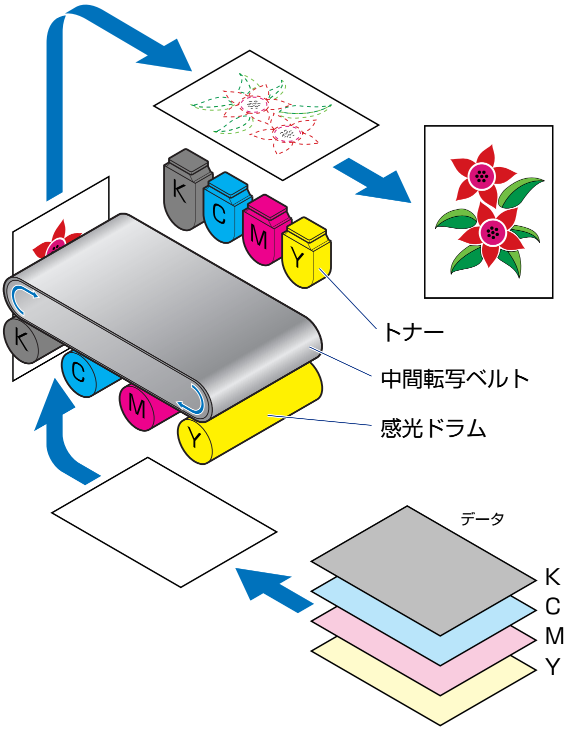
カラーバー

カラープリントのしくみ

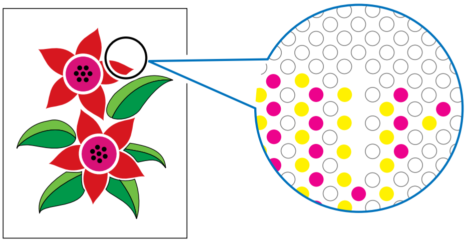
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、K の４色に分解されます。



そして、これらのデータをそれぞれの別のカートリッジで現像して、中間転写ベルトに転写され、トナーが用紙に転写されます。



トナーが用紙に転写されると、定着器を通り、排紙されます。



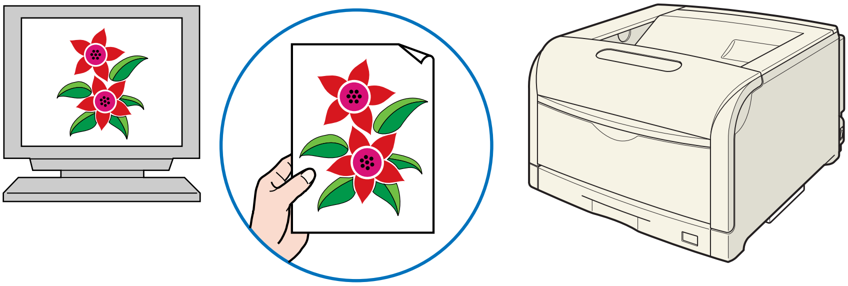
より美しく快適にカラープリントするために

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を 100% 活用しましょう。

■ ディスプレイの色補正をする

ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。

アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。



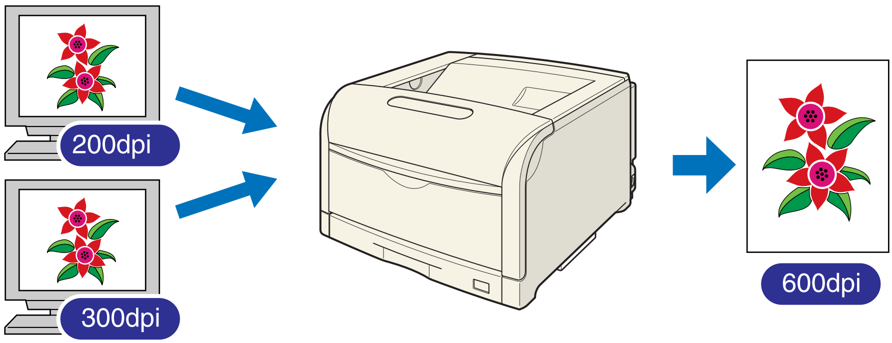
8

付録

■ 解像度を合わせる

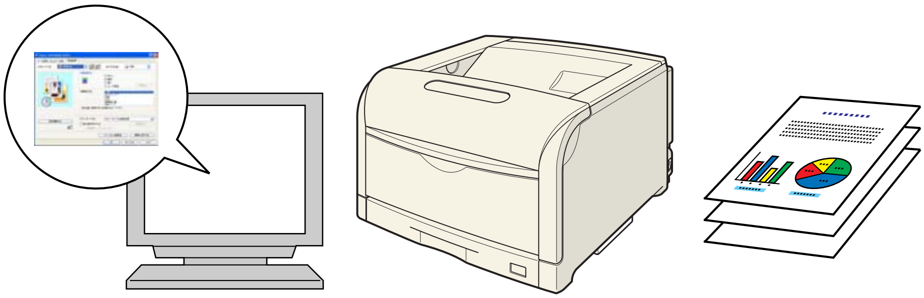
プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで600dpi あれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。

画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300または200dpi 解像度にしておきます。



■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

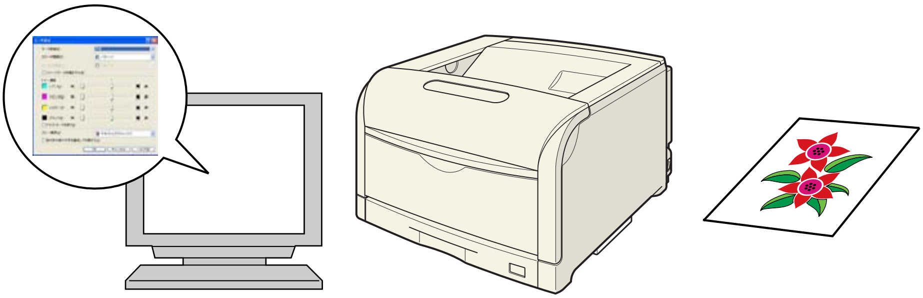
文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、［印刷品質］を［速い］に設定してプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、［印刷品質］を［きれい］に設定してプリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。



メモ　［印刷品質］の設定方法については、「印刷の品質を設定する」（➞P.4-64）を参照してください。

■ 文字やレイアウトの確認はドラフトモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、ドラフトモードでプリントします。ドラフトモードでプリントすることで、トナーの消費を大幅に節約できます。



メモ　ドラフトモードの設定方法については、「印刷の品質を設定する」（→P.4-64）を参照してください。

8

付録

NetSpot Device Installer について

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。NetSpot Device Installer は、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができるソフトウェアです。

NetSpot Device Installer の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ　CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にネットワークの初期設定が行われます。「NetSpot Device Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずに手動で IP アドレスを設定しなおす場合に、必要に応じてご使用ください。

Print Monitor Installer について

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、TCP/IP ネットワーク上のプリンタに接続するためのポート（Canon CAPT Print Monitor）を作成する「Print Monitor Installer」が同梱されています。Canon CAPT Print Monitor の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ

CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にポート（Canon CAPT Print Monitor）の作成が行われます。「Print Monitor Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずにポートを作成したい場合に、必要に応じてご使用ください。

Windows ファイアウォール機能について

Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能があります。

そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。

プリントサーバ（プリンタを直接接続するコンピュータ）側および、クライアント（ネットワーク経由でプリントするコンピュータ）側で以下の操作／設定が必要です。

設定内容		参照先
プリントサーバ側	**■ CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールする場合** インストール中に［警告］ダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックして、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。  	→P.3-37
	■「プリンタの追加ウィザード」または Windows の「エクスプローラ」から CAPT ソフトウェアをインストールする場合 「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.8-20
クライアント側	サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.8-23

重要　「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」をハードディスクにコピーして使用する場合は、付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」に収められている［WF_UTIL］フォルダ内のすべてのファイル（CNAC2FW.EXE、CAPTRGFW.DLL、CNAC2FW.INI）をコピーしてください。

クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする

1 **付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

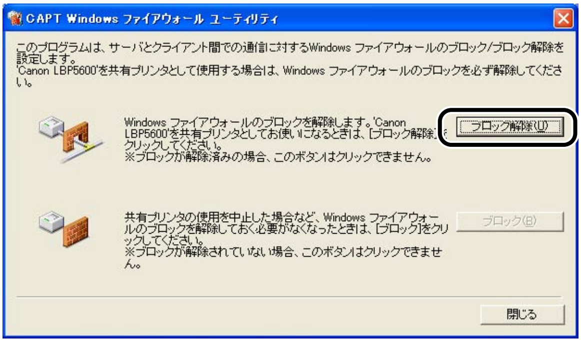
2 ［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。

3 ［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAC2FW.EXE］の順にダブルクリックします。

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAC2FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックしても、起動することができます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 ［ブロック解除］をクリックします。



メモ 既にクライアント側との通信に対するブロックの解除が行なわれている場合は、［ブロック解除］はクリックできません。

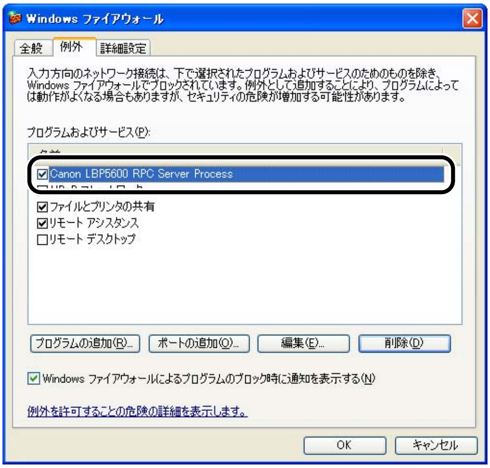
5 ［OK］をクリックします。



8
付録

メモ

Windows ファイアウォール機能のブロック解除が正しく行なわれたことを確認するには、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［Canon LBP5600 RPC Server Process］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。



クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する

1 付属の CD-ROM「LBP5600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

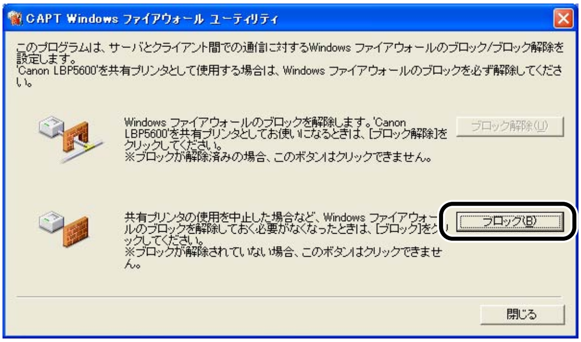
2 ［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。

3 ［Japanese］➞［WF_UTIL］➞［CNAC2FW.EXE］の順にダブルクリックします。

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAC2FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックしても、起動することができます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 ［ブロック］をクリックします。



メモ 既に Windows ファイアウォールでクライアント側と通信の遮断（ブロック）が行なわれている場合は、［ブロック］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。



Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断（ブロック）されました。

サーバとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する

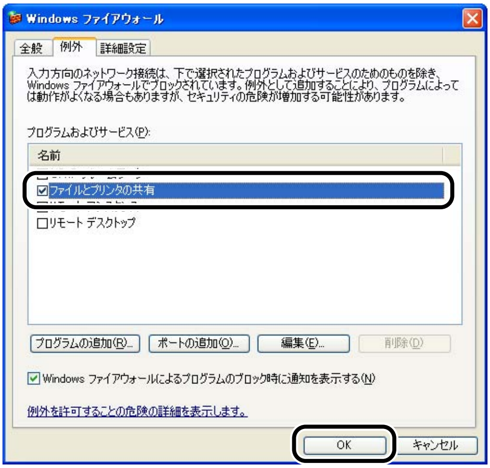
重要 クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［Windows ファイアウォール］をクリックします。

8 付録

3 ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。



サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

8

付録

FontGalleryについて

FontGalleryには、TrueTypeフォントとして和文20書体、欧文100書体が収められています。また、かな31書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。

ご使用になる前に「FontGallery製品使用許諾契約書」(→P.8-27)を必ずお読みください。

必要なシステム環境

FontGalleryおよびFontComposerを使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要　FontGalleryは、1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途FontGalleryライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition日本語版
- コンピュータ
  - ・上記OSが動作するコンピュータ

コード表について

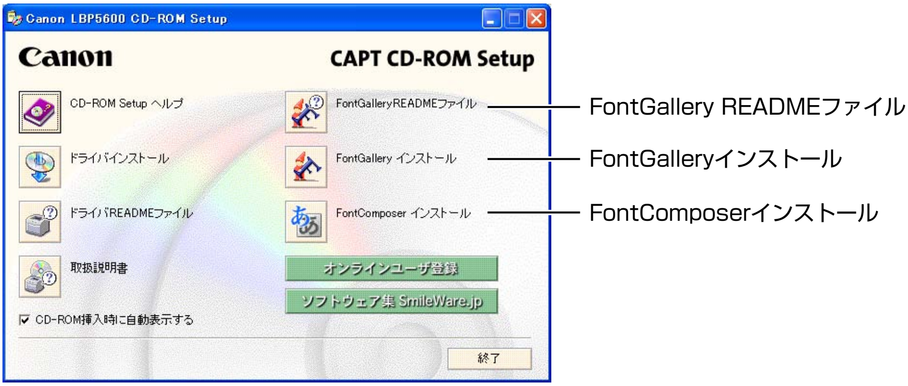
2種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV形式のコード表をお使いの場合は、CSV形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

・リッチテキスト形式(*.rtf)

・CSV形式(*.csv)

インストール方法について

FontGallery をインストールする前に、必ず README ファイルおよびインストールガイドをお読みください。README ファイルおよびインストールガイドは、付属の CD-ROM の CD-ROM Setup から見ることができます。



■ FontGallery README ファイル

FontGallery をお使いになるときに、必要な情報が記載されています。インストールする前に必ずお読みください。インストール手順などについては、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF 形式）
- FontComposer 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF 形式）

メモ

FontGallery 取扱説明書、FontComposer 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontGallery インストール

このボタンをクリックすると、FontGallery をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

メモ

フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。

■ FontComposer インストール

このボタンをクリックすると、FontComposer をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

重要

FontComposer を使用するには、約 10 ～ 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

FontGallery製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本FontGallery製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するFontGallery製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

(1) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンマーケティングジャパンといいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンに請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体 ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体 ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

メモ　FontComposer を使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
* Cataneo Light Swash	ABCDEF a de 12345
* Cataneo Regular Swash	ABCDEF a de 12345
* Cataneo Bold Swash	**ABCDEF a de 12345**
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	± °′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

* 「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Regular	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Black	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Bold	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Black	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

索引

英数字

あ

8
付録

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

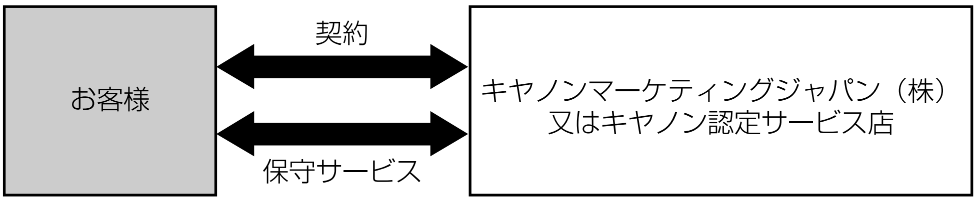
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

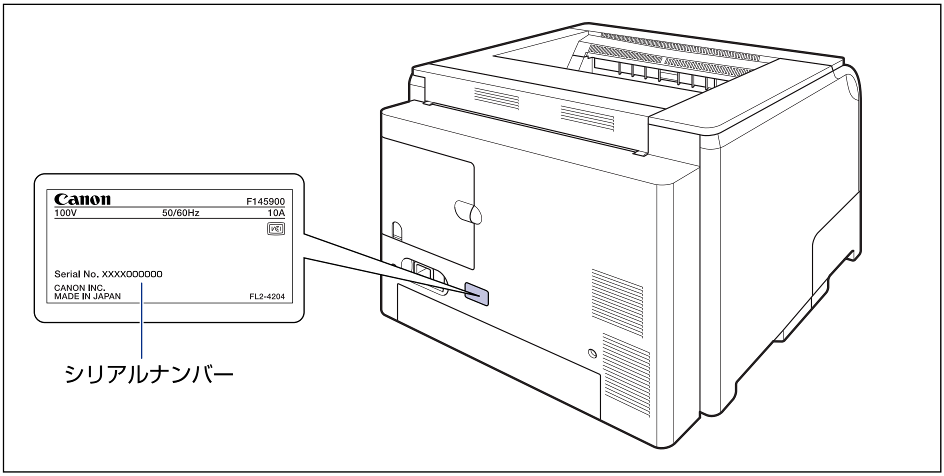
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

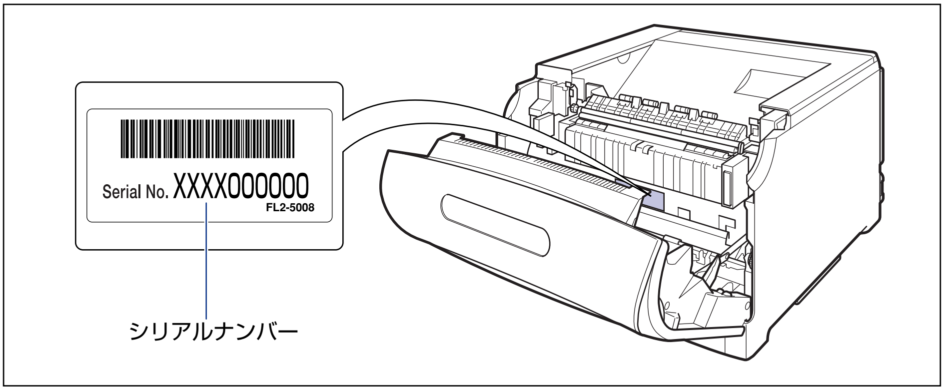
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

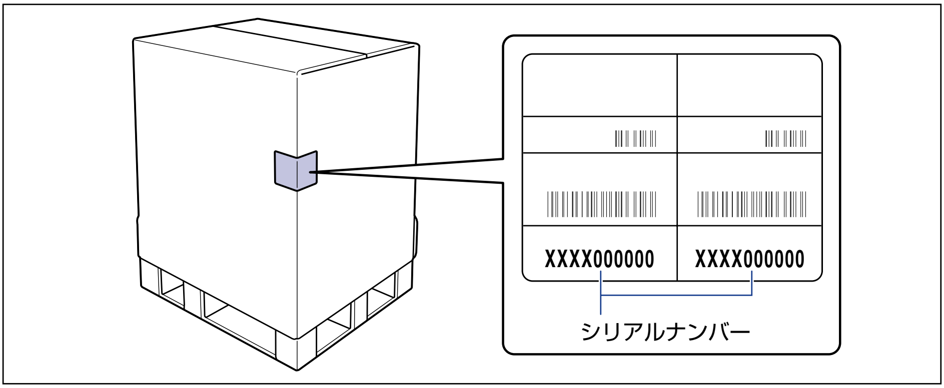


■ プリンタ内部



8
付録

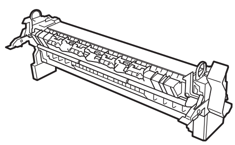
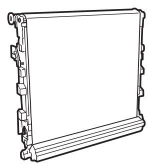
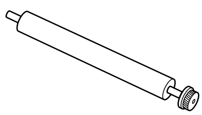
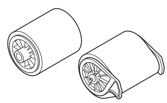
■ 梱包箱外側



定期交換部品のご案内

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。ITB ユニット、二次転写ローラ、給紙ローラは専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。定着器につきましては、お客様での交換も可能です。本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

メモ　定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器 	150,000ページ （A4横片面）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命をすぎると、画像不良や用紙のしわの原因になります。
ITBユニット 	150,000ページ （A4横片面）	4色のトナーを用紙に転写させるためのユニットです。
二次転写ローラ 	150,000ページ （A4横片面）	4色のトナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ） 	150,000ページ （A4横片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

本プリンタに付属の CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。

ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　LBP5600

本体機番　LNRA000001

（保証書および本体背面、梱包箱外側に記載されています。）

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

FA7-8304 (040)